

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5168703号
(P5168703)

(45) 発行日 平成25年3月27日(2013.3.27)

(24) 登録日 平成25年1月11日(2013.1.11)

(51) Int.Cl. F 1
A 6 3 F 5/04 (2006.01) A 6 3 F 5/04 5 1 6 F
 A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

請求項の数 1 (全 125 頁)

(21) 出願番号	特願2011-135162 (P2011-135162)	(73) 特許権者	500553844
(22) 出願日	平成23年6月17日 (2011.6.17)		ネット株式会社
(65) 公開番号	特開2013-9699 (P2013-9699A)		大阪府大阪市中央区島之内一丁目2番1
(43) 公開日	平成25年1月17日 (2013.1.17)		7号
審査請求日	平成23年6月17日 (2011.6.17)	(72) 発明者	吉村 正直
審判番号	不服2012-2327 (P2012-2327/J1)		大阪府大阪市中央区島之内一丁目2番1
審判請求日	平成24年2月6日 (2012.2.6)		7号 ネット株式会社内
(31) 優先権主張番号	特願2010-291134 (P2010-291134)		合議体
(32) 優先日	平成22年12月27日 (2010.12.27)		審判長 伊藤 陽
(33) 優先権主張国	日本国(JP)		審判官 瀬津 太朗
(31) 優先権主張番号	特願2011-29589 (P2011-29589)		審判官 木村 史郎
(32) 優先日	平成23年2月15日 (2011.2.15)		
(33) 優先権主張国	日本国(JP)		
(31) 優先権主張番号	特願2011-78258 (P2011-78258)		
(32) 優先日	平成23年3月31日 (2011.3.31)		
(33) 優先権主張国	日本国(JP)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数個の図柄が描かれた図柄列を複数列変動させる変動表示ゲームにおいて、抽選を行って、複数の図柄列に対応して設けられた停止スイッチが操作されると、変動する図柄列を個々に停止させる共に、変動表示ゲームの遊技状態として、抽選によるリプレイ役の当選確率が低い通常リプレイ状態、リプレイ役の当選確率が通常リプレイ状態より高く内部当選した押し順小役を入賞させる操作順序を報知するAT機能が発動されるATリプレイ状態、及び抽選で内部当選したボーナス役の作動図柄が表示されると移行するボーナス遊技状態が存在する遊技機において、

AT機能が発動していない通常リプレイ状態で、且つボーナス役が内部当選していない状態の変動表示ゲーム中に、抽選役として、ボーナス役、複数の小役及びリプレイ役を抽選すると共に、ボーナス遊技状態の変動表示ゲーム中に、抽選役として、リプレイ役を抽選する抽選手段と、

抽選手段の抽選結果及び停止スイッチの操作に応じて、複数の図柄列を所定位置に停止させる制御を行うと共に、各変動表示ゲームでボーナス役が内部当選しても、ボーナス遊技状態が終了しても、リプレイ役の当選確率を変動させることなく、ボーナス役が内部当選したときの通常リプレイ状態又はATリプレイ状態の何れかに戻す制御手段とを具備し、前記制御手段は、AT機能が発動していない通常リプレイ状態における抽選で内部当選したボーナス役作動後のボーナス遊技状態において、抽選手段がリプレイ役を抽選し、リプレイ役が内部当選しても、リプレイ役を入賞させることなく、停止スイッチの操作順序に

10

20

応じて、払い出し枚数の異なる小役の内の1つを入賞させ、入賞した小役がA T天井カウント小役である場合には、付与するA T天井ポイントを決定してストックし、ストックしたA T天井ポイントがA T天井値に達したとき、A T機能を発動させること、
を特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、メダルを遊技媒体に使用するパチスロやパチンコ球を遊技媒体に使用するパチロットと称されるスロットマシン（回胴式遊技機）などの遊技機等に関する。

【0002】

また、本発明はその方法を実現する為の制御ステップ又は制御手順を半導体メモリー、LD（レーザー・ディスク）、HD（ハード・ディスク）、FD（フレキシブル・ディスク）、MD（ミニ・ディスク）、CD（コンパクト・ディスク）、DVD（デジタル・バーサタイル・ディスク若しくはデジタル・ビデオ・ディスク）又はブルー・レイ・ディスクなどの情報記憶媒体に記録したプログラム（例えば、ゲームソフトウェア）そのものにも関係している。

【背景技術】

【0003】

近年、パチスロ機と称される回胴式遊技機を用いた遊技が、従来のパチンコホールやパチスロ専用ホールで盛んに行なわれている。また、パチンコ機（弾球式遊技機）で使用されるパチンコ球を遊技媒体として、上述した回胴式遊技を行うパチロット（又は、パロット）と呼ばれる回胴式遊技機も存在する。遊戯施設などのテレビゲーム機、及びインターネットを経由した一般家庭のパソコンやゲーム機においては、トークン（Token coin）と称される代用硬貨（即ち、「遊技媒体」）を用いて、回胴式遊技を模擬したシミュレーションゲームが行われている。

【0004】

例えば、上述した回胴式遊技機の通常遊技では、遊技者が遊技メダル（遊技媒体又はトークン）を所定枚数投入した後、スタートレバーを操作すると、そのタイミングでボーナス、複数の小役、又はリプレイ役（再遊技）の内部抽選（又は「内部抽せん」とも記載する。）を実行し、複数の回胴（殆どの場合、3つ又は4つのリールドラム）を上から下へ回転させて、回胴上に表示された（描かれた）複数の図柄（通常、この複数の図柄はリールテープに描かれ、各ドラム上に貼り付けられている。）を変動させる変動表示ゲームを開始すると共に、遊技者が各ドラムに対応する停止ボタンを操作して、内部当選した小役のベル、スイカやチェリーなどの図柄が所定の組み合わせで有効ライン上に表示されると入賞となり、1枚～15枚程度の遊技メダルを払い出すのに対し、リプレイ図柄が有効ライン上に表示さりプレイ（再遊技）が作動すると、遊技メダルを投入することなく（又は前回遊技での投入枚数をそのまま投入して）、次回の通常遊技を行うことができる再遊技状態になる。

【0005】

特に、通常遊技の内部抽選の結果により、ビッグボーナスが内部当選し、リールドラムの停止操作により特定図柄（例えば、赤7図柄や青7図柄）が有効ライン上に揃って停止及び表示された場合に、遊技者にとって最も有利な遊技モードであるビッグボーナスゲームモード（BBゲームモード：役物連続作動装置）に突入し、大量の遊技メダルが一気に獲得できる。また、レギュラーボーナスが当選し、特定図柄としてバー図柄が有効ライン上に揃った場合には、レギュラーボーナスゲーム（RBゲーム）が実行され、BBゲームには及ばないものの、相応の遊技メダルを獲得できるようになっており、何れにせよ遊技者にとっては、これらのボーナスゲームを成立させることが回胴式遊技における最大の関心事である。なお、内部抽選を実行した結果、ボーナスゲームが当選した場合や放出する場合には、RAM又はRWMなどのデータ記憶領域にボーナスフラグを立てて記憶することにより、特定図柄（7図柄やバー図柄）が揃うまで、当該フラグは以降の変動表示ゲー

10

20

30

40

50

ムに持ち越されるようになっている。

【0006】

ところで、従来の回胴式遊技機（4号機）は射幸性が比較的高く、それを抑える為に、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（最終改正：平成一五年五月三〇日法律第五五号）が施行され、5号機と称される最新の回胴式遊技機に適用された。

【0007】

例えば、5号機回胴式遊技機は、規則により出玉率（短期、中期、長期）が非常に細かく規定され、ビッグボーナスゲーム（BBゲーム）においては、獲得された遊技メダル等の数量が、所定枚数（例えば、360枚又は480枚）を超えた時点で終了し、レギュラーボーナスゲームでは、BBゲームには及ばないものの、100数十枚程度を獲得した時点で終了するようになっている。つまり、規則改正により、一度のボーナスゲームでの払い出し枚数の上限やメダルの増加速度が、低く制限されることになった。

10

【0008】

また、従来の回胴式遊技機（4号機）の最大の特徴とも言うべき、連続してボーナスを放出（連チャン）させる為のボーナス・ストック機能も同規則で禁止された結果、従来のスロットマシン自身に付与されていた工夫や趣向が失われ、当然ながら遊技性や射幸性が極端に低下することになり、優良顧客であった遊技者（スロッター）の客離れが進んでいる。

【0009】

しかし、このような厳格な規制状況においても多少の規制緩和がなされており、それに伴って新たな工夫がなされた結果、ART機能（アシスト・リプレイ・タイム機能）を搭載するスロットマシンが開発された。このART機能は、リプレイが当選しやすい高確率再遊技状態において、内部当選している小役を入賞させる為の図柄停止操作手順（停止スイッチの操作順序や、ボーナス図柄の色を狙わせる操作タイミング）を液晶表示や音声で告知し、手助け（アシスト）する機能であり、現時点で5号機スロットマシンの主流となっている。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0010】

【特許文献1】特開2002-143380

30

【特許文献2】特開2005-152510

【特許文献3】特開2009-018126

【特許文献4】特開2009-028304

【特許文献5】特開2005-046458

【特許文献6】特開2010-136836

【特許文献7】特開2000-334081

【特許文献8】特開2009-011426

【特許文献9】特開2006-223396

【特許文献10】特開2005-143931

【特許文献11】特開2007-075398

40

【特許文献12】特開2004-016381

【特許文献13】特開2009-005826

【特許文献14】特開2008-067952

【特許文献15】特開2008-307126

【特許文献16】特開2010-119487

【特許文献17】特開2010-035891

【特許文献18】特開2009-285097

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0011】

50

ところで、出願人が開発したA Tのオリジナル技術(特許4428725号)として、単図柄小役を内部当選させ、停止ボタンの操作手順が正解すると所定の図柄(例えば、ベル図柄)を複数ライン上に入賞させる一方、不正解で少ない数のライン上に停止させるというものがある。そして、A Tが当選した時に、正解の操作手順を遊技者に報知して、メダルの獲得枚数に差をつける。更に、R T中には手持ちメダルを減らすことなく、大量のメダルが獲得できるので、出玉の波を作り射幸性を向上させることができる。

【0012】

また、出願人のオリジナル技術として、払い出し枚数の少ないボーナスを頻繁に当選させ、A T中に停止ボタンの操作手順とタイミングを報知することにより、ボーナスを放出し、大量のメダルを獲得させるというものがある(特許4679654号、特許4597249号、特許4600944号:疑似確変又はネオストックと称する)。

10

【0013】

しかし、この疑似確変技術では、ボーナス役が単独当選すると、停止操作の如何に拘わらず、ボーナス図柄が自動的に揃ってしまうので、通常遊技中において1枚小役(障害小役)を頻繁に当選させてボーナス役を入賞させないようにしている。

【0014】

また、ボーナス役が既に当選してボーナスフラグが立っていても、乱数抽選によりリプレイが同時に内部当選すると、リプレイ図柄が優先して引き込まれて、必ずリプレイが入賞するので、ボーナス役が入賞できなくなる。

【0015】

つまり、本来ハズレとすべき領域を1枚小役の当選領域としているので、ハズレ領域が少ない上に、遊技者にとって好ましい筈のR T状態がボーナス役を放出できない非連チャン状態となるのである。

20

【0016】

本発明は、第一に、A R T技術と疑似確変技術を融合させて、1ゲーム当りの純増枚数を最大限に増加させることが可能な遊技機等を提供することにある。特に、A R Tが天井まで当選しなくても、遊技者が期待感をもってゲームを継続することが可能な遊技機等を提供することにある。そして、遊技者がA R T終了後に自力でA R Tを継続させることにより、興奮と感動を強烈に与えることが可能な遊技機等を提供することにある。

【0017】

請求項1に係る本発明の遊技機は、上記の目的を達成するために、複数個の図柄が描かれた図柄列を複数列変動させる変動表示ゲームにおいて、抽選を行って、複数の図柄列に対応して設けられた停止スイッチが操作されると、変動する図柄列を個々に停止させる共に、変動表示ゲームの遊技状態として、抽選によるリプレイ役の当選確率が低い通常リプレイ状態、リプレイ役の当選確率が通常リプレイ状態より高く内部当選した押し順小役を入賞させる操作順序を報知するA T機能が発動されるA Tリプレイ状態、及び抽選で内部当選したボーナス役の作動図柄が表示されると移行するボーナス遊技状態が存在する遊技機において、A T機能が発動していない通常リプレイ状態で、且つボーナス役が内部当選していない状態の変動表示ゲーム中に、抽選役として、ボーナス役、複数の小役及びリプレイ役を抽選すると共に、ボーナス遊技状態の変動表示ゲーム中に、抽選役として、リプレイ役を抽選する抽選手段と、抽選手段の抽選結果及び停止スイッチの操作に応じて、複数の図柄列を所定位置に停止させる制御を行うと共に、各変動表示ゲームでボーナス役が内部当選しても、ボーナス遊技状態が終了しても、リプレイ役の当選確率を変動させることなく、ボーナス役が内部当選したときの通常リプレイ状態又はA Tリプレイ状態の何れかに戻す制御手段とを具備し、前記制御手段は、A T機能が発動していない通常リプレイ状態における抽選で内部当選したボーナス役作動後のボーナス遊技状態において、抽選手段がリプレイ役を抽選し、リプレイ役が内部当選しても、リプレイ役を入賞させることなく、停止スイッチの操作順序に応じて、払い出し枚数の異なる小役の内の1つを入賞させ、入賞した小役がA T天井カウント小役である場合には、付与するA T天井ポイントを決してストックし、ストックしたA T天井ポイントがA T天井値に達したとき、A T機能

30

40

50

を発動させることを特徴とする。

【0018】

そして、第2停止操作まで正解するとAT小役が入賞するART技術により攻略性を低下させること、又は疑似確変ART(NS-ART)の当選を遊技者に激しく印象付けるように、赤7図柄などの演出用図柄を表示窓に一直線に揃えて表示し、フリーズ状態中に演出用図柄を用いた激アツ演出を行う技機等を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0019】

請求項1に係る本発明の遊技機は、上記の目的を達成するために、複数の図柄が描かれた図柄列を複数列変動させる変動表示ゲームで抽選を行って、複数の図柄列に対応して設けられた停止スイッチの操作により変動する図柄列を個々に停止させる共に、変動表示ゲームの遊技状態として抽選によるリプレイ役の当選確率が低い通常リプレイ状態及びリプレイ役の当選確率が通常リプレイ状態より高いATリプレイ状態が存在し、内部当選した押し順小役を入賞させる操作順序を報知するAT機能が発動されるATリプレイ状態と通常リプレイ状態とを移行しながら変動表示ゲームを行う遊技機において、AT機能が発動していない通常リプレイ状態で、且つボーナス役が内部当選していない状態の変動表示ゲーム中に、抽選役として、ボーナス役、複数の小役及びリプレイ役を抽選すると共に、ボーナス役が作動した後の変動表示ゲームでリプレイ役を抽選する抽選手段と、抽選手段の抽選結果及び停止スイッチの操作に応じて、複数の図柄列を所定位置に停止させる制御を行うと共に、各変動表示ゲームでボーナス役が内部当選しても、ボーナス役の作動図柄が表示されても又はボーナス役の作動が終了しても、現在のリプレイ状態を変動させることなく、ボーナス役が内部当選したときの通常リプレイ状態又はATリプレイ状態の何れかに戻す制御手段とを具備し、前記制御手段は、AT機能が発動していない通常リプレイ状態において、抽選で内部当選したボーナス役が作動中に抽選手段がリプレイ役を抽選し、リプレイ役を内部当選させても、停止スイッチの操作順序に応じて、リプレイ役を入賞させることなく、払い出し枚数の異なる小役を入賞させ、AT天井カウント小役が入賞すると、付与するAT天井ポイントを決定し、AT天井ポイントの合算値がAT天井値に達した場合、AT機能を発動させることを特徴とする。

【発明の効果】

【0020】

本発明に係る遊技機によれば、従来の単なる消化ゲーム天井ではなく、ボーナスゲームでチェリー役(AT天井カウント小役)が入賞すると、抽選を行ってAT天井ポイントを決定し、高得点の場合には一気に天井に到達するので、遊技者が常に期待感をもってゲームを継続することが可能となる。また、2種類のチェリー役により、得点率も異なっているため遊技者の自力感が増す。また、ART中にボーナスが当選し、ボーナスゲームでチェリー役(AT継続抽選用小役)が入賞した分だけチェリー画像又はチェリー入賞数を表示装置に表示し、ART継続ゲーム数が終了後にジャッジ画面に切り替えて、1ゲーム毎に継続抽選結果を報知するので、遊技者は興奮と感動を覚える。

【0021】

更に、以下の効果がある。発明に係る遊技機によれば、ART中にボーナスが当選し、ボーナスゲームでチェリー役(AT継続抽選用小役)が入賞した分だけチェリー画像又はチェリー入賞数を表示装置に表示し、ART継続ゲーム数が終了後にジャッジ画面に切り替えて、1ゲーム毎に継続抽選結果を報知するので、遊技者は興奮と感動を覚える。

【0022】

本発明に係る遊技機によれば、ATリプレイ状態でのボーナスゲーム中に第一リプレイ役を内部当選させると、所定数量以下の遊技媒体しか払い出さないため、次のボーナスゲームを行うことができるのに対して、通常リプレイ状態では第二リプレイ役を内部当選させても、させなくても所定数量を超えた遊技媒体を払い出すので、ボーナスゲームを1度しか行えない。その結果、ATリプレイ状態では獲得枚数を上げることができ、逆に通常

リプレイ状態では獲得枚数を下げることができるので、出玉の波をA Tリプレイ状態に集中させることができる。

【0023】

本発明に係る遊技機によれば、2回押し順タイプのA T小役の場合、正解押し順を4択にしても、変則押し（順押し又はハサミ押し以外）の期待枚数を低く抑えることができるので、変則押しによる攻略を防止できる。また、順押し又はハサミ押しの期待枚数を1枚以下にでき、更に押し順不問小役の割合を増やすことができるので、図柄配列上の自由度が増すと共に、演出もやりやすくなる。

【0024】

本発明に係る遊技機によれば、ボーナス非内部中の変動表示ゲームでは、リプレイ役が最優先で作動するので、リプレイ役の当選確率が通常リプレイ状態より高いA Tリプレイ状態ではハズレが少なくなってメダルが減らないだけではなく、このA Tリプレイ状態において上記2回押し順タイプのA T小役を当選させて、押し順を報知することにより、1ゲーム当りの純増枚数を大幅に増やすことができる。また、A Tリプレイ状態において単独でボーナス役が内部当選して、その変動表示ゲームで取りこぼすことなくボーナス役が必ず作動するので、ボーナス役を頻繁に且つ連続して放出できる。

【0025】

そして、ボーナス役が作動した後の変動表示ゲームでリプレイ役が当選しても、小役を入賞可能となっているので、メダルを遊技者に獲得させることができるだけではなく、ボーナスゲームの終了後にもA Tリプレイ状態を維持できる。

【図面の簡単な説明】

【0026】

【図1】回胴式遊技機の正面模式図である。

【図2】回胴式遊技機の右側面図である。

【図3】デザインパネルの斜視図である。

【図4】回胴式遊技機の内部構造模式図である。

【図5】回胴式遊技機の制御回路系のブロック図である。

【図6】ドラム部を制御する制御回路系のブロック図である。

【図7】ドラム部の構成ブロック図である。

【図8】ドラムの図柄配置表である。

【図9】ドラム部の構成ブロック図である。

【図10】ドラム部の構成ブロック図である。

【図11】各信号の関係を示すタイミングチャートである。

【図12】左ドラムの模式図である。

【図13】左ドラム、窓部及び図柄位置データとの関係を示す模式図である。

【図14】図柄の組合せ表示判定図である。

【図15】表示演出装置の構成ブロック図である。

【図16】演出パターンデータテーブルの記憶状態を示す概念図である。

【図17】演出画面の模式図である。

【図18】演出画面の模式図である。

【図19】演出画面の模式図である。

【図20】一般的な抽選テーブルの概念図である。

【図21】図柄の組合せと獲得メダル枚数との関係を示した配当表である。

【図22】回胴式遊技機の主要動作処理手順を示すフローチャートである。

【図23】ドラムの図柄配置表である。

【図24】図柄の組合せ表示判定図である。

【図25】役物未作動時（通常遊技中）の配当表である。

【図26】押し順規定小役の配当表である。

【図27】役物連続作動時（ボーナスゲーム中）の配当表である。

【図28】押し順小役の条件装置の組合せ表である。

10

20

30

40

50

- 【図 29】条件装置の組合せ及び図柄規定データを示した表である。
- 【図 30】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 31】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 32】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 33】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 34】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 35】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 36】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 37】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 38】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。 10
- 【図 39】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 40】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 41】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 42】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 43】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 44】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 45】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 46】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 47】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 48】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。 20
- 【図 49】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 50】図柄停止処理サブルーチンを示すフローチャートである。
- 【図 51】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図 52】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図 53】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図 54】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図 55】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図 56】ドラムの図柄配置表である。
- 【図 57】図柄の組合せ表示判定図である。
- 【図 58】役物未作動時（通常遊技中、規定数 3 枚）の配当表である。 30
- 【図 59】条件装置の組合せ表である。
- 【図 60】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 61】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 62】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 63】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 64】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 65】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 66】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 67】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 68】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。 40
- 【図 69】窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。
- 【図 70】条件装置の組合せ表であり、再遊技役が同時当選する状態を示している。
- 【図 71】状態遷移図である。
- 【図 72】ART ゲーム数の抽選範囲を示す概念図である。
- 【図 73】マックスベットボタンのタイミングチャートである。
- 【図 74】役物未作動時（通常遊技中、規定数 1 枚）の配当表である。
- 【図 75】ドラムの図柄配置表である。
- 【図 76】図柄の組合せ表示判定図である。
- 【図 77】通常時及び S R B 作動時の配当表である。
- 【図 78】通常時及び S R B 作動時の配当表である。 50

- 【図79】押し順ベルの条件装置の組合せ表である。
- 【図80】リプレイの条件装置の組合せ表である。
- 【図81】リプレイ状態ごとの条件装置の組合せ表である。
- 【図82】通常ゲームにおけるリプレイ状態遷移図である。
- 【図83】ビッグボーナスゲームにおけるリプレイ状態遷移図である。
- 【図84】ART開始までの処理手順を示すフローチャートである。
- 【図85】ARTストック告知の処理手順を示すフローチャートである。
- 【図86】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図87】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図88】表示演出装置が表示する演出画面の模式図及び窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。 10
- 【図89】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図90】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図91】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図92】表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。
- 【図93】窓部の図柄表示状態を示した模式図である。
- 【図94】窓部の図柄表示状態を示した模式図である。
- 【図95】トッランプの発光状態を時系列的に示したタイミングチャートである。
- 【図96】表示演出装置及び制御回路系の要部ブロック図である。
- 【図97】表示演出装置が表示するルーレット画面の模式図である。 20
- 【図98】表示演出装置が表示するルーレット画面の模式図である。
- 【図99】表示演出装置が表示するルーレット画面の模式図である。
- 【図100】ドラムの図柄配置表である。
- 【図101】図柄の組合せ表示判定図である。
- 【図102】通常時及びボーナス作動時の配当表である。
- 【図103】AT小役（押し順スイカ）の条件装置の組合せ表である。
- 【図104】遊技状態遷移図である。
- 【図105】ドラムの図柄配置表である。
- 【図106】図柄の組合せ表示判定図である。
- 【図107】通常時及びボーナス作動時の配当表である。 30
- 【図108】遊技状態遷移図である。
- 【図109】BB2のボーナスゲーム中に入賞する小役の対応表である。
- 【図110】通常時の遊技概要図である。
- 【図111】チャンス演出の概要図である。
- 【図112】7RUSH演出の概要図である。
- 【図113】2回押し順タイプのAT小役の説明図である。
- 【図114】通常時の配当表抜粋等である。
- 【図115】2種BB中のシステム説明図である。
- 【図116】ART中の演出説明図である。
- 【図117】ART中の演出説明図である。 40
- 【図118】チェリーポイント天井システムの説明図である。
- 【図119】各種テーブルの説明図である。
- 【図120】通常遊技中の演出説明図である。
- 【発明を実施するための形態】
- 【0027】

定義：

リプレイ (Replay) とは、パチスロ (回胴式遊技機) において、次のプレイがベットを行わずに遊技可能となる絵柄の組み合わせのことをいう。パチスロの検定規則 (遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則) 上の呼称は再遊技 (さいゆうぎ) である。また、請求項における「リプレイ役」としては、複数のリプレイ役1～リプレイ役nが同時に内部 50

当選することも可能であり、その何れか一つのリプレイ役が最優先で（ボーナス役や小役よりも優先的に）作動するようになっている。

【0028】

基本実施例：

本発明に係る遊技機等の一例として、回胴式遊技機を取り上げるが、この実施例は回胴式遊技機の基本構成及び基本動作を詳細に説明するものである。

【0029】

図1は、回胴式遊技機の正面模式図（（A）は全体図、（B）は前面上部図）、図2はその右側面図、及び図3はデザインパネルの斜視図である。

【0030】

1は、一般に「パチスロ機」と称される回胴式遊技機本体であり、回転ドラム（ドラム部2）を内蔵する筐体1aと前扉1bに大別される（特に、図2参照）。

【0031】

前扉1bは、回胴式遊技機の顔とも言うべき主要部であり、高級感の創出やデザイン性の要求で独特の金属感が求められており、通常のクロムめっき、ダーククロムめっき、硬質金めっき、メタライジング（めっき）やサテン調（めっき）などを樹脂素材に付加することにより、外観に華やかさや重厚感が与えられる。

【0032】

前扉1bの前面には、透明パネル21が嵌めこまれている。また、透明パネル21よりも内側の前扉1bには、デザインパネル22が取り付けられている。

【0033】

デザインパネル22は、ゲーム状況に応じて各種演出を行う表示演出装置11（又は、映像ディスプレイ装置）がピス止め固定される上面部22aと、窓部3（図柄表示窓）が形成された中面部22b、及び発光表示装置（表示LEDブロック4）が取り付けられる下面部22cとによって筐体1aの内側方向に折れ曲がった底面部22dを形成し、底面部22dの左右を繋ぐ左側面部22e及び右側面部22fとにより略箱型形状となって奥まった空間が形成される（特に、図3参照）。

【0034】

この底面部22d上には、立体的に突出する装飾物23又はゲームの進行に応じて駆動される立体的な電動式駆動物24（例えば、期待感を煽る為に、内部当選役と関係する演出に用いる電動式の玩具や開閉式の扉、上下動するバンパー又は揺動する船などがある。但し、内部当選役とは無関係な演出を単に行うこともある。）が設けられている。

【0035】

前扉1bやデザインパネル22は、樹脂素材を金型で一体成形したものであるが、成形方法としては一般に、射出成形、押出成形、発泡成形や真空成形などであり、その樹脂材料としてはABS等の各種汎用樹脂が用いられる。

【0036】

2は、筐体1aに内蔵されているドラム部（リールドラム）であり、左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cの3つのドラムで構成される。それぞれの各ドラムの内部には、回胴部図柄表示LED（図示せず）が設けられており、各種演出に応じて発光（点灯や点滅）又は消灯するようになっている。つまり、各ドラムが一行に上から下へ複数の図柄を表示する図柄列であり、この場合には、3つの図柄列（複数列）を変動させる変動表示ゲームを開始するようになっている。なお、各ドラムに替えて、液晶表示装置などを用いて図柄を表示する場合も、複数個の図柄が描かれた図柄列を変動させる変動表示ゲームである。

【0037】

3は、デザインパネル22の正面中央部に設けられた窓部であり、ドラム部2の外周に貼り付けられているリールテープ上の図柄が透明パネル21を通して目視できるようになっている。この窓部3には、横方向に延びる3本の有効ラインと斜め方向に交差する2本の有効ラインである合計5本の有効ラインが、左ドラム2aと中ドラム2b及び中ドラム

10

20

30

40

50

2 bと右ドラム2 cを結ぶ線で目立つように表示されている。但し、有効ラインとなるのは、横方向や斜め方向、またこの本数に限定されるものではなく、V字やその逆の小山型など設計段階で適宜決定される。なお、この有効ラインの下側には、回胴部ライン表示LEDが埋め込まれており、入賞時や作動時に点灯又は点滅するようになっている。

【0038】

4は、窓部3の下側で且つデザインパネル22の下面部に設けられた表示LEDブロックであり、後述するように投入枚数LED4 a、メダル貯留枚数表示LED4 b、メダル払出枚数表示LED4 c、リプレイ表示LED4 d及びエラー表示LED4 eの表示LED群で構成される。

【0039】

5は、メダル投入部であり、ドラム部2（回転ドラム）を回転及び停止させる変動表示ゲームを開始させるための遊技メダル（遊技媒体であり、「コイン」や単に「メダル」という場合もある）を投入するメダル投入口が設けられている。なお、メダル投入部5の両サイドには左光透過部5 a及び右光透過部5 bが設けられており、下側左右に取り付けられた複数の光源（例えば、LED）からの光によって、メダルが投入不能な場合には赤色（第一の色）で、一方メダルが投入可能であって遊技用に加算表示されるときには青色（第二の色）で、メダル貯留装置に加算表示されるときには緑色（第三の色）で点灯する。但し、メダルが投入不能な場合には、消灯としてもよい。なお、ゲームソフトにおいて遊技媒体とは、遊技メダル又は遊技コインを意味するデータ（例えば、投入メダル数、クレジット数値データ又はトークン）であって、メダル投入部5から実際の遊技メダル又は遊技コインが投入されるものではない。

【0040】

メダル投入口から投入されたメダルは、メダル選別装置（又は、「セレクター」とも言う。図示せず）によってカウントされ、正常に投入されたメダルの数を加算して表示LEDブロック4の投入枚数LED4 a又はメダル貯留枚数表示LED4 bに表示するようになっている。

【0041】

6は、精算ボタンであり、メダル貯留装置（図示せず）の起動と解除、及び投入メダルと貯留メダルの払い出し精算に使用する。

【0042】

7は、1ベットボタンであり、遊技を行うためにメダル貯留装置の貯留メダルを1枚投入するときに使用する。なお、1ベットボタン7を設けない場合もある。また、1ベットボタン7の左横には、上下左右方向へのカーソル操作や、履歴情報を見る為に必要な十字キー（図示せず）を設けることもある。

【0043】

8は、マックスベットボタンであり、遊技を行うためにメダル貯留装置の貯留メダルを最大数である3枚投入するときや、ボーナスゲーム時など遊技状態に応じて規定された最大投入枚数（1枚又は2枚）を投入するときに使用する。なお、マックスベットボタン3の内部には、LEDが設けられており、マックスベットボタン3が操作可能な状態のときに点灯するようになっている。

【0044】

9は、スタートレバー（回胴回転始動装置の一部）であり、遊技を行うために必要な所定数の遊技メダルを投入後、ドラム部2を一斉に始動させるときに使用する。スタートレバー9の周囲には、LEDが設けられており、スタート操作が可能な状態のときに点灯するようになっている。また、スタートレバー9は、出玉率の段階設定を行う場合、段階値1～6（又は、1, 3, 5, 7の4段階跳び番号など）の中から、選択された所望の設定値を確定させるときに使用する。

【0045】

10は、停止ボタン部（同義の名称として、「停止スイッチ」ともいう。）であり、回転しているドラム部2を停止させるときに使用する。この停止ボタン部10は、左停止ボ

10

20

30

40

50

タン 10 a、中停止ボタン 10 b 及び右停止ボタン 10 c の 3 つのボタン群（なお、4 つの場合も稀にある。）で構成され、ドラム部 2 が回転中に停止ボタン部 10 を操作することにより、それぞれのボタンに対応する左ドラム 2 a、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c を停止させることができる。なお、左ドラム 2 a、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c の 3 つのドラムの回転が所定速度（約 80 回転/分）に達して、停止ボタン部が操作可能になった時には、停止ボタン 10 a、停止ボタン 10 b 及び停止ボタン 10 c に内蔵されている LED が点灯するようになっている。また、左停止ボタン 10 a、中停止ボタン 10 b 及び右停止ボタン 10 c を方向入力手段として用いる場合、それぞれ順に左方向、上方向、右方向入力に対応させることができる。

【0046】

11 は、ブラウン管を利用したカラーディスプレイや LCD（液晶ディスプレイ）、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）又は有機 EL（エレクトロ・ルミネッセンス）などの FPD（フラット・パネル・ディスプレイ）からなる表示演出装置であり、回胴遊技に関する各種映像演出や所要の情報の告知等が行えるようになっている。なお、専用眼鏡を使用するか否かに拘わらず、最近では立体表示可能な表示演出装置が安価に製造されるようになり、リーチ状態や大当り状態で 7 図柄等の演出映像が飛び出す 3D 表示装置を採用した遊技機が主流となりつつある。

【0047】

12 は、スピーカ部であり、左上スピーカ 12 a、右上スピーカ 12 b、左下スピーカ 12 c 及び右下スピーカ 12 d の 4 つのスピーカで構成され、各種演出に応じた効果音や段階設定値の変更中、又は前扉 1 b が開いている状態やトラブル発生時に警告音を発生する。なお、重大なトラブル（セクターエラー、ホッパーエラーや RAM エラー。但し、ドアオープンは含まない。）が発生した場合には、警告音と共にエラー表示 LED 4 e が点灯する。

【0048】

13 は、遊技状態表示 LED 部であり、表示演出装置 11 の上部に設けられた上部状態表示 LED 13 a 及び両側面に設けられた左上状態表示 LED 13 b と右上状態表示 LED 13 c、左中状態表示 LED 13 d と右中状態表示 LED 13 e、及び左下状態表示 LED 13 f、右下状態表示 LED 13 g と中下状態表示 LED 13 h で構成され、各種の光演出を効果的に行うことができる。また、段階設定値の変更中又は前扉 1 b が開いている状態やトラブル発生時において、警告表示として点滅を繰り返す。

【0049】

この遊技状態表示 LED 部 13（13 a ~ 13 h）は、前扉 1 b の外周を略一周するように配置されているので、遊技者に対して、カラフルな光が途切れることなく、外周淵部をグルグル回るといった光演出を効果的に行うことが可能となる。特に、前扉 1 b の上部中央位置（遊技機本体前面の上部中央位置）に設けられた上部状態表示 LED 13 a は、トップランプと称されており、内部当選又は入賞したレア小役に対応する固有の色で発光して、遊技者に入賞役などを報知して期待感を煽る光演出の中心的役割を成している。

【0050】

図 1（B）は、後述するロゴパネル部 17 が無くなって、その分だけトップランプ 13 a が全体に大きくなった回胴式遊技機筐体の実施例を示している。このトップランプ 13 a は、ドラム部を変動させる変動表示ゲームで、抽選により内部当選役を予め決定し、停止スイッチの操作により、3 つのドラム部が停止した場合、内部当選役又は入賞役に対応する固有の色（チェリーは赤色、プラムは紫色、ベルは黄色、リプレイは青色）で発光させた後、次の変動表示ゲームが開始するまでのインターバル期間中に消灯状態又は固有の色とは異なる白色等の中立色での発光状態になる。

【0051】

なお、表示演出装置 11 の左右のスペース（上面部 22 a 上）に、ボーナス当選告知や必要な情報を通知する為の状態表示 LED を複数設けてもよい。また、ドラム部 2 の左右のスペース（中面部 22 b 上）に、AT ストック当選告知を行う AT ストック告知ランプ

10

20

30

40

50

が設けられ、左側のＡＴストック告知ランプはＡＴストック数が１～９の範囲で当選した場合に点灯し、ＡＴストック数が１０以上の範囲では左右２つのＡＴストック告知ランプが点灯する。

【００５２】

１４は、スペシャルボタンであり、表示演出装置１１に表示される各種ゲームやその映像演出に応じて要求される情報（例えば、パワーレベルゲージの上昇、ボーナス成立図柄の表示、戦闘機の機銃操作や爆弾投下又は登場人物の移動方向等の入力情報）を、遊技者自身による１回操作又は連打して入力する。特に、スペシャルボタン１４は、ＡＴストック抽選で当選した場合、「ピーピーピー」という効果音と共に点滅して操作を促し、遊技者がスペシャルボタン１４に期待を込めて叩くと、「パキパキパッキー」という効果音が発生してＡＴストック告知ランプが点灯する。なお、このスペシャルボタン１４によって入力される情報は、後述する副基板（サブブロック）に与えられ、あくまで各種映像や音響演出にのみ用いられるものであるから、遊技結果に影響を及ぼすものではない。

10

【００５３】

１５は、受け皿であり、メダル払出装置１８（図４参照）から払い出された遊技メダルがメダル払出口１６より排出され、その数量として数百枚程度まで受けることができる。

【００５４】

１７は、ロゴパネル部であり、メーカー名又は機種名など、必要に応じて各種商標を表示する為に使用される。

【００５５】

20

１９は、ドア鍵穴であり、ドアキーにより回胴式遊技機本体１の前扉１ｂを開けるときや、打ち止め状態（メダル式遊技の為に操作を不能にした状態）の解除及びエラーによる遊技中止の解除の際に使用される。

【００５６】

２０は、返却ボタン（正式には、「投入メダル詰まり返却ボタン」と言う）であり、メダル投入部５に続いて遊技メダルが通過する遊技メダルセクター（図示せず）に詰まった遊技メダルをメダル払出口１６から返却する時に使用する。

【００５７】

ここで図３を参照して、図３（Ａ）に示すデザインパネル２２は、表示演出装置１１を取り付ける表示演出装置取付部２２ｊが形成された上面部２２ａと、窓部３（図柄表示窓３）が形成された中面部２２ｂと、前述した表示ＬＥＤブロック４が取り付けられる下面部２２ｃとによって底面部２２ｄを形成しており、その上面に立体的に突出する装飾物又は立体的な電動式駆動物が設けられる。

30

【００５８】

また、底面部２２ｄを繋ぐ左側面部２２ｅ及び右側面部２２ｆとにより略箱型形状（又は略船型形状）となって内部に奥まった空間が形成され、その上部及び下部には前扉１ｂに取り付けるための複数の取付穴が形成された上部取付部２２ｇ及び下部取付部２２ｈが設けられている。この底面部２２ｄ、左側面部２２ｅ及び右側面部２２ｆからなる５つの内面に装飾用シールを貼ることにより、特に底面部２２ｄでは３つの略平面を形成することになる。但し、装飾物２３や電動式駆動物２４が設けられているので、凹凸があるのは当然である。

40

【００５９】

４ａは、投入枚数ＬＥＤであり、遊技を行うためにメダル投入部５から又はマックスベットボタン８や１ベットボタン７によって投入された遊技メダルの枚数を表示する。

【００６０】

４ｂは、メダル貯留枚数表示ＬＥＤであり、遊技メダルのクレジット数（貯留枚数）を例えば所定最大数５０枚の範囲で表示する。また、貯留メダルの精算時における払い出し演出表示を行う。

【００６１】

４ｃは、メダル払出枚数表示ＬＥＤであり、入賞時に払出メダルの枚数を表示する。ま

50

た、出玉率の段階設定値及び打止め中やエラー発生時のエラーコードを表示する。

【 0 0 6 2 】

4 d は、リプレイ表示 L E D であり、変動表示ゲームにおいてリプレイが作動すると点灯する。

【 0 0 6 3 】

4 e は、エラー表示 L E D であり、重大なトラブル（例えば、ドアオープン以外のトラブル）が発生した場合に点灯する。

【 0 0 6 4 】

図 3（B）に示すデザインパネル 2 2 は、更に折れ曲がった面（淵）として最上面部 2 2 i が設けられている点で図 3（A）のものと相違する。なお、この最上面部 2 2 i を設けることにより、取り付けた表示演出装置 1 1 を遊技者に見えやすくできる点と、デザインパネル自身が一層強固になる点で有利となる。

10

【 0 0 6 5 】

図 4 は、回胴式遊技機の内部構造模式図である。

【 0 0 6 6 】

回胴式遊技機本体 1 の筐体 1 a の中央部には、ドラム部 2 とその下にメダル払出装置 1 8（メダルホッパー 1 8）が配置されている。

【 0 0 6 7 】

筐体 1 a の右上部には反射板 2 7 が設けられ、前扉 1 b の対応位置にはフォトセンサが設けられており、前扉 1 b が閉じた状態では、フォトセンサから出射された L E D 光が反射板によって反射され、フォトランジスタによって検出される一方、開いた状態では、反射光が検出されないため、前扉 1 b の開閉状態を検知することができる。

20

【 0 0 6 8 】

2 8 は、電源部であり、電源スイッチ 2 8 c をオン状態にすると、各回路ブロックに電源が供給され、初期チェックや初期設定の後、変動表示ゲームを行うことができるようになる。

【 0 0 6 9 】

2 8 a は、設定用キースイッチ（設定変更許可スイッチともいう）であり、出玉率の段階設定操作や段階設定値の確認を行うときに使用する。操作キーを鍵穴 2 8 d に差し込んで回転させることにより、O F F から O N の状態又は逆の O N から O F F の状態にすることができる。

30

【 0 0 7 0 】

2 8 b は、エラー解除スイッチであり、出玉率の段階設定を行う時やエラーによる遊技の中止を解除する時に使用する。

【 0 0 7 1 】

4 c は、メダル払出枚数表示 L E D であり、出玉率の段階設定値を表示しており、エラー解除スイッチ 2 8 b を押すたびに値が + 1 されて、「 6 」表示の次には「 1 」に戻り、ターンアラウンド表示する。

【 0 0 7 2 】

図 5 は、回胴式遊技機の制御回路系のブロック図である。

40

【 0 0 7 3 】

制御回路系は、メインブロック（主基板：破線で囲っていない部分）及びサブブロック（副基板：破線で囲った部分）とに大別され、メインブロックは遊技結果に関する制御を行うのに対して、サブブロックは遊技経過や内部抽せん結果の告知・表示など遊技者の関心や興味を惹く様々な演出に関する制御を司る。なお、サブブロックは、A R T 発動時において、小役入賞又は転落リプレイ回避の停止操作手順（停止ボタン部 1 0 の操作順序や操作タイミング）を告知する。

【 0 0 7 4 】

1 0 0 は、主制御部であり、C P U を内蔵したマイクロプロセッサを搭載した一体型のワンチップマイコン（例えば、エルイーテック社製の L E 4 2 8 0 B - P A - G 1）であ

50

り、所定のデータテーブル領域や装置全体の制御手順を記述した制御プログラムを記憶するROM101と、カウンタやレジスタ等が形成され制御に必要な情報を一時的に記憶するRAM102(RWM:リライタブルメモリともいう。また、内蔵だけではなく、外付けRAMも含む。)とが設けられている。このRAM102は、後述するように、電源スイッチ28cをオフ状態にしても又は電源コードを抜いても、電源コネクタを経由して常時供給されるRAMバックアップ用電源によって、記憶する全ての制御データは保持されるが、電源コネクタそのものが抜かれると、電力が供給されなくなるので制御データは消去(オールクリア又は0にリセット)又は無意味な情報となる。

【0075】

主制御部100には、I/Oポート(図示せず)やデータバスを介して、スタートSWセンサ110(スタート・スイッチ・センサ110)、停止ボタンセンサ120、メダル検出センサ130、ベットボタンセンサ140、段階設定部150及び打ち止め設定部180が接続されており、主制御部100はこれらからの入力信号を受信可能に構成されている。

【0076】

また、主制御部100には、I/Oポート(図示せず)やデータバスを介して、ドラム部2、メダル払出装装置18及び表示LEDブロック4が接続されており、主制御部100は入出力信号の送受信によって、これらの各装置を制御可能に構成されている。

【0077】

この主制御部100は、遊技者のスタートレバー9の操作に伴って、内蔵する乱数発生部103で継続して発生させている乱数(0~65535の値)の1つを抽出することにより内部抽選を実行し、複数個(通常は、20個又は21個)の図柄が描かれた3列(複数列)の図柄列であるドラム部2(左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c)を回転させることにより図柄変動表示ゲームを開始する。例えば、この乱数抽選でベル、チェリー、スイカ又はプラム等の配当のある小役の何れかが内部当選し、遊技者が停止ボタン部10の停止操作を行うと、主制御部100は操作順に従ってドラム部2を所定位置に順次停止させる。その結果、窓部3の5つの有効ライン上のいずれかに、所定の図柄が並んで表示されれば入賞となる。但し、有効ラインは5つに限らず、メダルの投入枚数に応じて変わったり、設計仕様や遊技状態に応じて適宜増減される。

【0078】

例えば、入賞の種類に応じて規定されている遊技媒体の配当枚数として、ベル1枚、チェリー2枚、スイカ5枚及びプラム8枚と仮定すると、第2ラインにベル図柄だけが並んで表示されれば、主制御部100はベル入賞として1枚を払い出す。投入規定枚数が3枚とすると、ベルが入賞しても差し引き2枚のマイナスとなるので、ボーナス役及び小役が同時に内部当選している状態で、内部当選中の小役図柄を優先して有効ライン上に停止させても、メダルを消費させることができる。一方、第2ラインにベル図柄及び第3ラインにプラム図柄が並んで表示されれば、主制御部100は入賞分のベル1枚とプラム8枚を合計して9枚を払い出すので、差し引き6枚のプラス配当となる。

【0079】

主制御部100には、I/Oポート(図示せず)やデータバスを介して、副制御部160が接続されており、サブブロックの各種制御に必要な制御データ(例えば、コイン投入データ、抽選結果や当選状況データ、段階設定値データ、段階設定部150のスイッチ操作状態を示すデータなど)を副制御部160に出力する。

【0080】

この副制御部160は、主制御部100と同様に、CPUを内蔵したマイクロプロセッサを搭載する一体型のワンチップマイコンであり、サブブロック全体の制御手順を記述した制御プログラムを記憶するROM161と、カウンタ、タイマーやレジスタ等が形成され主制御部100から受信した制御に必要な情報を一時的に記憶するRAM162などが設けられている。このROM161には、複数のBGM(バック・グランド・ミュージック)データが記憶されており、特にボーナスゲーム中において、遊技者の気持ちを高揚さ

10

20

30

40

50

せる為に、特別にアレンジされたBGMが演出場面に応じて適宜選択及び演奏される。なお、主制御部100と副制御部160を別個に設ける必要はなく、1つの制御部とすることも可能である。

【0081】

副制御部160には、I/Oポート(図示せず)やデータバスを介して、表示演出装置11、スピーカ部12、遊技状態表示LED部13、入力SW部25(入力スイッチ部25)、計時部26、操作方向センサ111、スペシャルボタンセンサ112及び扉異常信号出力装置113が接続されており、副制御部160はこれら各装置からの入力信号を受け付けたり、必要なデータや信号を出力して各種制御を行うことが可能である。

【0082】

副制御部160は、主制御部100から送信される制御データ中の投入枚数データ、払出枚数データや変動表示ゲーム回数データに基づいて、初期化した後における差枚数やボーナス後に消化した変動表示ゲーム回数を計数しており、計数した差枚数や回数が所定数に達すると、ATストック抽選や選択ゲームを発動させる。この際、副制御部160は、表示演出装置11に「選択ゲームを開始しますか。開始する場合、スペシャルボタンを連打してください。」と表示して、スペシャルボタン14を点滅させる。

【0083】

このATストック抽選は、例えば0~127個の範囲でストック数を抽選するもので、0はハズレである一方、1~127が当選である。仮に127が当選すると、最低127連チャンが確定することになるが、ATストック抽選はATがストックされている状態でも実行されるので、更に上乘せ加算されてMAX1000まで貯留できるようになっている。但し、これらは設計仕様に基づく単なる例示であり、この数値に限定されるものではない。

【0084】

また、副制御部160は、選択ゲームを実行するか否かを確認し、遊技者がスペシャルボタンを連打すると、連打した回数に応じたパルス信号を受けとり、そのパルス数が所定数の8回以上に達すると、選択ゲーム抽選を行なって当たりとする数字(例えば、「0」又は「1」)を決定する。そして、選択ゲームを発動させると、表示演出装置11に「又はx」や「左又は右」などを左停止ボタン10aと右停止ボタン10cにそれぞれ対応させて表示して、遊技者に選択操作を促す。例えば、選択ゲーム抽選結果で「0」が当選している場合に、遊技者が左停止ボタン10aを操作して対応する「」や「左」を選択すると選択ゲームで当選となる。そして、副制御部160は、当選と判断すると、その後の変動表示ゲームにおいて、投入枚数や差枚数又は変動表示ゲームの回数に応じた数量の遊技媒体が増加するまで又はATストック抽選(1~127個)で当選した回数分だけ、AT機能(通知手段により補助情報を通知する機能)を発動させる。

【0085】

これに対して、遊技者が右停止ボタン10cを操作して対応する「x」や「右」を選択すると選択ゲームで落選となる。そして、副制御部160は、落選と判断すると、AT機能を発動させることなく、差枚数又は変動表示ゲームの回数を初期化して、スタートに戻る。結果的に、遊技者はハマリ状態となっても、選択ゲームで当選すれば、今まで負けていた分以上を取り戻したり、大連チャンすることが可能となり、一発逆転を期待できるのである。上記では、二択として当選で2倍返しとしたが、例えば五択であれば当選したときに5倍返しとすることも可能であり、その倍率を遊技者が選択できるようにすると更に趣向が増す。

【0086】

副制御部160は、スタートレバー9の開始操作に伴って、主制御部100が内部で乱数抽選を実行し、大当たり、再遊技、小役又はハズレの結果通知を受けると、遊技者に抽選結果を通知する以前に、表示演出装置11やスピーカ部12、遊技状態表示LED部13に演出を行うか否かの演出抽選を行う。副制御部160は、演出抽選で当選すると、ROM161に記憶する複数の演出映像の中から、表示する演出映像を選択して表示演出装置

10

20

30

40

50

1 1 に出力する。

【 0 0 8 7 】

特に、副制御部 1 6 0 は、後述するように、A T ストックが存在し、押し順小役（第一小役及び複数個の押し順規定小役中の複数一部）が内部当選した場合、当選中の第一小役図柄（例えば、ベル図柄）を有効ライン上に揃えるためのアシスト情報（補助情報）を表示演出装置 1 1 に表示する。これにより遊技者は、第一小役を容易に入賞させることが可能になる。

【 0 0 8 8 】

ここで図 5 に戻り、操作方向センサ 1 1 1 は、スタートレバー 9 が操作される上下左右の方向に対応する方向信号を出力し、副制御部 1 6 0 はこの方向信号を受信して、方向信号に応じた各種映像演出や当選告知等を表示演出装置 1 1 に表示し、更にスピーカ部 1 2 から効果音を発生させる。

10

【 0 0 8 9 】

スペシャルボタンセンサ 1 1 2 は、スペシャルボタン 1 4 が操作された時に O N 信号（例えば、H I G H 信号）を、離れた時に O F F 信号（例えば、L O W 信号）を出力し、副制御部 1 6 0 はこの O N 信号を受信したタイミングやパルスを受信した回数（連打と呼ばれる。）に応じて、各種ゲーム及びその映像演出や当選告知等を表示演出装置 1 1 に表示する。更に、スピーカ部 1 2 から爆弾投下や機銃操作などの効果音を発生させる。

【 0 0 9 0 】

扉異常信号出力装置 1 1 3 は、扉の開閉状態を検出して副制御部 1 6 0 に制御信号を出力する装置であり、主電源が O N の状態においては前扉 1 b の開閉に応じて O N / O F F 信号を出力する一方、主電源が O F F の状態においては副電源（バックアップ電池）から供給される電力によって駆動され、主電源断時の前扉 1 b の異常開閉を検出及び記憶し、その後、主電源が O N となった場合でも、主電源断時の異常開閉を副制御部 1 6 0 に通知する。これにより副制御部 1 6 0 は、前扉 1 b が閉まっていて全く異常がないように見えても、主電源が入れられた時に警告音を発生させるので、遊技ホールの管理者は異常事態を認識し、遊技機のチェックや点検等の適切な処置を施すことができる。

20

【 0 0 9 1 】

メダル検出センサ 1 3 0 は、メダル通過センサと近接センサ（図示せず）で構成され、メダル投入口 5 から投入されたメダル数に応じた数のパルス信号を出力する。主制御部 1 0 0 は、このパルス信号を受信し、及びパルス信号の立ち上りや立ち下りにおけるカウンタ論理処理を実行して、表示 L E D ブロック 4 中の投入枚数 L E D 4 a 又はメダル貯留枚数表示 L E D 4 b にパルス数に応じた数だけ増加した投入枚数又はクレジット数を表示させるように制御する。

30

【 0 0 9 2 】

ベットボタン検出センサ 1 4 0 は、1ベットボタン 7 の操作に応じてパルス信号を出力する 1ベットボタン検出センサ 1 4 0 a、及びマックスベットボタン 8 の操作に応じてパルス信号を出力するマックスベットボタン検出センサ 1 4 0 b の 2 つで構成され、主制御部 1 0 0 の 2 つのポートへ別々に接続されている（詳細図示せず）。主制御部 1 0 0 は、得られたパルス信号に対応するように投入枚数 L E D 4 a の枚数表示を制御する。

40

【 0 0 9 3 】

また、遊技者が所定数のメダルを投入後、スタートレバー 9 を操作すると、スタート S W センサ 1 1 0 はスタート信号を出力し、主制御部 1 0 0 はこのスタート信号の受信を契機として乱数抽選等を行って変動表示ゲームを開始するとともに、ドラム部 2 に駆動パルス信号を出力するようになっている。なお、この 1 回のスタートレバー 9 の操作によって行われる遊技が 1 ゲームの変動表示ゲームとなっており、遊技者はボーナスゲーム（ビッグボーナス又はレギュラーボーナス）を獲得してメダルを増やすことを目的に遊技を繰り返す。なお、ボーナスゲームとは、例えば第一種特別役物（R B）、第一種特別役物連続作動又は第二種特別役物連続作動を意味する。

【 0 0 9 4 】

50

そして、主制御部 100 は、変動表示ゲーム中に停止ボタン 10 a、10 b 及び 10 c が操作されると、回転ドラムの回転を停止させ、所定の入賞役が成立（各回転ドラムの図柄が予め定めた所定の組み合わせで表示されると入賞となる。）してメダルの払い出しを行う場合、その払い出し枚数を表示 LED ブロック 4 中のメダル払出枚数表示 LED 4 c に表示して、これをクレジット数に加えてメダル貯留枚数表示 LED 4 b に表示させる。なお、精算ボタン 6 によって払い出し操作が行われた場合やクレジット数が例えば最大数の 50 枚を超えた場合には、主制御部 100 はメダル払出装置 18 を駆動制御し、必要数のメダルをメダル払出口 16 から排出させて受け皿 15 に蓄積させる。

【0095】

さらに、主制御部 100 は、再遊技や小役、特にボーナスが内部当選した場合には、副制御部 160 に内部当選等に関する制御データ（イベントデータ）を出力する。そして、副制御部 160 は、主制御部 100 から制御データを受け取ると、遊技状態表示 LED 部 13 の点灯制御、スピーカ部 12 から効果音を発生させるための音声合成 LSI（図示せず）の制御、及び表示演出装置 11 の表示画面内におけるキャラクタや背景映像の表示制御等の各種演出動作を行うように構成されている。

10

【0096】

150 は、段階設定部であり、後述する出玉率の段階設定操作を行うことにより、ホール側は、イベントや新装オープンでのメダル大量放出や収益改善のための回収状況に応じて、段階値 1～6（又は、飛び番号の 1, 3, 5, 7 等）の中から所望の設定値を選択することができる。

20

【0097】

180 は、打ち止め設定部であり、オン（又は「1」）であれば、ボーナスゲームが終了後、投入枚数 LED 4 a 及びメダル貯留枚数表示 LED 4 b に表示しているメダルの合計を強制的に払い出し、変動表示ゲームを行う為の操作を不能状態（打ち止め状態）にして、スピーカ部 12 から警告音を発生させる。なお、最近では、この打ち止め設定部 180 を設けないスロットマシンも多数ある。

【0098】

25 は、各種データを入力する為の入力 SW 部（入力スイッチ部）であり、例えば出玉率の段階設定操作が行われた場合の警告モードの設定や、警告を発生させる又は発生させない時間帯の設定を行う。この警告モードとしては、警告発生機能のオン状態又はオフ状態と、設定した時間帯のみ警告を発生させるタイマー状態の 3 つのモードがある。なお、入力 SW 部 25 は、サブブロックの初期化を行うための初期化スイッチとスピーカ部 12 の音量を切り替える際に使用する音量スイッチからなり、その両方を同時に押した場合に機能するようになっている。

30

【0099】

26 は、衛星などから絶対時間データを受け取り、正確な時間を刻む電波時計からなる計時部であり、計時した時間を副制御部 160 に出力し続ける。

【0100】

図 6 は、ドラム部を制御する制御回路系のブロック図である。

【0101】

ドラム部 2 は、左ドラム 2 a、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c の 3 つのドラムを回転制御するためのステップモータ 30 a、30 b 及び 30 c を備えており、主制御部 100 からの駆動パルス信号にตอบสนองして各ステップモータ 30 a、30 b 及び 30 c が駆動され、駆動パルス信号を 3 相に同時に供給し続けると、吸引力が発生して急停止するようになっている。

40

【0102】

このステップモータ 30 a、30 b 及び 30 c は、4 相 1 - 2 励磁方式でステップ数が 252 ステップ / 回転（1.43 度 / ステップ）であり、主制御部 100 が駆動パルス信号を 504 パルス入力すると丁度 1 回転する。主制御部 100 は、各ドラムに 1 つ設けられたフォトインタラプタからなる回転センサ 31 a、31 b 及び 31 c から、それぞれの

50

インデックス信号（基準信号又は基準位置信号）が1パルス返ってくるので、各ドラムの位置を正確に把握することができる。つまり、1つの入力パルスによる分解能は0.714（度/パルス）ということである。なお、更に分解能を上げる場合には、入力パルスから次の入力パルスまでの時間と回転速度を管理することにより回転位置を細かく把握できる。

【0103】

図7は、ドラム部の構成ブロック図である。

【0104】

ステップモータ30a（図示せず）、30b（図示せず）及び30cの各回転軸には、厚肉の円盤状回転体である左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cの中心部がそれぞれ連結されており、図示した矢印の方向（即ち、上から下方向）に回転する。また、各ドラムの外周部には複数種類の図柄が描かれた左回胴帯32a、中回胴帯32b及び右回胴帯32cが貼り付けられており、変動表示ゲームにおいて同一図柄（予め決められた所定図柄）が有効ライン上に並んで窓部3に表示されれば成立（入賞又は作動）となる。なお、同図の星マーク、+マーク、プラムマーク（黒丸マーク）や三角マークは便宜的に示したものであり、実際とは異なっており、7図柄、バー図柄、ベル図柄、スイカ図柄やチェリー図柄が一般に用いられる。また、一般に、回胴帯はリールテープと呼ばれている。

10

【0105】

ステップモータ30a、30b及び30cのそれぞれに対して、回胴センサ31a、31b及び31c（図示せず。）が設けられており、ステップモータの1回転毎に各回胴センサからインデックス信号が1パルス返ってくるようになっている。主制御部100は、このインデックス信号と、出力した駆動パルス信号の数により、基準位置（例えば、窓部3の最下位置）にある図柄番号と回転角度（24分割/図柄）を常に把握している。

20

【0106】

図8は、ドラムの図柄配置表である。

【0107】

左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cのそれぞれには、左ドラム図柄、中ドラム図柄及び右ドラム図柄が描かれた回胴帯（図示せず）が、各ドラムの外周部において一周するように張り付けられている。

【0108】

各回胴帯には、例示したように、それぞれ異なった並びの図柄が21個描かれており、ボーナスが作動するビッグボーナス図柄の「赤7」や「青7」、各種小役入賞図柄のチェリー、スイカ、ベル、及び再遊技が作動するリプレイが描かれている。なお、捨て図柄は有効ライン上に停止しても如何なる役をも構成せず、遊技者に目立たないように、例えば薄い灰色で丸の中に「N」が印刷されている。

30

【0109】

図9は、ドラム部の構成ブロック図であり、図9（A）及び図9（B）は右ドラム2cが引込制御される状態を時系列的に示している。

【0110】

主制御部100は、変動表示ゲームのスタート信号を受信し、抽選結果が当選となって役が内部当選した場合には、有効ライン上にその役の図柄を可能な限り引き込む為の引込制御を行う。

40

【0111】

例えば、ビッグボーナス役が内部当選し、停止した左ドラム2aと中ドラム2bの右斜め下の有効ライン上に図柄「7、7」が揃っている所謂リーチ状態で、この有効ラインから4コマ上以内に図柄「7」が位置する場合（即ち、有効ライン上の図柄を含めて5コマ以内に位置する場合）、右停止ボタン10cが停止操作されたとき（図9（A）参照）、主制御部100は、図柄「7」を強制的に有効ライン上に引き込んで「7、7、7」の組み合わせとなるように揃える引込制御を行う（図9（B）参照）。

【0112】

50

一方、抽選によりいずれかの役が内部当選しているとしても、役に対応する所定の図柄が有効ライン上に表示されなければ遊技者に有利な状態とはならない。例えば、ビッグボーナスゲーム（BBゲーム）は、図9（B）のように表示されなければ作動しないようになっている。なお、この引込制御は、右ドラム2cだけではなく、左ドラム2aや中ドラム2bのいずれの図柄に対しても行うようになっている。主制御部100は、乱数抽選状況（内部当選やハズレ）に応じて、各ドラムの停止位置を規定する停止テーブルを参照して、停止制御を行っている。

【0113】

図9の例では、リーチ状態において、右ドラム2cの図柄「7」が丁度4コマだけ上にあり、引込制御の対象となって有効ライン上に並ぶことになる。但し、この引込制御は4コマに限定されるものではなく、設計仕様又は法規制に適應させるように、引き込みコマ数をソフト制御で増減させることが可能である。なお、副制御部160は、一般遊技で乱数抽選結果が当選である場合、引込制御により所定の組み合わせで図柄が表示されるように、回転ドラムの回転を停止させる為の補助情報（操作順序や操作タイミングなどのアシスト情報：AT）を通知するのである。

10

【0114】

図10は、ドラム部の構成ブロック図であり、図10（A）及び図10（B）は右ドラム2cが回避制御（又は蹴飛ばし制御）される状態を時系列的に示している。

【0115】

主制御部100は、変動表示ゲームのスタート信号を受信し、抽選結果がハズレとなって役が不成立の場合（全ての役が内部当選していない場合）には、有効ライン上に入賞又は作動役（ボーナス、小役、リプレイ）の図柄を揃えないための回避制御を行う。

20

【0116】

例えば、ビッグボーナス役が内部当選しておらず、停止した左ドラム2aと中ドラム2bの右斜め下の有効ライン上に図柄「7、7」が揃っているリーチ状態（テンパイ状態）において、遊技者が「目押し」により、この有効ラインから1コマ以内に図柄「7」が位置する状態で、停止ボタン10cが操作されたとき（例えば、「ピタ押し」と呼ばれている。図10（A）参照）、主制御部100は、有効ライン上に「7、7、7」が揃わないように図柄「7」を一つ先まで移動させて強制的にハズレとする回避制御を行う（図10（B）参照）。なお、この回避制御は、右ドラム2cだけではなく、左ドラム2aや中ドラム2bのいずれの図柄に対しても行っており、また不当選の小役図柄が入賞しないように、回避制御を行うようになっている。これらの引込制御や回避制御（蹴飛ばし制御）は、主制御部100が内部当選状況に従った停止テーブルを参照したり、プログラムによるコントロール制御にて行われる。

30

【0117】

図11は、インデックス信号、図柄位置データ（コマデータ）、駆動パルス信号及び停止ボタンセンサ信号との関係を示すタイミングチャートである。

【0118】

図11（A）は、各回転センサ31a、31b及び31cから出力されるインデックス信号を示しており、T1が0.751秒（つまり、79.9回転/分）で一定となるように主制御部100により制御される。

40

【0119】

図11（B）は回転ドラムの図柄位置データ及び図11（C）は駆動パルス信号を示している。

【0120】

図柄位置データは駆動パルス信号を分周することにより生成され、駆動パルス信号が24パルス毎にデータが1減算される。つまり、インデックス信号を基準とし、そこから駆動パルス信号が1パルス～24パルスの範囲で図柄位置データは「21」、駆動パルス信号が25パルス～48パルスの範囲で図柄位置データは「20」、駆動パルス信号が49パルス～72パルスの範囲で図柄位置データは「19」、…、駆動パルス信号が481パ

50

ルス～504パルスの範囲で図柄位置データは「1」となり、図柄位置データは21～1をターンアラウンドする。つまり、図柄位置データは「1」の次に「21」に戻る。

【0121】

駆動パルス信号は、回転ドラムを一定方向に回転させるためにモータコイルに入力される規定パターンの駆動パルスであり、図から分かるようにパターン0～7の8つのパターン番号がある。この駆動パルス信号としてパターン番号0～7をモータコイル1相～4相に3度繰り返して加えると（つまり、24パルス入力すると）、1図柄（1コマ）分だけ回転ドラムが上から下へ回転する。

【0122】

特に、ステップモータに入力する駆動パルスの入力パルス相データとは、回転ドラムを1コマ駆動させる0～23の5ビットのデータであり、パターン番号0～7はその下位3ビットの相データであって、パターン番号に対応する駆動パルスがモータコイル1相～4相に実際に加わる。従って、ワークRAM（RAM102）にパターン番号のみを記憶した場合でも、入力パルス相データを記憶する相データ記憶手段に該当する。

10

【0123】

図11（D）は、各停止ボタンが操作されたときに出力される停止ボタンセンサ信号を示している。この図の場合には、主制御部100は、停止ボタンセンサ信号の立ち上がり時点で、図柄位置データ「11」及び入力パルス相データ「10」（又は、パターン番号「2」）を認識する。

【0124】

図12は、ドラム部に含まれる左ドラム2aの模式図である。

20

【0125】

図12（A）に示す通り、この左ドラム2aは矢印の方向（上から下方向）へ回転しており、実線で示した3つの窓部3の上段、中段又は下段の何れかにチェリー図柄が停止すると入賞となって、所定数の遊技メダルが払い出される。なお、図12（A）は、窓部3の上段にチェリー図柄が停止した状態を示している。

【0126】

主制御部100は、遊技者により変動表示ゲームの開始操作が行われると、内部抽選を行い、その結果、上段チェリー（チェリー1）が当選した場合には、停止ボタンが操作された位置（タイミング）により、チェリー図柄の引込制御（図9参照）又は回避制御（図10参照）を行う。

30

【0127】

図12（B）は、引込制御の可能な範囲を示しており、主制御部100は、チェリー図柄が上段丁度の位置からその4コマ上の位置において停止ボタン10aが操作されると、窓部3の上段にチェリー図柄を停止させる（ピタ図柄が上段位置にあると仮定）。なお、実際には停止までに約36ms必要なのでその分だけ上に位置するが、説明の都合上このように記している。また、停止操作から190ms以内に停止することが規定されているので、4コマ滑らない場合もある。

【0128】

一方、図12（C）及び図12（D）は回避制御等が行われる範囲を示しており、主制御部100は、上段チェリーが当選した場合であっても、チェリー図柄が上段位置から4コマより上の位置（つまり、図12（A）の4よりも上の位置）又は上段位置を少しでも過ぎた位置において停止ボタン10aが操作されると、上段位置の一つ上又は下段位置の一つ下にチェリー図柄を停止させハズレとする。つまり、中段チェリー（チェリー2）又は下段チェリー（チェリー3）が当選していないので、チェリー図柄を強制的に窓部3の外に停止させなければならないのである。

40

【0129】

図13は、左ドラム2a、窓部3及び図柄位置データとの関係を示す模式図である。

【0130】

図13（A）及び図13（B）に示す通り、左ドラム2a上のチェリー図柄はコマ番号

50

8及びコマ番号19であるから(図8参照)、上段チェリーが内部当選している場合、窓部3の最下段位置を計測基準とすると、主制御部100は図柄位置データ「15」及び入力パルス相データ「0」～図柄位置データ「11」及び入力パルス相データ「23」、又は、図柄位置データ「5」及び入力パルス相データ「0」～図柄位置データ「1」及び入力パルス相データ「23」の範囲で停止ボタン10aが操作されるとチェリー図柄を上段に停止させて入賞とする。つまり、適当に停止ボタン10aを操作しても10/21の確率で入賞するだけでなく、当選告知を行うと熟練者であれば目押しを行って100%に近い確率で入賞させることができる。

【0131】

図14は、図柄の組合せ表示判定図である。

10

【0132】

主制御部100は、ドラムが3個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた有効ライン上で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。例えば、遊技メダルを3枚投入し、左ドラム2aの2枚払い出しのチェリー図柄が窓部3に表示された場合には、上段であれば4枚(2枚×2ライン:第2ライン及び第4ライン)、中段であれば2枚(2枚×1ライン:第1ライン)および下段であれば4枚(2枚×2ライン:第3ライン及び第5ライン)の遊技メダルを払い出す。ただし、この有効ラインは従来から採用されてきた一般的なものであり、後述するように最近では変則ラインも多く存在する。

【0133】

また、8枚払い出しのベル図柄が窓部3の有効ライン上に揃って表示された場合、中段のみであれば8枚(8枚×1ライン:第1ライン)および上段と右斜め下であれば15枚(8枚×2ラインであるがMAX15枚:第2ライン及び第4ライン)の遊技メダルを払い出す。つまり、入賞の種類に応じて規定されている配当数の遊技媒体を、入賞分だけ合計して払い出すようになっているが、一度の払い出しの最大は15枚である。

20

【0134】

図15は、表示演出装置の構成ブロック図である。

【0135】

表示演出装置11は、副制御部160から演出コマンドを受信するコマンド受信部11a、表示演出制御部11b(ROM11c及びRAM11dを含む)、及びLCDや有機EL、LED等の表示パネル11eとを備えている。なお、この場合、表示演出制御部11bにROM11cを別途設けているが、映像データの全てをROM161に記憶するようにしても問題はない。従って、ROM11cは、ROM161の一部と考えてよい。

30

【0136】

図16は、演出パターンテーブルであり、演出コマンドとROMに格納されている演出パターンデータとの関係に対応付けている。

【0137】

演出コマンドは、1バイト長のモードデータと1バイト長のイベントデータからなり、演出内容である演出パターンデータ(動画が主であるが、静止画もある。)とが対応付けて記憶されている。

【0138】

副制御部160は、主制御部100から各種制御に必要な制御データ(特に、乱数抽選結果の大当たり、小当たり、再遊技又はハズレを示す各種データが含まれている。)を受信すると、乱数抽選の結果を通知する以前に、制御データに応じた適切な演出コマンドを表示演出装置11側に送信し、コマンド受信部11aがこの演出コマンドを受信して表示演出制御部11bに送信する。

40

【0139】

表示演出制御部11bは、演出コマンドを受け取ると、演出コマンドに対応する演出パターンデータをROM11cから読み出してRAM11dにデータ展開し、表示パネル11eに送信することにより、演出コマンドに応じた演出画像を表示画面上に表示するように構成されている。

50

【 0 1 4 0 】

図 1 7 ~ 図 1 9 は、表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。

【 0 1 4 1 】

副制御部 1 6 0 が、例えば演出コマンドとして (\$ Z 0 \$ 0 0) を送信すると、表示パネル 1 1 e は、A T ストックがない状態や A T が当選しにくい状態を主に示す低確率ステージの「昼の演出パターン 0」を表示する (図 1 7 (A) 参照)。その一方、副制御部 1 6 0 が演出コマンドとして (\$ Y 0 \$ 0 0) を送信すると、表示パネル 1 1 e は、A T ストックがある状態や A T が当選し易い高確率状態を示唆する高確率ステージの「夜の演出パターン 0」を表示するようになっている (図 1 7 (B) 参照)。従って、遊技者は、遊技中に高確率状態を主に示唆する「夜の演出ステージ」が表示されることを切望するのである。但し、A T ストックがない状態や非高確率状態でも「夜の演出ステージ」を表示するガセ演出や、その逆の A T ストックがある状態や高確率状態で「昼の演出ステージ」を表示することもある。

10

【 0 1 4 2 】

更に、副制御部 1 6 0 が演出コマンドとして (\$ S 0 \$ 0 0) を送信すると、表示パネル 1 1 e は「城の演出パターン 0」に対応する画像である「ドラキュラ城」を、青空の背景画面に重ねて表示 (図 1 7 (A) 参照) したり、月夜の背景画面に重ねて表示 (図 1 7 (B) 参照) するようになっており、その後ドラキュラ城から黄色、赤色又は青色等のコウモリが飛び出してきて、成立した役 (小役やリプレイ) に対応する告知画像を表示する (図 1 7 (C) 参照)。

20

【 0 1 4 3 】

図 1 7 (B) の演出が多段階に発展した場合は、A T ストックがある状態や A T 放出の期待が大きい前兆演出 (激アツ演出) となる。例えば、図 1 8 (A) は「ドラキュラ城」が拡大表示されて、鉄門が開いた状態である。そして扉がさらに拡大して (図 1 8 (B) 参照)、徐々に開き (図 1 8 (C) 参照)、煌びやかな「ドラキュラ城」の内部が表示される (図 1 8 (D) 参照)。その後、主人公と吸血鬼ドラキュラ伯爵とのバトルへと発展し、主人公が勝利すれば、A T ストックがあり A T 放出確定や、ボーナス内部当選中でボーナス放出確定となる。

【 0 1 4 4 】

図 1 9 (A) (図 1 7 (B) と同じ) の夜の通常画面を表示している状態から、表示画面を右にスクロールし、墓地が拡大されてキャラクタの執事が「オリャー」という叫び声と「ティロロローン」という効果音と共に、掘り起こされた画面中央の墓穴から主人公のキャラクタを登場 (図 1 9 (B) 参照) させたり、「大当たり」を意味する「B O N U S」という文字を表示 (図 1 9 (C) 参照) することにより、激アツなプレミア演出としてもよい。これらの表示演出も全て、副制御部 1 6 0 がプログラムに従って演出コマンドを出力することにより実行される。

30

【 0 1 4 5 】

図 2 0 は、一般的な抽選テーブルの概念図である。

【 0 1 4 6 】

抽選テーブルは、ROM 1 0 1 の所定のエリアに格納されており、当選役と乱数抽選に使用する置数との関係を規定している。

40

【 0 1 4 7 】

本発明の回胴式遊技機の場合、主制御部 1 0 0 が乱数値を発生させる。この乱数値は周期的に 0 ~ 6 5 5 3 5 (m 7) の全ての値を一周期に必ず一度だけランダムに発生する。図 2 0 (A) は、通常状態 (非 R T 状態) で用いる抽選テーブルであり、スタートレバー 9 が操作されたタイミングに合わせて、主制御部 1 0 0 が内部抽選をしたときに、乱数値が 0 ~ m 1 の範囲であればビッグボーナス (B B) が当選となる。即ち、この内部抽選とは、スタート操作時に乱数値を 1 つだけピックアップ (抽出) し、抽選テーブルと比較して、当選役を決定することである。

【 0 1 4 8 】

50

同様に、乱数値が $m_1 + 1 \sim m_2$ の範囲でレギュラーボーナス (RB)、乱数値が $m_2 + 1 \sim m_3$ の範囲でチェリー、乱数値が $m_3 + 1 \sim m_4$ の範囲でスイカ、乱数値が $m_4 + 1 \sim m_5$ の範囲でベル及び乱数値が $m_5 + 1 \sim m_6$ の範囲でリプレイが当選となる一方、乱数値が $m_6 + 1 \sim m_7$ の範囲でハズレとなる。

【0149】

通常、これらの $m_1 \sim m_7$ の数値は、法規制 (風営法) やゲーム性を考慮して適宜設定されるのであるが、BB当選確率は「 $1/200$ 」程度、RB当選確率は「 $1/400$ 」程度、チェリー及びスイカの当選確率は「 $1/50$ 」程度、ベルの当選確率は「 $1/6$ 」程度及びリプレイの当選確率は $1/7.3$ となっている。

【0150】

一方、図20(B)は、高確率再遊技状態 (RT状態) で用いる抽選テーブルであり、リプレイタイムではリプレイの当選範囲が だけ広がるのに対して、ハズレとなる範囲が だけ狭くなることにより、リプレイの当選確率を「 $1/2$ 」程度とする。これにより、3枚配当に相当するリプレイ当選の確率が大幅に上がる一方、ハズレとなる確率が下がるので、リプレイタイムにおいては結果的に遊技メダルの払い出し期待値が大幅に向上又は増大することになる。また、主制御部100が、この 値を増減させることにより、リプレイタイムの期待値を所望のものに設定できる。

【0151】

抽選テーブルの詳細図は省略するが、出玉率の段階設定値1~6及び投入メダル数 (規定数) に対応した6つの抽選テーブル1、抽選テーブル2...抽選テーブル6があり、主制御部は段階設定部150により設定された段階設定値及び投入メダル数に応じて抽選テーブルを選択し、変動表示ゲームにおいてボーナスゲームや複数の小役の内部抽選を実行する。なお、内部抽選でボーナスゲームが当選する期待値は、一般に抽選テーブル1 < 抽選テーブル2 < ... < 抽選テーブル6となっているので、遊技者は高設定台を追い求めるのである。但し、3枚専用機であれば、メダル数1枚の抽選テーブルは不要である。

【0152】

図21は、図柄の組合せと獲得メダル枚数との関係を示した配当表である。

【0153】

BB (ビッグボーナス) とは、「赤7」のBB図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これが揃うと獲得メダル数は0で、対応するフラグエリアにフラグ1を立ててビッグボーナスゲーム (BBゲーム: 役物連続作動装置の作動) に突入し、360枚の払い出しで終了する。

【0154】

RB (レギュラーボーナス) とは、「青7」のRB図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これが揃うと獲得メダル数は0で、対応するフラグエリアにフラグ1を立ててレギュラーボーナスゲーム (RBゲーム: 役物連続作動装置の作動) に突入し、120枚の払い出しで終了する。なお、これらの役物連続作動装置は、第一種特別役物又は第二種特別役物の何れでもよく、設計仕様に応じて適宜選択される。

【0155】

チェリー図柄が左ドラムの有効ライン上に停止した場合には、有効ライン1本につき1枚のメダルが獲得される。例えば、有効ラインが図14の表示判定図であれば、左ドラムの中段に停止すれば1枚であるが、上段又は下段であれば有効ラインは2本となり、払い出しは合計2枚となる。

【0156】

スイカ図柄が有効ライン上に揃った場合には、5枚のメダルが獲得される。

【0157】

ベル図柄が有効ライン上に揃った場合には、8枚のメダルが獲得される。

【0158】

リプレイ図柄が有効ライン上に揃った場合には、メダル獲得されない再遊技が作動し、フラグエリアにフラグ1を立て、遊技者のスタートレバー9の操作によりリプレイ動作を

10

20

30

40

50

行ってフラグを下げる（即ち、0とする）。つまり、次回のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。

【0159】

次に、上述のように構成された回胴式遊技機の動作について、フローチャート等を参照して詳細に説明する。

【0160】

まず、回胴式遊技機が工場出荷された状態では、デフォルトとして警告モードは「オン状態」、打ち止め設定部180（打ち止め設定スイッチ）は「オフ」で、且つ段階設定値は最低の「1」が設定されているものと仮定する。

【0161】

遊技ホール側は、遊技者にプレイさせる前に、回胴式遊技機本体1の前扉を開けて電源スイッチ28cをオン状態にすると、各回路ブロックに電源が供給され、主制御部100は後述するステップS100で初期チェック（ハードウェアの異常チェック等）や初期設定（例えば、打ち止め設定フラグ「1」、ROM101が記憶する段階設定値「1」及び制御データの初期値をRAM102に書き込む）を実行し、副制御部160は警告モードを「オン状態」にセットし、前扉1bが閉められると変動表示ゲームを行うことができるようになる。

【0162】

この遊技可能状態において、遊技ホール側が再び前扉1bを開けて、入力SW部25を操作（初期化スイッチと音量スイッチを同時に押す操作）したとしても、副制御部160は、主制御部100から出玉率の段階設定モードを意味する制御データを受信していないので、警告モードを「オン状態」から他の状態（「オフ状態」又は「タイマー状態」）へ変更しない。従って、ゴト師などが警告モードを容易に変更できないという特有の効果がある。なお、打ち止め設定フラグ「1」は打ち止め設定部180が「オン」に、「0」は「オフ」に対応する。

【0163】

そして、遊技ホール側は、この設定状態でランドオープンや新装開店又はイベントの為に、出玉率の設定変更を行おうとしていると仮定する。

【0164】

図22は、回胴式遊技機の主要動作処理手順を示すフローチャートである。

【0165】

遊技ホールの従業員は、回胴式遊技機本体1の前扉を開けて電源スイッチ28cを一旦オフ状態にし、設定変更キーを設定用キースイッチ28aに差し込んで右に回してON状態（図4の設定用キースイッチ拡大図参照）にし、再び電源スイッチ28cをオン状態にすると、各回路ブロックに電源が供給され、ステップS100で初期チェックや初期設定が実行された後、主制御部100はステップS110で設定用キースイッチ28aがON状態であるか否かを判断する。

【0166】

主制御部100は、設定用キースイッチ28aがON状態でなければ、ステップS130へ移行する一方、ON状態であれば、ステップS120で設定変更サブルーチンを呼び出す（設定変更モードへ移行する）。

【0167】

ステップS120の設定変更モードにおいて、遊技ホール側が遊技者にプレイさせる前に出玉率の段階設定値「6」を入力し、スタートレバー9を一度叩き設定値を確定させ、設定用キースイッチ28aをOFF状態にすると、主制御部100はステップS100に戻り、設定値を「6」に設定するとともに、再度ハードウェアの初期チェックと初期設定等の必要な処理を行う。

【0168】

また、主制御部100は、ステップS100で初期画面の表示設定を行う為に、副制御部160に制御データを出力すると、副制御部160は、例えば演出コマンドとして（\$

10

20

30

40

50

Y0\$01)を表示演出装置11に送信する。その結果、表示パネル11eには、スタート画面として、夜空に満月とドラキュラ城と墓地の画面で構成される「夜の演出パターン1」を表示する(図示せず)。

【0169】

主制御部100は、段階設定値の変更後にステップS130に移行すると、ドアオープンやホッパーエラー、セレクターエラー等の異常発生のチェックを行い、異常があればステップS140に移行して異常処理の後に再度ステップS100に戻る一方、異常がなければ、ステップS150に移行する。特に、主制御部100は、異常チェックとして、ワークRAM領域に記憶している段階設定値のデータが0~5(メダル払出枚数表示LED4cに表示される段階設定値は各々1~6に対応する)の範囲内にあるか否かを確認し、段階設定値が所定の範囲内になれば、表示演出装置11、スピーカ部12及び遊技状態表示LED部13により警告(「EE」エラーの文字表示、発光及び警告音)を発生させてエラー処理(ステップS140の異常処理)を行わせる。

10

【0170】

主制御部100は、ステップS150に移行すると、メダル検出センサ130又はベットボタンセンサ140により、遊技者が遊技に必要な数量の遊技メダルを投入したか否かを判断し、所定数だけ投入した場合には、ステップS160に移行する一方、投入していなければステップS130に戻り、メダル投入操作があるまで各ステップをループしながら待機する。

【0171】

20

主制御部100は、ステップS160に移行すると、遊技者がスタートレバーを操作して、変動表示ゲームを開始させたか否かを確認し、開始させた場合には、ステップS170に移行する一方、開始させていなければステップS130に戻り、開始操作があるまで各ステップをループしながら待機する。

【0172】

主制御部100は、ステップS170で変動表示ゲームのメイン処理を実行し、スタート信号の受信タイミングに合わせて乱数抽選を行い、ピックアップ(抽出)した乱数値と現在の内部状態(RT又は非RT)の抽選テーブルとを比較して、内部当選したか否かを判断する(図20の説明参照)。

【0173】

30

主制御部100は、副制御部160に抽選結果コマンドとゲームスタート信号を送信するとともに、ドラム部2を一斉に回転させて、左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c上に表示された複数の図柄を所定速度で変動させる変動表示ゲームを開始する。

【0174】

主制御部100は、図9及び図10で説明した通り、遊技者が停止ボタン部10の左停止ボタン10a、中停止ボタン10b又は右停止ボタン10cを操作して各図柄列(回胴帯)を停止させた場合、有効ライン上に内部当選役に応じた図柄を揃えるための引込制御や、逆に図柄を揃えないための回避制御を行う。また副制御部160は、主制御部100から抽選結果コマンドとゲームスタート信号を受信すると、表示演出装置11やスピーカ部12、遊技状態表示LED部13に演出表示等を行うか否かの演出抽選を行い、大当たり(ボーナス当選)や小役、リプレイ又はハズレの抽選結果を遊技者に告知する。

40

【0175】

主制御部100は、一般遊技の各変動表示ゲームにおいて、所定の図柄が窓部3の有効ライン上に並んで表示されれば役の成立とし、図21に示す配当表に従って、遊技メダルをメダル払出装置18から払い出し、メダル払出口16より排出する。

【0176】

なお、赤7が3つ揃ったビッグボーナスゲーム(BBゲーム)においては、役物連続作動装置が作動して、獲得枚数が360枚を超えた時点でBBゲームモードを終了する。また、青7が3つ揃ったレギュラーボーナスゲーム(RBゲーム)においては、役物連続作動装置が作動して、獲得枚数が120枚を超えた時点でRBゲームモードを終了する。

50

【0177】

そして、主制御部100は、ステップS170のゲームメイン処理を終了すると、ステップS130に戻り、順次処理を繰り返す。

【実施例1】

【0178】

この実施例1は、通常遊技中及びRT(リプレイタイム)中に、出玉が比較的少ない第二種BBを頻繁に当選させると共に、AT(アシストタイム)機能により、内部当選した押し順小役を入賞させ、1ゲーム当りの純増枚数を大幅に向上させる基本技術(NS-ART技術と称する。NSとは、ネオ・ストック(Neo Stock)を意味する。)に関するものである。なお、押し順小役や押し順リプレイ、及びAT抽選については、図23~図99を用いて詳細に説明するが、このNS-ART技術に利用できる。

10

【0179】

図100は、ドラムの図柄配置表である。

【0180】

左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cのそれぞれには、左ドラム図柄、中ドラム図柄及び右ドラム図柄が描かれた回胴帯(図示せず)が、各ドラムの外周部において一周するように張り付けられている。

【0181】

各回胴帯には、それぞれ異なった並びの図柄が20個描かれており、ボーナス(第二種BB:役物連続作動装置)が作動する図柄の「赤7」、「黒バー」、「花」、各種小役図柄の「赤ベル」、「青ベル」、「黄ベル」、「緑ベル」、「チェリー」、「スイカ」及び再遊技が作動する「リプレイ」が描かれている。

20

【0182】

図101は、図柄の組合せ表示判定図である。

【0183】

主制御部100は、ドラムが3個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた窓部3の有効ライン上で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【0184】

図101(B)は、遊技メダルを規定数3枚投入した場合の有効ラインであり、左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cの順に、第1ライン(中段、中段、中段:中央横ライン)のみが、通常時及びボーナス(第二種BB)作動時に有効となる。

30

【0185】

図102は、通常時及びボーナス作動時の配当表である。

【0186】

主制御部100は、リール(又はドラム)が3個すべて停止したときに、有効ライン上(図101参照)で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【0187】

(1)ボーナス1(第2種役物連続作動装置):左ドラム2aに(赤7)、中ドラム2bに(赤7)、右ドラム2cに(赤7)が有効ライン上に揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後にボーナス1(BB1)が付与される(作動する)。このボーナス1は、例えば当選確率が1/1000で、ボーナス1中のゲームの規定投入枚数が1枚、払出し枚数が14枚を超えた時点で終了する。抽選でボーナス1が内部当選し、ボーナス1フラグが立つことにより、ボーナス1が成立可能な状態となる。また、ボーナス1が内部当選すると、その後の遊技におけるリプレイ当選確率が1/1.5に上昇し、ボーナス1が作動したボーナスゲームの終了後に、初期リプレイ状態(リプレイ当選確率が1/7.3)に戻る。ボーナス1が当選すると、ARTが確定する(解除役)。

40

【0188】

(2)ボーナス2(第2種役物連続作動装置):左ドラム2aに(赤ベル/青ベル/黄ベル/緑ベル)の何れか、中ドラム2bに(赤7/黒バー/花)の何れか、右ドラム2cに(赤ベル/青ベル/黄ベル/緑ベル)の何れか、48種類の何れかが有効ライン上に揃

50

って停止すると、獲得枚数は0枚でその後にボーナス2 (BB2) が付与される。このボーナス2は、例えば当選確率が1/10程度で、ボーナス2中のゲームの規定投入枚数が1枚、払出し枚数が14枚を超えた時点で終了する。抽選でボーナス2が内部当選し、ボーナス2フラグが立つことにより、ボーナス2が成立可能な状態となる。

【0189】

このボーナス2は、ボーナス役が内部当選していない変動表示ゲームで、抽選により単独で内部当選するようになっており、単独当選した場合には、停止スイッチの操作に拘わらず、何れかのボーナス2図柄を100%で有効ライン上に引き込んで必ず作動する。つまり、ボーナス2が単独当選すると取りこぼさないようになっており、その理由は、ART中に取りこぼすと、リプレイが優先されてボーナス2を作動させることが困難になるので、その状態を無くする為である。しかし、仮にボーナス2がリプレイ役や小役と同時当選するようにした場合には、取りこぼすことも当然考えられるが、そのように実施しても本発明の技術範囲に属する。

10

【0190】

(3) 色ベル (ベル1~ベル64) : 各ドラムに (赤ベル / 青ベル / 黄ベル / 緑ベル) の何れか64種類のベル図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は14枚となる。抽選でベルが内部当選すると、ベル1~ベル64の条件装置64個が作動するか又は色ベルの条件装置1個が作動して、64種類のベル図柄の何れか1つが有効ライン上に表示される。この色ベルが当選すると、停止ボタン部10の停止操作順序やタイミングに拘わらず、有効ライン上に何れかのベル図柄が停止して必ず入賞する。なお、後述するAT小役の場合、ベル1~ベル64の内から4つの条件装置が押し順に応じて立つようになっている。

20

【0191】

(4) スイカ (FR2) : 各ドラムにスイカ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は14枚となる。抽選でスイカが内部当選すると、FR2の条件装置1個が作動する。スイカは、単独で当選すると停止ボタン部10の停止操作順序に拘わらず、有効ライン上にスイカ図柄が停止して必ず入賞する。

【0192】

(5) 14枚チェリー (FR3) : 左ドラム2aに (チェリー又はリプレイ以外)、中ドラム2bに全ての図柄 (ANY)、右ドラム2cに (チェリー) が有効ライン上に停止すると、獲得枚数は14枚となる。ボーナス1又はボーナス2が作動中に停止ボタン部10を順押し (左停止ボタン10a 中停止ボタン10b 右停止ボタン10c 又は左停止ボタン10a 右停止ボタン10c 中停止ボタン10b) すると、14枚チェリーが入賞する。

30

【0193】

(6) 15枚チェリー (FR4) : 左ドラム2aに (チェリー又はリプレイ)、中ドラム2bに全ての図柄 (ANY)、右ドラム2cに (チェリー) が有効ライン上に停止すると、獲得枚数は15枚となる。ボーナス1又はボーナス2が作動中に停止ボタン部10を変則押し (上記の順押し以外の操作) すると、15枚チェリーが入賞する。

【0194】

(7) 通常リプレイ (再遊技1) : 各ドラムにリプレイ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー9の操作により、次回のゲームを行うことができる。乱数抽選で通常リプレイが単独で内部当選すると、フラグエリアにRP1フラグを立て、必ずリプレイ図柄が表示される。再遊技1が作動しても再遊技確率は変動しない。

40

【0195】

(8) RT2移行リプレイ (再遊技2) : 左ドラム2aに (リプレイ)、中ドラム2bに (赤7 / 黒バー / 花) の何れか、右ドラム2cに (スイカ)、3種類が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー9の操作により、次回のゲームを行う

50

ことができる。乱数抽選でRT2移行リプレイが単独で内部当選すると、フラグエリアにRP2フラグを立て、必ずこのリプレイ図柄が表示される。再遊技2が作動すると再遊技確率がRT2状態に変動する。

【0196】

(9) RT3移行リプレイ(再遊技3)：左ドラム2aに(リプレイ)、中ドラム2bに(リプレイ)、右ドラム2cに(スイカ)が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー9の操作により、次のゲームを行うことができる。乱数抽選でRT3移行リプレイが単独で内部当選すると、フラグエリアにRP3フラグを立て、必ずこのリプレイ図柄が表示される。再遊技3が作動すると再遊技確率がRT3状態に変動する。

10

【0197】

(10) RT4移行リプレイ(再遊技4)：左ドラム2aに(スイカ)、中ドラム2bに(赤7/黒バー/花)の何れか、右ドラム2cに(スイカ)が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー9の操作により、次のゲームを行うことができる。乱数抽選でRT4移行リプレイが単独で内部当選すると、フラグエリアにRP4フラグを立て、必ずこのリプレイ図柄が表示される。再遊技4が作動すると所定ゲーム数間(例えば、10ゲーム)だけ再遊技確率がRT4状態に変動及びロックされる。このRT4状態では、RT2移行リプレイ及びRT3移行リプレイは抽選されない。

20

【0198】

(11) 1枚役1(FR1-1)：左ドラム2aに(スイカ)、中ドラム2bに(赤7/黒バー/花)の何れか、右ドラム2cに(赤7/黒バー/花)の何れか、9種類が有効ライン上に揃って停止すると、1枚役1が入賞する。

【0199】

(12) 1枚役2(FR1-2)：左ドラム2aに(赤7/黒バー/花)、中ドラム2bに(スイカ)の何れか、右ドラム2cに(赤7/黒バー/花)の何れか、9種類が有効ライン上に揃って停止すると、1枚役2が入賞する。

【0200】

(13) 1枚役3(FR1-3)：左ドラム2aに(赤7/黒バー/花)、中ドラム2bに(赤7/黒バー/花)の何れか、右ドラム2cに(スイカ)の何れか、9種類が有効ライン上に揃って停止すると、1枚役3が入賞する。

30

【0201】

(14) ベル役のコボシ目(1~n)：後述するAT小役で色ベル役を取りこぼした時に有効ライン上に表示される特殊図柄(転落図柄)であり、何れか一つの特殊図柄が表示されると再遊技確率がRT1状態(リプレイ当選確率が1/7.3の通常リプレイ状態)に変動する。なお、設定変更後やボーナス1が作動したボーナスゲームの終了後に移行する初期リプレイ状態(リプレイが作動する確率は略1/7.3)において、特殊図柄が表示されてもRT1状態に移行する。

【0202】

図103は、AT小役(押し順スイカ)の条件装置の組合せ表である。

40

【0203】

押し順スイカとは、停止ボタン部10の操作順序(停止ボタン部10の押し順)が正解の場合に必ずスイカ小役を入賞させる一方、不正解の場合には、ベル小役を入賞させる時とコボシ目を表示する時、若しくは1枚役を入賞させる当選役を意味する。本発明によると、第2停止操作まで正解して初めてスイカ役を入賞させることができる点で、従来にない画期的な技術と言える。

【0204】

押し順スイカ右1は、正解の押し順が右停止ボタン10c 中停止ボタン10b 左停止ボタン10aであり、同じ正解順序の押し順スイカ役は8種類ある。この押し順スイカ

50

役は、押し順データ（右 - 中 - 左又は 3 - 2 - 1）を記憶している。

【 0 2 0 5 】

押し順スイカ右 1 が当選して、第一停止で左停止ボタン 1 0 a を操作すると、主制御部 1 0 0 は、押し順が不正解なので左ドラム 2 a の有効ライン上に（赤ベル / 青ベル / 黄ベル / 緑ベル）の何れかを停止させる。例えば、赤ベルが有効ライン上に停止すると、中ドラム 2 b に赤ベルが停止する確率は 1 / 4 で、且つ右ドラム 2 c に赤ベルが停止する確率も 1 / 4 となるので、1 / 1 6 の確率でしか 1 4 枚役が揃わない。同様に、第一停止で中停止ボタン 1 0 b を操作すると、主制御部 1 0 0 は、押し順が不正解なので中ドラム 2 b の有効ライン上に（赤ベル / 青ベル / 黄ベル / 緑ベル）の何れかを停止させる。例えば、黄ベルが有効ライン上に停止すると、左ドラム 2 a に黄ベルが停止する確率は 1 / 4 で、
10
且つ右ドラム 2 c に赤ベルが停止する確率は 1 / 4 となるので、1 / 1 6 の確率でしか 1 4 枚役が揃わない。つまり、押し順スイカが当選すると、1 / 2 4 (2 / 3 × 1 / 1 6) でベルが入賞し、5 / 8 (2 / 3 × 1 5 / 1 6) の確率でベル役のコボシ目が有効ライン上に表示される。

【 0 2 0 6 】

一方、押し順スイカ右 1 が当選して、第一停止で右停止ボタン 1 0 c （正解の押し順）を操作すると、主制御部 1 0 0 は、右ドラム 2 c の有効ライン上にスイカを停止させる。その後の第二停止で中停止ボタン 1 0 b （正解の押し順）を操作すると、主制御部 1 0 0 は、中ドラム 2 b の有効ライン上にスイカを停止させ、第三停止で左停止ボタン 1 0 a を操作すると左ドラム 2 a にスイカを停止させて、1 4 枚配当のスイカ小役を入賞させる。
20

【 0 2 0 7 】

しかし、第二停止で左停止ボタン 1 0 a （不正解の押し順）を操作すると、主制御部 1 0 0 は、左ドラム 2 a の有効ライン上に（赤 7 / 黒バー / 花）の何れかを停止させ、第三停止で中停止ボタン 1 0 b を操作すると中ドラム 2 b に（赤 7 / 黒バー / 花）の何れかを停止させて、1 枚小役を入賞させる。つまり、押し順スイカが当選すると、1 / 6 (1 / 3 × 1 / 2) の確率でスイカ小役又は 1 枚小役が入賞する。ART 中には、この正解押し順を副制御部 1 6 0 が映像や音声で報知するようになっている。但し、主制御部 1 0 0 が操作順序を報知するようによい。

【 0 2 0 8 】

図 1 0 3 を用いて、上述した A T 小役の詳細を他の表現で再説明する。
30

【 0 2 0 9 】

A T 小役は、入賞させることが目的の第 1 小役、及び第 1 小役の入賞を阻害する目的の第 2 小役群と第 3 小役群とで構成されている。また、抽選により A T 小役が内部当選すると、1 種類の第 1 小役、第 2 小役群を構成する 4 種類の第 2 小役又は第 3 小役群を構成する 9 種類の第 3 小役（つまり、1 4 種類の小役）が入賞可能な状態となり、停止ボタン部 1 0 の操作順序や操作タイミングに従って、1 4 種類の小役の内、何れか 1 つの小役が入賞するか又は第 2 小役を取りこぼす様になっている。第 1 小役を入賞させる為の停止ボタン部 1 0 の操作順序は、内部当選した A T 小役に対応付けて、主制御部 1 0 0 が備える R O M 1 0 1 に記憶されている。なお、正解となる操作順序データ（第 1 小役を引き込む為の順序データ）は、ドラム数が 3 であれば通常は第 1 ~ 第 3 までの 3 つの順序データ（右
40
- 中 - 左又は 3 - 2 - 1）であるが、最後の停止ドラムは必然的に決まるので、第 1 及び第 2 までの 2 つの順序データ（右 - 中又は 3 - 2）であってもよい。換言すれば、この操作順序データは、A T 小役が当選した場合において、停止ボタン部 1 0 が列毎に停止操作されたときの第 1 小役を入賞させる為のデータとも言える。

【 0 2 1 0 】

更に説明すると、A T 小役が内部当選して、停止ボタン部 1 0 の第 1 停止操作が正解の場合には、第 1 小役及び第 3 小役の共通図柄を有効ライン上に停止させて、その後第 1 小役又は第 3 小役の何れか一つが入賞する一方、停止ボタン部 1 0 の第 1 停止操作が不正解の場合、その後の停止ボタン部 1 0 の操作タイミングに従って、第 2 小役が入賞するとき、又は取りこぼすときがある。また、停止ボタン部 1 0 の第 1 停止操作が正解の場合、
50

第2停止操作も正解のときには第1小役が入賞する一方、第2停止操作が不正解のときには第3小役が入賞する（但し、取りこぼす可能性がある様にすることもできる。）。実施例では、第1小役と第2小役は払い出し枚数が同じ14枚配当で、第3小役は1枚配当として記載しているが、これに限定されるものではない。

【0211】

A T小役右1は、正解の押し順が右停止ボタン10c 中停止ボタン10b 左停止ボタン10aであり、同じ正解順序のA T小役は8種類ある。このA T小役は、入賞可能な8種類の小役の組合せデータと共に、押し順データ（右 - 中 - 左又は3 - 2 - 1）を記憶している。この小役の組合せデータは、1フラグで小役の組合せを決めてもいいし、又は14個の小役フラグを同時に立てるようにしてもよい。また、それらを組み合わせても実

10

【0212】

A T小役右1が内部当選して、第一停止で左停止ボタン10aを操作すると、主制御部100は、押し順が不正解なので、左ドラム2aの有効ライン上に引込可能なコマ数以内（一般に4コマ以内）にある（赤ベル/青ベル/黄ベル/緑ベル）の何れか1つを停止させる。例えば、赤ベルが有効ライン上に停止すると、入賞を阻害する目的の第2小役群（赤ベル - 赤ベル - 赤ベル、黄ベル - 黄ベル - 赤ベル、緑ベル - 緑ベル - 赤ベル、青ベル - 青ベル - 赤ベル）の内、入賞する可能性があるのは（赤ベル - 赤ベル - 赤ベル）だけとなる。この残った第2小役を入賞させる為の操作タイミングを報知しなければ、その後の停止ボタン操作で、中ドラム2bに赤ベルが偶然に停止する確率は1/4で、且つ右ドラム2cに赤ベルが停止する確率も1/4となるので、1/16の確率でしか14枚役が揃わないことになる。

20

【0213】

また同様に、第一停止で中停止ボタン10bを操作すると、主制御部100は、押し順が不正解なので中ドラム2bの有効ライン上に引込可能なコマ数以内にある（赤ベル/青ベル/黄ベル/緑ベル）の何れかを停止させる。例えば、黄ベルが有効ライン上に停止すると、上述した第2小役群の内、入賞する可能性があるのは（黄ベル - 黄ベル - 赤ベル）だけとなる。その後の停止ボタン操作で、左ドラム2aに黄ベルが偶然に停止する確率は1/4で、且つ右ドラム2cに赤ベルが停止する確率も1/4となるので、1/16の確率でしか14枚役が揃わないことになる。つまり、A T小役が当選すると、1/24（2/3 × 1/16）で第2小役が入賞し、5/8（2/3 × 15/16）の確率で第2小役のコポシ目が有効ライン上に表示される。

30

【0214】

一方、A T小役右1が当選し、操作順序データが示す通り、第一停止操作で右停止ボタン10c（正解の押し順）を操作すると、主制御部100は、右ドラム2cの有効ライン上に第1小役及び3つの第3小役を構成する共通図柄のスイカ図柄を停止させる。その後の第二停止で中停止ボタン10b（正解の押し順）を操作すると、主制御部100は、中ドラム2bの有効ライン上に第1小役を構成するスイカ図柄を停止させ、第三停止で左停止ボタン10aを操作すると左ドラム2aにスイカ図柄を停止させて、14枚配当の第1小役（スイカ小役）を入賞させる。

40

【0215】

しかし、第二停止で左停止ボタン10a（不正解の押し順）を操作すると、主制御部100は、左ドラム2aの有効ライン上に第3小役群を構成する（赤7/黒バー/花）の何れかを停止させ、第三停止で中停止ボタン10bを操作すると中ドラム2bに（赤7/黒バー/花）の何れかを停止させて、第3小役（1枚小役）を入賞させる。つまり、A T小役が当選すると、1/6（1/3 × 1/2）の確率で第1小役又は第3小役が入賞する。A R T中には、副制御部160が、第1小役を入賞させる為の正解押し順を映像や音声で報知するようになっている。但し、主制御部100が操作順序を報知するようにしてもよい。

【0216】

50

図 1 1 3 は、2 回押し順タイプの A T 小役の説明図である。

【 0 2 1 7 】

A T 小役中 1 は、入賞させることが目的の第 1 小役（スイカ役）、第 1 小役の入賞を阻害する目的の第 2 小役群を構成する複数種類の第 2 小役（赤ベル - 赤ベル - 赤ベル、黄ベル - 黄ベル - 赤ベル、緑ベル - 緑ベル - 赤ベル、青ベル - 青ベル - 赤ベル）、及び第 1 小役の入賞を阻害する目的の第 3 小役群を構成する複数種類の第 3 小役（左ドラムに（赤 7 / 黒バー / 花）の何れか、中ドラムにスイカ、右ドラムに（赤 7 / 黒バー / 花）の何れかの 9 種類）が入賞可能な小役である（図 1 1 3（A）参照）。

【 0 2 1 8 】

主制御部 1 0 0 は、変動表示ゲームを開始すると、複数の A T 小役の中から 1 つを抽選により内部当選させ、抽選結果及び停止ボタン部 1 0 の操作に応じて、左ドラム 2 a、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c（複数の図柄列）を所定位置に停止させるようにドラム部 2 の停止制御を行う。ROM 1 0 1 は、抽選される複数の A T 小役に対応付けて、停止スイッチの操作順序を操作順序データ（この場合、中 左 右又は 2 - 1 - 3）として記憶している。また、ROM 1 0 1 には、第 1 小役であるスイカ役の配当 1 4 枚（所定枚数）、第 2 小役である色ベル役の配当 1 4 枚及び第 3 小役である 1 枚役 1 ~ 1 枚役 3 の配当 1 枚が記憶されている。

【 0 2 1 9 】

主制御部 1 0 0 は、内部当選した A T 小役の操作順序が中 左 右であることを認識又は確認し、停止ボタン部 1 0 の第一停止操作が第 1 小役を入賞させる為の操作順序である場合（即ち、中停止ボタン 1 0 b の場合）、第 1 小役及び第 3 小役の共通図柄であるスイカ図柄を有効ライン上に停止させる。次に、主制御部 1 0 0 は、停止ボタン部 1 0 の第二停止操作が第 1 小役を入賞させる為の操作順序である場合（即ち、左停止ボタン 1 0 a の場合）、第 1 小役図柄であるスイカ図柄を有効ライン上に停止させて第 1 小役をテンパイ状態とし、その後の停止操作で第 1 小役を入賞させる。一方、主制御部 1 0 0 は、第二停止操作が第 1 小役を阻害する操作順序（即ち、右停止ボタン 1 0 c）であるとき、第 3 小役図柄を有効ライン上に停止させて第 3 小役をテンパイ状態にする。そして、その後の停止操作で第 3 小役を入賞させる。

【 0 2 2 0 】

これに対して、主制御部 1 0 0 は、内部当選した操作順序が中 左 右であることを認識し、停止ボタン部 1 0 の第一停止操作が第 1 小役を阻害する操作順序である場合、（即ち、左停止ボタン 1 0 a 又は右停止ボタン 1 0 c の場合）、赤ベル、黄ベル、緑ベル又は青ベルからなる 4 種類の第 2 小役図柄の内、有効ライン上に引込可能なコマ数以内にある 1 つの第 2 小役図柄を停止させる。例えば、右ドラム 2 c の有効ライン上に赤ベル図柄が停止すると、その後の停止操作で第 2 小役である（赤ベル - 赤ベル - 赤ベル）を入賞させるか又は第 2 小役のコボシ目図柄を有効ライン上に表示する。

【 0 2 2 1 】

2 回押し順タイプの A T 小役は、第 2 小役の色ベル図柄が 4 種類あるので引き込み率は 6 . 2 5 パーセント（1 / 1 6）であるが、第 1 小役のスイカ及び第 3 小役の 1 枚役 1 ~ 1 枚役 3 は 1 0 0 パーセントである（図 1 1 3（B）参照）。

【 0 2 2 2 】

図 1 1 3（C）に示した通り、2 回押し順タイプの A T 小役の場合、第一停止操作を中停止ボタン 1 0 b 又は右停止ボタン 1 0 c の何れかに限定し、正解押し順 4 択にしても、変則押しの期待枚数を 4 . 2 枚と低く抑えることができる。また、順押し又はハサミ押しの期待枚数を 1 枚以下にできる。その結果、変則押し（順押し又はハサミ押し以外）による攻略を防止できると共に、第一停止操作が左停止ボタン 1 0 a の正解押し順の A T 小役を無くすことができるので、図柄配列上の自由度が増し、更に押し順不問小役の割合が増やせるので、演出もやりやすくなるという特有の効果がある。

【 0 2 2 3 】

図 1 0 4 は、遊技状態遷移図である。

10

20

30

40

50

【 0 2 2 4 】

ボーナス1のボーナスゲームが終了した次のゲーム又は段階設定値が打ち直された次のゲームから、初期状態（初期リプレイ状態とも言う。）となって一般ゲームが開始する。この一般ゲームにおけるリプレイ確率は約1/7.3であり、特に、RT2移行リプレイ（再遊技2）及びRT3移行リプレイ（再遊技3）が当選しないので、この状態から抜けるには上述したベル役のコボシ目が有効ライン上に表示されなければならない。また、ボーナス2が内部当選、作動又は終了しても遊技状態が変わらないので、初期状態に留まり続ける。

【 0 2 2 5 】

一般ゲームで押し順スイカが内部当選し、停止ボタン10の停止操作手順をミスすることによりベル役のコボシ目図柄が有効ライン上に表示されると、次のゲームからRT1状態となる（継続ゲーム数は定められていない。つまり、無限である）。このRT1状態におけるリプレイ確率もまた約1/7.3であり、図102及び図103に示した全ての役が乱数抽選されて、単独又は複数同時当選可能となる。つまり、初期状態とRT1状態の遊技が、リプレイ確率がほぼ同じ約1/7.3の遊技状態であるが、遊技者が滞在する通常遊技はこのRT1状態である。

10

【 0 2 2 6 】

RT1状態でRT2移行リプレイ（再遊技2）が内部当選し作動すると、リプレイ確率が約1/1.5に上昇したRT2状態となる。また、RT2状態では2つのボーナス役や小役の当選確率が約1/3なので、ボーナス役、小役及びリプレイ役の合成確率は1/1（100%）又は（65526～65535）/65536（ハズレの置数が1～10程度）となる。尚、図中の斜線部は、高確率再遊技状態であることを示している。

20

【 0 2 2 7 】

RT4移行リプレイ（再遊技4）は、停止ボタン部10を変則押しした時又は操作順序の不正解時に作動するものであり、禁止操作を行ったことで作動するペナルティ的なリプレイである。RT4移行リプレイが作動すると、所定ゲーム数間（例えば、10ゲーム）だけ再遊技確率が1/7.3のRT4状態にロックされた後に、初期状態へ戻る。RT4移行リプレイは、RT2状態及びRT3状態でも作動するようになっている。

【 0 2 2 8 】

RT2状態でRT3移行リプレイ（再遊技3）が内部当選し作動すると、リプレイ確率がほぼ同じ約1/1.5のRT3状態となる。また、RT3状態はRT2状態で当選するリプレイ役の種類が異なっている点で相違し、RT2状態と同様にハズレがないので遊技者に有利である。RT2状態又はRT3状態でベル役のコボシ目が有効ライン上に表示されると、RT1状態に転落する。

30

【 0 2 2 9 】

ボーナス1及びボーナス2は、初期状態、RT1状態、RT2状態及びRT3状態で当選可能である。ボーナス1は、内部当選すると各ドラムに赤7図柄を狙った場合に揃って停止し、作動後に初期リプレイ状態に戻る。なお、ボーナス1が作動後のボーナスゲームでは、停止ボタンを順押し（左停止ボタン10a 中停止ボタン10b 右停止ボタン10c 又は左停止ボタン10a 右停止ボタン10c 中停止ボタン10b）すると、14枚チェリーが入賞し、変則押し（上記の順押し以外の操作）すると、15枚チェリーが入賞する。

40

【 0 2 3 0 】

ボーナス2は、単独で内部当選するようになっており、その場合には停止スイッチの操作に拘わらず、何れかのボーナス2図柄を有効ライン上に引き込んで必ず作動する。このボーナス2は、内部当選しても、図柄が表示されても又は作動が終了してもリプレイ状態を変動（移行）させないので、RT2状態やRT3状態で当選した後に、再び同じ高確率再遊技状態に戻ることができる。これによって、ART状態を維持しつつ、ボーナス2を連続して放出できるのである。なお、ボーナス2が作動後のボーナスゲームでは、リプレイ役を抽選するが、リプレイ役を内部当選させても、内部抽選の結果に拘わらず小役を入

50

賞させる（つまり、リプレイが作動する確率は0）。特に、停止ボタンを順押しすると14枚チェリーが入賞し、変則押しすると15枚チェリーが入賞するように、主制御部100がリールの停止制御を行う。

【0231】

図114は、通常時の配当表抜粋等である。

【0232】

図114(A)は、図102の通常リプレイ（再遊技1）、RT2移行リプレイ（再遊技2）及びRT4移行リプレイ（再遊技4）のみを示しており、説明しやすいように作動図柄を書き直しただけである。また、遊技状態は、図104で説明した通りである。

【0233】

(1) 通常リプレイ（再遊技1）：各ドラムにリプレイ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、再遊技1が作動しても再遊技確率は変動しない。リプレイが作動する確率は略1/7.3である。

【0234】

(2) RT2移行リプレイ（再遊技2）：左ドラム2aに（チェリー）、中ドラム2b及び右ドラム2cにリプレイ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、再遊技2が作動すると再遊技確率がRT2状態（ATリプレイ状態）に変動する。リプレイが作動する確率は略1/1.5である。

【0235】

(3) RT4移行リプレイ（再遊技4）：左ドラム2aに（スイカ）、中ドラム2b及び右ドラム2cにリプレイ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、再遊技4が作動すると所定ゲーム数間（例えば、10ゲーム）だけ再遊技確率がRT4状態（ペナルティリプレイ状態）に変動及びロックされる。このRT4状態では、RT2移行リプレイ及び前述のRT3移行リプレイは抽選されない。リプレイが作動する確率は略1/7.3である。

【0236】

図104に示したRT1状態において、複合リプレイ役（通常リプレイ、RT2移行リプレイ及びRT4移行リプレイ）が内部当選すると、何れかのリプレイ役が作動可能となる。ROM101は、この複合リプレイ役に対応付けて、停止スイッチの操作順序データ（RT2移行リプレイを引き込む為の順序データ。押し順データとも言う。）を記憶している。この場合、操作順序データは第1～第3までの3つの順序データ（中-左-右又は2-1-3）であるが、最後の停止ドラムは必然的に決まるので、第1及び第2までの2つの順序データ（中-左又は2-1）であってもよい。順序データとしては4種類あり、他に（中-右-左）、（右-左-中）、（右-中-左）がある。また、図80に示したリプレイと同様に、4種類の複合リプレイ役は、同時当選しているリプレイ役の種類や組合せが個々に相違している（図114(B)参照）。

【0237】

主制御部100は、この複合リプレイ役が内部当選すると、ROM101に対応付けて記憶する操作順序データを読み取って、RT2移行リプレイを引き込む為の操作順序（中-左-右）を認識する。まず、停止ボタン部10の第一停止操作が左停止ボタン10a（所定の第一停止スイッチ）であれば、主制御部100は左ドラム2aの有効ライン上にリプレイ図柄を停止させ、その後の停止操作が中停止ボタン10b又は右停止ボタン10cの何れであっても、中ドラム2b及び右ドラム2cの有効ライン上にリプレイ図柄を停止させて、通常リプレイを作動させる（図114(C)左1stの場合参照）。つまり、左停止ボタン10aが第一停止操作の順押しの場合には、推奨される操作順序なので、ペナルティを付与しないのである。

【0238】

これに対して、第一停止操作が中停止ボタン10b（第二停止スイッチ）であれば、まず中ドラム2bの有効ライン上にリプレイ図柄を停止させる（図114(C)中1stの場合参照）。続く第二停止操作が左停止ボタン10aの場合、第二停止操作までの操作順

10

20

30

40

50

序が認識した（中 - 左 - 右）と一致しているので、主制御部 100 は左ドラム 2 a の有効ライン上にチェリー図柄を停止させ（図 114（C）左 2 n d の場合参照）、その後の停止操作で右ドラム 2 c の有効ライン上にリプレイ図柄を停止させて、A T 移行リプレイを作動させる。

【0239】

その一方、続く第二停止操作が右停止ボタン 10 c の場合、右ドラム 2 c の有効ライン上にリプレイ図柄を停止させ（図 114（C）右 2 n d の場合参照）、その後の第三停止操作で左停止ボタン 10 a が操作されると、主制御部 100 は第二停止操作までの操作順序が認識した（中 - 左 - 右）と一致していないので、左ドラム 2 a の有効ライン上にスイカ図柄を停止させ、R T 4 移行リプレイ（ペナルティ移行リプレイ）を作動させる。さらに、第一停止操作が右停止ボタン 10 c であれば、右ドラム 2 c の有効ライン上にリプレイ図柄を停止させ、その後に左停止ボタン 10 a が停止操作されたとき、主制御部 100 は第二停止操作までの操作順序が認識した（中 - 左 - 右）と一致していないので、左ドラム 2 a の有効ライン上にスイカ図柄を停止させ、R T 4 移行リプレイを作動させる。つまり、認識した操作順序と異なる順序で停止スイッチが操作された場合、ペナルティ移行リプレイを作動させる。換言すると、変則押しされた場合には、主制御部 100 は左停止ボタン 10 a が停止操作されたときに、操作順序を比較し、一致すれば R T 2 移行リプレイを作動させる一方、一致しなければ R T 4 移行リプレイを作動させる。その結果、変則押しでは 1 / 4 でしか R T 2 移行リプレイが作動せず、加えて 3 / 4 で R T 4 移行リプレイが作動し、10 ゲーム間だけペナルティ状態を抜けることができないので、攻略されることが無い。

【0240】

図 115 は、2 種 B B 中のシステム説明図である。

【0241】

図 115（A）は、図 102 で説明した 15 枚チェリー（F R 4）を示している。図では、説明の容易化の為、左ドラム 2 a の下段及び右ドラム 2 c の上段にチェリー図柄が停止しているが、実際には第 1 ライン上（有効ライン上）の左ドラム 2 a に（チェリー又はリプレイ）、中ドラム 2 b に全ての図柄（A N Y）、右ドラム 2 c に（チェリー）が停止している。

【0242】

同様に、図 115（B）上図は、図 102 で説明した 14 枚チェリー（F R 3）を示している。図では、右ドラム 2 c の上段にチェリー図柄が停止しているが、実際には第 1 ライン上（有効ライン上）の左ドラム 2 a に（チェリー又はリプレイ以外）、中ドラム 2 b に全ての図柄（A N Y）、右ドラム 2 c に（チェリー）が停止している。

【0243】

図 104 の R T 1 状態（リプレイ役の当選確率が低い通常リプレイ状態）でボーナス 2 が作動すると、制御部（主制御部 100 又は副制御部 160）は逆押しの指示（例えば、「右」と音声と映像で指示）を出し、遊技者が停止ボタン部 10 を逆押しすると 15 枚チェリーが入賞し、獲得枚数は 15 枚となる（図 115（A）参照）。ボーナス 2 は、払出し枚数が 14 枚を超えた時点で終了するので、ボーナスゲームは 1 ゲームだけとなる。この場合、チェリー小役（A T 天井カウント小役）が一度だけ入賞するので、1 ポイントが獲得される。なお、逆押しの指示に従わずに、遊技者が停止ボタン部 10 を順押しすると 14 枚チェリーが入賞するが、その場合には大きなペナルティ（例えば、ポイント非加算及び A R T 抽選しない）が与えられることになる。この非 A R T 状態での差枚数は、12 枚（獲得 15 枚 - 規定枚数 3 枚）となり、通常時のベースが下がることになるので好ましいと言える。

【0244】

図 104 の R T 2 状態又は R T 3 状態（リプレイ役の当選確率が通常リプレイ状態より高い A R T 状態）でボーナス 2 が作動すると、制御部は順押しの指示（例えば、「左」と音声と映像で指示）を出し、遊技者が停止ボタン部 10 を順押しすると 14 枚チェリーが

入賞し、獲得枚数は14枚となる(図115(B)上図参照)。ボーナス2は、払出し枚数が14枚を超えた時点で終了するので、パンクせずに次のボーナスゲームを行うことができる。なお、順押しのお操作指示を出さない場合には、遊技者は通常遊技における推奨操作手順である順押しを行わせるようにしても、また順押しのお操作が「得」と音声と映像で指示してもよい。次のボーナスゲームでは、上述した通り、制御部は逆押しのお指示を出すので、獲得枚数は15枚となる(図115(B)下図参照)。ART状態での差枚数は、23枚(獲得14枚-規定枚数3枚)+(獲得15枚-規定枚数3枚)で、ART時の増加枚数が通常時の約2倍に上がることになり、その分だけART中の1ゲーム当りの純増が増え、出玉のピークを作り出すことが可能となるので非常に好ましい。

【0245】

図116は、ART中の演出説明図である。

【0246】

ARTモード中は、表示演出装置11にハイビスカスの花が咲いた画像を表示し、例えば、40ゲームで1セットのARTが開始して、2回押し順タイプのAT小役が当選すると、右中左というように遊技者に操作順序を報知することで、AT小役の入賞を容易にする。また、ART中にボーナス2が作動すると、制御部は1ゲーム目にリプレイ役を抽選して、順押しのお指示を出すか又は何も指示を出さない。これにより遊技者は、停止ボタン部10を順押しして14枚チェリーが入賞するので、入賞したチェリー画像1つを表示画面上にストックする(図116(A)参照)。なお、チェリー小役がAT継続抽選用小役に相当し、チェリー小役の入賞数を数字で表示するようにしてもよい。そして、制御部は2ゲーム目にリプレイ役を抽選して、逆押しのお指示を出す。これにより、遊技者が停止ボタン部10を逆押しすると15枚チェリーが入賞するので、入賞したチェリー画像1つを表示画面上に加算してストックが2つとなる(図116(B)参照)。

【0247】

同様に、ART中にボーナス2が再び作動すると、制御部は1ゲーム目に14枚チェリーを入賞させ、続く2ゲーム目に15枚チェリーを入賞させて、チェリー画像2つを表示画面上に加算する。その結果、合計4つのチェリーがストックされる(図116(C)及び図116(D)参照)。そして、ART40ゲームが消化されると、表示演出装置11にハイビスカスの花が窄んだ映像を表示して、ARTの継続判定を行う(開花チャレンジ画面)。

【0248】

ART終了後の第1ゲーム目で、遊技者がマックスベットボタン8を操作して、スタートレバー9を叩くとARTの継続判定が行われる。第1ゲーム目の判定ではハイビスカスの花が窄んだままなのでハズレとなり、1ゲームに1つのチェリーが消費されて画像が消去される(図116(E)参照)。なお、チェリー小役の入賞数を数字で表示した場合、入賞数を減算してもよい。同様に、第2ゲーム目もハイビスカスが開花せず、ハズレとなって1つのチェリー画像が消去される(図116(F)参照)。

【0249】

続く第3ゲーム目で、遊技者がマックスベットボタン8を操作して、スタートレバー9を叩くと、ハイビスカスの花が咲いてARTの当選を報知する(図116(G)参照)。その後、新たなART40ゲームが開始する(図116(H)参照)。

【0250】

図117は、ART中の演出説明図である。

【0251】

図117(A)~図117(G)までは図116(A)~図116(G)と同じなので説明を省略する。

【0252】

図117(G)でARTの継続が確定しても、入賞したチェリー小役が残っており、遊技者がマックスベットボタン8を操作すると、一旦ハイビスカスの花が窄んだ映像を表示して、モードアップ判定を行う(図117(H)の蝶開花チャレンジ画面参照)。遊技者

10

20

30

40

50

がスタートレバー 9 を操作するとモードアップ判定が行われ、ハズレれば図 1 1 6 (H) で示した A R T 4 0 ゲームが開始する一方、当選すれば開花したハイビスカスの中から虹色の蝶々が飛び出して、モードアップ当選を報知する (図 1 1 7 (I) 参照) 。その後、蝶 A R T モードとなり 1 0 0 ゲームの A R T が開始する (図 1 1 7 (J) 参照) 。蝶 A R T モードでは、小役やレア小役、ボーナス等が当選する毎にゲーム数が上乘せられて、延々と A R T ゲームが継続する。そして、ゲーム数が 0 になったら蝶 A R T モードが終了して、新たな A R T 4 0 ゲームが開始する (図 1 1 6 (H) 参照) 。

【 0 2 5 3 】

なお、上述した A R T の継続抽選及びモードアップ抽選は、チェリー小役が入賞したときに制御部が自動的に行ってよい (即ち、事前抽選判定) 。この場合、当選した 3 ゲーム目のチェリー図柄又は周辺をレインボー色に表示して、期待度を表現できる。

10

【 0 2 5 4 】

一方、遊技者がマックスベットボタン 8、スタートレバー 9 又は停止ボタン部 1 0 を操作した何れかのタイミングで乱数値又はカウンタ値を取得して抽選を実行すれば、自力感を持たせることができるので遊技者は気合が入り、当選時には激アツな気分になれる。

【 0 2 5 5 】

図 1 1 8 は、チェリーポイント天井システムの説明図である。

【 0 2 5 6 】

図 1 1 8 (A) は、遊技の流れを示しており、まず現在の滞在モードに応じてチェリーポイント天井 (A T 天井値) を決定する。本システムで A R T が確定するのは、ボーナス 1 の当選時及び後述するチェリーポイントが A T 天井値に到達した時である。A R T が当選すると、モード移行抽選を行った後に A R T が開始され、継続ゲーム数が 0 になった時に終了して、再度チェリーポイント天井を決定する。この状態を繰り返しループする。

20

【 0 2 5 7 】

図 1 1 8 (B) は、モード別チェリーポイント天井テーブルを示している。滞在モードには、「地獄モード」、「通常モード」、「天国モード」及び「超天国モード」の 4 種類がある。現在の滞在モードが「地獄モード」であれば、チェリーポイント天井は 1 0 0 ポイントに必ず決定される。また、「通常モード」であれば、抽選により 1 ポイント ~ 1 0 0 ポイントの何れかで決定されるが、1 0 ポイント毎に振り分けられる確率が他に比べて 1 0 倍となっている。これにより、チャンスゾーンが 1 0 ポイント毎に出現するので、遊技者は後 1 0 ポイント、後 1 0 ポイント、... というように期待感を強く持ち、最終的に 1 0 0 ポイントまで止めずに遊技を続けるという特有の効果がある。「天国モード」であれば、1 ポイント及び 1 0 ポイントに振り分けられる確率が 2 5 % と高く、8 ポイント及び 9 ポイントが 1 0 %、他は 5 % の確率となる。「超天国モード」であれば、1 ポイントが 5 0 %、2 ポイントが 1 0 %、他は 5 % の確率となる。つまり、「天国モード」又は「超天国モード」であれば、チェリーポイントが 1 0 ポイント貯まるまでに A R T が確定するので、1 0 ポイントまでが連チャンゾーンとなり、遊技者は止めることができない。

30

【 0 2 5 8 】

図 1 1 9 は、各種テーブルの説明図である。

40

【 0 2 5 9 】

図 1 1 9 (A) は、チェリーポイント加算テーブルである。図 1 0 2 で示した 1 5 枚チェリー役には、右ドラム 2 c の上段にチェリー図柄が停止する角チェと、同中段にチェリー図柄が停止する中チェとが存在し、約 1 0 : 1 の比率で振り分けられており、制御部が B B 2 作動中に抽選するリプレイの種類または組合せにより、チェリー図柄の停止位置が上段又は中段に決定される。比率が 9 割の角チェの場合、チェリーポイント加算テーブルを用いた抽選により、付与するチェリーポイントを決定し、今までストックしたチェリーポイントに加算される。1 ポイントが 9 1 % で、他の 2 ポイント ~ 1 0 ポイントは 1 % の確率となる。同様に、比率が 1 割の中チェの場合、同テーブルを用いた抽選により、2 ポイント ~ 9 ポイントが 1 0 % で、1 0 ポイントは 2 0 % の確率となり、高得点が期待でき

50

る。つまり、BB2作動中に中チェをを引けば、大量ポイントが獲得され易いようになっている。なお、RT1状態（通常リプレイ状態）の一般遊技中に角チェ又は中チェを引いた場合には、ARTが確定（レア小役解除）し、更に中チェであれば超天国モードとなってARTが開始される。

【0260】

図119(B)は、モード移行テーブル(天井)であり、チェリーポイント天井到達によるART当選時に使用される。移行前の滞在モードが「地獄モード」の場合には、抽選により90%の確率で「天国モード」へ、又は10%の確率で「超天国モード」へモードアップ移行する。つまり、「地獄モード」から脱出すれば「天国モード」又は「超天国モード」に必ず成るので、遊技者はそれを期待して遊技を続けるのである。

10

【0261】

移行前の滞在モードが「通常モード」の場合には、抽選により20%の確率で「地獄モード」へ転落し、50%の確率で「通常モード」を維持する一方、25%の確率で「天国モード」へ、又は5%の確率で「超天国モード」へモードアップ移行する。

【0262】

移行前の滞在モードが「天国モード」の場合には、抽選により10%の確率で「地獄モード」へ、又は40%の確率で「通常モード」へ転落する一方、45%の確率で「天国モード」を維持し、又は5%の確率で「超天国モード」へモードアップ移行する。

【0263】

移行前の滞在モードが「超天国モード」の場合には、抽選により25%の確率で「天国モード」へ転落する一方、75%の確率で「超天国モード」を維持する。

20

【0264】

図119(C)は、モード移行テーブル(BB1)であり、ボーナス1の当選によるART当選時に使用される。移行前の滞在モードが「地獄モード」の場合には、抽選により50%の確率で「天国モード」へ、又は50%の確率で「超天国モード」へモードアップ移行する。移行前の滞在モードが「通常モード」の場合には、抽選により20%の確率で「地獄モード」へ転落し、45%の確率で「通常モード」を維持する一方、25%の確率で「天国モード」へ、又は10%の確率で「超天国モード」へモードアップ移行する。

【0265】

移行前の滞在モードが「通常モード」の場合には、抽選により20%の確率で「地獄モード」へ転落し、45%の確率で「通常モード」を維持する一方、25%の確率で「天国モード」へ、又は10%の確率で「超天国モード」へモードアップ移行する。

30

【0266】

移行前の滞在モードが「天国モード」の場合には、抽選により10%の確率で「地獄モード」へ、又は10%の確率で「通常モード」へ転落する一方、60%の確率で「天国モード」を維持し、又は20%の確率で「超天国モード」へモードアップ移行する。移行前の滞在モードが「超天国モード」の場合には、100%の確率で「超天国モード」を維持する。つまり、「超天国モード」から転落しないようになっている。

【0267】

図120は、通常遊技中の演出説明図である。

40

【0268】

通常遊技中(図104のRT1状態)の画面構成として、基本的に通常時画面(図120左図)、BB2中画面(図120中央図)及びBB2終了後画面(図120右図)の3つがある。

【0269】

通常時画面の上から順に、夜画面、曙画面、昼画面及び雪画面から成っており、チェリーポイント天井(AT天井値)までの大よその距離を遊技者に印象付けている。例えば、チェリーポイント天井値が最大の100ポイントとすると、右上に表示されるストックしたチェリーポイントが0~29で夜画面、同ポイントが30~59で曙画面、ポイントが60以上で昼画面となり、残り5ポイント程度で天井に達する場合にはMAX表示を点滅

50

させて雪画面を表示する。なお、当然ながら遊技者に期待感を与える為にガセ演出を行って、昼画面から再び夜画面を経て曙画面に移行させることもある。つまり、この夜画面～昼画面を何度も繰り返すのである。なお、最大天井値は100ポイントであり、これを越えることはないので、遊技者は我慢しながら遊技を継続する。

【0270】

通常遊技中にボーナス2(図104の2種BB2)が内部当選すると、派手なチャンス演出が行われ、停止スイッチの操作に拘わらず、ボーナス2図柄が有効ライン上に引き込まれて必ず作動する。次のゲームがBB2のボーナス遊技となり、スタートレバー操作後に逆押しの指示が出る(この場合、右中左の押し順ナビ。図120中央上図参照)。

【0271】

遊技者が第一停止で右停止ボタン10cを操作すると、チェリー図柄が右ドラム2cの上段又は中段に停止すると共に、表示されていた数字の1がチェリー図柄に変化する(図120中央中図参照)。その時、遊技者が右停止ボタン10cを離れたタイミングでチェリーポイント抽選を行う(図119(A)参照)。遊技者が中左の順で停止ボタン部10を操作すると、15枚チェリーが入賞し、第三停止操作後に、チェリー図柄を当選したチェリーポイント数に置き換えて、その分を加算して右上に表示する(図120中央下図参照)。一方、遊技者が第一停止で左停止ボタン10aを操作すると、14枚チェリーが入賞するが、その場合にはペナルティとしてチェリーポイントを加算しない。なお、チェリーポイントの抽選は、第三停止操作ボタンを離れたタイミング(瞬間)で行うと、遊技者の期待感をより増幅させることができる。

【0272】

遊技者がマックスベットボタン8を操作すると、元のステージ画面を表示し(図120右上図参照)、ストックしたチェリーポイントが天井に達していれば、ハイビスカスの花が咲いた画像を表示演出装置11に表示して、40ゲームで1セットのARTが開始する(図120右下図参照)。しかし、天井に達していなければ、元の通常時画面に戻る。

【実施例2】

【0273】

この実施例2は、上述の実施例1を改良した関連発明である。

【0274】

図105は、ドラムの図柄配置表である。

【0275】

左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cのそれぞれには、左ドラム図柄、中ドラム図柄及び右ドラム図柄が描かれた回胴帯(図示せず)が、各ドラムの外周部において一周するように張り付けられている。

【0276】

各回胴帯には、左ドラム2aだけが異なり、中ドラム2b及び右ドラム2cが同じ並びの図柄が20個描かれており、ボーナス(第二種BB:役物連続作動装置)が作動する図柄の「白7」、遊技状態をRT3に移行させる図柄の「赤7」及び赤青緑白紫茶の6色の菱形図柄(つまり、6種類の異なる図柄)が描かれている。これらの菱形図柄の内、予め定められた所定の図柄が有効ライン上に表示されると第二種BB(役物連続作動装置)、各種リプレイ(RT変動なし又は各種RT移行リプレイ)、小役及び押し順小役が作動又は入賞する。一方、RT1移行リプレイが作動するか、又は押し順小役を取りこぼして小役コボシ目図柄が有効ライン上に表示されると通常状態(RT1状態)へ転落する。

【0277】

この「赤7」図柄及び「白7」図柄は「演出用図柄」を兼ねており、スタートレバー9の操作後から停止スイッチが操作可能となるまでのフリーズ状態において、停止ボタン部10の操作を無効にし、その間に主制御部100はドラム部2を利用して、例えば3つの「赤7」図柄や「白7」図柄を一直線に揃える激アツ・リール演出を行う。

【0278】

主制御部100は、抽選によりAT状態とするゲーム数(例えば、300ゲーム)又は

10

20

30

40

50

セット数（例えば、1セット50ゲームで10セット）を抽選で決定する。そして、主制御部100は、ゲーム数が300ゲームの場合、変動表示ゲーム（遊技）の遊技状態を参照して、真横や斜めに3つの「赤7」図柄を一直線に3度揃え、一度目は50ゲーム、2度目は100ゲーム、及び三度目は150ゲームと表示して、最終的に「300ゲーム獲得」と表示演出装置11に表示する。また、主制御部100は、セット数が10セットの場合、同様に3つの「赤7」図柄を斜めや横一直線に10度揃え、最終的に「10セット獲得」と表示演出装置11に表示する。なお、この遊技状態とは、ボーナスゲームの1ゲーム目又は終了ゲーム、RT状態が変動した1ゲーム目というものであり、前遊技の当選役や停止位置を参照するものではない。従って、ボーナスが作動した後に、リールを強制的に回転させて図柄をズラすと、「赤7」図柄を一直線に揃えることはできない。

10

【0279】

図106は、図柄の組合せ表示判定図である。

【0280】

主制御部100は、ドラムが3個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた窓部3の有効ライン上で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【0281】

図106(B)は、遊技メダルを規定数3枚投入した場合の有効ラインであり、左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cの順に、第1ライン（中段、中段、中段：中央横ライン）のみが、通常時及びボーナス（第二種BB）作動時に有効となる。つまり、この実施例の場合には、常に投入枚数が3枚で、有効ラインは第1ラインだけとなる。

20

【0282】

図107は、通常時及びボーナス作動時の配当表である。

【0283】

主制御部100は、リール（又はドラム）が3個すべて停止したときに、有効ライン上（図106参照）で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【0284】

(1) ボーナス1（第2種役物連続作動装置）：左ドラム2aに（白7）、中ドラム2bに（白7）、右ドラム2cに（白7）が有効ライン上に揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後にボーナス1（BB1）が付与される。このボーナス1は、例えば当選確率が1/1000で、ボーナス1中のゲームの規定投入枚数が3枚、払出し枚数が14枚を超えた時点で終了する。抽選でボーナス1が内部当選し、ボーナス1フラグが立つことにより、ボーナス1が成立可能な状態となる。このボーナス1は、ボーナス役が内部当選していない変動表示ゲームで、抽選により単独で内部当選するようになっており、単独当選した場合には、全てのリールに白7図柄を狙って停止スイッチの操作を行えば成立させることができる。従って、遊技者は白7をDDTポイントとして狙い、停止操作することになる。ボーナス1が作動することとなった図柄の組合せが表示されると、次のゲームからボーナスゲーム（ボーナス遊技状態）となるが、主制御部100はこの遊技状態に移行した最初のゲーム（1ゲーム目）であることを参照又は認識して、「白7」図柄を一直線に揃える激アツ・リール演出を行う。

30

【0285】

ボーナス1が内部当選すると、リプレイ確率が約1/3程度に変動し、ボーナスゲームが終了すると初期状態に戻し、ARTが確定する。

40

【0286】

(2) ボーナス2（第2種役物連続作動装置）：左ドラム2aに（菱形（赤）/菱形（青）/菱形（黄）/菱形（茶））の何れか、中ドラム2bに菱形（緑）、右ドラム2cに菱形（緑）の4種類が有効ライン上に揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後にボーナス2（BB2）が付与される。このボーナス2は、例えば当選確率が1/10程度で、ボーナス2中のゲームの規定投入枚数が3枚、払出し枚数が14枚を超えた時点で終了する。抽選でボーナス2が内部当選し、ボーナス2フラグが立つことにより、ボーナス2が成立可能な状態となる。

50

【 0 2 8 7 】

このボーナス2は、基本的にボーナス役が内部当選していない変動表示ゲームで、抽選により単独で内部当選するようになっており、単独当選した場合には、停止スイッチの操作に拘わらず、何れかのボーナス2図柄を100%で有効ライン上に引き込んで必ず作動する。つまり、ボーナス2が単独当選すると必ず作動するが、ボーナス2がリプレイ役や小役（ボーナスよりも優先される当選役）と同時当選するように設計した場合には、直ぐに作動しないことも当然考えられる。

【 0 2 8 8 】

ボーナス2が作動することとなった図柄の組合せが表示されると、表示窓の枠外（上段の1つ上）に必ず赤7図柄が一直線に揃っており、次のゲームからボーナスゲーム（ボーナス遊技状態）となるが、主制御部100はこの遊技状態に移行した最初のゲーム（1ゲーム目）であることを参照又は認識して、「赤7」図柄を一直線に揃える激アツ・リール演出（「7 R U S H」（セブンラッシュ）と称する）を行って、ATの当選を報知する。

【 0 2 8 9 】

このボーナス2は、内部当選しても、図柄が表示されても又は作動が終了してもリプレイ状態を変動（移行）させないので、RT2状態～RT5状態でボーナス2ゲームを行った後に、再び同じ高確率再遊技状態に戻ることができる。これによって、ART状態を維持しつつ、ボーナス2を連続して放出できるのである。なお、ボーナス2が作動後のボーナスゲームでは、リプレイ役を抽選するが、リプレイ役を内部当選させても、内部抽選の結果に拘わらず小役を入賞させる（つまり、リプレイが作動する確率は0）。特に、内部当選したリプレイ役又は同時当選したリプレイの組合せに応じて、停止ボタンを順押し（左停止ボタン10a 中停止ボタン10b 右停止ボタン10c又は左停止ボタン10a 右停止ボタン10c 中停止ボタン10b）した場合の入賞小役（14枚又は15枚）を変化させ、払い出し枚数に差をつけるようになっている。この画期的な新技術により純増枚数を大幅に増やすことができる。

【 0 2 9 0 】

（3）通常リプレイ（通常再遊技）：各ドラムに所定のリプレイ図柄（色菱形の組合せ図柄）が有効ライン上に揃って表示された場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー9の操作により、次のゲームを行うことができる。通常リプレイには、2種類の通常リプレイA及び通常リプレイBがあり、これらの通常再遊技が作動しても再遊技確率（RT状態）は変動しない。

【 0 2 9 1 】

（4）RT1移行リプレイ（再遊技1）：各ドラムに所定のリプレイ図柄（色菱形の組合せ図柄）が有効ライン上に揃って表示された場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入され、遊技者のスタートレバー9の操作により、次のゲームを行うことができる。RT1移行リプレイは、後述するRT2状態で他のリプレイ（例えば、通常リプレイやRT3移行リプレイ）と同時に当選し、押し順が正解すると他のリプレイが作動するが、不正解の場合にはRT1移行リプレイが作動して、再遊技確率がRT1状態（リプレイ当選確率が1/7.3の通常リプレイ状態）に転落する。つまり、攻略させない為のペナルティ的なりプレイである。

【 0 2 9 2 】

（5）RT2移行リプレイ（再遊技2）：各ドラムに所定のリプレイ図柄（色菱形の組合せ図柄）が有効ライン上に揃って表示された場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入され、遊技者のスタートレバー9の操作により、次のゲームを行うことができる。RT2移行リプレイが作動すると、再遊技確率が約1/1.5のRT2状態に変動する。

【 0 2 9 3 】

（6）RT3移行リプレイ（再遊技3）：左ドラム2aに（赤7）、中ドラム2bに（赤7）、右ドラム2cに（赤7）が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対し

10

20

30

40

50

てメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次回のゲームを行うことができる。R T 3 移行リプレイが作動すると、再遊技確率が R T 3 状態に変動する。R T 3 移行リプレイが作動することとなった図柄の組合せが表示されると、次のゲームから R T 3 状態となるが、主制御部 1 0 0 は、この遊技状態に移行した最初のゲーム（1 ゲーム目）であることを参照又は認識して、「赤 7」図柄を一直線に揃える激アツ・リール演出を行う。

【 0 2 9 4 】

（ 7 ） R T 4 移行リプレイ（再遊技 4）：左ドラム 2 a に菱形（白）、中ドラム 2 b に菱形（紫）、右ドラム 2 c に菱形（紫）が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次回のゲームを行うことができる。なお、ドラム部の下段に「赤 7」図柄が 3 つ横一列になって表示され、遊技者は「赤 7」が入賞したかのように感じるので、何ら違和感はない。R T 4 移行リプレイが作動すると、再遊技確率が R T 4 状態に変動する。R T 4 移行リプレイが作動することとなった図柄の組合せが表示されると、次のゲームから R T 4 状態となるが、主制御部 1 0 0 は、この遊技状態に移行した最初のゲーム（1 ゲーム目）であることを参照又は認識して、「赤 7」図柄を一直線に揃える激アツ・リール演出を行う。

【 0 2 9 5 】

（ 8 ） R T 5 移行リプレイ（再遊技 5）：左ドラム 2 a に菱形（紫）、中ドラム 2 b に菱形（白）、右ドラム 2 c に菱形（白）が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次回のゲームを行うことができる。なお、ドラム部の上段に「赤 7」図柄が 3 つ横一列になって表示され、遊技者は「赤 7」が入賞したかのように感じるので、何ら違和感はない。R T 5 移行リプレイが作動すると、再遊技確率が R T 5 状態に変動する。R T 5 移行リプレイが作動することとなった図柄の組合せが表示されると、次のゲームから R T 5 状態となるが、主制御部 1 0 0 は、この遊技状態に移行した最初のゲーム（1 ゲーム目）であることを参照又は認識して、「赤 7」図柄を一直線に揃える激アツ・リール演出を行う。

【 0 2 9 6 】

（ 9 ） R T 6 移行リプレイ（再遊技 6）：左ドラム 2 a に菱形（紫）、中ドラム 2 b に菱形（白）、右ドラム 2 c に菱形（白）が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動的に投入されるので、遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次回のゲームを行うことができる。R T 6 移行リプレイが作動すると、再遊技確率が R T 6 状態（通常リプレイ状態と同様のリプレイ当選確率が 1 / 7 . 3 の）に変動する。この R T 6 状態は、いわゆるチャンス状態であり、リプレイ当選確率は 1 / 7 . 3 であるものの上述した R T 3 移行リプレイ ~ R T 5 移行リプレイが抽選され、当選すれば R T 3 状態 ~ R T 5 状態に変動し、A R T 状態となる。

【 0 2 9 7 】

（ 1 0 ）色菱形小役（非押し順小役）：各ドラムに所定の色菱形図柄（色菱形の組合せ図柄）が有効ライン上に揃って表示された場合の役名であり、獲得枚数は 1 5 枚となる。抽選で色菱形小役が内部当選すると、停止ボタン部 1 0 の停止操作順序やタイミングに拘わらず、6 4 種類の色菱形図柄の何れか 1 つが有効ライン上に停止して必ず入賞する。

【 0 2 9 8 】

（ 1 1 ）A T 色菱形小役（押し順小役）：停止ボタン部 1 0 の操作順序が正解（停止ボタン部 1 0 の押し順が押し順データと一致）の場合、特定の色菱形小役（例えば、3 つの菱形（緑））を必ず入賞させる一方、不正解の場合には、6 4 種類ある色菱形小役の図柄を揃えて入賞させる時とコボシ目を表示する時、若しくは 1 枚役を入賞させる当選役を意味する。図 1 0 3 で説明した A T 小役（押し順スイカ）と同じ原理であるので、説明を省略する。

【 0 2 9 9 】

10

20

30

40

50

(12) 1枚小役1 ~ 1枚小役3 : 各ドラムに所定の色菱形図柄(色菱形の組合せ図柄)が有効ライン上に揃って表示された場合の役名であり、獲得枚数は1枚となる(図103参照)。

【0300】

(13) 2種中小役1 : 各ドラムに所定の色菱形図柄(色菱形の組合せ図柄)が有効ライン上に揃って表示された場合の役名であり、獲得枚数は14枚となる。但し、通常遊技中には約6万分の1程度でしか当選しない。

【0301】

(14) 2種中小役2 : 各ドラムに所定の色菱形図柄(色菱形の組合せ図柄)が有効ライン上に揃って表示された場合の役名であり、獲得枚数は15枚となる。但し、通常遊技中には約6万分の1程度でしか当選しない。

10

【0302】

(15) AT色菱形小役のコボシ目(1~n) : AT色菱形小役で色菱形小役を取りこぼした時に有効ライン上に表示される特殊図柄(転落図柄)であり、何れか一つの特殊図柄が表示されると再遊技確率がRT1状態(リプレイ当選確率が1/7.3の通常リプレイ状態)に変動する。なお、設定変更後やボーナス1が作動したボーナスゲームの終了後に移行する初期リプレイ状態において、この特殊図柄が表示されてもRT1状態に移行する。

【0303】

図108は、遊技状態遷移図である。

20

【0304】

ボーナス1のボーナスゲームが終了した次のゲーム又は段階設定値が打ち直された次のゲームから、初期状態(「初期リプレイ状態」とも言う。)となって一般ゲームが開始する。この一般ゲームにおけるリプレイ確率は約1/7.3であり、この状態から抜けるには上述した押し順小役のコボシ目が有効ライン上に表示されなければならない。また、ボーナス2が内部当選、作動(図柄表示)又は終了しても遊技状態が変わらないので、初期状態に留まり続けることになる。

【0305】

一般ゲームで押し順小役が内部当選し、停止ボタン10の停止操作手順(順序又はタイミング)を間違えることにより、コボシ目図柄が有効ライン上に表示されると、次のゲームからRT1状態となる(継続ゲーム数は定められていない。つまり、無限である)。このRT1状態におけるリプレイ確率もまた約1/7.3であり、図107に示した全ての役を含めて乱数抽選され、単独又は複数同時当選可能となる。つまり、初期状態とRT1状態の遊技が、リプレイ確率がほぼ同じ約1/7.3の遊技状態であるが、遊技者が滞在する通常遊技はこのRT1状態である。

30

【0306】

RT1状態で、RT2移行リプレイ(再遊技2)が内部当選して作動すると、リプレイ確率が約1/1.5に上昇したRT2状態(準備状態)となる。また、RT1状態で、通常リプレイB及びRT2移行リプレイ(準備リプレイ)が同時に内部当選すると、記憶する押し順情報(押し順データ)に従って、通常リプレイB又はRT2移行リプレイの何れか一方を作動させる。例えば、押し順情報が「2-1-3」であれば、中停止ボタン10b左停止ボタン10a右停止ボタン10cの順に停止操作されるとRT2移行リプレイを作動させる一方、それと異なる停止操作が行われると通常リプレイBを作動させる。このRT1状態では、当選確率が1/3000程度の低確率ではあるが、後述するRT3移行リプレイ~RT5移行リプレイや、当選確率が1/200程度のRT6移行リプレイが当選するので、ARTゾーンやチャンスゾーンに移行可能である。

40

【0307】

RT2状態では2つのボーナス役や小役の当選確率が約1/3なので、ボーナス役、小役及びリプレイ役の合成確率は1/1(100%)又は(65526~65535)/65536(ハズレの置数が1~10程度)となる。尚、図中の斜線部は、高確率再遊技状

50

態であることを示している。

【0308】

このRT2状態では、RT1移行リプレイ（転落リプレイ）及びRT3移行リプレイ（ATリプレイ）が同時に当選し、記憶する押し順情報（押し順データ）に従って、RT1移行リプレイ又はRT3移行リプレイの何れか一方を作動させる。例えば、押し順情報が「3-2-1」であれば、右停止ボタン10c 中停止ボタン10b 左停止ボタン10aの順に停止操作されるとRT3移行リプレイを作動させる一方、異なる停止操作が行われるとRT1移行リプレイを作動させる。また、押し順小役のコボシ目が表示されてもRT1状態へ転落するので、ART状態では、この正解となる押し順を報知（ナビ）するようになっている。

10

【0309】

RT2状態においてRT3移行リプレイが作動すると、3つの赤7図柄が中央横一直線に揃って表示されるので、遊技者はボーナス入賞と同様の激アツな印象を持つ。また、主制御部100は、RT3移行リプレイが作動すると、次の遊技がRT3状態となった最初のゲームであることを参照又は認識して、ドラム部2を利用したフリーズ演出を行う。例えば、ART状態とするゲーム数又はセット数を抽選で決定し、その決定結果に基づいてドラム部2（複数の図柄列）を変動又は回転させ、赤7図柄を真横や斜め一直線にセット数分だけ揃える。これにより、前遊技の当選役や停止位置を参照することなく、リールを用いたフリーズ演出を行うのである。同様に、ボーナス1又はボーナス2が作動すると、次の遊技がBB1状態又はBB2状態となった最初のゲームであることを参照又は認識して、激熱フリーズ演出を行う（詳細は後述する）。

20

【0310】

RT2移行リプレイ作動後のRT3状態は、RT2状態と同様にリプレイ確率が約1/1.5であるが、抽選するリプレイの種類がRT2状態とは異なり、通常リプレイB、RT4移行リプレイ及びRT5移行リプレイを抽選し、RT1移行リプレイは作動しないようになっている。

【0311】

RT3状態においてRT4移行リプレイが作動すると、3つの赤7図柄が下段横一直線に揃って表示される。同様に、RT3状態においてRT5移行リプレイが作動すると、3つの赤7図柄が上段横一直線に揃って表示される。主制御部100は、RT4移行リプレイ又はRT5移行リプレイが作動すると、次の遊技がRT4状態又はRT5状態となった最初のゲームであることを参照又は認識して、ドラム部2を利用した激熱フリーズ演出を行う。このRT4状態では、通常リプレイB、RT3移行リプレイ及びRT5移行リプレイを抽選する。また、RT5状態では、通常リプレイB、RT3移行リプレイ及びRT4移行リプレイを抽選する。両状態共に、RT1移行リプレイは作動しないようになっている。

30

【0312】

RT3状態～RT5状態でアシスト機能が発動すると所謂ART状態となり、それだけでもメダルを減らすことなく遊技を行うことができる。ART状態でAT色菱形小役が当選すると、主制御部100は入賞させる為の押し順を遊技者に報知するので、容易にメダルを獲得できる。一方、押し順を報知しないと、高い確率（5/6程度）でAT色菱形小役を取りこぼし、その時にコボシ目が表示されてRT1状態へ転落する。更に、ボーナス2は1/10程度で頻繁に当選し、BB2中に2ゲームで最大23枚増加するので、5号機胴式遊技機で今まで実現できなかった純増速度（約4枚/ゲーム）を達成できる。

40

【0313】

RT1状態においてRT6移行リプレイが作動すると、次のゲームからRT6状態となる。このRT6状態は、RT1状態と同様にリプレイ確率が約1/7.3であるが、抽選するリプレイの種類がRT1状態とは異なり、通常リプレイA、RT3移行リプレイ、RT4移行リプレイ及びRT5移行リプレイを抽選し、RT1移行リプレイは作動しないようになっている。RT6状態は、所謂チャンスゾーンであり、所定ゲーム数（例えば、3

50

0ゲーム)又は抽選により決定したゲーム数だけAT状態とし、その間はAT色菱形小役の押し順を報知するのでRT1状態へ転落しない。また、チャンスゾーン中にRT3移行リプレイ、RT4移行リプレイ又はRT5移行リプレイを当選させると、RT3状態~RT5状態になり、自力でARTを引き当てることができるので、遊技者がスタートレバーに力を込める熱い瞬間である。

【0314】

ボーナス1及びボーナス2は、初期状態及びRT1状態~RT6状態の全てにおいて当選可能であり、ボーナス1の場合はBB1ゲーム終了後に初期状態に戻る一方、ボーナス2の場合はリプレイ確率を一切変動させずに、BB2ゲーム終了後に元の状態へ戻る。なお、RT1状態が通常リプレイ状態であり、RT2状態~RT5状態がATリプレイ状態

10

【0315】

図109は、BB2のボーナスゲーム中に入賞する小役の対応表である。

【0316】

左端の当選役は、BB2中に抽選するリプレイ役を示している。初期状態及びRT1状態~RT6状態の各遊技状態において、内部当選したリプレイ役又は同時当選したリプレイ役の組合せに応じて、BB2のボーナスゲーム中に停止ボタン部10を順押しすると、右端に示した14枚小役(所定数量)又は15枚小役が入賞するので、1ゲーム又は2ゲームでボーナスゲームが終了し、最低15枚~最大29枚のメダル(遊技媒体:パチンコ球やトークンであってもよい)が払い出される。なお、停止ボタン部10を順押し以外で操作すると、BB2中のボーナス遊技(変動表示ゲーム)では必ず15枚小役が入賞するようになっている。つまり、1ゲーム目に14枚小役(所定数量)を入賞させ、2ゲーム目に15枚小役を入賞させると、最大29枚のメダルを獲得できるので、最も純増速度が高くなる。また、BB2中のボーナス遊技において、停止ボタン部10の操作順序に応じて、14枚小役又は15枚小役の何れかを入賞させる様にもできる。この場合、AT中に停止ボタン部10の操作順序を報知して、1ゲーム目に14枚小役、2ゲーム目に15枚小役を入賞させるようになる。

20

【0317】

初期状態においてBB2のボーナスゲームを行うと、1/7.3で通常リプレイA(第二リプレイ役)が当選するのに対し、それ以外でハズレとなる。なお、BB2中は小役を抽選しないが、全ての小役が内部当選した状態となっている。この初期状態では、リプレイの抽選結果(当選又はハズレ)に拘わらず、停止ボタンを順押しすると、必ず15枚小役が入賞するので、BB2は1ゲームで終了して純増は12枚(払出しメダル15枚-投入メダル3枚)となる。

30

【0318】

同様にRT1状態(通常リプレイ状態)では、1/7.3で通常リプレイA又はRT2移行リプレイ(共に、第二リプレイ役)が内部当選し、停止ボタン部10の順押し及び逆押し(変則押し)で15枚小役が入賞するので、BB2は1ゲームで終了する。また、RT3移行リプレイ~RT5移行リプレイ(何れも通常リプレイ状態における第一リプレイ役に相当する)の各々が1/3000で内部当選し、その場合には順押しで14小役が入賞するので、BB2が1ゲームで終了せずに、2ゲーム目を行うことになる。RT1状態は非AT中であるが、BB2の1ゲーム目にRT3移行リプレイ~RT5移行リプレイの何れかが内部当選すると、制御部(主制御部100及び/又は副制御部160)は順押しを示唆(又は指示、若しくは不指示)し、2ゲーム目に右押しを指示する。また、BB2中にRT3移行リプレイ~RT5移行リプレイの何れかが内部当選すると、激アツ演出を行ってATが確定する。なお、上述した第一リプレイ役と第二リプレイ役は、内部当選したリプレイ役の種類が異なっているだけでもよいが、例えば図80に示した10種類のリプレイ役のように、内部当選したリプレイ役の組合せが異なってもよい。

40

【0319】

更に、RT6移行リプレイ(第二リプレイ役)が1/200で内部当選した場合には、

50

順押しで15枚小役が入賞するので、BB2は1ゲームで終了する。その結果、RT1状態では、999/1000の確率で純増を12枚に制限できる。つまり、通常遊技状態であるRT1状態でBB2を頻繁に当選させても、強制的に払い出しを低く抑えることができるという特有の作用効果がある。

【0320】

同様にRT2状態では、1/1.5でRT1移行リプレイ又はRT3移行リプレイ（共に、第一リプレイ役）が内部当選（両リプレイの同時当選でもよい）して、順押し（第一操作手順）で14枚小役が入賞するので、その場合にはBB2が1ゲームで終了せずに、2ゲーム目を行うことになる。しかし、1ゲーム目に右押し（第二操作手順）をすると、15小役が入賞するので、その場合にはBB2が1ゲームで終了することになる。

10

【0321】

RT2状態でAT中（所謂ART中）であれば、制御部は1ゲーム目に順押しを示唆して、2ゲーム目に右押しを指示する。一方、RT2状態で非AT中であれば、1ゲーム目に順押しで14小役が入賞可能であっても、右押しを指示してBB2を1ゲームで強制終了させる。なお、この右押し指示に反して順押しすれば2ゲーム目を行うことが可能であるが、その場合には制御部はART抽選をしないなどの大きなペナルティを与えるので、指示に従わなければ、結果的に遊技者にとってマイナスとなる。

【0322】

他方、RT2状態では1/3でハズレとなり、その場合にはBB2は1ゲームで終了する。その結果、RT2状態のAT中にBB2が当選すると約19.3枚（23枚×2/3 + 12枚×1/3）のメダルの純増が期待できる。また、非AT中には、右押しを指示するので、純増は12枚となり、AT中と非AT中とで払い出し枚数に大きな差をつけることが可能となる。つまり、従来の押し順小役で増やすだけのART技術に加えて、AT小役機能を有するBB2を設けることにより、ART中に純増速度を大幅に向上させることができるという、本願発明特有の作用効果がある。

20

【0323】

同様に、RT3状態では、1/1.5で通常リプレイB（第一リプレイ役）が内部当選して、順押しで14小役が入賞するので、その場合にはBB2が1ゲームで終了せずに、2ゲーム目を行うことになる。RT3状態は一般にART状態であり、制御部はBB2の1ゲーム目に順押しを示唆して、2ゲーム目に右押しを指示する。また、RT4移行リプレイ又はRT5移行リプレイ（共に第一リプレイ役）の各々が1/200で内部当選し、制御部は同様の指示を行う。一方、RT3状態では1/3でハズレとなり、BB2は1ゲームで終了する。その結果、RT3状態のAT中にBB2が当選すると約19.3枚のメダルの純増が期待できる。なお、RT4状態及びRT5状態は、このRT3状態と内部当選するRT移行リプレイの種類が異なるだけなので上記説明を援用する。

30

【0324】

同様にRT6状態では、1/7.3で通常リプレイA（第二リプレイ役）が内部当選して、順押しで15枚小役が入賞するので、BB2は1ゲームで終了する。また、RT3移行リプレイ～RT5移行リプレイ（共に、第一リプレイ役）の各々が1/200で内部当選し、その場合には順押しで14小役が入賞するので、BB2が1ゲームで終了せずに、2ゲーム目を行うことになる。RT1状態は非AT中であるが、BB2の1ゲーム目にRT3移行リプレイ～RT5移行リプレイの何れかが内部当選すると、制御部は順押しを示唆し、2ゲーム目に右押しを指示する。また、BB2中にRT3移行リプレイ～RT5移行リプレイの何れかが内部当選すると、激アツ演出を行ってATが確定する。

40

【0325】

図110は、通常時の遊技概要図である。

【0326】

主制御部100は、ARTの抽選を全て行っており、抽選結果に応じてメインルール（左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c）による演出を制御する。ARTの抽選契機は、（1）ボーナス2揃い、（2）ボーナス1揃い（白7）、及び（3）赤7揃い（R

50

T 3 移行リプレイ～R T 5 移行リプレイ作動時)である。

【0327】

副制御部160は表示演出装置11に通常画面を表示しており、主制御部100がボーナス2を作動させると、チャンス画面を表示し、次のゲームのスタートレバー9の開始操作時(レバーON時)にチャンス演出を行うと共に、主制御部100はメインリールによるフリーズ演出を行う。ARTが当選すると、ARTへ移行する一方、ARTがハズレで通常画面に戻る。また、主制御部100がボーナス1を作動させると、副制御部160は大チャンス画面を表示し、その後、同様に表示や動作を行う。主制御部100がR T 3 移行リプレイ～R T 5 移行リプレイを作動させ、赤7を揃わせるとARTが確定する。

【0328】

図111は、チャンス演出の概要図である。

【0329】

副制御部160は、主制御部100が第3停止でボーナス2を作動させると、チャンス画面を表示する(図111(A)参照)。主制御部100は、ボーナス2が作動することとなった図柄の組合せが表示されると、表示窓の枠外(上段の1つ上)に赤7図柄が一直線に揃っていることを認識している。主制御部100はこの遊技状態に移行した最初のゲーム(1ゲーム目)であることを参照し、次ゲームのスタートレバー9の開始操作時にメインリールによるフリーズ演出を行って、停止ボタン部10の操作を無効にする。

【0330】

主制御部100は、ドラム部2を所定回数だけ回転させた後に左ドラム2a及び中ドラム2bを中央ラインに赤7図柄を疑似停止させると共に、副制御部160はこの回転と停止に同期させるようにして、赤7図柄を表示演出装置11に停止させる。また、左ドラム2a及び中ドラム2bの疑似停止中には、赤7図柄が上下に震動させる(図111(B)参照)。ARTが不当選の場合には、右ドラム2cの赤7図柄は振動しながら下段に停止し、表示演出装置11の赤7図柄も他の図柄が停止して、最終的に赤7図柄が共に一直線に揃わない(図111(C)参照)。その一方、ARTが当選の場合には、振動を続ける赤7図柄及び表示演出装置11の赤7図柄も一直線に揃って停止して(図111(D)参照)、フリーズ演出が終了する。その後、再び全リールが一定速度で回転して、停止ボタン部10の操作が有効になる(図111(E)参照)。

【0331】

図112は、7RUSH演出の概要図である。

【0332】

副制御部160は、主制御部100が第3停止でR T 3 移行リプレイ～R T 5 移行リプレイの何れかを作動させると、表示演出装置11の赤7図柄を一直線に揃えて停止させ、ARTゲーム数の50ゲームを表示する(図112(A)参照)。主制御部100は、7RUSH抽選を行って当選すると、副制御部160にその旨を通知して、7RUSHフリーズ演出を行う。主制御部100は、R T 3 移行リプレイ～R T 5 移行リプレイの何れかが作動すると、遊技状態がR T 3～R T 5(複数の異なるAT遊技状態)に移行した最初のゲーム(1ゲーム目)であることを参照し、次ゲームのスタートレバー9の開始操作時にメインリールによる7RUSHフリーズ演出を行って、停止ボタン部10の操作を無効にする。

【0333】

主制御部100は、ドラム部2を上方向に揃えて回転させ(図112(B)参照)、振動を続ける赤7図柄を中央一直線に揃えて停止させて窓部3に表示し、ART上乘せゲーム数の50ゲームを表示する(図112(C)参照)。この表示は、当選した回数だけ何度も繰り返されるので、遊技者は興奮と感動を覚える。一方、7RUSHが不当選の場合又は7RUSHが終了する場合は、ドラム部2を順方向に回転させる(図112(D)参照)。これらのフリーズ演出をキャンセルさせる場合には、演出中にMAXベットボタンを操作すればよい。また、MAXベットボタンを連打してメインリールを動かす演出を搭載すれば、遊技者は激アツな気分になる。更に、リール演出中に停止ボタンを押せば、赤

10

20

30

40

50

7 図柄を揃えられるようにしてもよい。

A R T 実施例 1 :

小役を押し順で入賞させる為の A R T に関する実施例を以下で詳述するが、上記の主実施例で採用可能である。

【 0 3 3 4 】

図 2 3 は、ドラムの図柄配置表である。

【 0 3 3 5 】

左ドラム 2 a、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c のそれぞれには、左ドラム図柄、中ドラム図柄及び右ドラム図柄が描かれた回胴帯（図示せず）が、各ドラムの外周部において一周するように張り付けられている。

10

【 0 3 3 6 】

各回胴帯には、それぞれ異なった並びの図柄が 2 0 個描かれており、ボーナスが作動する図柄の「赤 7」、「青 7」、「黒バー」、各種小役図柄の「ベル」、「スイカ」、「チェリー」、「プラム（赤）」、「プラム（青）」、「プラム（白）」及び再遊技が作動するリプレイが描かれている。

【 0 3 3 7 】

図 2 4 は、図柄の組合せ表示判定図である。

【 0 3 3 8 】

主制御部 1 0 0 は、ドラムが 3 個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた窓部 3 の有効ライン上で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

20

【 0 3 3 9 】

図 2 4 (B) は、遊技メダルを規定数 3 枚投入（一般遊技 3 枚専用：非役物作動時）した場合の有効ラインであり、左ドラム 2 a、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c の順に、第 1 ライン（中段、中段、中段：中央横ライン）、第 2 ライン（上段、上段、上段：上部横ライン）、第 3 ライン（下段、中段、上段：右上り）の 3 つが有効となる。

【 0 3 4 0 】

図 2 4 (C) は、ボーナスゲーム中において遊技メダルを規定数 2 枚（ B B 中）又は規定数 3 枚（ R B 中）投入した場合の有効ラインであり、上記の第 2 ライン及び第 4 ライン（下段、下段、下段：下部横ライン）の 2 つが有効となる。

【 0 3 4 1 】

図 2 5 は役物未作動時（通常遊技中）の配当表、図 2 6 は押し順規定小役の配当表、及び図 2 7 は役物連続作動時（ボーナスゲーム中）の配当表である。

30

【 0 3 4 2 】

主制御部 1 0 0 は、ドラムが 3 個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた有効ライン上（図 2 4 参照）で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【 0 3 4 3 】

(1) 第一ボーナス (B B 1) : 左ドラム 2 a に (赤 7)、中ドラム 2 b に (赤 7)、右ドラム 2 c に (赤 7) が、3 つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は 0 枚でその後に第一ボーナスゲームが付与される。この第一ボーナスは、例えば当選確率が 1 / 4 0 0 で、第一ボーナスゲームの規定投入枚数が 2 枚、払出し枚数が 3 6 0 枚を超えた時点で終了する。抽選で第一ボーナスが内部当選し、第一ボーナスフラグが立つことにより、第一ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第一ボーナスのみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ばれるスイカ (F R 1 : フルーツ 1) やチェリー (C H)、又は弱チャンス目 (F R 3) や強チャンス目 (F R 4) と同時に当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

40

【 0 3 4 4 】

(2) 第二ボーナス (B B 2) : 左ドラム 2 a に (青 7)、中ドラム 2 b に (青 7)、右ドラム 2 c に (青 7) が、3 つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は 0 枚でその後に第二ボーナスゲームが付与される。この第二ボーナスは、例えば当選確率が 1 / 4 0 0 で、第二ボーナスゲームの規定投入枚数が 2 枚、払出し枚数が 2 6 0 枚を

50

超えた時点で終了する。抽選で第一ボーナスが内部当選し、第二ボーナスフラグが立つことにより、第二ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第二ボーナスのみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ばれるスイカ（FR1：フルーツ1）やチェリー（CH）、又は弱チャンス目（FR3）や強チャンス目（FR4）と同時に当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

【0345】

（3）第三ボーナス（RB）：左ドラム2aに（赤7）、中ドラム2bに（赤7）、右ドラム2cに（黒バー）が、3つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後に第三ボーナスゲームが付与される。この第三ボーナスは、例えば当選確率が1/400で、第三ボーナスゲームの規定投入枚数が3枚、払出し枚数が60枚を超えた時点で終了する。抽選で第三ボーナスが内部当選し、第三ボーナスフラグが立つことにより、第三ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第三ボーナスのみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ばれるスイカ（FR1：フルーツ1）やチェリー（CH）、又は弱チャンス目（FR3）や強チャンス目（FR4）と同時に当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

10

【0346】

（4）スイカ（FR1：AT抽選役）：スイカ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は4枚となる。抽選でスイカが内部当選すると、FR1（フルーツ1）の条件装置1個が作動し、それを契機に遊技機内部でアシストストック抽選（ATストック抽選：0～255回の範囲）が行われる。

20

【0347】

また、スイカが内部当選して、アシストストック抽選を行った結果、ハズレ（AT抽選で0回の当選）となった場合には、副制御部160はRAM162のスイカ・カウンタに1を加算する。一方、アシストストック抽選で当選すると、スイカ・カウンタをクリアしてゼロに戻す。即ち、アシストストック抽選で連続してハズレとなった回数をカウントアップして記憶するのがスイカ・カウンタである。このスイカ・カウンタが所定値に達すると、副制御部160はハズレのない抽選テーブルに変更して、アシストストック数を抽選する。例えば、スイカ・カウンタが10に達すると（つまり、10回連続でハズレ）、アシストストック数の抽選を1～255回の範囲で行い（つまり、ハズレなし）、その後、アシストストック回数だけ1セット20ゲーム続くナビゲーションを行って、ベル小役を入賞させるように遊技者をアシストする。なお、内部的にスイカは、ATストックが当り難いノーマル・スイカとATストックが当り易いチャンス・スイカに分かれており、その比率は5：1となっている。従って、同じスイカでもチャンス・スイカの場合には遊技者の気を引くような派手な演出（例えば、表示演出装置11に緑色の大オーラが出現や複数個のスイカの落下など）がなされる。

30

【0348】

（5）ベル（FR2）：ベル図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は15枚となる。抽選でベルが内部当選すると、FR2（フルーツ2）の条件装置1個が作動する。FR2は、単独で当選すると、停止ボタン部10の停止操作順序に拘わらず、何れか一つの有効ライン上にベル図柄が停止して必ず入賞する。なお、後述するように、押し順制御用の複数一部のプラム小役（複数個の押し順規定小役中の複数一部）とベル小役が同時当選すると、複数一部のプラム小役によって決まる押し順で停止操作された場合には、ベル小役が入賞する一方、内部当選中のプラム小役の何れも入賞しない。また、複数一部のプラム小役によって決まる押し順で停止操作されなかった場合には、ベル小役は入賞しないで、殆どの場合ハズレとなるか又は低確率で内部当選中のプラム小役の何れか一つが入賞する。

40

【0349】

（6）一枚役1（FR3：弱チャンス目）：左ドラム2aに（赤7）、中ドラム2bに（青7）、右ドラム2cに（チェリー）が有効ライン上に停止すると、獲得枚数は1枚となる。一枚役1は、低確率～中確率で第一ボーナス～第三ボーナスの何れかと同時に当選

50

するので、これが表示されると遊技者は胸を躍らせる。

【0350】

(7)一枚役2(FR4:強チャンス目):左ドラム2aに(赤7)、中ドラム2bに(黒バー)、右ドラム2cに(チェリー)が有効ライン上に停止すると、獲得枚数は1枚となる。一枚役2は、中確率~高確率で第一ボーナス~第三ボーナスの何れかと同時に当選するので、これが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

【0351】

(8)押し順規定小役(FR5~FR31:合計27個):左ドラム2aに(プラム(赤)、プラム(青)、プラム(白))の何れか、中ドラム2bに(プラム(赤)、プラム(青)、プラム(白))の何れか、右ドラム2cに(プラム(赤)、プラム(青)、プラム(白))の何れかが有効ライン上に停止すると、獲得枚数は15枚となる(詳細は図26参照)。この押し順規定小役は合計27個(複数個)存在するが、その中の3個(複数一部)がベルと同時に内部当選するようになっており、同時当選中の押し順規定小役で一義的に決まる押し順で停止操作されるとベル小役が入賞する。

10

【0352】

(9)チェリー(CH):チェリー図柄が左ドラム2aの有効ライン上に停止した場合の役名であり、獲得枚数は1枚となる。抽選でチェリーが内部当選すると、CHの条件装置1個が作動し、それを契機に遊技機内部でアシストストック抽選(ATストック抽選:0~255回の範囲)が行われる。なお、チェリーは単図柄小役であり、中ドラム2b及び右ドラム2cにどのような図柄が停止しても、入賞には無関係である。

20

【0353】

また、チェリーが内部当選して、アシストストック抽選を行った結果、ハズレ(AT抽選で0回の当選)となった場合には、副制御部160はRAM162のチェリー・カウンタに1を加算する。一方、アシストストック抽選で当選すると、チェリー・カウンタをクリアしてゼロに戻す。即ち、アシストストック抽選で連続してハズレとなった回数をカウンタアップして記憶するのがチェリー・カウンタである。このチェリー・カウンタが所定値に達すると、副制御部160はハズレのない抽選テーブルに変更して、アシストストック数を抽選する。例えば、チェリー・カウンタが5に達すると(つまり、5回連続でハズレ)、アシストストック数の抽選を1~255回の範囲で行い(つまり、ハズレなし)、その後、アシストストック回数だけ1セット20ゲーム続くナビゲーションを行って、ベル小役を入賞させるように遊技者をアシストする。なお、内部的にチェリーは、ATストックが当り難いノーマル・チェリーとATストックが当り易いチャンス・チェリーに分かれており、その比率は2:1となっている。従って、同じチェリーでもチャンス・チェリーの場合には遊技者の気を引くような派手な演出(例えば、表示演出装置11に赤色の大オーラが出現や複数個のチェリーの落下など)がなされる。

30

【0354】

(10)リプレイ1(RP1):3つのリプレイ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアにRP1・フラグを立て、単独当選した場合には再遊技1が必ず作動する。遊技者のスタートレバー9の操作により、次回のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、後述する他のリプレイ2~リプレイ4の何れかと同時に当選すると、押し順によって何れかのリプレイ図柄が表示されて作動する。

40

【0355】

(11)リプレイ2(RP2):左ドラム2aに(リプレイ)、中ドラム2bに(ベル)、右ドラム2cに(リプレイ)が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアにRP2・フラグを立て、単独当選した場合には再遊技2が必ず作動する。遊技者のスタートレバー9の操作により、次回のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、RT1状態(リプレイ確率約1/7.3の初期状態で押し順ベルが当選し、取りこぼし図柄が表示されるとリプレイ確率約1/2程度に上昇した状態)でリプレイ2が有効ライン上に揃って表示されると、リプレイ確率が

50

約 1 / 1.2 程度に上昇した R T 2 状態に移行する。殆どの場合、リプレイ 1 と同時当選又は他のリプレイと重複当選し、押し順が正解すると遊技者に有利な R T 2 状態になってアシスト機能が発動する。

【 0 3 5 6 】

(1 2) リプレイ 3 (R P 3) : 左ドラム 2 a に (リプレイ)、中ドラム 2 b に (リプレイ)、右ドラム 2 c に プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白) の何れかが有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアに R P 3 ・フラグを立て、単独当選した場合には再遊技 3 が必ず作動する。遊技者のスタートレバー 9 の操作によって、次のゲームは新たなメダルを投入することなく行うことができる。なお、R T 1 状態 (リプレイ確率約 1 / 2 程度) でリプレイ 3 が有効ライン上に揃って表示されると、リプレイ確率が約 1 / 6 程度に下降した R T 3 状態に移行して、10 ゲーム間だけチャンスゾーンとなる。この R T 3 状態において、再びリプレイ 4 が当選するとアシストストック抽選が高い当選確率で行われるので、遊技者にとって興奮と感動を覚える至福の期間となる。

10

【 0 3 5 7 】

(1 3) リプレイ 4 (R P 4) : 左ドラム 2 a に プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白) の何れか、中ドラム 2 b に (ベル)、右ドラム 2 c に (リプレイ) が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアに R P 4 ・フラグを立て、単独当選した場合には再遊技 3 が必ず作動する。遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、殆どの場合、リプレイ 4 はリプレイ 1 と同時当選又は他のリプレイと重複当選し、押し順によってリプレイ 4 又はリプレイ 1 が作動する。R T 1 状態 (リプレイ確率約 1 / 2 程度) で押し順が不正解の場合、リプレイ 4 が有効ライン上に揃って表示され、リプレイ確率が約 1 / 7.3 程度に下降した遊技者にとって不利な R T 4 状態に移行して、100 ゲーム間だけハマリ R T ゾーンとなる。

20

【 0 3 5 8 】

(1 4) リプレイ 5 (R P 5) : 左ドラム 2 a に (青 7)、中ドラム 2 b に (ベル)、右ドラム 2 c に (リプレイ) が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアに R P 5 ・フラグを立て、単独当選した場合には再遊技 5 が必ず作動する。遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、リプレイ 5 は押し順制御用のリプレイで、実際に表示されるのは何れかのボーナスが内部当選中のみであり、それ以外では有効ライン上に揃うことは無い。従って、遊技者は、ボーナスが当選しているか否かが不明な状態でリプレイ 5 が作動すると、「ボーナス確定」となるので、ほっと一安心するのである。

30

【 0 3 5 9 】

図 28 は押し順小役の条件装置の組合せ表である。

【 0 3 6 0 】

押し順小役とは、停止ボタン部 10 の操作順序が正解の場合にベル小役 (第一小役) を入賞させ、不正解の場合にベル小役を入賞させない当選役を意味する。本発明では、第一停止操作が正解するとベル小役が入賞するので、入賞確率は 1 / 3 となる。一方、第一停止操作が不正解の場合、ハズレ (小役取りこぼし目) 又はプラム小役が 2 / 27 の確率で入賞する。よって、払い出しの期待値は、15 枚 × (1 / 3 + 2 / 27) で約 6.1 枚となる。

40

【 0 3 6 1 】

ベル小役と押し順小役の組み合わせは、図示した通り、番号 01 ~ 番号 27 まで 27 種類存在する。押し順規定小役として 27 個 (種類) の異なるプラム小役があり、その中の 3 個 (複数個の押し順規定小役中の複数一部) とベル小役 (第一小役) が一度の乱数抽選で同時に内部当選するようになっている。

【 0 3 6 2 】

番号 01 ~ 番号 09 の何れかが内部当選し、第一停止で左停止ボタン 10 a が操作され

50

ると、ベル小役が入賞する一方、それ以外の停止ボタン部 10 が第一停止操作されると、ハズレとなるか又はプラム小役が低確率で入賞する。同様に、番号 10 ~ 番号 18 の何れかが内部当選して、第一停止で中停止ボタン 10 b が操作されると、ベル小役が入賞する一方、それ以外の停止ボタン部 10 が第一停止操作されると、ハズレ又はプラム小役が入賞する。また、番号 19 ~ 番号 27 の何れかが内部当選し、第一停止で右停止ボタン 10 c が操作されると、ベル小役が入賞する一方、それ以外の停止ボタン部 10 が第一停止操作されると、ハズレ又はプラム小役が入賞する。

【 0 3 6 3 】

図 29 は、条件装置の組合せ及び図柄規定データを示した表である。図 29 (A) は番号 01 (図 28 参照) の押し順小役の条件装置の組合せ表であり、図 29 (B) は図柄規定データの構成を概念的に示している。

10

【 0 3 6 4 】

ベル小役と押し順小役の組み合わせとして、番号 01 が内部当選すると、FR2 + FR5 + FR9 + FR13 の条件装置 (フラグ) が作動する (図 29 (A) 参照) 。従って、遊技者の停止ボタン部 10 の操作に応じて、FR2 のベル・ベル・ベル、FR5 のプラム (赤) ・プラム (赤) ・プラム (赤) 、FR9 のプラム (青) ・プラム (青) ・プラム (青) 又は FR13 のプラム (白) ・プラム (白) ・プラム (白) の何れか一つの小役が入賞したり、メダルの払い出しがないハズレ (全ての小役が入賞しない状態) になる。

【 0 3 6 5 】

図柄規定データは図柄の停止制御に使用される情報であって、図柄データ (第一情報) 及び色データ (第二情報) で構成されている。ベル図柄は、色情報を持っておらず、図柄データの 04 H のみで特定される (即ち、単色なので色データは不要である) 。一方、プラム図柄は形状が同じではあるが、色が赤青白と異なっているので、プラム (赤) 図柄は図柄データが 20 H で色データが 10 H 、プラム (青) 図柄は図柄データが 20 H で色データが 20 H 、プラム (白) 図柄は図柄データが 20 H で色データが 40 H と区別することにより、3 色のプラム図柄をそれぞれ特定可能に構成されている。

20

【 0 3 6 6 】

次に、上述の様に構成された回胴式遊技機の動作について、図面やフローチャート等を参照して詳細に説明する。

【 0 3 6 7 】

図 30 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

30

【 0 3 6 8 】

例えば、乱数抽選により図 28 に示した番号 01 が当選すると、上述した通り、FR2 + FR5 + FR9 + FR13 の条件装置が作動する。主制御部 100 は、この状態で遊技者が第一停止で左停止ボタン 10 a を操作すると、記憶する制御情報 (左第一停止) と合致した (押し順が「正解」した) と判断するので、その後の第二停止操作及び第三停止操作の順序に拘わらず、ベル小役だけを必ず入賞させて 15 枚のメダルを払い出す。即ち、主制御部 100 は、3 つの図柄列を変動させる変動表示ゲームを開始し、抽選によりベル小役及び押し順規定小役である 27 個のプラム小役の内、3 個を同時に内部当選させる。この 3 個のプラム小役で決まる押し順で停止ボタン部 10 が操作されると、ベル小役を入賞させる一方、後述するように、同時に内部当選した 3 個のプラム小役の何れも入賞させないように停止制御を行うのである。

40

【 0 3 6 9 】

図 30 (A) は、ドラム部 2 の全てのドラムが回転している状態を示している。この状態で、遊技者が第一停止で左停止ボタン 10 a を、No. 8 のチェリーが基準位置にある時に停止操作すると (左ドラム 2 a の下段位置に No. 8 のチェリーが即止まり可能な状態。図 30 (B) 参照) 、主制御部 100 は有効ラインの何れかにベル図柄が最短で止まるように引込制御を行う。この場合、2 コマ上にある No. 4 のベル図柄を第 2 ライン (上段、上段、上段 : 上部横ライン) に停止させる (図 30 (C) 参照) 。

【 0 3 7 0 】

50

図 3 1 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【 0 3 7 1 】

ドラム部 2 の全てのドラムが回転している状態（図 3 0（A）参照）で、遊技者が第一停止で左停止ボタン 1 0 a を、No . 6 のリプレイが基準位置にある時に停止操作すると（左ドラムの下段位置に No . 6 のリプレイが即止まり可能状態。）、主制御部 1 0 0 はドラムを即止めして、図 3 0（C）と同様に、No . 4 のベル図柄を第 2 ライン（上段、上段、上段：上部横ライン）に停止させる（図 3 1（A）参照）。

【 0 3 7 2 】

一方、図 3 0（A）の状態、遊技者が第一停止で左停止ボタン 1 0 a を、No . 5 のドラム（赤）が基準位置にある時に停止操作すると（左ドラムの下段位置に No . 5 のドラム（赤）が即止まり可能状態。）、主制御部 1 0 0 はドラムを即止めして、No . 4 のベル図柄を第 1 ライン（中段、中段、中段：中央横ライン）に停止させる（図 3 1（B）参照）。

【 0 3 7 3 】

また、図 3 0（A）の状態、遊技者が第一停止で左停止ボタン 1 0 a を、No . 4 のベルが基準位置にある時に停止操作すると、主制御部 1 0 0 はドラムを即止めして、No . 4 のベル図柄を第 3 ライン（下段、中段、上段：右上り）に停止させる（図 3 1（C）参照）。

【 0 3 7 4 】

図 3 2 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【 0 3 7 5 】

図 3 2（A）は、図 3 1（A）と同じであり、左ドラム 2 a が停止してベル図柄が上段に表示された状態において、遊技者が第二停止で中停止ボタン 1 0 b を停止操作すると、主制御部 1 0 0 は例えば No . 4 のベル図柄を中ドラム 2 b の上段に停止させる（図 3 2（B）参照）。なお、中ドラム 2 b 上の 4 つのベル図柄は 4 コマ間隔で配置されているので、引込範囲にある何れかのベル図柄を中ドラム 2 b の上段に停止させて、リーチ状態にすることが可能である。

【 0 3 7 6 】

また、図 3 2（A）の状態から、遊技者が第二停止で右停止ボタン 1 0 c を停止操作すると、主制御部 1 0 0 は例えば No . 6 のベル図柄を右ドラム 2 c の上段に停止させる（図 3 2（C）参照）。なお、中ドラム 2 b 上の 4 つのベル図柄は 4 コマ間隔で配置されているので、引込範囲にある何れかのベル図柄を右ドラム 2 c の上段に停止させて、リーチ状態にすることが可能である。

【 0 3 7 7 】

なお、「リーチ状態」とは、最後に回転している一つの図柄列以外の図柄列の有効ライン上に、所定役を構成する図柄が揃っている状態であって、最後の回転図柄列が停止したときに、所定図柄が有効ライン上に表示されたら、該所定役が入賞する状態である（図 3 2（B）及び図 3 2（C）参照）。このリーチ状態は、同義語として所定役の「テンパイ状態」とも言われており、図 3 2 では、ベル小役の「リーチ状態」又は「テンパイ状態」となっている。

【 0 3 7 8 】

図 3 3 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【 0 3 7 9 】

図 3 3（A）は、図 3 2（B）と同様に、左ドラム 2 a 及び中ドラム 2 b が停止して、ベル図柄が第 2 ライン上に 2 つ揃って表示され、ベル小役がリーチ状態となっており、遊技者が第三停止で右停止ボタン 1 0 c を停止操作すると、主制御部 1 0 0 は例えば No . 6 のベル図柄を中ドラム 2 b の上段に停止させ、第 2 ライン上にベル小役を入賞させる（図 3 3（A）右図参照）。なお、前述したとおり、右ドラム 2 c 上の 4 つのベル図柄は 4 コマ間隔で配置されているので、ベル小役のリーチ状態から、引込範囲（現在の規則では「4 コマ」）にある何れかのベル図柄を右ドラム 2 c の上段に停止させて、ベル小役を入

10

20

30

40

50

賞させることが可能である。

【0380】

また、図33(B)左図の状態から、遊技者が第三停止で中停止ボタン10bを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.4のベル図柄を中ドラム2bの上段に停止させて、第2ライン上にベル小役を入賞させる(図33(B)右図参照)。なお、右ドラム2cと同様に、中ドラム2b上の4つのベル図柄は4コマ間隔で配置されているので、ベル小役のリーチ状態から、引込範囲にある何れかのベル図柄を中ドラム2bの上段に停止させて、ベル小役を入賞させることが可能である。そして、図33(A)及び図33(B)に示した通り、主制御部100はベル小役(第一小役)を入賞させた場合には、同時に内部当選している3つの押し順規定小役であるFR5のプラム(赤)・プラム(赤)・プラム(赤)、FR9のプラム(青)・プラム(青)・プラム(青)又はFR13のプラム(白)・プラム(白)・プラム(白)の何れも入賞させない。また、この時には27種類全てのプラム小役がリーチ状態になることもない。つまり、図33(A)左図又は図33(B)左図で、ベル小役がリーチ状態になる一方、ベル小役のリーチ状態においてはプラム小役がリーチ状態にもならないので、当然に入賞することもない。

10

【0381】

なお、上記では番号01が当選し、押し順が正解してベル小役が入賞する場合を説明したが、図28に示した番号02~番号09が当選した場合も、遊技者が第一停止で左停止ボタン10aを操作すると、その後の第二停止操作及び第三停止操作の順序に拘わらず、ベル小役だけが必ず入賞する。また同様に、図28に示した番号10~番号18が当選した場合には、第一停止で中停止ボタン10bが操作されたとき、又は、番号19~番号27が当選した場合には、第一停止で右停止ボタン10cが操作されたとき、ベル小役だけが必ず入賞する。即ち、停止ボタン部10の第一停止操作だけで、ベル小役の入賞又は非入賞が決まり、図柄の停止制御動作は同じなので説明を省略する。

20

【0382】

図34~図35は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0383】

図30で説明したとおり、乱数抽選により番号01(図28参照)が当選すると、FR2+FR5+FR9+FR13の条件装置が作動する。主制御部100は、この状態で遊技者が第一停止で中停止ボタン10bを操作すると、記憶する制御情報(左第一停止)と合致しない(押し順が「不正解」と判断し、同時当選しているFR5+FR9+FR13の何れかの図柄を最初に有効ライン上に引き込む一方、ベル図柄を有効ライン上から蹴飛ばすので、その後の第二停止操作及び第三停止操作をどの様に行っても、ベル小役を入賞させないように停止制御を行う。また、この場合において、主制御部100はベル小役をリーチ状態にすることもなく不成立とするが、この点は本発明の特許性を肯定する重要な構成要件である。

30

【0384】

図34(A)は、ドラム部2の全てのドラムが回転している状態を示している。この状態で、遊技者が第一停止で中停止ボタン10bを、No.7のプラム(白)が基準位置にある時に停止操作すると(中ドラム2bの下段位置にNo.7のプラム(白)が即止まり可能な状態。図34(B)参照)、主制御部100はFR5+FR9+FR13の中ドラム図柄である赤青白何れかのプラム図柄(図29(A)参照)を、中ドラム2bの上段位置に止まるように、3コマ滑らせる引込制御を行う(図34(C)参照)。なお、この場合、主制御部100はFR5の中ドラム図柄であるプラム(赤)を第2ライン上に停止させているが、プラム図柄を引き込むときに図柄データ「20H」のみを検索して、合致した図柄を所定位置に停止させ、時間的に余裕のある図柄の停止後に実際に停止したプラム図柄の色をRAM102に記憶する(中ドラム上段に赤色)。つまり、図29(B)で示したとおり、プラム図柄は図柄データ及び色データで構成されているが、第一停止制御中には色データ処理を省略し、図柄データのみを用いて何れかのプラム図柄を引き込んでおり、その分だけ停止位置を計算する時間を少なくできるので、ドラム停止時の図柄の位置

40

50

ズレを無くすことができる。

【0385】

また、ベル図柄は中ドラム2bの下段位置に停止しており、有効ラインから外れているので、その後の停止操作でベル小役が入賞する可能性は完全に無くなっている。この点（第一停止の押し順が不正解の場合に、第一小役であるベル小役の入賞可能性を無くす点）は、本発明の特許性を肯定する構成要件の一つである。

【0386】

図34(C)以外の停止態様として、中ドラム2bの上段位置に(1)No.7のプラム(白)が停止する場合(図35(A)参照)、(2)No.12のプラム(青)が停止する場合(図35(B)参照)、及び(3)No.17のプラム(青)が停止する場合(図35(C)参照)があるが、第一停止の押し順に不正解だと、図34(C)と同様に、この時点でベル小役の入賞可能性が無くなっている。

10

【0387】

図36は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0388】

図36(A)は、図34(C)と同じであり、中ドラム2bが停止してNo.2のプラム(赤)図柄が上段に表示された状態において、遊技者が第二停止で左停止ボタン10aを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.5のプラム(赤)図柄を左ドラム2aの上段に停止させる(図36(B)参照)。なお、左ドラム2a上の4つのプラム図柄は4コマ間隔で配置されているので、内部当選している3個のプラム小役図柄と無関係に、引込範囲にある何れかのプラム図柄を左ドラム2bの上段に停止させて、27種類あるプラム小役の何れかをリーチ状態にすることが可能である。この場合、主制御部100は赤青白何れかのプラム図柄を引き込むときに図柄データ「20H」のみを検索して、合致した図柄を所定位置に停止させ、時間的に余裕のある図柄の停止後に実際に停止したプラム図柄の色をRAM102に記憶する(左ドラム上段に赤色、中ドラム上段に赤色)。

20

【0389】

図36(B)の場合は、内部当選しているFR5のプラム(赤)図柄が左ドラム上段及び中ドラム上段に(第2ライン上に)停止しているので、FR5が入賞する可能性は残されている。しかし、図36(C)の場合も、RAM102に左ドラム上段に白色、中ドラム上段に赤色が停止していることを記憶しており、主制御部100は図26に示したFR23~FR25がリーチ状態になっていることを認識しているが、それらの条件装置が作動していないので、最終的にハズレになるように図柄の停止制御を行う。また、主制御部100は、図柄データのみを用いて何れかのプラム図柄を引き込んでおり、その分だけ停止位置の計算に要する時間を少なくできるので、ドラム停止時の図柄の位置ズレを無くすことができる。

30

【0390】

図37は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0391】

図37(A)は、図36(B)と同じであり、プラム(赤)図柄が左ドラム上段及び中ドラム上段に(第2ライン上に)停止しているので、内部当選しているFR5+FR9+FR13の内、FR5がリーチ状態となっており、第2ライン上にプラム(赤)図柄が揃って入賞する可能性がある。つまり、図37(A)に示す様に、主制御部100は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄(27種類あるプラム小役図柄)の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

40

【0392】

図37(A)の状態、最後に回転している右ドラム2cに対応する右停止ボタン10cが停止操作された場合、主制御部100は引き込み駒数以内(この場合、即止まり可能な右ドラム2cの上段位置を含めて5コマ以内)にあるプラム図柄がプラム(赤)図柄で

50

あれば、内部当選中の押し順規定小役の一つであるFR5に一致するので、プラム（赤）図柄を第2ライン上に停止させて入賞させる（図37（B）参照）。その一方、引き込み駒数以内にあるのがプラム（赤）図柄以外であれば、主制御部100は、リーチ状態となったFR5を入賞させないように右ドラム2cの停止制御を行う。例えば、No.10のプラム（白）図柄が右ドラム2cの上段に位置すれば、3コマ下に滑らせてNo.7のリプレイ図柄を右ドラム2cの上段に停止させる（図37（C）参照）。このプラム図柄、プラム図柄、リプレイ図柄は、小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレイ確率が1/7.3の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率（1/2）のRT1状態となる。

【0393】

図38は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0394】

図38（A）は、図36（C）と同じであり、第2ライン上である左ドラム上段にプラム（白）図柄、中ドラム上段にプラム（赤）図柄が停止しているので、内部当選しているFR5+FR9+FR13の何れもがリーチ状態となっておらず、第2ライン上にプラム図柄が揃って入賞する可能性はない。つまり、図38（A）に示す様に、主制御部100は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄（27種類あるプラム小役図柄）の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

【0395】

図38（A）の状態、最後に回転している右ドラム2cに対応する右停止ボタン10cが停止操作された場合、主制御部100は引き込み駒数以内（この場合、即止まり可能な右ドラム2cの上段位置を含めて5コマ以内）にあるプラム図柄が赤青白何れのプラム図柄であっても、内部当選中の押し順規定小役であるFR5+FR9+FR13に一致しないので、引き込み駒数以内にあるリプレイ図柄を右ドラム2cの上段に停止させるように右ドラム2cの停止制御を行う。例えば、No.10のプラム（白）図柄が右ドラム2cの上段1コマ上に位置すれば（図38（B）参照）、4コマ下に滑らせてNo.7のリプレイ図柄を右ドラム2cの上段に停止させる（図38（C）参照）。このプラム図柄、プラム図柄及びリプレイ図柄は、上述したとおり小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレイ確率が1/7.3の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率（1/2）のRT1状態となる。

【0396】

図39は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0397】

図39（A）は、図36（A）と同じであり、中ドラム2bが停止してNo.2のプラム（赤）図柄が上段に表示された状態において、遊技者が第二停止で右停止ボタン10cを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.5のプラム（赤）図柄を右ドラム2cの上段に停止させる（図39（B）参照）。なお、右ドラム2c上の4つのプラム図柄は4コマ間隔で配置されているので、内部当選している3個のプラム小役図柄と無関係に、引込範囲にある何れかのプラム図柄を右ドラム2cの上段に停止させて、27種類あるプラム小役の何れかをリーチ状態にすることが可能である。この場合、主制御部100は赤青白何れかのプラム図柄を引き込むときに図柄データ「20H」のみを検索して、合致した図柄を所定位置に停止させ、時間的に余裕のある図柄の停止後に実際に停止したプラム図柄の色をRAM102に記憶する（中ドラム上段に赤色、右ドラム上段に赤色）。

【0398】

図39（B）の場合は、内部当選しているFR5のプラム（赤）図柄が中ドラム上段及び右ドラム上段に（第2ライン上に）停止しているので、FR5が入賞する可能性は残されている。しかし、図39（C）の場合も、RAM102に中ドラム上段に赤色、右ドラム上段に白色が停止していることを記憶しており、主制御部100は図26に示したFR

10

20

30

40

50

7、FR16及びFR25がリーチ状態になっていることを認識しているが、それらの条件装置が作動していないので、最終的にハズレになる様に図柄の停止制御を行う。また、主制御部100は、図柄データのみを用いて何れかのプラム図柄を引き込んでおり、その分だけ停止位置の計算に要する時間を少なくできるので、ドラム停止時の図柄の位置ズレを無くすることができる。

【0399】

図40は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0400】

図40(A)は、図39(B)と同じであり、プラム(赤)図柄が中ドラム上段及び右ドラム上段に(第2ライン上に)停止しているので、内部当選しているFR5+FR9+FR13の内、FR5がリーチ状態となっており、第2ライン上にプラム(赤)図柄が揃って入賞する可能性がある。つまり、図40(A)に示す様に、主制御部100は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄(27種類あるプラム小役図柄)の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

10

【0401】

図40(A)の状態、最後に回転している左ドラム2aに対応する左停止ボタン10aが停止操作された場合、主制御部100は引き込み駒数以内(この場合、即止まり可能な左ドラム2aの上段位置を含めて5コマ以内)にあるプラム図柄がプラム(赤)図柄であれば、内部当選中の押し順規定小役の一つであるFR5に一致するので、プラム(赤)図柄を第2ライン上に停止させて入賞させる(図40(B)参照)。その一方、引き込み駒数以内にあるのがプラム(赤)図柄以外であれば、主制御部100は、リーチ状態となったFR5を入賞させないように左ドラム2aの停止制御を行う。例えば、No.15のプラム(白)図柄が左ドラム2aの上段に位置すれば、4コマ下に滑らせてNo.11のリプレイ図柄を左ドラム2aの上段に停止させる(図40(C)参照)。このリプレイ図柄、プラム図柄、プラム図柄は、小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレイ確率が1/7.3の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率(1/2)のRT1状態となる。

20

【0402】

図41は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

30

【0403】

図41(A)は、図39(C)と同じであり、第2ライン上である中ドラム上段にプラム(赤)図柄、右ドラム上段にプラム(白)図柄が停止しているので、内部当選しているFR5+FR9+FR13の何れもがリーチ状態となっておらず、第2ライン上にプラム図柄が揃って入賞する可能性はない。つまり、図41(A)に示す様に、主制御部100は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄(27種類あるプラム小役図柄)の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

40

【0404】

図41(A)の状態、最後に回転している左ドラム2aに対応する左停止ボタン10aが停止操作された場合、主制御部100は引き込み駒数以内(この場合、即止まり可能な左ドラム2aの上段位置を含めて5コマ以内)にあるプラム図柄が赤青白何れのプラム図柄であっても、内部当選中の押し順規定小役であるFR5+FR9+FR13に一致しないので、引き込み駒数以内にあるリプレイ図柄を左ドラム2aの上段に停止させるように左ドラム2aの停止制御を行う。例えば、No.15のプラム(白)図柄がドラム2cの上段に位置すれば(図41(B)参照)、4コマ下に滑らせてNo.11のリプレイ図柄をドラム2cの上段に停止させる(図41(C)参照)。このリプレイ図柄、プラム図柄、プラム図柄は、上述したとおり小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレ

50

イ確率が $1/7.3$ の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率 ($1/2$) の RT1 状態となる。

【0405】

図42～図43は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0406】

図30で説明したとおり、乱数抽選により番号01(図28参照)が当選すると、FR2 + FR5 + FR9 + FR13の条件装置が作動する。主制御部100は、この状態で遊技者が第一停止で右停止ボタン10cを操作すると、記憶する制御情報(左第一停止)と合致しない(押し順が「不正解」と判断し、同時当選しているFR5 + FR9 + FR13の何れかの図柄を最初に有効ライン上に引き込む一方、ベル図柄を有効ライン上から蹴飛ばすので、その後の第二停止操作及び第三停止操作をどの様に行っても、ベル小役を入賞させないように停止制御を行う。また、この場合において、主制御部100はベル小役をリーチ状態にすることもなく不成立とするが、この点は本発明の特許性を肯定する重要な構成要件である。

【0407】

図24(A)は、ドラム部2の全てのドラムが回転している状態を示している。この状態で、遊技者が第一停止で右停止ボタン10cを、No.9の黒バーが基準位置にある時に停止操作すると(右ドラム2cの下段位置にNo.9の黒バーが即止まり可能な状態。図42(B)参照)、主制御部100はFR5 + FR9 + FR13の右ドラム図柄である赤青白何れかのプラム図柄(図29(A)参照)を、右ドラム2cの中段位置に止まるように3コマ滑らせる引込制御を行う(図42(C)参照)。なお、この場合、主制御部100はFR5の右ドラム図柄であるプラム(赤)を第1ライン上に停止させているが、プラム図柄を引き込むときに図柄データ「20H」のみを検索して、合致した図柄を所定位置に停止させ、時間的に余裕のある図柄の停止後に実際に停止したプラム図柄の色をRAM102に記憶する(右ドラム中段に赤色)。つまり、図29(B)で示したとおり、プラム図柄は図柄データ及び色データで構成されているが、第一停止制御中には色データ処理を省略し、図柄データのみを用いて何れかのプラム図柄を引き込んでおり、その分だけ停止位置を計算する時間を少なくできるので、ドラム停止時の図柄の位置ズレを無くすることができる。

【0408】

また、ベル図柄は右ドラム2cの下段位置に停止しており、有効ラインから外れているので、その後の停止操作でベル小役が入賞する可能性は完全に無くなっている。この点(第一停止の押し順が不正解の場合に、第一小役であるベル小役の入賞可能性を無くす点)は、本発明の特許性を肯定する構成要件の一つである。

【0409】

図42(C)以外の停止態様として、右ドラム2cの中段位置に(1)No.10のプラム(白)が停止する場合(図43(A)参照)、(2)No.15のプラム(青)が停止する場合(図43(B)参照)及び(3)No.20のプラム(青)が停止する場合(図43(C)参照)があるが、第一停止の押し順に不正解だと、図42(C)と同様に、この時点でベル小役の入賞可能性が無くなっている。

【0410】

図44は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0411】

図44(A)は、図42(C)と同じであり、右ドラム2cが停止してNo.5のプラム(赤)図柄が中段に表示された状態において、遊技者が第二停止で左停止ボタン10aを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.5のプラム(赤)図柄を左ドラム2aの中段に停止させる(図44(B)参照)。なお、左ドラム2a上の4つのプラム図柄は4コマ間隔で配置されているので、内部当選している3個のプラム小役図柄と無関係に、引込範囲にある何れかのプラム図柄を左ドラム2bの中段に停止させて、27種類あるプラム小役の何れかをリーチ状態にすることが可能である。この場合、主制御部100は赤

10

20

30

40

50

青白何れかのプラム図柄を引き込むときに図柄データ「20H」のみを検索して、合致した図柄を所定位置に停止させ、時間的に余裕のある図柄の停止後に実際に停止したプラム図柄の色をRAM102に記憶する（左ドラム中段に赤色、右ドラム中段に赤色）。

【0412】

図44(B)の場合は、内部当選しているFR5のプラム(赤)図柄が左ドラム中段及び右ドラム中段に(第1ライン上に)停止しているので、FR5が入賞する可能性は残されている。しかし、図44(C)の場合も、RAM102に左ドラム中段に白色、右ドラム中段に赤色が停止していることを記憶しており、主制御部100は図26に示したFR23、FR26及びFR29がリーチ状態になっていることを認識しているが、それらの条件装置が作動していないので、最終的にハズレになるように図柄の停止制御を行う。また、主制御部100は、図柄データのみを用いて何れかのプラム図柄を引き込んでおり、その分だけ停止位置の計算に要する時間を少なくできるので、ドラム停止時の図柄の位置ズレを無くすることができる。

10

【0413】

図45は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0414】

図45(A)は、図44(B)と同じであり、プラム(赤)図柄が左ドラム中段及び右ドラム中段に(第1ライン上に)停止しているので、内部当選しているFR5+FR9+FR13の内、FR5がリーチ状態となっており、第1ライン上にプラム(赤)図柄が揃って入賞する可能性がある。つまり、図45(A)に示す様に、主制御部100は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄(27種類あるプラム小役図柄)の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

20

【0415】

図45(A)の状態、最後に回転している中ドラム2bに対応する中停止ボタン10bが停止操作された場合、主制御部100は引き込み駒数以内(この場合、即止まり可能な中ドラム2bの中段位置を含めて5コマ以内)にあるプラム図柄がプラム(赤)図柄であれば、内部当選中の押し順規定小役の一つであるFR5に一致するので、プラム(赤)図柄を第1ライン上に停止させて入賞させる(図45(B)参照)。その一方、引き込み駒数以内にあるのがプラム(赤)図柄以外であれば、主制御部100は、リーチ状態となったFR5を入賞させないように中ドラム2bの停止制御を行う。例えば、No.7のプラム(白)図柄が中ドラム2bの中段に位置すれば、2コマ下に滑らせてNo.5のリプレイ図柄を中ドラム2bの中段に停止させる(図42(C)参照)。このプラム図柄、リプレイ図柄、プラム図柄は、小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレイ確率が1/7.3の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率(1/2)のRT1状態となる。

30

【0416】

図46は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0417】

図46(A)は、図44(C)と同じであり、第1ライン上である左ドラム中段にプラム(白)図柄、右ドラム中段にプラム(赤)図柄が停止しているので、内部当選しているFR5+FR9+FR13の何れもがリーチ状態となっておらず、第1ライン上にプラム図柄が揃って入賞する可能性はない。つまり、図46(A)に示す様に、主制御部100は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄(27種類あるプラム小役図柄)の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

40

【0418】

図46(A)の状態、最後に回転している中ドラム2bに対応する中停止ボタン10

50

bが停止操作された場合、主制御部100は引き込み駒数以内（この場合、即止まり可能な中ドラム2bの中段位置を含めて5コマ以内）にあるプラム図柄が赤青白何れのプラム図柄であっても、内部当選中の押し順規定小役であるFR5+FR9+FR13に一致しないので、引き込み駒数以内にあるリプレイ図柄を中ドラム2bの中上段に停止させるように中ドラム2bの停止制御を行う。例えば、No.7のプラム（白）図柄が中ドラム2bの上段1コマ上に位置すれば（図46（B）参照）、4コマ下に滑らせてNo.5のリプレイ図柄を中ドラム2bの中段に停止させる（図46（C）参照）。このプラム図柄、リプレイ図柄及びプラム図柄は、上述したとおり小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレイ確率が1/7.3の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率（1/2）のRT1状態となる。

10

【0419】

図47は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0420】

図47（A）は、図44（A）と同じであり、右ドラム2cが停止してNo.5のプラム（赤）図柄が中段に表示された状態において、遊技者が第二停止で中停止ボタン10bを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.2のプラム（赤）図柄を中ドラム2bの中段に停止させる（図47（B）参照）。なお、中ドラム2b上の4つのプラム図柄は4コマ間隔で配置されているので、内部当選している3個のプラム小役図柄と無関係に、引込範囲にある何れかのプラム図柄を中ドラム2bの中段に停止させて、27種類あるプラム小役の何れかをリーチ状態にすることが可能である。この場合、主制御部100は赤青白何れかのプラム図柄を引き込むときに図柄データ「20H」のみを検索して、合致した図柄を所定位置に停止させ、時間的に余裕のある図柄の停止後に実際に停止したプラム図柄の色をRAM102に記憶する（中ドラム中段に赤色、右ドラム中段に赤色）。

20

【0421】

図47（B）の場合は、内部当選しているFR5のプラム（赤）図柄が中ドラム中段及び中ドラム中段に（第1ライン上に）停止しているので、FR5が入賞する可能性は残されている。しかし、図47（C）の場合も、RAM102に中ドラム中段に白色、右ドラム中段に赤色が停止していることを記憶しており、主制御部100は図26に示したFR11、FR20及びFR29がリーチ状態になっていることを認識しているが、それらの条件装置が作動していないので、最終的にハズレになるように図柄の停止制御を行う。また、主制御部100は、図柄データのみを用いて何れかのプラム図柄を引き込んでおり、その分だけ停止位置の計算に要する時間を少なくできるので、ドラム停止時の図柄の位置ズレを無くすることができる。

30

【0422】

図48は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0423】

図48（A）は、図47（B）と同じであり、プラム（赤）図柄が中ドラム中段及び右ドラム中段に（第1ライン上に）停止しているので、内部当選しているFR5+FR9+FR13の内、FR5がリーチ状態となっており、第1ライン上にプラム（赤）図柄が揃って入賞する可能性がある。つまり、図48（A）に示す様に、主制御部100は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄（27種類あるプラム小役図柄）の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

40

【0424】

図48（A）の状態、最後に回転している左ドラム2aに対応する左停止ボタン10aが停止操作された場合、主制御部100は引き込み駒数以内（この場合、即止まり可能な左ドラム2aの中段位置を含めて5コマ以内）にあるプラム図柄がプラム（赤）図柄であれば、内部当選中の押し順規定小役の一つであるFR5に一致するので、プラム（赤）図柄を第1ライン上に停止させて入賞させる（図48（B）参照）。その一方、引き込み

50

駒数以内にあるのがプラム（赤）図柄以外であれば、主制御部 100 は、リーチ状態となった FR5 を入賞させないように左ドラム 2 a の停止制御を行う。例えば、No. 15 のプラム（白）図柄が左ドラム 2 a の中段に位置すれば、4 コマ下に滑らせて No. 11 のリプレイ図柄を左ドラム 2 a の中段に停止させる（図 48（C）参照）。このリプレイ図柄、プラム図柄、プラム図柄は、小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレイ確率が 1 / 7 . 3 の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率（1 / 2）の RT1 状態となる。

【0425】

図 49 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0426】

図 49（A）は、図 47（C）と同じであり、第 1 ライン上である中ドラム中段にプラム（白）図柄、右ドラム中段にプラム（赤）図柄が停止しているため、内部当選している FR5 + FR9 + FR13 の何れもがリーチ状態となっておらず、第 1 ライン上にプラム図柄が揃って入賞する可能性はない。つまり、図 49（A）に示す様に、主制御部 100 は押し順が不正解であれば、ベル小役をリーチ状態とすることなく、全ての押し順規定小役図柄（27 種類あるプラム小役図柄）の何れか一つを停止させてリーチ状態とするのである。この場合、プラム小役が内部当選しているか否かは判断しないので、処理時間が短くなり図柄停止制御を素早く行うことが可能となる。

【0427】

図 49（A）の状態、最後に回転している左ドラム 2 a に対応する左停止ボタン 10 a が停止操作された場合、主制御部 100 は引き込み駒数以内（この場合、即止まり可能な左ドラム 2 a の中段位置を含めて 5 コマ以内）にあるプラム図柄が赤青白何れのプラム図柄であっても、内部当選中の押し順規定小役である FR5 + FR9 + FR13 に一致しないので、引き込み駒数以内にあるリプレイ図柄を左ドラム 2 a の中段に停止させるように左ドラム 2 a の停止制御を行う。例えば、No. 15 のプラム（白）図柄がドラム 2 c の中段に位置すれば（図 49（B）参照）、4 コマ下に滑らせて No. 11 のリプレイ図柄をドラム 2 c の中段に停止させる（図 49（C）参照）。このリプレイ図柄、プラム図柄、プラム図柄は、上述したとおり小役取りこぼし目と呼ばれる特殊図柄であり、リプレイ確率が 1 / 7 . 3 の初期状態において特殊図柄が有効ライン上に表示されると、所定ゲーム数間だけリプレイ確率が高確率（1 / 2）の RT1 状態となる。

【0428】

なお、上記では番号 01 が当選し、押し順が不正解してベル小役が入賞しない場合を説明したが、図 28 に示した番号 02 ~ 番号 09 が当選した場合も、遊技者が第一停止で左停止ボタン 10 a 以外を操作すると、その後の第二停止操作及び第三停止操作の順序に拘わらず、ベル小役は入賞することはない。また同様に、図 28 に示した番号 10 ~ 番号 18 が当選した場合には、第一停止で中停止ボタン 10 b 以外が操作されたとき、又は、番号 19 ~ 番号 27 が当選した場合には、第一停止で右停止ボタン 10 c 以外が操作されたとき、ベル小役は入賞することはない。即ち、停止ボタン部 10 の第一停止操作だけで、ベル小役の入賞又は非入賞が決まり、プラム小役の入賞又は小役取りこぼし目に関する図柄の停止制御動作は同じなので説明を省略する。

【0429】

図 50 は、図柄停止処理サブルーチンを示すフローチャートである。実線は主制御部 100 が実行し、破線は副制御部 160 が実行する処理を示している。

【0430】

主制御部 100 は、図 22 のステップ S170 のゲームメイン処理において、遊技者のスタートレバー 9 の操作（スタート信号の受信タイミング）に伴って乱数抽選を実行し、このサブルーチンを呼び出した後、ドラム部 2 を回転させることにより図柄変動表示ゲームを開始する。

【0431】

主制御部 100 は、ステップ S200 で告知信号（コマンドやデータ等）を出力し、抽

10

20

30

40

50

選結果や内部状態（ボーナスフラグ、RT状態、ボーナス後の消化ゲーム数等）を副制御部160に通知して、ステップS210へ移行する。

【0432】

副制御部160は、告知信号を受信すると、ステップSS100でコマンドやデータ等により、押し順小役（図28に示した条件装置の組合せ番号01～番号27）の何れかが当選したか否かを確認し、当選していなければ終了する一方、当選していればステップSS110へ移行する。

【0433】

副制御部160は、ステップSS110でATストックの有無を確認し、ATストックが無ければ終了する一方、ATストックがあればステップSS120へ移行する。

10

【0434】

副制御部160は、ステップSS120でATストックを放出（AT機能を発動）させる条件が成立しているか否かを確認し、成立していなければ終了する一方、成立していればステップSS130へ移行する。

【0435】

副制御部160は、ステップSS130でAT機能を発動し、停止ボタン操作の押し順を告知して、この処理を終了する。具体的にこのAT機能は、男性の声で「左だ」、「中だ」、「右だ」や女性の声で「左よ」、「中よ」、「右よ」との音声と共に、表示演出装置11に映像で表示する。

【0436】

20

主制御部100は、ステップS210へ移行すると、内部当選している押し順小役（番号01～番号27）によって決まる押し順で停止操作されることにより、押し順が正解と判断すると、ステップS220でベル小役を入賞させて終了する一方、押し順が不正解であればステップS230へ移行する。

【0437】

主制御部100は、ステップS230へ移行すると、ドラム部2の二つが停止した時点で27種類あるプラム小役の何れか一つをリーチ状態にし、ステップS240でドラム部2の最終停止操作時点でリーチ状態となったプラム小役が入賞可能か判断し、入賞可能であればステップS250でプラム小役を入賞させて終了する一方、入賞不可であればステップS260で特殊図柄（取りこぼし目）を表示し、高確率再遊技状態であるRT1状態にして終了する。

30

【0438】

図51は、表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。

【0439】

副制御部160は、遊技状態に応じて、表示演出装置11に表示する演出映像を切り替えて表示する。図51(A)は昼ステージ画面であり、ATの当選確率が低い状態で用いられる。図51(B)は夜ステージ画面であり、主にボーナスの内部当選中やATの当選確率が高い状態で用いられるので、この画面が表示されると、遊技者はボーナスやAT放出の期待感で気持ちが高揚する。副制御部160は、中段チェリー（業界では「単チェ」と呼ばれている）、スイカや単独当選して押し順とは無関係に揃う強ベル等のレア小役が当選し、その後の移行抽選で更に当選すると、昼の通常画面から夜の画面に切り替える。一方、リプレイが当選するたびに所定の確率で転落抽選が行われるので、一般遊技中は昼の通常画面と夜の画面が所定の頻度で交互に表示される。一般に、これらの表示画面は、遊技者に正しいモード示唆を行う為に、ボーナス内部当選中、低確率状態や高確率状態などの滞在モードに応じて、時刻や天候等が変更されるが、ガセ演出も適宜行うことによって遊技者の期待感を更に煽ることができる。

40

【0440】

図51(C)は夜のカミナリ画面であり、夜ステージ画面から遊技者がスタートレバーを操作して変動表示ゲームを開始すると、副制御部160は、レア小役が当選した場合など所定条件が成立する度にアシスト抽選（AT抽選）を行う。副制御部160は、AT抽

50

選を行うと、その旨を遊技者に伝える為、雷鳴と共に夜ステージ画面にカミナリを落とす演出を行う。また、ボーナスやA Tを放出する前兆演出として、夜のカミナリ画面が用いられる。特に、ボーナスが当選した場合には、昼ステージ画面から夜ステージ画面に急激に変化させて、少なくとも2度の雷連続演出を行ってボーナス確定を示唆する。また、昼ステージ画面から3度連続して雷演出を行った場合には、ボーナス確定とA T抽選に当選したことを示唆する。従って、雷鳴とカミナリを適度に発生させることで、遊技者の期待感を煽ることができる。

【0441】

上述したA T抽選は、ナビ抽選(「ナビゲーション抽選」の省略名称)とも呼ばれており、A T機能が発動すると、押し順小役を入賞又は転落リプレイを回避させる為に、副制御部160は停止ボタン部10の操作順序を告知する。また、A T抽選で当選すると、A T機能を即座に発動するのではなく、A Tストック(貯蔵又は蓄え)として加算して記憶しておき、所望のタイミングで一気に放出することにより、大量のメダルを遊技者に獲得させることが可能である。例えば、当選確率が非常に低い赤7揃いのプレミアムボーナスが当選した後のR T状態(高確率再遊技状態)で、50ゲーム1セットのA Tストックを全て放出し、更にA R T中にA T抽選を行えば、R Tにより持ち玉を減らすことなく、延々にA R Tが継続するので出玉の塊を作り出すことができる。

【0442】

図52は、表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。

【0443】

副制御部160は、ボーナス当選を告知する場合、図51(C)のカミナリ演出を行った次の変動表示ゲームで、再び夜のステージ画面を表示し(図52(A)参照)、停止ボタン部10の操作に応じて、プレートを持った2匹のコウモリが遠くから近付いて、徐々に「B O N U S」文字が認知できるように表示し(図52(B)参照)、最後に飛び去るコウモリ告知演出を行う。

【0444】

また、夜のステージ画面を表示している状態から、表示画面を右にスクロールして、墓地在拡大されてキャラクターの執事が「オリャー」という叫び声と「ティロロロローン」という効果音と共に、掘り起こされた画面中央の墓穴から主人公のキャラクターを登場させることにより、遊技者にとって激アツなプレミアム演出としてもよい(図52(C)参照)。

【0445】

図53は、表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。

【0446】

副制御部160は、A T放出を告知する場合、ボーナス告知と同様にカミナリ演出を行った次の変動表示ゲームで、再び夜のステージ画面を表示し(図53(A)参照)、停止ボタン部10の操作に応じて、プレートを持った2匹のコウモリが遠くから近付いて、徐々にアシスト機能の発動を意味する「A R T S T A R T」の文字が認知できるように表示し(図53(B)参照)、最後に飛び去るコウモリ告知演出を行う。

【0447】

また、夜のステージ画面を表示している状態から、表示画面を右にスクロールして、墓地在拡大されてキャラクターの執事が「オリャー」という叫び声と「ティロロロローン」という効果音と共に、画面中央の墓穴から「A R T S T A R T」が書かれたプレートを掘り起こすことにより、遊技者にとって激アツなプレミアム演出としてもよい(図53(C)参照)。

【0448】

図54~図55は、表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。

【0449】

副制御部160は、上述したとおり、1セットで50ゲーム続くA R T機能を発動させると、表示演出装置11の右上に残りゲーム数と純増メダル数を意味する獲得枚数を表示する。なお、一般にA T機能はR T状態で発動させるので、A R T機能を例にして説明す

10

20

30

40

50

る。

【0450】

副制御部160は、1ゲーム目が開始すると、残りゲーム数を49及び純増メダル数を0と表示し、その時に押し順ベルが当選すると、ベル小役を入賞させるのに必要な停止ボタン部10の押し順を数字の1～3で表示する。この場合、第一停止操作を意味する数字の1を大きな円の中に表示すると共に、ドラキュラや主人公の声で「ナカ」と発音する(図54(A)参照)。なお、操作を誤るとRTがパンクする押し順リプレイが当選した場合も、同様の表示と音声で遊技者にアシストするようになっている。

【0451】

副制御部160は、遊技者が中停止ボタン10bを正しく操作すると、中央の大きな円の文字をOKに変えて小さな円にすると共に、第二停止操作を意味する数字の2を大きな円に拡大して表示する(図54(B)参照)。

【0452】

副制御部160は、遊技者が右停止ボタン10cを正しく操作すると、右側の大きな円の文字をOKに変えて小さな円にすると共に、第三停止操作を意味する数字の3を大きな円に拡大して表示する(図54(C)参照)。なお、上述したとおり、押し順ベルは第一停止操作が正解するだけで入賞するが、第二及び第三停止操作を表示しないと遊技者が混乱するので、それを避けるために表示しているのである。ただし、第二及び第三停止操作順序を間違えた場合、ベル小役は入賞するものの、次回の変動表示ゲームでアシスト抽選を行わないようにしても良い。

【0453】

副制御部160は、遊技者が左停止ボタン10aを最後に操作すると、左側の大きな円の文字をOKに変えて小さな円にする(図55(A)参照)。そして、ベル小役入賞を意味する「GET」を表示して、メダルを15枚払い出すのと連動して獲得枚数を0～15枚に加算表示する(図55(B)参照)。

A R T実施例2：

図56は、ドラムの図柄配置表である。

【0454】

左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cのそれぞれには、左ドラム図柄、中ドラム図柄及び右ドラム図柄が描かれた回胴帯(図示せず)が、各ドラムの外周部において一周するように張り付けられている。

【0455】

各回胴帯には、それぞれ異なった並びの図柄が21個描かれており、ボーナスが作動する図柄の「赤7」、「青7」、「黒バー」、各種小役図柄群の「ベル」、「チェリー」、「プラム(赤)」、「プラム(青)」、「プラム(白)」及び再遊技が作動するリプレイと青リプレイが描かれている。

【0456】

図57は、図柄の組合せ表示判定図である。

【0457】

主制御部100は、ドラムが3個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた窓部3の有効ライン上で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【0458】

図57(B)は、遊技メダルを規定数3枚投入(一般遊技3枚専用)した場合の有効ラインであり、左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cの順に、第1ライン(上段、中段、下段：右下り)、第2ライン(下段、中段、上段：右上り)、第3ライン(上段、中段、上段：V字)及び第4ライン(下段、中段、下段：逆V字)の4つが有効となる。なお、ボーナスゲーム(役物作動時)において、遊技メダルの規定数は2枚となるが、有効ラインは第1ライン～第4ラインで同じである。

【0459】

図58は、役物未作動時(通常遊技中、規定数3枚)の配当表である。

【 0 4 6 0 】

主制御部 1 0 0 は、ドラムが 3 個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた有効ライン上（図 5 7 参照）で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。この場合、投入枚数に拘わらず同じである。

【 0 4 6 1 】

（ 1 ）第一ボーナス（ B B 1 ）：左ドラム 2 a に（赤 7 ）、中ドラム 2 b に（赤 7 ）、右ドラム 2 c に（赤 7 ）が、4 つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は 0 枚でその後に第一ボーナスゲームが付与される。この第一ボーナスは、例えば当選確率が $1 / 4 0 0$ で、第一ボーナスゲームの規定投入枚数が 2 枚、払出し枚数が 3 6 0 枚を超えた時点で終了する。抽選で第一ボーナスが内部当選し、第一ボーナスフラグが立つことにより、第一ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第一ボーナスのみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ばれる 4 枚チェリー（ F R 1 1 ）、強プラムや R T 開始リプレイ（再遊技 2 ）等と同時に当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。強プラムと通常プラムは、共にプラム図柄が有効ライン上に揃った場合に入賞となるので、それらの区別がつかないが、強プラムは入賞と同時にラインランプが高速で点滅するので、遊技者は認識可能となる。リプレイ役の当選確率が R T 1（第一確率）の状態、この第一ボーナスが内部当選すると、次のゲームからリプレイ役の当選確率が R T 2（リプレイ役の当選確率が第一確率よりもボーナス役で決まる第二確率）となって役の抽選を行う（つまり、リプレイ役の当選確率の変動契機）。なお、R T 1 の状態で、後述する再遊技 2（リプレイ、リプレイ、青リプレイ）が作動すると R T 2 となるが、第一ボーナスが内部当選後の R T 2 と全く同じであってもよいが、一般にはこれらの R T 2 とは多少異なっており、ほぼ同じ程度の R T 確率を意味しているに過ぎない。例えば、再遊技 2 後の R T 2 では当選しない特殊リプレイを、第一ボーナス後の R T 2 でのみ当選させるようにすれば、上級者や知ってプレーヤのみに判別できるので、ゲーム性が向上する。

【 0 4 6 2 】

（ 2 ）第二ボーナス（ B B 2 ）：左ドラム 2 a に（青 7 ）、中ドラム 2 b に（青 7 ）、右ドラム 2 c に（青 7 ）が、4 つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は 0 枚でその後に第二ボーナスゲームが付与される。この第二ボーナスは、例えば当選確率が $1 / 4 0 0$ で、第二ボーナスゲームの規定投入枚数が 2 枚、払出し枚数が 3 6 0 枚を超えた時点で終了する。抽選で第二ボーナスが内部当選し、第二ボーナスフラグが立つことにより、第二ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第二ボーナスのみが単独当選することは稀であり、第一ボーナスと同様にレア小役と同時当選する。リプレイ役の当選確率が R T 1（第一確率）の状態、この第二ボーナスが内部当選しても、リプレイ役の当選確率は変動せず R T 1 の状態を保つ。これにより、リプレイ役の当選確率が R T 1 のままでもボーナス役が当選する場合が生じるので、リプレイ確率が低い状態で激アツな連続演出を行っても遊技者に期待感を持たせ続けることができる。

【 0 4 6 3 】

（ 3 ）第三ボーナス（ B B 3 ）：左ドラム 2 a に（青 7 ）、中ドラム 2 b に（青 7 ）、右ドラム 2 c に（赤 7 ）が、4 つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は 0 枚でその後に第三ボーナスゲームが付与される。この第三ボーナスは、例えば当選確率が $1 / 4 0 0$ で、第三ボーナスゲームの規定投入枚数が 2 枚、払出し枚数が 2 6 0 枚を超えた時点で終了する。抽選で第三ボーナスが内部当選し、第三ボーナスフラグが立つことにより、第三ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第三ボーナスのみが単独当選することは稀であり、第一ボーナスと同様にレア小役と同時当選する。第一ボーナスと同様に、リプレイ役の当選確率が R T 1（第一確率）の状態、この第三ボーナスが内部当選すると、次のゲームからリプレイ役の当選確率が R T 2 となる。

【 0 4 6 4 】

（ 4 ）第四ボーナス（ B B 4 ）：左ドラム 2 a に（赤 7 ）、中ドラム 2 b に（赤 7 ）、右ドラム 2 c に（青 7 ）が、4 つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数

は0枚でその後に第四ボーナスゲームが付与される。この第四ボーナスは、例えば当選確率が1/400で、第四ボーナスゲームの規定投入枚数が2枚、払出し枚数が260枚を超えた時点で終了する。抽選で第四ボーナスが内部当選し、第四ボーナスフラグが立つことにより、第四ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第四ボーナスのみが単独当選することは稀であり、第一ボーナスと同様にレア小役と同時当選する。第二ボーナスと同様に、この第四ボーナスが内部当選しても、リプレイ役の当選確率は変動せずRT1の状態を保つ。

【0465】

(5) 第五ボーナス(RB1)：左ドラム2aに(赤7)、中ドラム2bに(赤7)、右ドラム2cに(黒バー)が、4つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後に第五ボーナスゲームが付与される。この第五ボーナスは、例えば当選確率が1/200で、第五ボーナスゲームの規定投入枚数が2枚、3回入賞又は8ゲーム作動すると終了する。抽選で第五ボーナスが内部当選し、第五ボーナスフラグが立つことにより、第五ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第五ボーナスのみが単独当選することは稀であり、第一ボーナスと同様にレア小役と同時当選する。また、第一ボーナスと同様に、リプレイ役の当選確率がRT1(第一確率)の状態、この第五ボーナスが内部当選すると、次のゲームからリプレイ役の当選確率がRT2となる。

【0466】

(6) 第六ボーナス(RB2)：左ドラム2aに(青7)、中ドラム2bに(青7)、右ドラム2cに(黒バー)が、4つの有効ライン上の何れかに揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後に第六ボーナスゲームが付与される。この第六ボーナスは、例えば当選確率が1/200で、第六ボーナスゲームの規定投入枚数が2枚、3回入賞又は8ゲーム作動すると終了する。抽選で第六ボーナスが内部当選し、第六ボーナスフラグが立つことにより、第六ボーナスが成立可能な状態となる。なお、第六ボーナスのみが単独当選することは稀であり、第一ボーナスと同様にレア小役と同時当選する。また、第二ボーナスと同様に、この第六ボーナスが内部当選しても、リプレイ役の当選確率は変動せずRT1の状態を保つ。

【0467】

つまり、リプレイ役の当選確率の変動契機か否かでボーナスグループを分けると、第一ボーナス(BB1)、第三ボーナス(BB3)及び第五ボーナス(RB1)が変動契機となるボーナスグループAであり、第二ボーナス(BB2)、第四ボーナス(BB4)及び第六ボーナス(RB2)が変動契機ではないボーナスグループB(非変動契機)となる。なお、ボーナスグループBが後述する再遊技2と同時に当選しても、リプレイ確率は変動しない。

【0468】

(7) ベル(FR1)：ベル図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は15枚となる。抽選でベルが内部当選すると、FR1(フルーツ1)の条件装置1個が作動する。FR1は、単独で内部当選すると、停止ボタン部10の停止操作順序に拘わらず、何れか一つの有効ライン上にベル図柄が停止して必ず入賞する。なお、後述するように、押し順制御用の複数一部のプラム小役(複数個の押し順規定小役中の複数一部)とベル小役が同時当選すると、内部当選している複数一部の押し順規定小役に従った第一小役引込押し順で停止ボタン部10が停止操作された場合には、ベル小役が入賞する一方、内部当選しているプラム小役の何れも入賞しない。また、第一小役引込押し順で停止操作されなかった場合(つまり、第一小役引込押し順と異なる第一小役蹴飛押し順で停止操作された場合)には、ベル小役は一切入賞しない。しかし、低確率で内部当選中のプラム小役の何れか一つが入賞するが、殆どの場合、内部当選しているベル小役や複数一部のプラム小役を取りこぼしたときに表示される所定図柄である小役コボシ目図柄(RT開始目1~RT開始目3)が有効ライン上に停止して、獲得メダルは0枚でボーナス後の初期状態であるRT一般中からRT1へリプレイ確率が移行する。なお、RT一般中とRT1は、リプレイ確率が約1/7.3程度の低確率状態であり、全く同じ確率であっても異なってい

10

20

30

40

50

ても然程変わらないが、RT一般中には再遊技2と再遊技4を抽選せず、RT1で初めて再遊技2を抽選する点が大きく異なっている。他方、RT一般中に再遊技2と再遊技4を抽選したとしても、再遊技2と再遊技4の何れも揃わないようにすれば、結果的に抽選しないのと同じことになるので、この様にしても良い。

【0469】

(8)押し順規定小役(FR2~FR28:合計27個):左ドラム2aに(プラム(赤)、プラム(青)、プラム(白))の何れか、中ドラム2bに(プラム(赤)、プラム(青)、プラム(白))の何れか、右ドラム2cに(プラム(赤)、プラム(青)、プラム(白))の何れかが有効ライン上に停止すると、獲得枚数は2枚となる。この押し順規定小役は合計27個(複数個)存在するが、その中の6個(複数一部)がベルと同時に内部当選するようになっており、同時当選中の押し順規定小役で一義的に決まる押し順で停止操作されるとベル小役が入賞する。一方、第一小役蹴飛押し順で停止操作された場合には、ベル小役は一切入賞せずに、プラム小役の何れか一つが入賞するか又は小役コボシ目図柄が有効ライン上に表示される。

10

【0470】

(9)4枚チェリー(FR29):チェリー図柄が中ドラム2bの有効ライン上に停止した場合の役名であり、獲得枚数は1ラインで1枚であるが、4本の有効ラインが通っているので合計4枚となる。抽選でチェリーが内部当選すると、FR29の条件装置1個が作動し、それを契機に遊技機内部でアシストストック抽選(ATストック抽選:0~255回の範囲)が行われる。この4枚チェリーは単図柄小役であり、左ドラム2a及び右ドラム2cにどのような図柄が停止しても、入賞には無関係である。なお、4枚チェリーは、内部的にボーナスとの同時当選やATストック当選率が中程度の弱4枚チェリー(2連チェリー)と、との同時当選やATストックが当り易い強4枚チェリー(3連チェリー)に分かれており、その比率は3:1となっている。

20

【0471】

(10)1枚チェリー(FR30):チェリー図柄又は黒バー図柄が左ドラム2aの有効ライン上に停止した場合の役名であり、獲得枚数は1枚である。抽選でチェリーが内部当選すると、FR30の条件装置1個が作動し、それを契機に遊技機内部でアシストストック抽選(ATストック抽選:0~16回の範囲)が行われるが、ATストックの当選確率は1%程度とかなり低く、またボーナスとの同時当選確率は0.5%と極低の設定となっている。チェリー図柄が左ドラム2aの下段に停止すると、遊技者は強4枚チェリーか否かを確認するために、中ドラム2bにチェリー図柄を狙い、2連チェリーとなった後に右ドラム2cにチェリー図柄を狙って3連チェリーを目押しする。これにより、遊技者の期待感を煽ることができる。

30

【0472】

(11)ボーナス確定役(FR31):左ドラム2aに(青7)、中ドラム2bに(赤7)、右ドラム2cに(黒バー)が有効ライン上に停止すると、獲得枚数は1枚でボーナス確定となるので、遊技者は激アツな気分になる。なお、このボーナス確定役は、リールの停止制御を変えるために設けられてもいる。

【0473】

40

(12)リプレイ1(再遊技1):3つのリプレイ図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアにRP1・フラグを立て、これが単独当選した場合には再遊技1が必ず作動する。遊技者のスタートレバー9の操作により、次のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、後述する他のリプレイ2~リプレイ4の何れかと同時当選すると、押し順によって何れかのリプレイ図柄が表示されて作動するが、RTの変動契機とはならない。

【0474】

(13)リプレイ2(再遊技2):左ドラム2aに(リプレイ)、中ドラム2bに(リプレイ)、右ドラム2cに(青リプレイ)が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアにRP2・フラグを立て、単独当選した場

50

合には再遊技 2 が必ず作動する。遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次回のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、R T 1 状態（リプレイ確率約 1 / 7 . 3 の通常遊技状態）でリプレイ 2 が有効ライン上に揃って表示されると、リプレイ確率が約 1 / 1 . 5 ~ 1 / 2 程度に上昇した R T 2 状態に移行する。リプレイ 1、リプレイ 2 及び後述するリプレイ 3 ~ リプレイ 5 を重複当選させることにより、5 択の押し順リプレイとすることができ、押し順が正解するとリプレイ 2 又はリプレイ 4 が作動して、遊技者に有利な R T 2 状態になる。また、アシストストックやアシスト抽選で当選するとアシスト機能が発動するので、効率よくメダルを獲得できる。なお、この R T 2 状態は無限（終りが定まっていない）であるが、後述する R T 変動契機となる複数の小役コボシ目図柄の何れか一つが有効ライン上に停止すると、R T 1 状態へ転落する。

10

【 0 4 7 5 】

(1 4) リプレイ 3 (R P 3) : 左ドラム 2 a に (リプレイ)、中ドラム 2 b に (青リプレイ)、右ドラム 2 c に (リプレイ) が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアに R P 3 ・フラグを立て、単独当選した場合には再遊技 3 が必ず作動する。遊技者のスタートレバー 9 の操作によって、次回のゲームは新たなメダルを投入することなく行うことができる。

【 0 4 7 6 】

(1 5) リプレイ 4 (R P 4) : 左ドラム 2 a に (リプレイ)、中ドラム 2 b に (青リプレイ)、右ドラム 2 c に (青リプレイ) が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアに R P 4 ・フラグを立て、単独当選した場合には再遊技 4 が必ず作動する。遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次回のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、R T 1 状態（リプレイ確率約 1 / 7 . 3 の通常遊技状態）でリプレイ 4 が有効ライン上に揃って表示されると、リプレイ確率が約 1 / 2 程度に上昇した R T 2 状態に移行する。リプレイ 1 ~ リプレイ 5 を重複当選させることにより、5 択の押し順リプレイとすることができ、押し順が正解するとリプレイ 2 又はリプレイ 4 が作動して、遊技者に有利な R T 2 状態になる。また、アシストストックやアシスト抽選で当選するとアシスト機能が発動するので、効率よくメダルを獲得できる。なお、この R T 2 状態は無限であるが、複数の小役コボシ目図柄の何れか一つが有効ライン上に停止すると、R T 1 状態へ転落する。

20

【 0 4 7 7 】

(1 6) リプレイ 5 (R P 5) : 左ドラム 2 a に (赤 7)、中ドラム 2 b に (リプレイ)、右ドラム 2 c に (リプレイ) が有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されず、フラグエリアに R P 5 ・フラグを立てるが、単独当選することはない。遊技者のスタートレバー 9 の操作により、次回のゲームはメダルを投入することなく行うことができる。なお、リプレイ 5 は押し順制御用のリプレイで、実際に表示されるのは何れかのボーナスが内部当選中のみであり、それ以外では有効ライン上に揃うことは無い。従って、遊技者は、ボーナスが当選しているか否かが不明な状態でリプレイ 5 が作動すると、「ボーナス確定」となるので、ほっと一安心するのである。

30

【 0 4 7 8 】

(1 7) R T 開始目 1 : 左ドラム 2 a に (プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白)) の何れか、中ドラム 2 b に (プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白)) の何れか、右ドラム 2 c に (ベル) 又は (青リプレイ) の何れかが有効ライン上に停止すると、小役コボシ目となり、R T 2 状態やボーナスゲーム終了後の初期状態である一般遊技状態から R T 1 状態へ転落又は移行する。なお、一般遊技状態と R T 1 状態は、リプレイの当選確率が約 1 / 7 . 3 で殆ど変わらないか又は同じ確率である。

40

【 0 4 7 9 】

(1 8) R T 開始目 2 : 左ドラム 2 a に (プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白)) の何れか、中ドラム 2 b に (ベル)、(リプレイ) (青リプレイ) の何れか、右ドラム 2 c に (プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白)) の何れかが有効ライン上に停止すると、小役コボシ目となり、R T 2 状態やボーナスゲーム終了後の初期状態である一般遊

50

技状態から R T 1 状態へ転落又は移行する。

【 0 4 8 0 】

(1 9) R T 開始目 3 : 左ドラム 2 a に (ベル)、中ドラム 2 b に (プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白)) の何れか、右ドラム 2 c に (プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白)) の何れかが有効ライン上に停止すると、小役コボシ目となり、R T 2 状態やボーナスゲーム終了後の初期状態である一般遊技状態から R T 1 状態へ転落又は移行する。

【 0 4 8 1 】

図 5 9 は、条件装置の組合せ表であり、ベル役と複数のプラム役が同時当選する状態を示している。

【 0 4 8 2 】

左ベルは 1 ~ 9 まで 9 種類あり、第一停止で左停止ボタン 1 0 a が操作されると、ベル小役が入賞する一方、それ以外の停止ボタン部 1 0 が第一停止操作されると、ハズレとなり小役コボシ目が表示されるか又はプラム小役が引き込める場合にのみ入賞する。各左ベルは、図示したようにベル役と 6 つの異なるプラム役が同時に当選する。

【 0 4 8 3 】

中ベルは 1 ~ 9 まで 9 種類あり、第一停止で中停止ボタン 1 0 b が操作されると、ベル小役が入賞する一方、それ以外の停止ボタン部 1 0 が第一停止操作されると、ハズレとなり小役コボシ目が表示されるか又はプラム小役が引き込める場合にのみ入賞する。各中ベルは、図示したようにベル役と 6 つの異なるプラム役が同時に当選する。

【 0 4 8 4 】

右ベルは 1 ~ 9 まで 9 種類あり、第一停止で右停止ボタン 1 0 c が操作されると、ベル小役が入賞する一方、それ以外の停止ボタン部 1 0 が第一停止操作されると、ハズレとなり小役コボシ目が表示されるか又はプラム小役が引き込める場合にのみ入賞する。各右ベルは、図示したようにベル役と 6 つの異なるプラム役が同時に当選する。

【 0 4 8 5 】

図 6 0 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【 0 4 8 6 】

例えば、乱数抽選により図 5 9 に示した左ベル 1 が当選すると、図示した通り、条件装置 (ベル、ベル、ベル)、(赤プラム、赤プラム、赤プラム)、(赤プラム、青プラム、青プラム)、(赤プラム、白プラム、白プラム)、(青プラム、赤プラム、赤プラム)、(青プラム、青プラム、青プラム)、(青プラム、白プラム、白プラム) の合計 7 つのフラグが作動する。主制御部 1 0 0 は、この状態で遊技者が第一停止で左停止ボタン 1 0 a を操作すると、記憶する制御情報 (左第一停止でベル図柄を引き込む) と合致した (押し順が「正解」した) と判断するので、その後の第二停止操作及び第三停止操作の順序に拘わらず、ベル小役だけを必ず入賞させて 1 5 枚のメダルを払い出す。即ち、主制御部 1 0 0 は、3 つの図柄列を変動させる変動表示ゲームを開始し、役の抽選によりベル小役及び押し順規定小役である 2 7 個 (複数) のプラム小役の内、何れか 6 個を同時に内部当選させる。この 6 個 (複数一部) のプラム小役に従った押し順で停止ボタン部 1 0 が操作されると、ベル図柄を有効ライン上に停止させてベル小役を入賞させる一方、後述する様に、同時に内部当選した 6 個のプラム小役の何れも入賞させないように停止制御を行うのである。なお、赤プラム、青プラム、白プラムの各表記は、プラム (赤)、プラム (青)、プラム (白) と同じ意味である。

【 0 4 8 7 】

図 6 0 (A) は、ドラム部 2 の全てのドラムが回転している状態を示している。この状態で、遊技者が第一停止で左停止ボタン 1 0 a を、No . 8 のリプレイが基準位置にある時に停止操作すると (左ドラム 2 a の下段位置に No . 8 のリプレイが即止まり可能な状態。図 6 0 (B) 参照)、主制御部 1 0 0 は有効ラインの何れかにベル図柄が 1 つだけ止まるように引込制御を行う。この場合、1 コマ上にある No . 7 のベル図柄を左ドラム 2 a の下段位置に停止させると、No . 5 のベル図柄も上段に停止するのでそれを回避し、

10

20

30

40

50

No. 5のベル図柄を下段位置に停止させる(図60(C)参照)。結果的に、左ドラム2aは、3コマ滑って停止することになる。

【0488】

図61は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0489】

図61(A)は、図60(C)と同じであり、左ドラム2aが停止してベル図柄が下段に表示された状態において、遊技者が第二停止で中停止ボタン10bを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.5のベル図柄を中ドラム2bの中段に停止させる(図61(B)参照)。なお、中ドラム2b上の5つのベル図柄は最遠でも4コマ間隔に配置されているので、引込範囲にある何れかのベル図柄を中ドラム2bの中段に停止させて、テンパイ状態にすることが可能である。また、図61(B)のテンパイ状態は、同義語として所定役の「リーチ状態」とも言われている。

10

【0490】

図61(B)のテンパイ状態において、遊技者が第三停止で右停止ボタン10cを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.4のベル図柄を右ドラム2cの上段に停止させる(図61(C)参照)。なお、右ドラム2c上の3つのベル図柄は6コマ間隔に配置されているので、何れかのベル図柄を右ドラム2cの上段又は下段に停止させて、入賞させることが可能である(図では第2ライン)。

【0491】

図62は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

20

【0492】

図62(A)は、図60(C)と同じであり、左ドラム2aが停止してベル図柄が下段に表示された状態において、遊技者が第二停止で右停止ボタン10cを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.4のベル図柄を右ドラム2cの上段に停止させる(図62(B)参照)。このテンパイ状態において、遊技者が第三停止で中停止ボタン10bを停止操作すると、主制御部100は例えばNo.5のベル図柄を中ドラム2bの中段に停止させ、第2ラインにベル役が入賞する(図62(C)参照)。つまり、左ベル1~9の何れかが当選すると、最初の押し順が左停止ボタン10aであれば、その後、どのように操作してもベルが入賞するようになっている。

【0493】

30

図63は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0494】

同様に、図59に示した左ベル1が当選すると、図示したとおり、条件装置(ベル、ベル、ベル)、(赤プラム、赤プラム、赤プラム)、(赤プラム、青プラム、青プラム)、(赤プラム、白プラム、白プラム)、(青プラム、赤プラム、赤プラム)、(青プラム、青プラム、青プラム)、(青プラム、白プラム、白プラム)の合計7つのフラグが作動する。

【0495】

図63(A)は、ドラム部2の全てのドラムが回転している状態を示している。この状態で主制御部100は、遊技者が第一停止で、例えば、中停止ボタン10bを、No.8のリプレイが基準位置にある時に停止操作すると、記憶する制御情報(左第一停止でベル図柄を引き込む。)と合致しない(押し順が「不正解」と判断する。この場合、主制御部100は、条件装置が1つのベル図柄に換えて、条件装置が2つ立っている赤プラム、青プラム、白プラムの何れの図柄でも停止させることができるので、停止操作から5コマ以内のプラム図柄を中ドラム2bの中段(即ち、有効ライン上)に停止させる。例えば、主制御部100は、図63(B)に示す位置からNo.4の赤プラム図柄を3コマ滑らせて、中ドラム2bの中段に停止させる(図63(C)参照)。この場合、ベル図柄は有効ライン上に停止しないので、この段階でベルの入賞は無くなる。

40

【0496】

図64及び図65は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

50

【 0 4 9 7 】

図 6 4 (A) は、図 6 3 (C) と同じであり、中ドラム 2 b が停止して赤プラム図柄が中段に表示された状態において、遊技者が第二停止で左停止ボタン 1 0 a を、No . 9 の青 7 が基準位置にある時に停止操作すると、主制御部 1 0 0 は図 6 4 (B) に示す位置から、条件装置 (赤プラム、赤プラム、赤プラム) の図柄である No . 6 の赤プラム図柄を 1 コマ滑らせて、有効ライン上である左ドラム 2 a の上段に停止させる (図 6 4 (C) 参照) 。なお、左停止ボタン 1 0 a の第二停止操作で No . 1 3 の青プラム図柄を引き込める場合には、同様に青プラム図柄を有効ライン上に停止させる (図示せず) 。よって、停止操作手順を間違った場合には、約 3 分の 2 の確率でプラムがテンパイする。

【 0 4 9 8 】

また、図 6 5 (A) も図 6 3 (C) と同じであり、中ドラム 2 b が停止して赤プラム図柄が中段に表示された状態において、遊技者が第二停止で左停止ボタン 1 0 a を、No . 3 のチェリーが基準位置にある時に停止操作すると、主制御部 1 0 0 は条件装置 (赤プラム、赤プラム、赤プラム) の赤プラム図柄、又は条件装置 (青プラム、赤プラム、赤プラム) の青プラム図柄の何れも 5 コマ以内に無く、有効ライン上に引き込むことができないので、同時に内部当選している 6 つのプラム小役 (複数個の押し順規定小役中の複数一部の小役) を取りこぼしたときに表示されるベル図柄を、有効ライン上である左ドラム 2 a の上段に停止させる (図 6 5 (C) 参照) 。よって、停止操作手順を間違った場合には、約 3 分の 1 の確率でプラムがテンパイせず、プラム小役のコボシ目図柄が表示されることになる。

【 0 4 9 9 】

図 6 6 及び図 6 7 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【 0 5 0 0 】

図 6 6 (A) は、図 6 4 (C) と同じであり、左ドラム 2 a 及び中ドラム 2 b が停止して赤プラム図柄がテンパイした状態を示している。この状態において、遊技者が第三停止で右停止ボタン 1 0 c を、No . 6 の青リプレイが基準位置にある時に停止操作すると、主制御部 1 0 0 は図 6 6 (B) に示す位置から、条件装置 (赤プラム、赤プラム、赤プラム) の図柄である No . 3 の赤プラム図柄を 1 コマ滑らせて、有効ライン上である右ドラム 2 c の上段に停止させて、(赤プラム、赤プラム、赤プラム) を入賞させる (図 6 6 (C) 参照) 。よって、停止操作手順を間違っ

【 0 5 0 1 】

た、図 6 7 (A) も図 6 4 (C) と同じであり、左ドラム 2 a 及び中ドラム 2 b が停止して赤プラム図柄がテンパイした状態を示している。この状態において、遊技者が第三停止で右停止ボタン 1 0 c を、No . 2 の赤 7 が基準位置にある時 (即ち、No . 3 の赤プラムが行きすぎた時) に停止操作すると、主制御部 1 0 0 は赤プラム図柄を引き込めないで、図 6 7 (B) に示す位置から、No . 2 0 の青リプレイ図柄を 1 コマ滑らせて、有効ライン上である右ドラム 2 c の上段に停止させて、RT 開始目 1 図柄を表示する。よって、停止操作手順を間違っ

【 0 5 0 2 】

図 6 8 は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【 0 5 0 3 】

図 6 8 (A) は、図 6 5 (C) と同じであり、左ドラム 2 a 及び中ドラム 2 b が停止して小役コボシ目図柄がテンパイした状態を示している。この状態において、遊技者が第三停止で右停止ボタン 1 0 c を、No . 6 の青リプレイが基準位置にある時に停止操作すると、主制御部 1 0 0 は、図 6 8 (B) に示す位置から No . 3 の赤プラム図柄を 1 コマ滑らせ、有効ライン上である右ドラム 2 c の上段に停止させて、RT 開始目 3 を表示する。なお、RT 開始目 3 における右ドラム 2 c のプラム図柄は、赤プラム図柄、青プラム図柄

10

20

30

40

50

又は白プラム図柄の何れでもよいので、小役コボシ目図柄がテンパイした場合には、必ず小役コボシ目図柄（小役を取りこぼしたときに表示される所定図柄）が有効ライン上に停止する。

【0504】

図69は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。

【0505】

図69(A)は、図63(A)と同じ状態であり、図59に示した左ベル1が当選し、ドラム部2の全てのドラムが回転している状態を示している。

【0506】

この状態で主制御部100は、遊技者が第一停止で、例えば、右停止ボタン10cを、
No.7のリプレイが基準位置にある時に停止操作すると、記憶する制御情報（左第一停止でベル図柄を引き込む）と合致しない（押し順が「不正解」と判断する。この場合、主制御部100は、条件装置が1つのベル図柄に換えて、条件装置が2つ立っている赤プラム、青プラム、白プラムの何れの図柄でも停止させることができるので、停止操作から5コマ以内のプラム図柄を右ドラム2cの上段（即ち、有効ライン上）に停止させる。例えば、主制御部100は、図69(B)に示す位置からNo.3の赤プラム図柄を2コマ滑らせて、右ドラム2cの上段に停止させる（図69(C)参照）。この場合、ベル図柄は有効ライン上に停止しないので、この段階でベルの入賞は無くなる。

10

【0507】

この後のドラムの停止状態は、図63～図68と同様に、遊技者の停止操作に応じて、
プラム小役が入賞するか、又は小役コボシ目図柄のRT開始目1～RT開始目3の何れかが表示されるだけなので、その説明を省略（援用）する。

20

【0508】

図70は、条件装置の組合せ表であり、再遊技役が同時当選する状態を示している。

【0509】

押し順リプレイは、押し順リブ1～押し順リブ5（「押し順リプレイ」の略）まで5種類ある。

【0510】

押し順リブ1は、第一停止で左停止ボタン10a、第二停止で中停止ボタン10b、第三停止で右停止ボタン10cの順で停止操作されると、再遊技2（リプレイ、リプレイ、
青リプレイ：図58参照）が有効ライン上に停止して作動する一方、異なる操作手順で停止操作されると、再遊技1（リプレイ、リプレイ、リプレイ：図58参照）が有効ライン上に停止して作動する。図58で説明した通り、RT1状態（リプレイ確率約1/7.3の通常遊技状態）でリプレイ2が有効ライン上に揃って表示されると、リプレイ確率が約1/2程度に上昇したRT2状態に移行するので、再遊技2が作動すると遊技者にとって有利な状態となる。

30

【0511】

押し順リブ2は、第一停止で左停止ボタン10a、第二停止で右停止ボタン10c、第三停止で中停止ボタン10bの順で停止操作されると、再遊技2が作動する一方、異なる操作手順で停止操作されると、再遊技1が作動する。

40

【0512】

押し順リブ3は、第一停止で中停止ボタン10b、第二停止で左停止ボタン10a、第三停止で右停止ボタン10cの順で停止操作されると、再遊技2が作動する一方、異なる操作手順で停止操作されると、再遊技1が作動する。

【0513】

押し順リブ4は、第一停止で中停止ボタン10b、第二停止で右停止ボタン10c、第三停止で左停止ボタン10aの順で停止操作されると、再遊技2が作動する一方、異なる操作手順で停止操作されると、再遊技1が作動する。

【0514】

押し順リブ5は、第一停止で右停止ボタン10cが停止操作されれば、その後、左停止

50

ボタン10aと中停止ボタン10bの操作手順を問わず、再遊技2が作動する一方、第一停止で右停止ボタン10c以外が停止操作されると、再遊技1が作動する。

【0515】

図71は、状態遷移図であり、図71(A)は主制御部100の遊技状態遷移図、及び図71(B)は副制御部160の遊技状態遷移図である。

【0516】

図71(A)において、ボーナスゲームが終了した次のゲーム又は段階設定値が打ち直された次のゲームから、一般ゲーム(図では「一般中」又は「一般遊技」と記載。)が開始する。この一般ゲームにおけるリプレイ確率は約1/7.3であり、特に、RTリプレイ(再遊技2及び再遊技4)が一切当選しないか、又はRTリプレイはボーナスと同時に当選するので、RT2状態(高確率再遊技状態:約1/1.5)に直接移行することはない。なお、一般ゲーム中にRTリプレイを当選させる場合には、置数として1~5程度であれば許容される範囲ではあるが、上述の通り、一切抽選しないようにするのが最適である。

10

【0517】

一般ゲーム(規定数3枚又は1枚)で押し順ベルが内部当選し、停止ボタン10の停止操作手順をミスすることにより小役コボシ目図柄(RT開始目1~RT開始目3図柄)が有効ライン上に表示されると(図58参照)、次のゲームからRT1状態となる。このRT1状態におけるリプレイ確率もまた約1/7.3(全く同じ又はほぼ同じ確率が採用される)であり、図58に示した全ての役が乱数抽選されて、単独又は複数同時当選可能となる。つまり、一般遊技とRT1状態の遊技が、リプレイ確率が約1/7.3でほぼ同じの通常遊技である。通常遊技中にボーナスグループBの何れかが内部当選しても、RTの変動契機ではないので、リプレイ確率は低確率のままであるが、ボーナスグループBの存在により、リプレイ確率が高くなってもボーナス当選の可能性が残り、その分だけ期待感が継続するので、遊技性向上の点で大変効果的である。

20

【0518】

RT1状態でRTリプレイ(再遊技2及び再遊技4)が内部当選し作動すると、リプレイ確率が約1/1.5に上昇したRT2状態となる。また、RT2状態では小役の当選確率が約1/3なので、小役とリプレイの合成確率は1/1(100%)又は(65526~65535)/65536(ハズレの置数が1~10程度)となる。尚、図71(A)中の斜線部は、高確率再遊技状態であることを示している。

30

【0519】

RT2の状態で押し順ベルが内部当選し、停止ボタン10の停止操作手順をミスすることにより小役コボシ目図柄が有効ライン上に表示されると(図58参照)、次のゲームからRT1状態に転落する。しかし、ATストック(アシスト・タイム・ストック)が残っていれば、押し順リプ1~押し順リプ5(図70参照)が当選したときに、再遊技2が揃う押し順を告知することで、再びRT2状態とすることが可能である(つまり、操作ミスを救済できる)。

【0520】

RT2の状態でボーナスグループAが内部当選すると、RT2と同様にリプレイ確率が約1/1.5程度のRT3状態となる一方、RT2の状態でボーナスグループBが内部当選すると、RT2の状態を維持し続ける。また、通常遊技中にRTの変動契機のボーナスグループAの何れかが内部当選すると、リプレイ確率が高確率のRT3状態となるが、この時にRTリプレイ(再遊技2及び再遊技4)が表示されていなければ、遊技者はボーナスグループAの内部当選を確信することになる。つまり、RTの変動契機ではないのに、リプレイ確率が高くなるとボーナスグループAが確定する。このボーナスグループA及びボーナスグループBの存在により、遊技性が向上するのである。

40

【0521】

図71(B)において、副制御部160は通常遊技中にRTリプレイ(特殊リプレイ)が単独で又はボーナスと同時に当選して、RTリプレイが作動するとチャンスゾーン(R

50

T 2、内部中 R T 2 又は内部中 R T 3) に移行する。このチャンスゾーンに入ると、A T ストックの有無にかかわらず、少なくとも7ゲーム間は押し順ベルが内部当選すると、停止ボタン 1 0 の停止操作手順を告知する(例えば、「左」「中」「右」ボタンを押せとの告知する)。これにより、R T 1 状態への転落を阻止すると共に、遊技者の期待感を煽っている。A T ストックが無ければ、A R T (アシスト・リプレイ・タイム) は非発動となり、その後遊技者が停止ボタン 1 0 の停止操作手順をミスすることにより小役コボシ目図柄 (R T 開始目 1 ~ R T 開始目 3 図柄) が有効ライン上に表示されると、R T 1 状態へ戻る。

【 0 5 2 2 】

一方、レア小役当選による事前の A T 抽選、又は R T リプレイ当選やボーナス当選と同時にされる A T 抽選で A T ストックが少なくとも1つ以上存在すれば、A R T が発動する(図 7 1 (B) の斜線部)。この A R T ゲームは前半と後半に分かれており、前半はゲームを消化しながら主人公が階段を駆け上り、ボーナスが確定する高層フロア(例えば、5 0 階)を目指すという演出と、後半は主人公が敵キャラとバトルをして勝てばボーナス確定となる演出である。

【 0 5 2 3 】

ここで図 7 1 に戻り、更に詳細に説明する。

【 0 5 2 4 】

一般ゲームで押し順ベルが内部当選し、停止ボタン 1 0 の停止操作手順をミスすることにより小役コボシ目図柄 (R T 開始目 1 ~ R T 開始目 3 図柄) が有効ライン上に表示されると、次のゲームから R T 1 状態となる。R T 1 状態で R T リプレイ (再遊技 2 及び再遊技 4 : リプレイ確率上昇役) が内部当選し作動 (有効ライン上にリプレイ確率上昇図柄が表示) すると、リプレイ確率が約 1 / 1 . 5 に上昇した R T 2 状態となる。なお、この R T 1 状態は俗に言う「無限 R T」であり、主制御部 1 0 0 は遊技回数を決めることなく継続させる。

【 0 5 2 5 】

R T 2 の状態で押し順ベルが内部当選し、停止ボタン 1 0 の停止操作手順をミスすることにより小役コボシ目図柄 (リプレイ確率下降図柄) が有効ライン上に表示されると、次のゲームから R T 1 状態に転落する。この R T 2 状態から転落した R T 1 状態も俗に言う「無限 R T」であり、主制御部 1 0 0 は遊技回数を決めることなく継続させる。

【 0 5 2 6 】

主制御部 1 0 0 は、抽出した乱数により図 5 8 に示した全ての役を抽選し、少なくともボーナス A 役 (第一ボーナス (B B 1)、第三ボーナス (B B 3) 及び第五ボーナス (R B 1)) 又はボーナス B 役 (第二ボーナス (B B 2)、第四ボーナス (B B 4) 及び第六ボーナス (R B 2)) の何れかを内部当選させる。そして、ボーナス A 役が内部当選すると、主制御部 1 0 0 は次回以降の遊技でリプレイの当選確率を上昇させる一方、ボーナス B 役が内部当選すると現在のリプレイの当選確率を次回以降の遊技でも維持する。

【 0 5 2 7 】

主制御部 1 0 0 は、上述したように、R T 1 状態と R T 2 状態とを、遊技回数を決めることなく継続させるのに対して、R T 1 状態でボーナス B 役及び R T リプレイ (リプレイ確率上昇役) を同時に内部当選させ、有効ライン上にリプレイ確率上昇図柄である (リプレイ、リプレイ、青リプレイ) が表示された場合には、現在のリプレイの当選確率を次回以降の遊技でも維持する。つまり、本来ならばリプレイ確率が上昇すべきであるにも拘らず、低確率状態の維持を認識することにより、遊技者はボーナス B 役が内部当選したことを逸早く知ることができる。

【 0 5 2 8 】

同様に、主制御部 1 0 0 は、R T 1 状態と R T 2 状態とを、遊技回数を決めることなく継続させるのに対して、R T 1 状態で抽選手段がボーナス A 役及び小役 (F R 2 9 又は F R 3 0 の必ず揃うチェリー役 : リプレイ確率非上昇役) を同時に内部当選させた場合には、有効ライン上にチェリー役 (リプレイ確率非上昇図柄) を表示して、次回以降の遊技で

10

20

30

40

50

リプレイの当選確率を上昇させる。つまり、本来ならばリプレイ確率が上昇すべきでないにも拘らず、リプレイ確率が高確率状態へ上昇したことを認識することにより、遊技者はボーナスA役が内部当選したことを逸早く知ることができる。

【0529】

更に、主制御部100は、RT1状態とRT2状態とを、遊技回数を決めることなく継続させるのに対して、RT1状態でボーナスB役およびRTリプレイを同時に内部当選させ、有効ライン上にリプレイ確率上昇図柄であるが表示された場合には、現在のリプレイの当選確率を次回以降の遊技でも維持する一方、RT1状態で抽選手段がボーナスA役及び小役を同時に内部当選させた場合には、有効ライン上にチェリー役を表示して、次回以降の遊技でリプレイの当選確率を上昇させる。つまり、本来ならばリプレイ確率が上昇す

10

【0530】

図72は、ARTゲーム数の抽選範囲を示す概念図である。

【0531】

副制御部160は、特殊リプレイ役とボーナス役が同時に内部当選している場合には、ボーナス役が内部当選していることを意味する所定数(この場合、50ゲーム)以上のゲーム数の範囲内でアシスト機能を発動させるゲーム数を抽選する(図72(A)参照)。但し、当然ながら抽選結果は、所定数よりも少ないゲーム数(例えば、10ゲーム~49

20

【0532】

その一方、特殊リプレイ役とボーナス役が同時に内部当選していない場合には、所定数(50ゲーム)より少ないゲーム数の範囲内でアシスト機能を発動させるゲーム数を抽選するので、抽選結果が所定数以上となることはない(図72(B)参照)。なお、ボーナス役が内部当選していない状態で、その後のARTゲーム中にボーナス役が内部当選したとき、アシスト機能を発動させるゲーム数を再抽選してもよい。その結果、ARTゲーム数が長く続けば続く程、遊技者はボーナス当選の期待感を高める。また、それ以上に、A

30

【0533】

ここで図71(B)に戻り、ARTの後半はバトル演出であり、ボーナスが内部当選していれば、後半のARTゲーム数を消化後に「ボーナス確定」画面を表示する一方、ボーナスが内部当選していなければ、後半のARTゲーム数を消化後に再びチャンス・ゾーンに移行し、ARTストック数に応じてARTの発動/非発動を決定して繰り返す。なお、ボーナスがRTリプレイとの同時当選でない場合には、激熱な連続演出を経て、「ボーナス確定」画面を表示する。

40

【0534】

図73は、マックスベットボタンのタイミングチャートである。

【0535】

RT2状態及びRT3状態は、上述したとおり、共に小役とリプレイの合成確率がほぼ100%であり、主制御部100はリプレイ図柄、小役図柄の順で優先的に図柄を引込制御するので、仮にボーナスが内部当選していたとしても、ボーナス図柄を揃えることが不可能か又はハズレを引くまで揃えることが非常に困難な状態となっている。

【0536】

そこで、「ボーナス確定」画面を表示した後に、遊技メダルの投入枚数を3枚から1枚にすることにより、当選役の乱数抽選テーブルを変更してハズレの確率を上げる。この場

50

合、「ボーナス確定」画面に加えて、1枚賭けするように液晶に表示する。例えば、RT2状態又はRT3状態におけるメダル3枚掛けのリプレイ確率を1/1.5及び小役の当選確率を約1/3とするとハズレは0%となるが、この状態で1枚掛けにするとリプレイ確率を1/7.3、小役の当選確率を約1/3及びハズレ確率は約1/2となるので、2回に1度の割合でボーナス図柄を揃えることが可能となる。

【0537】

メダルを1枚賭けする方法としては、メダル投入口から1枚だけ投入すればよいのであるが、遊技者の利便性を考慮して、マックスベットボタン8の簡易操作による3枚掛け-1枚掛け切替方法を本願出願人は考案した。

【0538】

マックスベットボタン8は、通常時(一般遊技又はRT1)の遊技において、オン-オフ操作(0.8秒未満オン)で、メダル貯留装置の貯留メダルを最大数である3枚投入するときに使用する(図73(A)参照)。一方、マックスベットボタン8のオン操作で3枚投入後に、連続して0.8秒以上の時間だけ長押し(最適値は0.6秒~1秒の範囲)を続けると、投入した3枚のメダルの内2枚を受け皿15に払い戻して、投入枚数LED4aの表示を1にする(図73(B)参照)。なお、1枚又は2枚投入時に、マックスベットボタン8を図73(A)に示すタイミングで操作すると3枚投入となる。また、1枚又は2枚投入時に、マックスベットボタン8を図73(B)に示すタイミングで操作すると3枚投入を経て、その内2枚をメダル払出装置18が受け皿15に払い戻して、最終的に1枚投入となる。

【0539】

つまり、遊技者は、「ボーナス確定」画面が出て、1枚賭けするように指示されたら、マックスベットボタン8を0.8秒以上長押しするだけで1枚賭けができるので、利便性に富んでいる。また、1枚賭け専用ボタンをマックスベットボタン8とは別個独立に設ける必要が無いので、製造コストも安価になる。

【0540】

他の実施例としては、マックスベットボタン8の操作により、3枚投入を経てメダル払出装置18に2枚払い出させることに代えて、主制御部100は投入枚数LED4aの表示を3枚から1枚に変更し、差数量の2枚をメダル貯留枚数表示LED4bに加算して表示する。また、主制御部100は、差数量の2枚をメダル貯留枚数表示LED4bに加算しているときに、最大表示数量の50枚に達すると、メダル払出装置18に差数量の残り数と同じ数の遊技媒体を払い出させる。例えば、メダル貯留枚数表示LED4bの表示数量が49枚のときに、マックスベットボタン8を操作し続けると、主制御部100は、メダル貯留枚数表示LED4bの表示数量を最大表示数量の50に加算表示して、残り数の1枚をメダル払出装置18から払い出す。

【0541】

また、メダル貯留枚数表示LED4bに貯留するメダルの数(回胴式遊技機では0~50)を表示している状態で、マックスベットボタン8が操作されると、投入されたメダルの投入数量(メダル投入部5からのメダル投入も含んだ投入数量。)を投入枚数LED4aに表示し、メダル貯留枚数表示LED4bが表示しているメダルの貯留数量から投入数量を差し引いた差引貯留数量をメダル貯留枚数表示LED4bに表示する。例えば、メダル貯留枚数表示LED4bが「50」枚、及び投入枚数LED4aが「1」枚を表示している状態で、マックスベットボタン8が操作されると、主制御部100は、投入枚数LED4aの表示を最大投入枚数の「3」枚に変更し、貯留数量から投入数量を差し引いた差引貯留数量の「48」枚を表示する。

【0542】

主制御部100は、タイマー(計時手段)を走らせ、マックスベットボタン8のオン操作で3枚投入後に、連続して0.8秒以上の時間だけ長押し(最適値は0.6秒~1秒の範囲)が続けられると(第一所定時間に達するか又は第一所定時間を超えると)、投入した3枚のメダルの内2枚(一部)をメダル払出装置18から受け皿15に払い戻して、投

10

20

30

40

50

入枚数LED4aの表示を「1」枚(払い出し枚数を差し引いて残った遊技媒体の投入数量)に変更する(図73(B)参照)。なお、1枚又は2枚投入時に、マックスベットボタン8を図73(A)に示すタイミングで操作すると3枚投入となる。また、1枚又は2枚投入時に、マックスベットボタン8を図73(B)に示すタイミングで操作すると3枚投入を経て、その内2枚をメダル払出装置18が受け皿15に払い戻して、最終的に1枚投入となる。また、更にマックスベットボタン8が操作され続け、タイマーが0.4秒(0.3~0.5秒)を計時すると、メダルを一枚ずつメダル払出装置18から、投入されたメダルの投入数量が「0」枚になるまで順次払い出しを続ける。

A R T実施例3:

実施例3は実施例2の改良である。図71(A)に示す一般ゲーム(一般ゲーム状態)からRT1状態へ移行させるには、押し順ベルが内部当選し、停止ボタン10の停止操作手順をミスして小役コボシ目図柄(RT開始目1~RT開始目3図柄)が有効ライン上に表示されると、次のゲームからRT1状態となるのであるが、小役コボシ目図柄が表示されるまでに比較的長いゲーム数(例えば、平均10~20ゲーム程度)を要する。この問題を解決する為に、本願出願人はメダルの1枚賭けを併用する方法を考案した。

【0543】

図74は、役物未作動時(通常遊技中、規定数1枚)の配当表である。

【0544】

主制御部100は、ドラムが3個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた有効ライン上(図57参照)で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。この場合、投入枚数に拘わらず同じである。

【0545】

主制御部100は、図58で説明した第一ボーナス~第六ボーナスの6つのボーナス抽選は行わない。また、本実施例は極端な例ではあるが、図58の(7)ベル(FR1)、(8)押し順規定小役(FR2~FR28:合計27個)及び(12)リプレイ1(再遊技1)の抽選しか行わない。そして、図59で説明した各9種類の左ベル、中ベル及び右ベルしか抽選しない。例えば、主制御部100による乱数抽選の結果として、押し順ベルが約1/2、リプレイ1が1/7.3及びハズレが約3/8で当選する。その結果、小役コボシ目図柄が1/3(1/2×2/3)で表示されるので、約3ゲームで一般ゲームからRT1状態に移行可能となる。

【0546】

手順として、主制御部100は、3枚賭け数(第1賭け数)で使用していた第1抽選テーブルを、1枚賭け数(第1賭け数より少ない第2賭け数)だけ投入されると、第2抽選テーブルに変更することにより、押し順小役が当選する確率を3枚賭け数(第1賭け数)よりも向上させる。その結果、遊技者はボーナス終了後の画面が出て、1枚賭けするように指示されたら、マックスベットボタン8を0.8秒以上長押しするだけで1枚賭けができ、約3ゲームという短期間にRT1状態に移行できるので、従来のイライラ感が低減できる。

【0547】

更に詳細に説明すると、ボーナスゲームの終了後に変動表示ゲームを行うが、リプレイの当選確率は1/7.3~1/2程度の任意の所定確率であり、設計段階で決めるこの状態を一般ゲーム状態と称している。一般ゲーム状態の変動表示ゲームで役の抽選を行い、内部当選したベル(FR1)やドラム(FR2~FR28)の所定役を取りこぼした時に有効ライン上にRT開始目1~3(リプレイ状態移行図柄)の何れかが表示されると、リプレイの当選確率が低確率で且つハズレとなる確率が高確率のRT1状態に移行する。また、RT1状態で役の抽選を行って、有効ライン上にRTリプレイ(リプレイ確率上昇図柄)が表示されると、遊技回数を決めることなくリプレイの当選確率が高確率で且つハズレとなる確率が低確率のRT2状態になる一方、RT2状態で有効ライン上にリプレイ確率下降図柄が表示されると、遊技回数を決めることなくRT1状態に移行する。

【0548】

10

20

30

40

50

主制御部 100 は、投入されたメダルの数に応じて抽選テーブルを選択し、選択した抽選テーブルに従って役の抽選を行う。投入されたメダルの数が 1 枚の場合、メダルの数が 3 枚のときよりも押し順ベルを高確率で内部当選させる。

【0549】

主制御部 100 は、内部当選した押し順ベル及び停止スイッチの操作に従って、変動する図柄列（ドラム部 2）を所定位置に停止させるが、ベル役やプラム役を入賞させることができない手順で操作されたとき、有効ライン上に R T 開始目 1 ~ R T 開始目 3 を表示させる。なお、副制御部 160 は、ボーナスゲーム終了後の一般ゲーム状態で、表示演出装置 11 及び音声により遊技者に 1 枚賭けするように指示し、遊技者はマックスベットボタン 8 を 0.8 秒以上長押しするだけで 1 枚賭けができるので、利便性に富んでいる。

10

【0550】

一方、R T 2 状態における A R T 中に、遊技者が誤って 1 枚賭けした場合にも、押し順小役が 1 / 2 で当選することになり、押し順小役取りこぼすと R T 1 状態へ転落することになる。そこで、副制御部 160 は、R T 2 状態において 1 枚賭けして押し順小役が当選した場合には、押し順小役（この場合、ベル小役）を入賞させる押し順をナビ（ナビゲーション）する。特に、R T 2 状態における A R T 中には、R T 1 状態へ転落させないように押し順をナビするようになっている。

【0551】

この点について、図 71 を用いて更に詳細に説明する。R T 1 状態はリプレイの当選確率が低確率で且つハズレとなる確率が高確率な状態であり、有効ライン上にリプレイ確率上昇図柄の（リプレイ、リプレイ、青リプレイ）が表示されると無限の（遊技回数を決めることなく）R T 2 状態になる。R T 2 状態は、R T 1 状態よりもリプレイの当選確率が高確率で且つハズレとなる確率が低確率な状態であり、R T 2 状態で有効ライン上にリプレイ確率下降図柄である小役コボシ目図柄（R T 開始目 1 ~ R T 開始目 3）が表示されると、無限の（遊技回数を決めることなく）R T 1 状態になる。そして、回胴式遊技機は、3 枚（第一規定枚数）のメダル（遊技媒体）又は 1 枚（第二規定枚数）のメダルを受け入れて、通常 3 ~ 4 列の回転ドラム（ドラム部 2、又は「リール」とも言う）を変動させる変動表示ゲームを行い、停止ボタン部 10 の操作により回転ドラムの変動を停止させる。

20

【0552】

主制御部 100 は、投入されたメダルの数に応じて抽選テーブルを選択し、選択した抽選テーブルに従って役の抽選を行う。投入されたメダルの数が 1 枚の場合、メダルの数が 3 枚のときよりも押し順ベル（リプレイ確率下降役）を高確率で内部当選させ、副制御部 160 は停止ボタン部 10 の内部当選した押し順ベルに従って、操作順序を告知（アシスト）する。

30

【0553】

主制御部 100 は、告知した操作順序で停止ボタン部 10 が操作されると、有効ライン上の所定位置にベル図柄を停止させて、ベル役を入賞させる。つまり、有効ライン上に R T 開始目 1 ~ R T 開始目 3 を表示させない。

【0554】

他方、主制御部 100 は、告知した操作順序で停止ボタン部 10 が操作されない場合には、有効ライン上の所定位置にプラム図柄を停止させて、プラム役を入賞させるか、又は有効ライン上に R T 開始目 1 ~ R T 開始目 3 を表示させる。つまり、有効ライン上に R T 開始目 1 ~ R T 開始目 3 を表示させ得る。

40

A R T 実施例 4 :

図 75 は、ドラムの図柄配置表である。

【0555】

左ドラム 2 a、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c のそれぞれには、左ドラム図柄、中ドラム図柄及び右ドラム図柄が描かれた回胴帯（図示せず）が、各ドラムの外周部において一周するように張り付けられている。

【0556】

50

各回胴帯には、それぞれ異なった並びの図柄が20個描かれており、ビッグボーナス（第一種BB：役物連続作動装置）が作動する図柄の「赤7」、「青7」、「金メダル」、各種小役図柄の「ベル」、「チェリー」、「プラム（赤）」、「プラム（白）」及び再遊技が作動する「リプレイ」及び「青リプレイ」や「黒バー」が描かれている。

【0557】

図76は、図柄の組合せ表示判定図である。

【0558】

主制御部100は、ドラムが3個すべて停止したときに、遊技メダルの投入枚数に応じた窓部3の有効ライン上で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【0559】

図76(B)は、遊技メダルを規定数3枚投入した場合の有効ラインであり、左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2cの順に、第1ライン（中段、中段、中段：中央横ライン）のみが、通常時及びSRB（シフトレギュラーボーナス）作動時に有効となる。なお、通常時とは、ビッグボーナスが作動中の「一般ゲーム」及びビッグボーナスが未作動の「通常ゲーム」を行っている時である。従って、規定数は全遊技を通じて常に3枚となる。

【0560】

図77及び図78は、通常時及びSRB作動時の配当表である。

【0561】

主制御部100は、リール（又はドラム）が3個すべて停止したときに、有効ライン上（図76参照）で入賞及び作動に係る図柄の組合せ表示判定を行う。

【0562】

(1)ビッグボーナス1（第1種役物連続作動装置）：左ドラム2aに（青7）、中ドラム2bに（青7）、右ドラム2cに（青7）が有効ライン上に揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後にビッグボーナス1（BB1）が付与される。このビッグボーナス1は、例えば当選確率が1/16000で、ビッグボーナス1中のゲームの規定投入枚数が3枚、払出し枚数が160枚を超えた時点で終了する。抽選でビッグボーナス1が内部当選し、ビッグボーナス1フラグが立つことにより、ビッグボーナス1が成立可能な状態となる。なお、ビッグボーナス1のみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ばれるチェリー（CH）や、強プラム又はチャンス目と同時に当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

【0563】

(2)ビッグボーナス2（第1種役物連続作動装置）：左ドラム2aに（赤7）、中ドラム2bに（金メダル）、右ドラム2cに（赤7）、又は左ドラム2aに（赤7）、中ドラム2bに（赤7）、右ドラム2cに（リプレイ）が有効ライン上に揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後にビッグボーナス2（BB2）が付与される。このビッグボーナス2は、例えば当選確率が1/800で、ビッグボーナス2中のゲームの規定投入枚数が3枚、払出し枚数が80枚を超えた時点で終了する。抽選でビッグボーナス2が内部当選し、ビッグボーナス2フラグが立つことにより、ビッグボーナス2が成立可能な状態となる。なお、ビッグボーナス2のみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ばれるチェリー（CH）や、強プラム又はチャンス目と同時に当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

【0564】

(3)ビッグボーナス3（第1種役物連続作動装置）：左ドラム2aに（赤7）、中ドラム2bに（赤7）、右ドラム2cに（赤7）が有効ライン上に揃って停止すると、獲得枚数は0枚でその後にビッグボーナス3（BB3）が付与される。このビッグボーナス3は、例えば当選確率が1/90で、ビッグボーナス3中のゲームの規定投入枚数が3枚、払出し枚数が50枚を超えた時点で終了する。抽選でビッグボーナス3が内部当選し、ビッグボーナス3フラグが立つことにより、ビッグボーナス3が成立可能な状態となる。なお、ビッグボーナス3のみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ば

10

20

30

40

50

れるチェリー（ＣＨ）や、強ブラム又はチャンス目と同時に当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

【 0 5 6 5 】

（４）レギュラーボーナス（ＲＢ）：ビッグボーナス１～ビッグボーナス３の何れかが作動中の一般ゲームで、後述する何れかのレギュラーボーナスが内部当選して、所定の図柄が有効ライン上に揃って停止すると、獲得枚数は０枚でその後にシフト・レギュラーボーナス（シフトＲＢ又はＳＲＢ）が付与され、その終了契機は１２ゲーム消化、８回入賞又は規定枚数の払い出しによるビッグボーナスの作動が終了した時である。このシフト・レギュラーボーナスは、上記ビッグボーナス中にしか内部当選せず、リプレイ確率を内部当選したシフト・レギュラーボーナスによって決まるリプレイ状態に移行させる。

10

【 0 5 6 6 】

レギュラーボーナスの組合せ図柄は、ＳＲＢ１が左ドラム２ａに（黒バー）、中ドラム２ｂに（ブラム（白））、右ドラム２ｃに（金メダル）、ＳＲＢ２が左ドラム２ａに（黒バー）、中ドラム２ｂに（金メダル）、右ドラム２ｃに（ブラム（白））、ＳＲＢ３が左ドラム２ａに（青７）、中ドラム２ｂに（ブラム（白））、右ドラム２ｃに（金メダル）及びＳＲＢ４が左ドラム２ａに（青７）、中ドラム２ｂに（金メダル）、右ドラム２ｃに（ブラム（白））である。主制御部１００は、ＳＲＢ１～ＳＲＢ４の何れかが内部当選中にビッグボーナスが終了すると、リプレイ確率をＳＲＢで決定されたリプレイ状態に維持する。

【 0 5 6 7 】

20

（５）リプレイ１（再遊技１）：各ドラムにリプレイ図柄又は青リプレイ図柄の何れかが有効ライン上に揃った場合の役名であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動投入されるので、遊技者のスタートレバー９の操作により、次のゲームを行うことができる。乱数抽選でリプレイ１が内部当選すると、フラグエリアにＲＰ１・フラグを立て、８種類ある組合せ図柄の何れか一つが表示されて、再遊技１が作動しても再遊技確率は変動しない。なお、リプレイ１及び後述する他のリプレイ２～リプレイ７の複数組合せ（当選パターン）と同時に内部当選すると、押し順によって何れか１つのリプレイ役の図柄を表示するように停止制御される。

【 0 5 6 8 】

（６）リプレイ２（再遊技２）：左ドラム２ａに（ベル）、中ドラム２ｂに（ベル）、右ドラム２ｃに（金メダル／ブラム（赤）／ブラム（白））が有効ライン上に揃った場合の役名（図柄組合せ３種類）であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動投入される。乱数抽選でリプレイ２が内部当選すると、フラグエリアにＲＰ２・フラグを立て、３種類ある組合せ図柄の何れか一つが表示されて、再遊技２が作動しても再遊技確率は変動しない。なお、見た目上は、リプレイ図柄又は青リプレイ図柄が下段（例えば、図１４第３ライン参照）に一直線に表示されるので、遊技者にとって違和感はない。

30

【 0 5 6 9 】

（７）リプレイ３（再遊技３）：左ドラム２ａに（ベル）、中ドラム２ｂに（リプレイ／青リプレイ）、右ドラム２ｃに（チェリー）が有効ライン上に揃った場合の役名（図柄組合せ２種類）であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動投入される。乱数抽選でリプレイ３が内部当選すると、フラグエリアにＲＰ３・フラグを立て、２種類ある再遊技３の組合せ図柄の何れか一つが表示されて、再遊技３が作動しても再遊技確率は変動しない。なお、見た目上は、リプレイ図柄又は青リプレイ図柄が右斜め上（例えば、図１４第５ライン参照）に一直線に表示されるので、遊技者にとって違和感はない。リプレイ１～リプレイ３は、再遊技確率を変動させないので通常リプレイと呼ぶ。

40

【 0 5 7 0 】

（８）リプレイ４（再遊技４）：左ドラム２ａに（リプレイ／青リプレイ）、中ドラム２ｂに（リプレイ／青リプレイ）、右ドラム２ｃに（ベル）が有効ライン上に揃った場合

50

の役名（図柄組合せ４種類）であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動投入される。乱数抽選でリプレイ４が内部当選すると、フラグエリアにRP４・フラグを立て、４種類ある再遊技４の組合せ図柄の何れか一つが表示されて、再遊技４が作動すれば、再遊技確率が変動する（転落リプレイ）。リプレイ４が作動して再遊技確率が変動すると、一般的に再遊技確率が $1/7.3$ 程度の低確率状態になるので、遊技者にとって不利である。

【０５７１】

（９）リプレイ５（再遊技５）：左ドラム２aに（リプレイ／青リプレイ）、中ドラム２bに（リプレイ／青リプレイ）、右ドラム２cに（チェリー）が有効ライン上に揃った場合の役名（図柄組合せ４種類）であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動投入される。乱数抽選でリプレイ５が内部当選すると、フラグエリアにRP５・フラグを立て、４種類ある再遊技５の組合せ図柄の何れか一つが表示されて、再遊技５が作動すれば、再遊技確率が変動する（準備リプレイ）。リプレイ５が作動して再遊技確率が変動すると、一般的に再遊技確率が $1/3$ 程度の中確率状態になるので、遊技者にとってやや有利である。

10

【０５７２】

（１０）リプレイ６（再遊技６）：左ドラム２aに（ベル）、中ドラム２bに（リプレイ／青リプレイ）、右ドラム２cに（ベル）が有効ライン上に揃った場合の役名（図柄組合せ２種類）であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動投入される。乱数抽選でリプレイ６が内部当選すると、フラグエリアにRP６・フラグを立て、２種類ある再遊技６の組合せ図柄の何れか一つが表示されて、再遊技６が作動すれば、再遊技確率が変動する（発動リプレイ）。リプレイ６が作動して再遊技確率が変動すると、再遊技確率が $1/1.5$ 程度の高確率状態になるので、遊技者にとって大変有利である。

20

【０５７３】

（１１）リプレイ７（再遊技７）：左ドラム２aに（プラム（赤））、中ドラム２bに（ベル）、右ドラム２cに（金メダル／プラム（赤）／プラム（白））が有効ライン上に揃った場合の役名（図柄組合せ３種類）であり、これに対してメダルは獲得されないが、遊技開始前にメダルが自動投入される。乱数抽選でリプレイ７が内部当選すると、フラグエリアにRP７・フラグを立て、３種類ある組合せ図柄の何れか一つが表示されて、再遊技２が作動しても再遊技確率は変動しない。なお、各ドラムに赤７図柄や青７図柄を全て狙うと、赤７図柄又は青７図柄が上段（例えば、図１４第２ライン参照）に一直線に表示され、ATストックが確定するので、遊技者にとって激アツな瞬間となる。このリプレイ７は、再遊技確率を変動させないが、ATストックが確定するのでATストックリプレイと呼ぶ。

30

【０５７４】

ここから図７８を参照する。

【０５７５】

（１２）プラム（AT抽選役）：各ドラムにプラム（赤）図柄又はプラム（白）図柄の何れかが有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は９枚となる。抽選でプラムが内部当選すると、プラムの条件装置１個が作動し、それを契機に遊技機内部でアシストストック抽選（ATストック抽選：０～２５５回の範囲）が行われる。なお、ビッグボーナスのみが単独当選することは稀であり、殆どの場合、レア小役と呼ばれるプラムや後述するチェリー（CH）、又は弱チャンス目（FR１）や強チャンス目（FR２）と同時に内部当選するので、これらが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

40

【０５７６】

（１３）チェリー（CH：AT抽選役）：チェリー図柄が左ドラム２aの有効ライン上（センター位置）に停止した場合の役名であり、獲得枚数は２枚となる。抽選でチェリーが内部当選すると、CHの条件装置１個が作動し、それを契機に遊技機内部でアシストストック抽選（ATストック抽選：０～２５５回の範囲）が行われる。なお、チェリーは単

50

図柄小役であり、中ドラム 2 b 及び右ドラム 2 c にどのような図柄が停止しても、入賞には無関係である。このチェリーは「単チェ」と称される最強当選役であり、ビッグボーナスや AT ストック抽選の当選確率が 75% と高確率なので、これが表示されるだけで遊技者は最激アツになる。

【 0 5 7 7 】

(1 4) 一枚役 1 (F R 1 : 弱チャンス目) : 左ドラム 2 a に (ベル)、中ドラム 2 b に (赤 7 / 青 7 / 黒バー)、右ドラム 2 c に (金メダル / プラム (赤) / プラム (白)) の 9 種類、又は左ドラム 2 a に (ベル)、中ドラム 2 b に (金メダル / プラム (赤) / プラム (白))、右ドラム 2 c に (リプレイ / 青リプレイ) の 6 種類 (合計 1 5 種類) が有効ライン上に停止すると、獲得枚数は 1 枚となる。一枚役 1 は、低確率 ~ 中確率で B B 1 ~ B B 3 の何れかと同時に当選するので、これが表示されると遊技者は胸を躍らせる。

10

【 0 5 7 8 】

(1 5) 一枚役 2 (F R 2 : 強チャンス目) : 左ドラム 2 a に (ベル)、中ドラム 2 b に (赤 7 / 青 7 / 黒バー)、右ドラム 2 c に (赤 7 / 青 7 / 黒バー) の 9 種類、又は左ドラム 2 a に (ベル)、中ドラム 2 b に (金メダル / プラム (赤) / プラム (白))、右ドラム 2 c に (チェリー) の 3 種類 (合計 1 2 種類) が有効ライン上に停止すると、獲得枚数は 1 枚となる。一枚役 1 は、中確率 ~ 高確率で B B 1 ~ B B 3 の何れかと同時に当選するので、これが表示されると遊技者は激アツな気分になる。

【 0 5 7 9 】

(1 6) ベル (ベル 1) : 各ドラムにベル図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は 1 5 枚となる。抽選でベルが内部当選すると、ベル 1 の条件装置 1 個が作動する。ベル 1 は、単独で当選すると、停止ボタン部 1 0 の停止操作順序に拘わらず、有効ライン上にベル図柄が停止して必ず入賞する。

20

【 0 5 8 0 】

(1 7) 押し順制御ベル (ベル 2 ~ ベル 1 1) : 図 7 8 に示した図柄が有効ライン上に揃った場合の役名であり、獲得枚数は 1 5 枚となる。ベル 1 及び押し順ベルのベル 2 ~ ベル 1 1 が同時に複数当選すると、主制御部 1 0 0 は押し順に従って何れか 1 つのベル役の図柄を有効ライン上に表示して入賞させたり、ベル役のコボシ目図柄を表示するように停止制御を行う。押し順制御ベルが入賞した場合、ベル 2 ではベル図柄が右斜め下 (図 1 4 第 4 ライン参照)、ベル 3 ではベル図柄が右斜め上 (図 1 4 第 5 ライン参照)、及びベル 4 ~ ベル 1 1 ではベル図柄が上段 (図 1 4 第 2 ライン参照) に一直線に表示されるので、遊技者にとって違和感はない。

30

【 0 5 8 1 】

なお、ベル役のコボシ目図柄としては、コボシ目 1 が左ドラム 2 a に (リプレイ / 青リプレイ)、中ドラム 2 b に (リプレイ / 青リプレイ)、右ドラム 2 c に (金メダル / プラム (赤) / プラム (白)) の 1 2 種類、コボシ目 2 が左ドラム 2 a に (リプレイ / 青リプレイ)、中ドラム 2 b に (ベル)、右ドラム 2 c に (赤 7 / 青 7 / 黒バー) の 6 種類、及びコボシ目 3 が左ドラム 2 a に (ベル)、中ドラム 2 b に (リプレイ / 青リプレイ)、右ドラム 2 c に (赤 7 / 青 7 / 黒バー) の 6 種類、合計 2 4 種類であり、通常ゲームでコボシ目 1 ~ コボシ目 3 が有効ライン上に表示されると、主制御部 1 0 0 はリプレイ確率をリプレイ通常状態 (リプレイ確率が約 1 / 7 . 3) に変更するので、遊技者にとって不利になる。

40

【 0 5 8 2 】

図 7 9 は、押し順ベルの条件装置の組合せ表である。

【 0 5 8 3 】

押し順ベルとは、停止ボタン部 1 0 の操作順序 (停止ボタン部 1 0 の押し順) が正解の場合に必ずベル小役を入賞させる一方、不正解の場合には、ベル小役を入賞させる時とコボシ目を表示する時がある当選役を意味する。押し順ベル 1 ~ 押し順ベル 1 2 の当選パターンがある。

【 0 5 8 4 】

50

乱数抽選で押し順ベル1が当選すると、条件装置（フラグ）のベル2 + ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11が同時に立つ（当選パターン）。その時に、停止ボタン部10の押し順が左停止ボタン10a 中停止ボタン10b 右停止ボタン10cであれば、必ずベル2を入賞させる（図の押し順ベル1の斜線部参照）。停止ボタン部10の押し順が、左停止ボタン10a 右停止ボタン10c 中停止ボタン10bであれば、右停止ボタン10cと中停止ボタン10bの操作タイミングにより、ベル2若しくは他のベル（ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11）が入賞するか、又はコボシ目が表示される。

【0585】

また、停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が中停止ボタン10bの場合には、左停止ボタン10aと右停止ボタン10cの操作タイミングにより、他のベル（ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11）が入賞するか又はコボシ目が表示されるが、ベル2は入賞しない。停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が右停止ボタン10cの場合には、左停止ボタン10aと中停止ボタン10bの操作タイミングにより、他のベル（ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11）が入賞するか又はコボシ目が表示されるが、ベル2は入賞しない。押し順ベル2は押し順ベル1と同様であり、詳細は図示した通りなので説明を省略する。なお、この様に同種の押し順ベルを複数設けるのは、狙い撃ちできないようにする為であり、これにより攻略不能になる。

【0586】

乱数抽選で押し順ベル3が当選すると、条件装置（フラグ）のベル2 + ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11 + FR1が同時に立つ（当選パターン）。その時に、停止ボタン部10の押し順が左停止ボタン10a 右停止ボタン10c 中停止ボタン10bであれば、必ずベル2を入賞させる（図の押し順ベル3の斜線部参照）。停止ボタン部10の押し順が、左停止ボタン10a 中停止ボタン10b 右停止ボタン10cであれば、中停止ボタン10bと右停止ボタン10cの操作タイミングにより、ベル2若しくは他のベル（ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11）が入賞するか、又はコボシ目が表示される。

【0587】

また、停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が中停止ボタン10bの場合には、左停止ボタン10aと右停止ボタン10cの操作タイミングにより、他のベル（ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11）が入賞するか又はコボシ目が表示されるが、ベル2は入賞しない。停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が右停止ボタン10cの場合には、左停止ボタン10aと中停止ボタン10bの操作タイミングにより、他のベル（ベル4 + ベル6 + ベル9 + ベル11）が入賞するか又はコボシ目が表示されるが、ベル2は入賞しない。押し順ベル4は押し順ベル3と同様であり、詳細は図示した通りなので説明を省略する。なお、この様に同種の押し順ベルを複数設けるのは、狙い撃ちできないようにする為であり、これにより攻略不能になる。

【0588】

乱数抽選で押し順ベル5が当選すると、条件装置（フラグ）のベル1 + ベル4 + ベル11が同時に立つ（当選パターン）。その時に、停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が中停止ボタン10bの場合には、必ずベル1を入賞させる（図の押し順ベル5の斜線部参照）。停止ボタン部10の押し順が、左停止ボタン10a 中停止ボタン10b 右停止ボタン10cの場合、左停止ボタン10a 右停止ボタン10c 中停止ボタン10bの場合、又は第一停止操作が右停止ボタン10cの場合には、停止ボタン部10の操作タイミングにより、他のベル（ベル4 + ベル11）が入賞するか又はコボシ目が表示されるが、ベル1は入賞しない。押し順ベル6 ~ 押し順ベル8は押し順ベル5と同様であり、詳細は図示した通りなので説明を省略する。なお、この様に同種の押し順ベルを複数設けるのは、狙い撃ちできないようにする為であり、これにより攻略不能になる。

【0589】

乱数抽選で押し順ベル9が当選すると、条件装置（フラグ）のベル1 + ベル4 + ベル11 + FR1が同時に立つ（当選パターン）。その時、停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が右停止ボタン10cの場合には、必ずベル1を入賞させる（図の押し順ベ

10

20

30

40

50

ル9の斜線部参照)。停止ボタン部10の押し順が、左停止ボタン10a 中停止ボタン10b 右停止ボタン10cの場合、左停止ボタン10a 右停止ボタン10c 中停止ボタン10bの場合、又は第一停止操作が中停止ボタン10bの場合には、停止ボタン部10の操作タイミングにより、他のベル(ベル4+ベル11)が入賞するか又はコボシ目が表示されるが、ベル1は入賞しない。押し順ベル10~押し順ベル12は押し順ベル9と同様であり、詳細は図示した通りなので説明を省略する。なお、この様に同種の押し順ベルを複数設けるのは、狙い撃ちできないようにする為であり、これにより攻略不能になる。

【0590】

図80は、リプレイの条件装置の組合せ表である。

10

【0591】

乱数抽選で通常リプレイが当選すると、条件装置(フラグ)のRP1+RP2+RP3が同時に立つ(当選パターン)。その時に、停止ボタン部10をどのような順序で操作しても、RP1、RP2又はRP3の何れかが作動する。なお、RPとはリプレイ又は再遊技を意味する(以下、同様である)。

【0592】

乱数抽選でATストックリプレイが当選すると、条件装置(フラグ)のRP2+RP7が同時に立つ(当選パターン)。その時に、停止ボタン部10をどのような順序で操作しても、RP2又はRP7の何れかが作動するが、各ドラムに赤7図柄や青7図柄を全て狙うと、RP7が作動すると共に、赤7図柄又は青7図柄が上段(例えば、図14第2ライン参照)に一直線に表示されて、ATストックが確定する。

20

【0593】

乱数抽選で押し順リプレイ1が当選すると、条件装置(フラグ)のRP1+RP3+RP5が同時に立つ(当選パターン)。その時に、停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が左停止ボタン10aの場合には、RP1が作動する。また、停止ボタン部10の押し順が、中停止ボタン10b 左停止ボタン10a 右停止ボタン10cであればRP5(準備リプレイ)が作動する一方、その他の操作ではRP3が作動する。RP5が作動すると、再遊技確率が1/3程度の中確率状態に変動して、ARTを開始する為の準備モードとなる。なお、押し順リプレイ2~押し順リプレイ4は、押し順ベル1と同様であり、詳細は図示した通りなので説明を省略する。つまり、停止ボタン部10の押し順が、押し順リプレイ2の場合には中停止ボタン10b 右停止ボタン10c 左停止ボタン10aで、押し順リプレイ3の場合には右停止ボタン10c 左停止ボタン10a 中停止ボタン10bで、押し順リプレイ4の場合には右停止ボタン10c 中停止ボタン10b 左停止ボタン10aで、RP5が作動する一方、その他の操作でRP3が作動する。

30

【0594】

乱数抽選で押し順リプレイ5が当選すると、条件装置(フラグ)のRP1+RP4+RP6が同時に立つ(当選パターン)。その時に、停止ボタン部10の押し順として、第一停止操作が左停止ボタン10aの場合には、RP4(転落リプレイ)が作動する。また、停止ボタン部10の押し順が、中停止ボタン10b 左停止ボタン10a 右停止ボタン10cであればRP6(発動リプレイ)が作動する一方、その他の操作でRP4が作動する。RP6が作動すると、再遊技確率が1/1.5程度の高確率状態に変動して、ARTモードとなる。なお、押し順リプレイ6~押し順リプレイ8は、押し順ベル5と同様であり、詳細は図示した通りなので説明を省略する。つまり、停止ボタン部10の押し順が、押し順リプレイ6の場合には中停止ボタン10b 右停止ボタン10c 左停止ボタン10aで、押し順リプレイ7の場合には右停止ボタン10c 左停止ボタン10a 中停止ボタン10bで、押し順リプレイ8の場合には右停止ボタン10c 中停止ボタン10b 左停止ボタン10aで、RP6が作動する一方、その他の操作でRP4が作動する。

40

【0595】

図81は、リプレイ状態ごとの条件装置の組合せ表である。

【0596】

50

(1) 初期リプレイ状態：出玉率の段階設定を行った後、通常遊技でRP4が作動した後、ビッグボーナス図柄が表示された後、又はレギュラーボーナス図柄が表示された後に再遊技確率が変動して、このリプレイ状態になる。乱数抽選でリプレイが当選すると、条件装置のRP1 + RP2 + RP3が同時に立ち、何れか一つが作動する。リプレイの当選確率は、約1/7.3である。

【0597】

(2) 通常リプレイ状態：通常遊技でベル役のコボシ目図柄（抽選手段が抽選した当選役のコボシ目図柄）が表示された後に再遊技確率が変動して、このリプレイ状態になる。乱数抽選でリプレイが当選すると、当選パターンとして、RP1 + RP3 + RP5、RP1 + RP2 + RP3 + RP5、RP1 + RP3 + RP5 + RP7、又はRP1 + RP2 + RP3 + RP5 + RP7の何れかの組の条件装置が同時に立ち、何れか一つのリプレイが作動する。リプレイの当選確率は、約1/7.3である。

10

【0598】

(3) 準備リプレイ状態：通常遊技でRP5図柄が表示された後に再遊技確率が変動して、このリプレイ状態になる。乱数抽選でリプレイが当選すると、当選パターンとして、RP1 + RP4 + RP6、RP1 + RP2 + RP4 + RP6、RP1 + RP4 + RP6 + RP7、又はRP1 + RP2 + RP4 + RP6 + RP7の何れかの組の条件装置が同時に立ち、何れか一つのリプレイが作動する。リプレイの当選確率は、約1/3である。

【0599】

(4) ATリプレイ状態：通常遊技でRP6図柄が表示された後に再遊技確率が変動して、このリプレイ状態になる。乱数抽選でリプレイが当選すると、当選パターンとして、RP1 + RP2 + RP3、又はRP2 + RP7の何れかの組の条件装置が同時に立ち、何れか一つのリプレイが作動する。リプレイの当選確率は、約1/1.5である。特に、RP2 + RP7が当選すると、ATストックの上乗せが確定し、抽選した数だけATストック数が加算される。

20

【0600】

(5) BB内部リプレイ状態：通常遊技でビッグボーナスが内部当選した後に再遊技確率が変動して、このリプレイ状態になる。乱数抽選でリプレイが当選すると、条件装置のRP1 + RP2 + RP3が同時に立ち、何れか一つが作動する。リプレイの当選確率は、約1/3である。

30

【0601】

(6) RB内部リプレイ状態：ビッグボーナスが作動中の一般ゲームでレギュラーボーナス(SRB)が内部当選後に再遊技確率が変動して、このリプレイ状態になる。乱数抽選でリプレイが当選すると、当選パターンとして、RP1 + RP2 + RP3、RP1 + RP4 + RP6、RP1 + RP2 + RP4 + RP6、RP1 + RP4 + RP6 + RP7、RP1 + RP2 + RP4 + RP6 + RP7、又はRP2 + RP7の何れかの組の条件装置が同時に立ち、何れか一つのリプレイが作動する。リプレイの当選確率は、約1/1.5である。特に、RP2 + RP7が当選すると、ATストックの上乗せが確定し、抽選した数だけATストック数が加算される。

【0602】

40

図82は、通常ゲームにおけるリプレイ状態遷移図である。

【0603】

主制御部100は、段階設定値の変更後（同じ値に打ち直すことも含む）、通常ゲームでRP4図柄を表示後、ビッグボーナス図柄を表示後、又はレギュラーボーナス図柄を表示後にステップS300へ移行し、リプレイ確率が約1/7.3の初期リプレイ状態にして通常ゲームを行う。この初期リプレイ状態では、リプレイの当選パターンとして(RP1 + RP2 + RP3)の同時当選しかないので、RP5やRP6が表示されることはないが、ステップS310で押し順ベル役のコボシ目1～コボシ目3の何れかが有効ライン上に表示されると、主制御部100はステップS320へ移行して、リプレイ確率が約1/7.3の通常リプレイ状態に変更する一方、コボシ目が表示されなければステップS30

50

0へ移行する。

【0604】

主制御部100は、ステップS320に移行して、通常リプレイ状態における通常ゲームでRP5図柄を表示(ステップS330)すると、ステップS340へ移行する一方、RP5図柄が表示されなければステップS320へ移行する。

【0605】

主制御部100は、ステップS340に移行して、準備リプレイ状態における通常ゲームで小役図柄やハズレ図柄(その他の表示:ステップS350)が表示されるとステップS340へ移行する。その一方、ステップS360でコボシ目1~コボシ目3の何れかが有効ライン上に表示されると、ステップS320へ移行して、通常リプレイ状態に変更される(転落)。ステップS370でRP4図柄が有効ライン上に表示されると、ステップS300へ移行して、初期リプレイ状態に変更される(転落)。なお、この実施例では最も深い初期リプレイ状態まで転落させたが、コボシ目図柄表示と同様に、通常リプレイ状態に変更してもよい。つまり、準備リプレイ状態における通常ゲームで、RP4図柄が有効ライン上に表示されると、ステップS320へ移行して、通常リプレイ状態に変更してもよい。

10

【0606】

これに対して、ステップS380でRP6図柄が有効ライン上に表示されると、ステップS382へ移行して、リプレイ確率が約1/1.5と高確率のATリプレイ状態に変更される。副制御部160は、複数設けられた停止スイッチの操作順序を案内するか否かを抽選で決定すると共に、当選した場合には1~128セットの範囲でナビ・ストック数抽選(ナビゲーション・ストック数抽選)を行う。副制御部160は、1ストックで50ゲーム間だけ停止スイッチの操作順序を案内するが、その間にビッグボーナスやレア小役(チェリー、プラム又はチャンス目等)が当選すると、上乘せゲーム数や加算ナビストック抽選も行う。

20

【0607】

主制御部100は、ステップS382のATリプレイ状態でコボシ目1~コボシ目3の何れかが有効ライン上に表示(ステップS384)されると、ステップS320へ移行して、通常リプレイ状態に変更する。また、ステップS386でRP4図柄が有効ライン上に表示されると、ステップS300へ移行して、初期リプレイ状態に変更する。

30

【0608】

副制御部160は、このATリプレイ状態でナビ・ストックがある場合には、ステップS384で押し順ベル役が内部当選すると、図79に示したベル1又はベル2を入賞させる為の停止スイッチの操作順序を案内する。これにより通常リプレイ状態に転落しないようになっている。また、ステップS386で押し順リプレイが内部当選すると、図80に示したRP6を入賞(作動)させる為の停止スイッチの操作順序を案内する。これにより初期リプレイ状態に転落しないようになっている。

【0609】

なお、ナビ・ストックやAT残りゲーム数があるにも拘わらず、遊技者の操作ミスにより初期リプレイ状態や通常リプレイ状態に転落することがあるが、その場合に副制御部160は、RP5(準備リプレイ)やRP6(ATリプレイ)が当選したときに、それらのリプレイを作動させる為の停止スイッチの操作順序を案内するようになっている。

40

【0610】

図83は、ビッグボーナスゲームにおけるリプレイ状態遷移図である。

【0611】

主制御部100は、ビッグボーナスが内部当選(BB条件装置作動)すると、ステップS400でリプレイ確率が約1/3のBB内部リプレイ状態にして、その後遊技者の操作で一般ゲームを行い、ステップS405でBB図柄が有効ライン上に表示されると、ステップS410へ移行してBBを作動させる一方、BB図柄が表示されなければステップS400へ移行する。

50

【0612】

主制御部100は、ステップS410でBBを作動させると、ステップS420でリプレイ確率を初期リプレイ状態にして、BB中の一般ゲームを行い、ステップS425でRBが内部当選（シフトRBの条件装置作動）すると、ステップS430へ移行する一方、RBが内部当選しなければステップS420へ移行する。

【0613】

主制御部100は、ステップS430でリプレイ確率が約1/1.5のRB内部リプレイ状態にして、その後に遊技者の操作で一般ゲームを行い、ステップS435で獲得した遊技メダルが所定枚数を超えていない場合、ステップS440へ移行する一方、超えた場合、ビッグボーナスを終了してステップS470へ移行するが、その時にSRBが内部当選中であればその状態を解除して終了する（つまり、シフトRBの条件装置を下げて終了する）。

10

【0614】

主制御部100は、ステップS440でRB図柄が有効ライン上に表示されると、ステップS450へ移行してRBを作動させる一方、RB図柄が表示されなければステップS430へ移行する。

【0615】

主制御部100は、ステップS450でRBを作動させると、ステップS460でリプレイ確率を初期リプレイ状態にしてRBゲームを行い、ステップS465でRB終了条件が満足するとステップS420へ移行する。なお、ステップS465のRBゲーム中に、獲得した遊技メダルが所定枚数を超えた場合、ビッグボーナスを終了してステップS470へ移行する。

20

【0616】

主制御部100は、ビッグボーナスを終了してステップS470へ移行すると、リプレイ状態を現状のまま維持し、ステップS480でSRBが内部当選中であれば図82の(2)へ移行する一方、内部当選中でなければ同図(1)へ移行する。なお、このRB内部リプレイ状態は準備リプレイ状態とほぼ同じリプレイ状態あり、図80に示した押し順リプレイ5～押し順リプレイ8の何れかが高確率で当選するので、ARTリプレイ状態にしてARTを発動させる場合にはRP6（発動リプレイ）を作動させる為の停止スイッチの操作順序を案内する一方、初期リプレイ状態に転落させる場合には、操作順序を案内しただけで直ぐに転落する。この点は、特に進歩性を有するポイントでもある。

30

【0617】

図84は、ART開始までの処理手順を示すフローチャートである。

【0618】

ARTが開始するまでの手順としては、通常ルート（図の左側のフロー参照）とBBルート（図の右側のフロー参照）があるが、まず通常ルートを説明する。

【0619】

通常ゲームが開始されると、副制御部160は抽選で通常モード（ステップS500）又は高確率モード（ステップS510）の何れかを決定し、ステップS520で主制御部100が行う乱数抽選で特定契機役が内部当選すると、ステップS522でモード移行抽選を行う。例えば、特定契機役としてレア小役（チェリー、プラム又はチャンス目等）が当選すると高確率モードへの移行抽選が行われる一方、リプレイが当選すると通常モードへの移行抽選が行われる。この高確率モードでは、通常モードに比較して約10倍～100倍程度の高確率でART（ATナビ・ストック）が当選し、その為に多数の抽選テーブルの中から1つが選択されるようになっている。

40

【0620】

副制御部160は、ステップS524においてART抽選に当選しなければ、ステップS500又はステップS510へ移行する一方、当選するとARTストック数抽選（ステップS526）及び前兆ゲーム数抽選（ステップS528）を行う。この前兆ゲーム数はARTの当選を遊技者に告知するまでに要するゲーム数であり、ステップS530の前兆

50

モードに移行して激アツな演出が8ゲームから32ゲーム程度継続する。

【0621】

副制御部160は、ステップS532でARTの当選確定演出を行って、図80で示した押し順リプレイ1～押し順リプレイ4の何れかが通常リプレイ状態で内部当選するのを待ち、当選するとRP5が入賞(作動)する停止ボタン部10(停止スイッチ)の操作順序をナビゲーション(案内)する。なお、主制御部100は、乱数抽選結果や内部リプレイ状態、ドラム部2の回転状態や停止状態、遊技者の操作状態など必要な情報を副制御部160にその都度コマンドで通知している。また、副制御部160は、準備リプレイ状態で押し順リプレイ5～押し順リプレイ8の何れかが内部当選すると、RP6が入賞する停止ボタン部10の操作順序をナビゲーションし、ステップS540でARTを開始する。

10

【0622】

副制御部160は、ステップS542で乱数抽選により特定契機役が内部当選すると、ステップS544でARTの上乗せ抽選(ゲーム数や加算ナビストック)を行う。副制御部160は、ステップS546でARTの終了条件を満足したか否かを判断し、満足しなければステップS542へ移行する一方、満足すればステップS548で抽選により通常モードか高確モードを決定してステップS500又はステップS510へ移行する。

【0623】

次に、BBルートを説明する。通常ゲームで主制御部100が行う乱数抽選によりBBが内部当選(ステップS550)すると、副制御部160はステップS552でモード移行抽選を行う。副制御部160はステップS554でBB内部当選中モードになると、数ゲーム間だけ激アツ演出を行った後、当選したBB図柄を遊技者に告知する。

20

【0624】

副制御部160は、遊技者の停止ボタン部10の操作によりBBが作動(入賞:ステップS556)した後、SRBが内部当選(ステップS558)すると、ステップS560でART抽選を行う。また、副制御部160は、RB内部リプレイ状態において、レア小役(チェリー、プラム、ATリプレイ又はチャンス目等)が当選するとART抽選を行い(ステップS562)、獲得した遊技メダルが所定枚数を超えた場合、ビッグボーナスを終了する(ステップS564)。副制御部160は、ARTストックがある場合(ステップS566)、ステップS540へ移行してARTを開始する一方、ARTストックがない場合(ステップS568)、ステップS552で当選したモードにセットして、ゲーム開始の(1)へ移行する。

30

【0625】

図85は、ARTストック告知の処理手順を示すフローチャートである。図86乃至図88(A)は、表示演出装置が表示する演出画面の模式図であり、図88(B)乃至図88(D)は、窓部の図柄表示状態を時系列的に示した模式図である。また、図89乃至図92は、表示演出装置が表示する演出画面の模式図である。

【0626】

副制御部160は、図84のステップS556～ステップS570に示すボーナスゲーム中において、表示演出装置11(映像表示装置)にART役が当選したことを当選映像によって報知する。なお、一般ゲーム中にボーナス役が小役又はリプレイと同時に当選した場合も、同様の当選映像によって報知するようにしてもよい(詳細説明を省略する)。

40

【0627】

副制御部160は、ビッグボーナス(BB)が開始(作動)すると、ステップS600で複数個の図柄が描かれたドラム部2(左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c)を回転させ、抽選により内部当選役を予め決定して、停止ボタン部10(左停止ボタン10a、中停止ボタン10b及び右停止ボタン10c)が操作可能となる前に、大勢のキャラクタが登場する背景映像に重ねて、表示演出装置11に内部当選した図柄を右下位置に表示する。

【0628】

図86(A)はリプレイが当選した場合、また図86(B)はベルが当選した場合の表

50

示画面であり、停止ボタン部10の操作順序に拘わらず、必ず作動又は入賞する。図87(A)はチェリーが当選した場合、また図87(B)はプラムが当選した場合の表示画面であり、それぞれの図柄を狙って停止ボタン部10を停止操作すると、これらのレア小役が入賞する。なお、レア小役が内部当選すると、BB中にART抽選(ストック及び上乗せゲーム数抽選)が行われる(図84のステップS562参照)。

【0629】

図87(A)はSRB1~SRB4(図77参照)の何れかが当選した場合の表示画面であり、SRBの作動を避けさせるために表示演出装置11に赤色のビックリマークを3つ表示して、遊技者に赤7図柄を狙うように暗に指示する。遊技者が赤7図柄を上段を狙って左ドラム2a及び中ドラム2bを停止操作すると、非有効ラインの上段に赤7図柄があたかもテンパイしたかのように停止する(図88(B)参照)。これによりSRBの作動図柄が有効ライン上に揃って停止することが無くなる。

10

【0630】

当選した一種特別役物がSRB1~SRB3の何れかであれば、図88(B)の状態では遊技者が赤7図柄を上段を狙って右停止ボタン10cを停止操作すると、非有効ラインの上段に赤7図柄が横一列に揃って停止し、各図柄がフラッシュしてART当選を報知する(図88(C)参照)。副制御部160は、抽選により1~128個の間でARTストック数を決定する(図84のステップS560参照)。なお、当選したSRB1~SRB3に応じて、異なったART抽選テーブル(TBL1、TBL2、TBL3)が選択され、ARTストック数の期待値はSRB1>SRB2>SRB3の順で決まっている。

20

【0631】

一方、当選した一種特別役物がSRB4であれば、図88(B)の状態では遊技者が赤7図柄を上段を狙って右停止ボタン10cを停止操作しても、下段に滑って赤7図柄が揃わない(図88(D)参照)。なお、SRB4の場合には、基本的にART抽選を行わないようになっているが、非常に低い確率(1~5%程度)でART抽選を行うようにしてもよい。また、ビックリマークの本数であるが、SRB1~SRB3の場合に複数本を選択し、SRB4の場合に1本が選択され易いように、ビックリマーク表示抽選テーブルの選択確率が振り分けられているので、遊技者により一層の興奮と刺激及び揃った場合の感動を与えることができる。

【0632】

図89(A)は、ボーナスゲーム中画面であり、表示しているARTのSTOCK数が1つ、トータルの払い出し枚数が111枚、及びBBゲームでの払い出し枚数80枚中、40枚が払い出され、このゲームでベル小役が入賞したことを表示している。

30

【0633】

副制御部160は、ステップS605に移行すると、ボーナスゲーム画面からチャレンジ画面への画面変更条件が成立したか否かを判断する(図89(A)参照)。この画面変更条件は、所定ゲーム数でボーナスゲームが終了することの真偽であり、真の場合に条件が成立する。例えば、最大獲得枚数を15枚とし、残り払い出し枚数が16枚~30枚となった場合には、残り2ゲームでボーナスゲームが終了する可能性があるため、画面変更条件は成立となる。一方、残り払い出し枚数が31枚以上であれば、残り2ゲームでボーナスゲームが終了する可能性はないため、画面変更条件は不成立となる。

40

【0634】

副制御部160は、図89(A)に示したベル小役が入賞後にステップS605で画面変更条件が成立したと判断すると、ステップS610に移行して、まずARTチャレンジ告知画面を表示する(図89(B)参照)。この図89(B)の場合、表示ARTのSTOCK数が1つで、トータルの払い出し枚数が126枚、及びBBゲームでの払い出し枚数80枚中、55枚が払い出されていることを表示している。従って、残り25枚でBBゲームが終了するので、BB終了までの残りゲーム数は最短で2ゲームとなる。なお、ARTの内部STOCK数は、表示STOCK数と等しいか又は大きい値である。

【0635】

50

副制御部160は、ステップS615に移行すると、内部STOCK数から表示STOCK数の差が0か、1~2か、又は3以上かを判断して、判断結果に応じた回転灯抽選テーブルを選択する。この回転灯抽選テーブルは、判断結果が3以上の場合には90%の確率で、また判断結果が1~2の場合には50%の確率で当選するようになっているが、演算値が0の場合には当選することはない(即ち、全てハズレ)。

【0636】

副制御部160は、ステップS620に移行すると、上記抽選テーブルを用いた回転灯演出(当選映像)の抽選を行って、当選すればステップS630に移行する一方、当選しなければステップS635に移行する。

【0637】

副制御部160は、回転灯演出に当選した場合(つまり、ART役が当選したことを報知する場合)、ステップS630において高確率で花丸映像の付加抽選(第一確率で付加映像の加算抽選)を行う一方、回転灯演出に当選しなかった場合、ステップS635において低確率で花丸映像の付加抽選を行って、ステップS640に移行する。

【0638】

副制御部160は、ステップS640で花丸演出が当選した場合、次ゲームで主制御部100から内部当選役(例えば、リプレイ)が通知されると、リプレイ図柄に花丸映像を加算した映像を右下に表示する(図89(C)参照)。

【0639】

副制御部160は、図90(A)に示す様に、リプレイの場合にはメダルの払い出しが無く、残りゲーム数が減っていないので、再挑戦を意味する「ARTチャレンジ再告知画面」を表示する。

【0640】

副制御部160は、ステップS630で花丸映像の付加抽選を再度行って、ステップS640で花丸演出が当選した場合、次ゲームで主制御部100から内部当選役(例えば、ベル小役)が通知されると、ベル図柄に花丸映像を加算した映像を右下に表示する(図90(B)参照)。その後、ステップS650に移行して、遊技者による停止ボタン部10の操作により、表示演出装置11に表示された大勢のキャラクタの背景映像中にモンスターが登場し、その口から回転灯(当選映像)を表示することにより、ART役が当選したことを報知する(図90(C)参照)。なお、ART当選の報知時期は、停止ボタン部10の操作終了時点が最も効果的であるが、第一停止操作や第二停止操作の時点で行ってもよい。

【0641】

その結果、図90(C)は、表示しているARTのSTOCK数が2つ、トータルの払い出し枚数が141枚、及びBBゲームでの払い出し枚数80枚中、70枚が払い出されたことを表示している。特に、ART役の当選報知時期として、停止ボタン部10の最終操作(第3停止操作)時点が効果的である。なお、図91は、図90において花丸演出が不当選の場合を示しており、内部当選したベル図柄だけを右下に表示している。回転灯を表示してART役が当選を報知すると、ステップS670でBBゲームの終了後にART状態へ移行する(ステップS540参照)。

【0642】

他方、副制御部160は、ステップS640で花丸演出が当選しなかった場合、図89(B)と同様に表示演出装置11に図92(A)を表示して、次ゲームで主制御部100から内部当選役(例えば、ベル小役)が通知されると、ベル図柄の映像だけを右下に表示する(図92(B)参照)。その後、ステップS655に移行して、遊技者による停止ボタン部10の操作により、表示演出装置11に表示された大勢のキャラクタの背景映像中にモンスターが登場するが、その口からは「残念」の文字プレートが飛び出し、ART役の不当選を報知する(図92(C)参照)。回転灯を非表示(不出現)の場合、ステップS660でART役がストックされているかを判断し、ストックされていなければステップS670へ移行する一方、ストックされていなければ、ステップS675でBBゲームを終

10

20

30

40

50

了及びモードセットする（ステップS570参照）。

【0643】

図93乃至図94は、窓部の図柄表示状態を示した模式図である。

【0644】

チェリー役は、第1強役としてセンターチェリー（図93（A）参照）及び強チェリー（図93（B）参照）がある一方、第1弱役として弱チェリー（図93（C）参照）がある。センターチェリーの場合、左ドラム2aの中段にチェリー図柄が停止し、ボーナス当選確率は70%及びAT当選確率は90%となっているので、遊技者にとって激アツである。強チェリーの場合、左ドラム2aの下段、中ドラム2bの中段及び右ドラム2cの上段にチェリー図柄が停止し、ボーナス当選確率は10%及びAT当選確率は20%となっているので、遊技者にとって熱い瞬間であり、共に興奮と感動を覚える。弱チェリーの場合、左ドラム2aの下段、中ドラム2bの中段及び右ドラム2cの下段にチェリー図柄が山型に停止し、ボーナス当選確率は3%及びAT当選確率は5%となっているので、相応に期待する瞬間である。

10

【0645】

ブラム役は、第2強役として強ブラム（図94（A）参照）がある一方、第2弱役として弱ブラム（図94（B）参照）がある。強ブラムの場合、左ドラム2aの上段、中ドラム2bの上段及び右ドラム2cの上段にブラム図柄が停止し、ボーナス当選確率は30%及びAT当選確率は50%で激アツである。弱ブラムの場合、左ドラム2aの上段、中ドラム2bの中段及び右ドラム2cの下段にブラム図柄が停止し、ボーナス当選確率は2%及びAT当選確率は4%となっているので、相応に期待する瞬間である。

20

【0646】

ベル役は、第3強役として強ベル（図94（C）参照）がある一方、第3弱役として押し順小役としての弱ベル（図示せず）があり、ベル図柄が上段や斜め一直線に揃う。強ブラムの場合、左ドラム2aの中段、中ドラム2bの中段及び右ドラム2cの中段にベル図柄が停止し、ボーナス当選確率は15%及びAT当選確率は30%で激アツである。弱ベルの場合には、ボーナス及びAT当選確率は0%～0.1%程度となっているので、遊技者は殆ど期待しない。なお、第1役としてチェリー、第2役としてブラム、第3役としてベルを例示したが、請求項とは無関係であり、第1役がブラムやベルであってもよい。

30

【0647】

図95は、トッランプの発光状態を時系列的に示したタイミングチャートである。

【0648】

副制御部160は、ゲーム終了から次のゲームが開始されるまでの間、トッランプ13aを消灯状態又は中立色での発光状態とする。この中立色は、一般に白色とするが、小役やリプレイを示す固有の色（チェリーは赤色、ブラムは紫色、ベルは黄色、リプレイは青色）以外の遊技者に混乱を生じさせない色であれば良い（図95（A）参照）。

【0649】

副制御部160は、ゲームが開始されると主制御部100から抽選結果（例えば、リプレイ内部当選）を受け取り、表示演出装置11や遊技状態表示LED部13の演出制御を行う。遊技者が停止ボタン部10の操作により、ドラム部（左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c）を停止させた場合、トッランプ13aを青色（内部当選役又は入賞役に対応する固有の色）で点灯又は点滅させ、その後ニュートラル状態（消灯状態又は中立色での発光状態）にする。

40

【0650】

副制御部160は、図95（A）の状態、次のゲームが開始されると主制御部100から抽選結果（例えば、強役のセンターチェリー内部当選）を受け取ると、表示演出装置11及び遊技状態表示LED部13に激アツ演出を行い、遊技者が停止ボタン部10（特に、左停止ボタン10a）の操作により、ドラム部2（左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c）を停止させた場合、トッランプ13aを赤色（内部当選役又は入賞役に

50

対応する固有の色)で点灯又は点滅させ、その後32ゲーム消化(所定数の変動表示ゲームが実行)されるまでの間、インターバル期間中にトッランプ13aを赤色で点灯又は点滅させ続ける。これにより、遊技者に期待感を継続して与えることが可能となる(図95(B)参照)。

【0651】

副制御部160は、図95(B)の状態、次のゲームが開始されると主制御部100から抽選結果(例えば、強役の強プラム内部当選)を受け取ると、表示演出装置11及び遊技状態表示LED部13に激アツ演出を行い、遊技者が停止ボタン部10(特に、左停止ボタン10a)の操作により、ドラム部2(左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c)を停止させた場合、トッランプ13aを紫色で点灯又は点滅させ、その後32

10

【0652】

一方、副制御部160は、図95(B)の状態、次のゲームが開始されると主制御部100から抽選結果(例えば、弱役の弱プラム内部当選)を受け取ると、表示演出装置11及び遊技状態表示LED部13にレア小役演出を行い、遊技者が停止ボタン部10(特に、左停止ボタン10a)の操作により、ドラム部(左ドラム2a、中ドラム2b及び右ドラム2c)を停止させた場合、トッランプ13aを紫色で点灯又は点滅させ、32ゲームとセンターチェリー後に実行した変動表示ゲーム数との差ゲームが消化(実行した所定数の変動表示ゲームの残数が実行)されるまでの間、インターバル期間中にトッラン

20

【0653】

副制御部160は、トッランプ13aをインターバル期間中に、センターチェリー又は強チェリー後の32ゲーム間、赤色で高速点滅させ、また強プラム後の32ゲーム間、紫色で高速点滅させることにより、ART抽選の高確率状態、又はボーナスやARTの前兆状態を示唆する。

【0654】

他の実施例として、副制御部160は、センターチェリー>強プラム>強ベルの順で当選確率が高い場合には、発光状態を変更しない。例えば、センターチェリー後のインターバル期間中にトッランプ13aを赤色で点灯又は点滅させている場合、強プラムが内部当選しても、赤色で発光させ続けたり、赤色と紫色で交互に発光させる。そして、32ゲーム間、赤色で発光させたときに、残りゲーム数だけ紫色のみで発光させる。

30

【0655】

図96は、表示演出装置及び制御回路系の要部ブロック図である。

【0656】

副制御部160は、図84のステップS564でビッグボーナスを終了すると、ターゲットゲームを開始する為に、ボーナスゲーム中に抽選で事前に決まる内部状態(低確率、通常確率、高確率、超高確率等)に応じて表示データ及びズレ数抽選確率データを表示制

40

【0657】

ズレ数抽選確率データは、0~3までのズレ数を抽選で決める為の確率値であり、例えば、ズレ数0が10%、ズレ数1が20%、ズレ数2が30%、ズレ数3が40%という確率データである。なお、副制御部160は、ターゲットゲームが超高確率の場合には、全ての数値データを10にして、全て10セット当選確定と表示したり、0番~7番を7及び8番~15番を3にして、7セット又は3セットの何れかが当選するようにする。一

50

方、ターゲットゲームが低確率の場合には、0番のみを10や5で、他を全て0や1にして、当選し難くする。なお、ズレ数を0～3の4つとしているが、この値に限定されず、都度の抽選により0～14までを決定して、そのズレ数抽選確率データを送信するようにしてもよい（ズレ数抽選確率データは、ズレ数とその抽選確率値である）。

【0658】

表示制御部11aは、副制御部160から表示データ及びズレ数抽選確率データを受信すると、CG-ROM11cから画像データを読み出し、表示演出装置11の表示画面11bにターゲットゲームの選択画面を表示すると共に、ズレ数を抽選で事前に決定する。この選択画面は「START: YES」（ハッチング部）を表示している。一方、左右キー（図示せず）の操作によりNOを選択して、スペシャルボタン14を操作すると、ターゲットゲームはキャンセルされて平均期待値（AV: アベレージ）の3となることを示している。なお、このターゲットゲームでは、黒丸で示したボールが右回転（矢印の方向）し、低速から徐々に高速になり一定速度に達するか又は所定時間が経過すると再びスペシャルボタン14が操作可能になる。

10

【0659】

図97及び図98は、表示演出装置が表示するルーレット画面の模式図である。

【0660】

副制御部160は、図96の状態から遊技者がスペシャルボタン14を操作して、スペシャルボタンセンサ112から入力信号を受け取ると、表示制御部11aにスタートコマンドを送信する。

20

【0661】

表示制御部11aは、スタートコマンドを受信すると、図97(A)の状態から移動子としてのボールを1つ右のポケットに移動させる（図97(B)参照）。この同様の1コマだけ移動させる描画を複数回続ける（図97(C)～図97(D)参照）。そして、図97(E)～図97(F)に示す様に、右側2コマ分のボールを同時に描画すると、ボールの移動速度が2倍となって中速移動となる。

【0662】

そして、2コマ描画した図98(A)の状態から、右側3コマ分のボールを同時に描画すると（図98(B)参照）、初期速度の3倍で高速移動させることができる。その後、ボールの移動が一定速度に達したとき（又は、所定時間が経過したとき）、副制御部160はスペシャルボタン14の操作を受け付け可能となり（図98(C)～図98(F)参照）、表示画面11bの上部に「スペシャルボタンを押せ」と表示する。

30

【0663】

図99は、表示演出装置が表示するルーレット画面の模式図である。

【0664】

副制御部160は、図99(A)の状態から遊技者がスペシャルボタン14を操作して、スペシャルボタンセンサ112から入力信号を受け取ると、表示制御部11aにストップコマンドを送信する。表示制御部11aは、副制御部160からストップコマンドを受信するまでの間にも描画を続けており、例えば、2画面分だけボールを継続移動させる（図99(B)～図99(C)参照）。

40

【0665】

表示制御部11aは、副制御部160からストップコマンドを受信しても既に次の描画処理を行っているので、更に1画面分だけ3つのボールを移動表示させるが、この時点でボールの停止可能位置を先頭のボール位置（数字2の位置）と判断する（図99(D)参照）。なお、この判断をする理由は、停止可能位置を非先頭位置（数字4又は1の位置）とすると、残像によりボールがバックしたように見えるので、遊技者に違和感を与えないようにする為である。

【0666】

そして、表示制御部11aは、次の描画でボールを停止させるが、決定したズレ数が0の場合は、数字2の位置でボールがビタ止まりする一方（図99(E)参照）、ズレ数が

50

3 の場合には、数字 4 の位置までボールが滑って停止する（図 99（F）参照）。なお、当然ながら、ズレ数が 1 の場合は数字 5 の位置で、ズレ数が 2 の場合は数字 1 の位置で停止する。これにより、遊技者がボーナスや ART を直接狙って勝ち取ることができるだけでなく、ズレ数を遊技機内部で決定するので完全に狙い撃ちすることができないようになっている。

【0667】

表示制御部 11a は、図 99（E）の場合、ボールの停止位置に対応する数値データ（遊技価値データ）の「2」を、また図 99（F）の場合には「4」を副制御部 160 に送信する。

【0668】

表示制御部 11a は、受診した数値データに基づいて判断し、ART ストックがある場合（図 84 ステップ S566）、ステップ S540 へ移行して ART を開始する一方、ART ストックがない場合（ステップ S568）、ステップ S552 で当選したモードにセットして、ゲーム開始の（1）へ移行する。

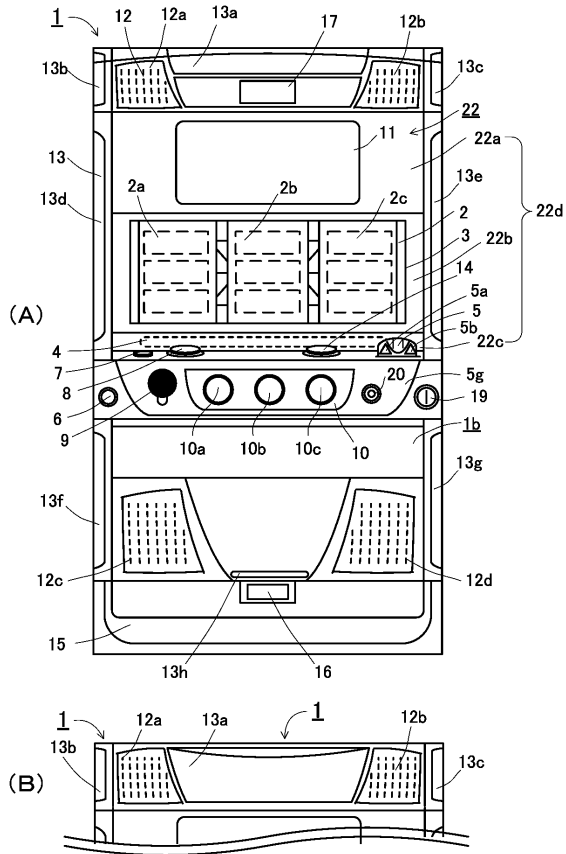
【符号の説明】

【0669】

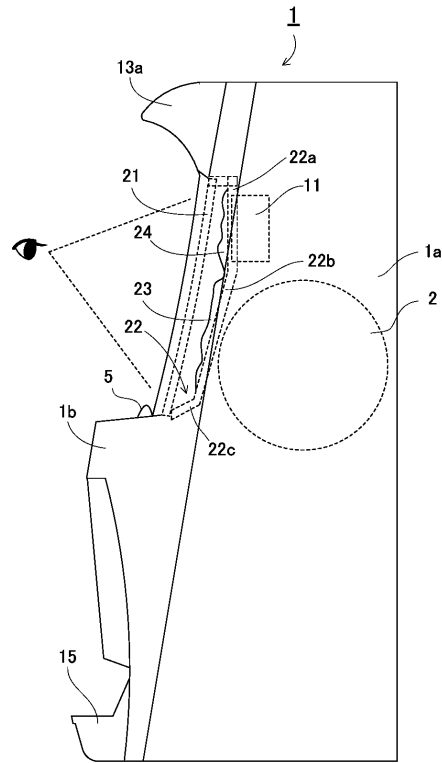
1	回胴式遊技機本体	
1 a	筐体	
1 b	前扉	
2	ドラム部	20
2 a	左ドラム	
2 b	中ドラム	
2 c	右ドラム	
3	窓部	
4	表示 LED ブロック	
4 a	投入枚数 LED	
4 b	メダル貯留枚数表示 LED	
4 c	メダル払出枚数表示 LED	
4 d	リプレイ表示 LED 4 d	
4 e	エラー表示 LED	30
5	メダル投入部	
5 a	左光透過部	
5 b	右光透過部	
6	精算ボタン	
7	1ベットボタン	
8	マックスベットボタン	
9	スタートレバー	
10	停止ボタン部	
10 a	左停止ボタン	
10 b	中停止ボタン	40
10 c	右停止ボタン	
11	表示演出装置	
12	スピーカ部	
12 a	左上スピーカ	
12 b	右上スピーカ	
12 c	左下スピーカ	
12 d	右下スピーカ	
13	遊技状態表示 LED 部	
14	スペシャルボタン	
15	受け皿	50

1 6	メダル払出口	
1 7	ロゴパネル部	
1 8	メダル払出装置	
1 9	ドア鍵穴	
2 0	返却ボタン	
2 1	透明パネル	
2 2	デザインパネル	
2 3	装飾物	
2 4	電動式駆動物	
2 5	入力 S W 部	10
2 6	計時部	
2 7	反射板	
2 8	電源部	
2 8 a	設定用キースイッチ	
2 8 b	エラー解除スイッチ	
2 8 c	電源スイッチ	
2 8 d	鍵穴	
1 0 0	主制御部	
1 0 1	R O M	
1 0 2	R A M	20
1 1 0	スタート S W センサ	
1 1 1	操作方向センサ	
1 1 2	スペシャルボタンセンサ	
1 1 3	扉異常信号出力装置	
1 2 0	停止ボタンセンサ	
1 3 0	メダル検出センサ	
1 4 0	ベットボタンセンサ	
1 5 0	段階設定部	
1 6 0	副制御部	
1 6 1	R O M	30
1 6 2	R A M	

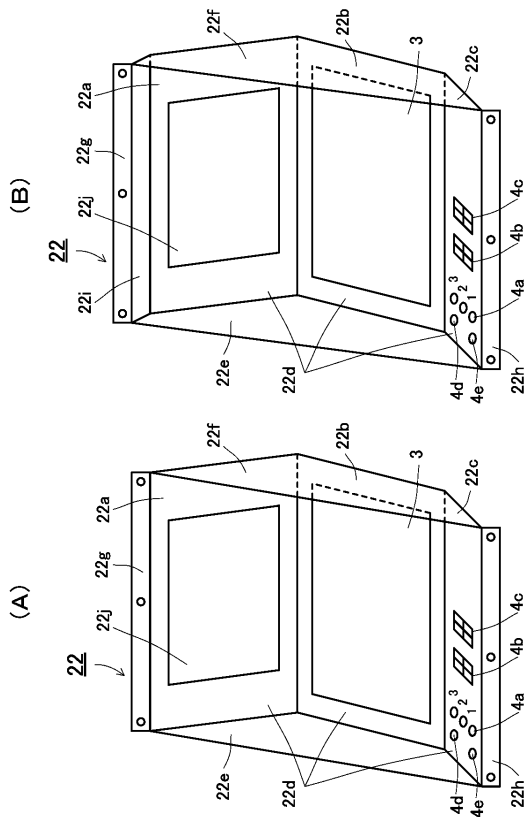
【図1】



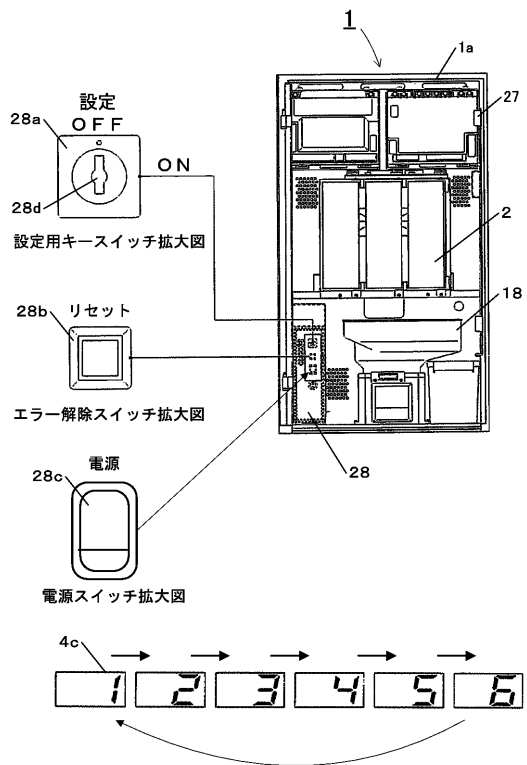
【図2】



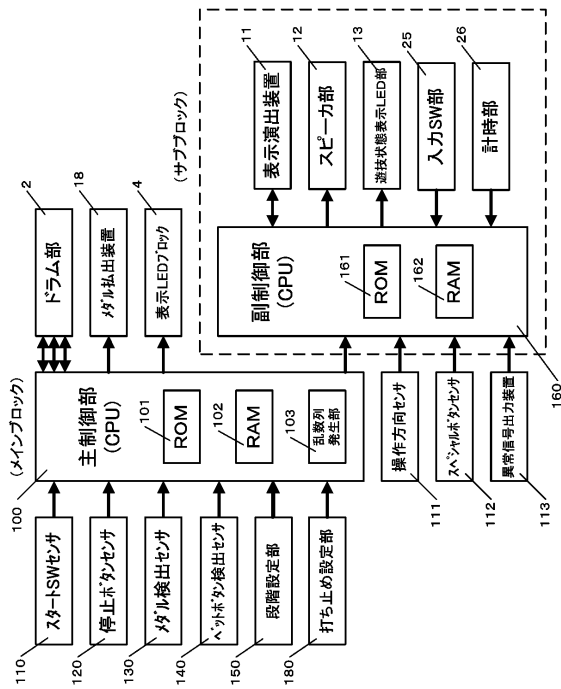
【図3】



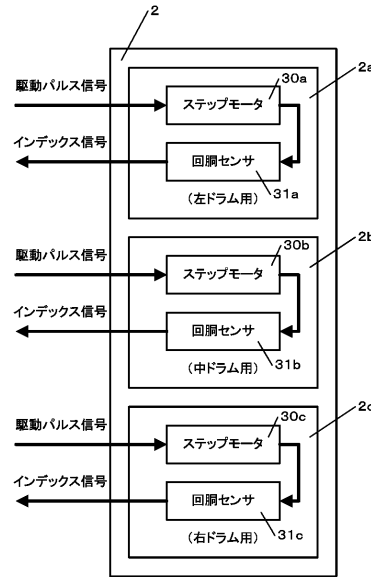
【図4】



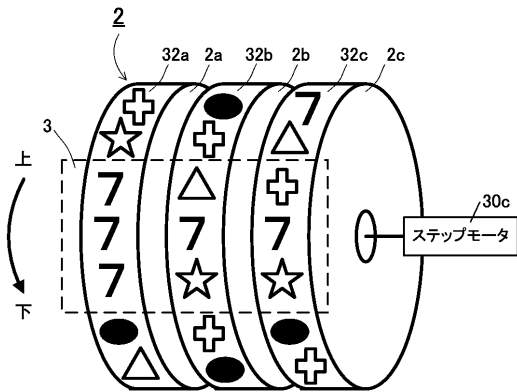
【図5】



【図6】



【図7】

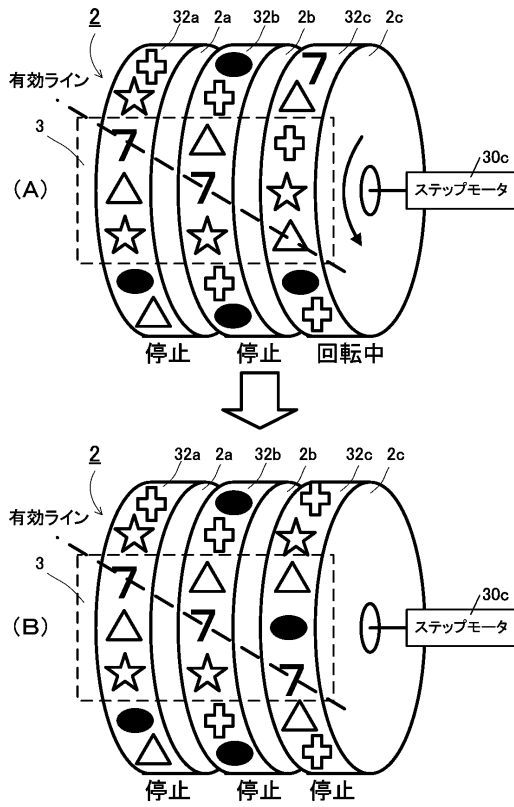


【図8】

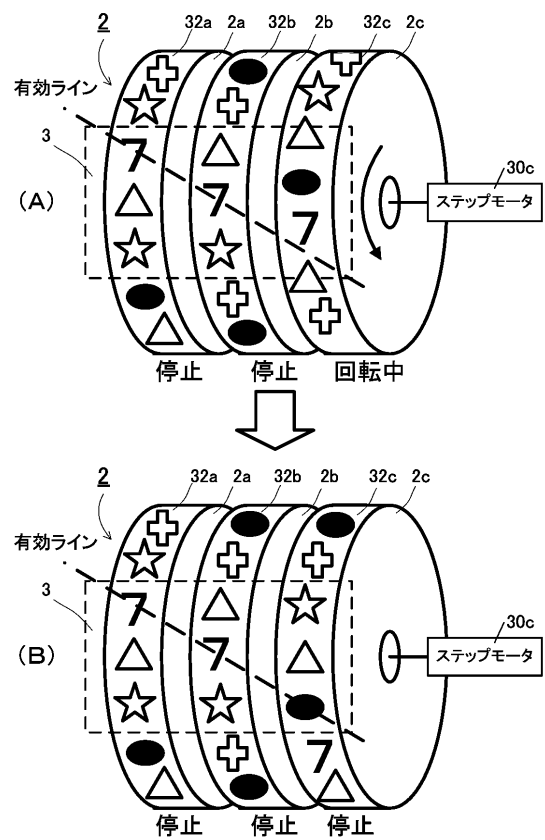
ドラムの図柄配置

No.	左ドラム	中ドラム	右ドラム
1	リプレイ	スイカ	ベル
2	赤7	赤7	赤7
3	赤7	ベル	ベル
4	スイカ	リプレイ	スイカ
5	リプレイ	チェリー	リプレイ
6	ベル	ベル	チェリー
7	(捨て図柄)	リプレイ	ベル
8	チェリー	チェリー	スイカ
9	リプレイ	(捨て図柄)	リプレイ
10	ベル	(捨て図柄)	青7
11	リプレイ	ベル	ベル
12	青7	リプレイ	スイカ
13	青7	スイカ	リプレイ
14	青7	青7	(捨て図柄)
15	スイカ	スイカ	ベル
16	ベル	ベル	スイカ
17	リプレイ	リプレイ	リプレイ
18	赤7	チェリー	チェリー
19	チェリー	ベル	ベル
20	スイカ	リプレイ	スイカ
21	ベル	(捨て図柄)	リプレイ

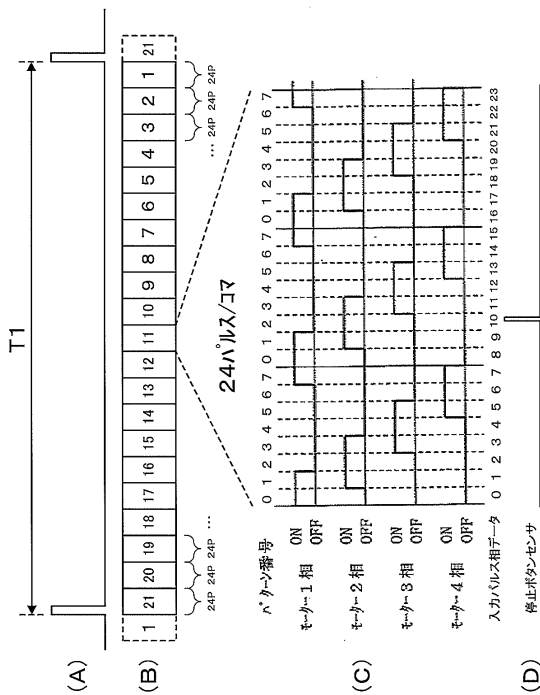
【図9】



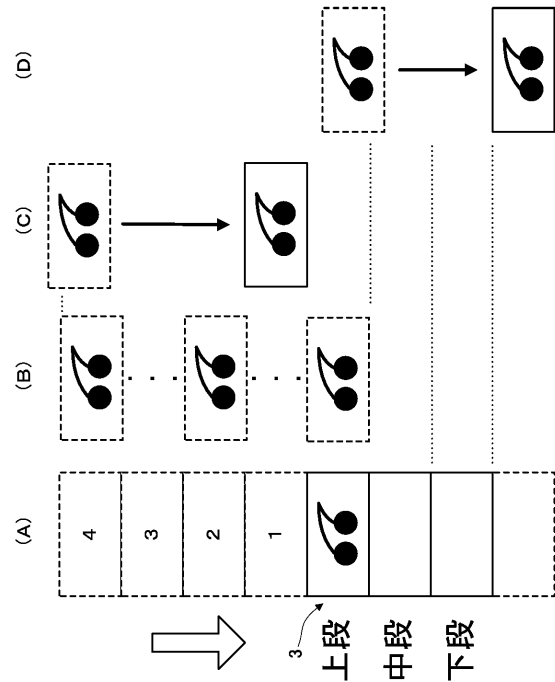
【図10】



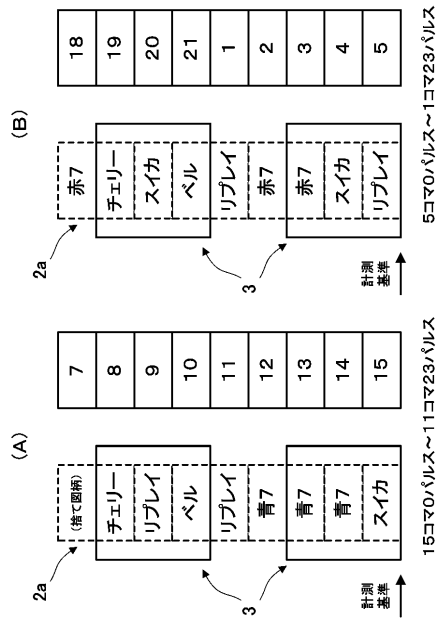
【図11】



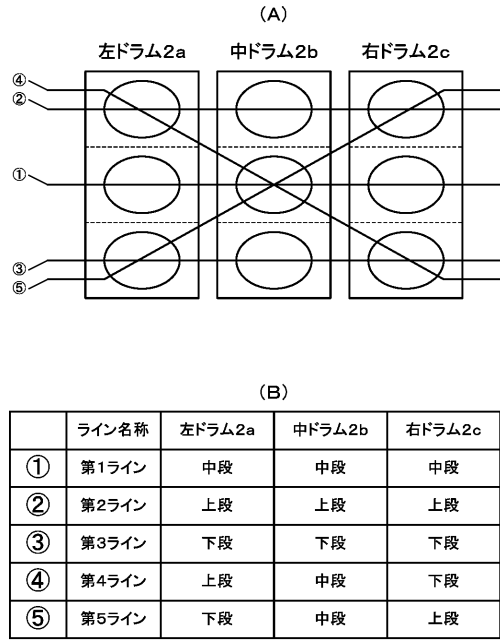
【図12】



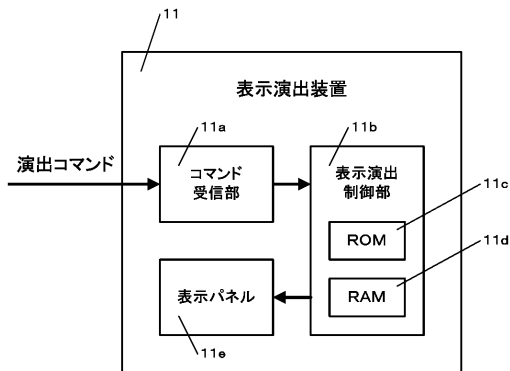
【図13】



【図14】



【図15】

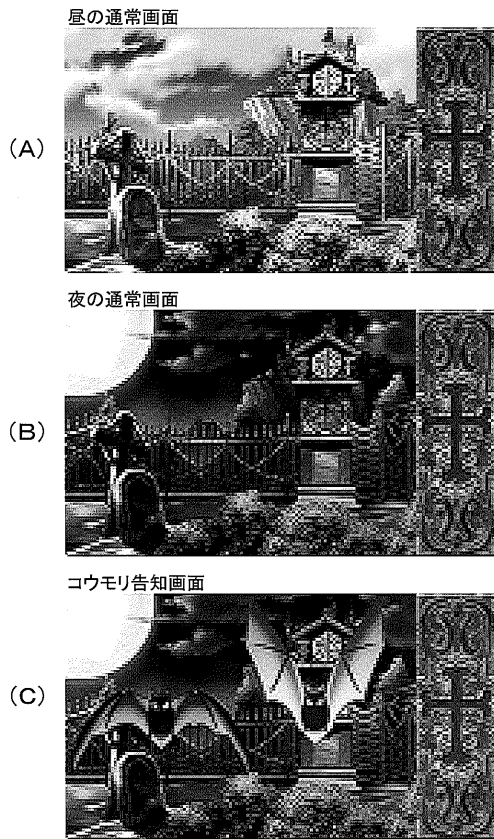


【図16】

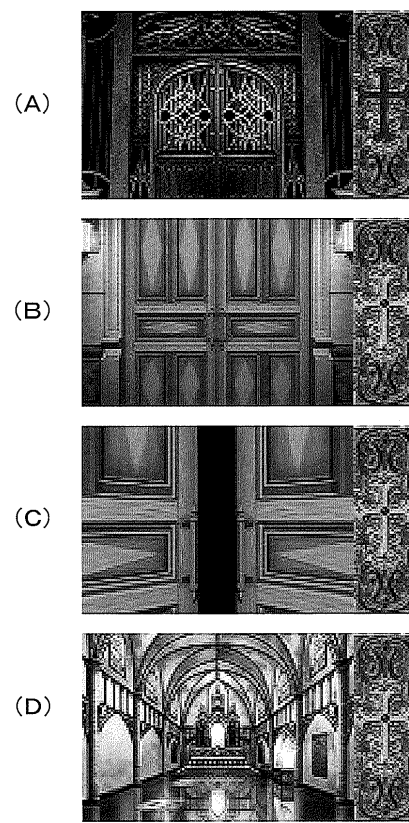
演出パターンテーブル

演出コマンド		演出パターンデータ
モード	イベント	
\$Y0	\$00	夜の演出パターン0
\$Y0	\$01	夜の演出パターン1
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
\$Y0	\$EE	夜の演出パターン255
\$Z0	\$00	昼の演出パターン0
\$Z0	\$01	昼の演出パターン1
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
\$Z0	\$EE	昼の演出パターン255
\$S0	\$00	城の演出パターン0
\$S0	\$01	城の演出パターン1
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

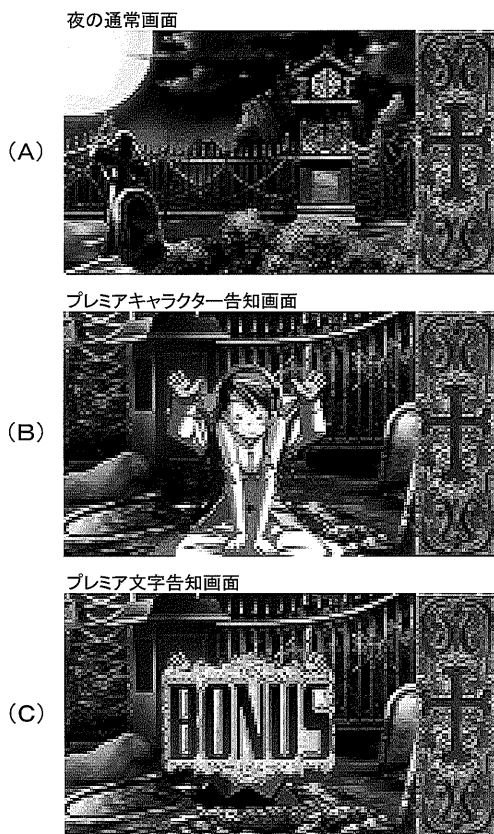
【図17】



【図18】



【図19】



【図20】

抽選テーブル(ノーマル状態:非RT)

当選役	番数
ビッグボーナス	0~m1
レギュラーボーナス	m1+1~m2
チェリー	m2+1~m3
スイカ	m3+1~m4
ベル	m4+1~m5
リプレイ	m5+1~m6
ハズレ	m6+1~m7

抽選テーブル(高確率再遊技状態:RT)

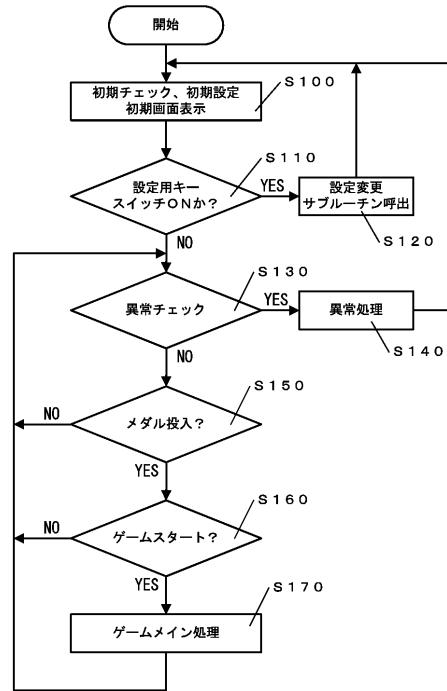
当選役	置数
ビッグボーナス	0~m1
レギュラーボーナス	m1+1~m2
チェリー	m2+1~m3
スイカ	m3+1~m4
ベル	m4+1~m5
リプレイ	m5+1~m6+α
ハズレ	m6+1+α~m7

【図21】

配当表

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	作動名称
赤7	赤7	赤7	0枚	役物連続作動 装置作動
青7	青7	青7	0枚	役物連続作動 装置作動
チェリー	—	—	1枚	—
スイカ	スイカ	スイカ	5枚	—
ベル	ベル	ベル	8枚	—
リプレイ	リプレイ	リプレイ	再遊技	再遊技作動

【図22】

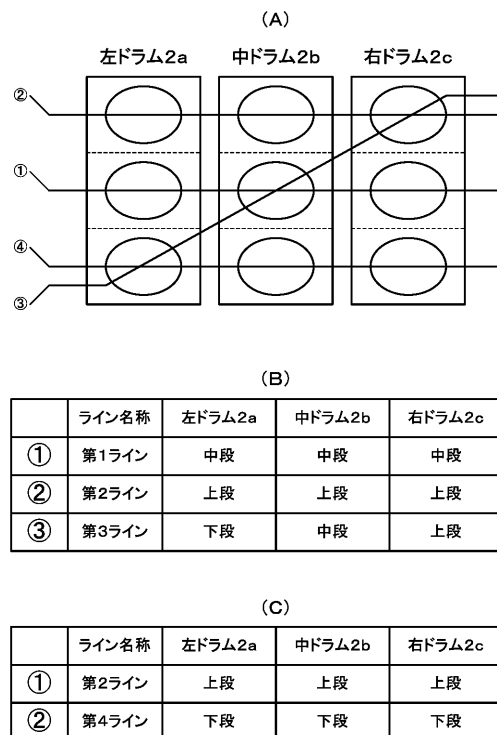


【図23】

ドラムの図柄配置

No.	左ドラム	中ドラム	右ドラム
1	リプレイ	スイカ	ベル
2	赤7	プラム(赤)	リプレイ
3	赤7	赤7	赤7
4	ベル	ベル	赤7
5	プラム(赤)	リプレイ	プラム(赤)
6	リプレイ	スイカ	ベル
7	リプレイ	プラム(白)	リプレイ
8	チェリー	黒バー	スイカ
9	ベル	ベル	黒バー
10	プラム(青)	リプレイ	プラム(白)
11	リプレイ	スイカ	ベル
12	青7	プラム(青)	リプレイ
13	スイカ	青7	スイカ
14	ベル	ベル	青7
15	プラム(白)	リプレイ	プラム(青)
16	リプレイ	スイカ	ベル
17	黒バー	プラム(青)	リプレイ
18	チェリー	チェリー	スイカ
19	ベル	ベル	チェリー
20	プラム(白)	リプレイ	プラム(青)

【図24】



【図25】

配当表(役物未作動時:規定数3枚)

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
赤7	赤7	赤7	0枚	役物連続作動装置作動(BB1)
青7	青7	青7	0枚	役物連続作動装置作動(BB2)
赤7	赤7	黒バー	0枚	役物連続作動装置作動(RB)
スイカ	スイカ	スイカ	4枚	FR1
ベル	ベル	ベル	15枚	FR2
赤7	青7	チェリー	1枚	FR3
赤7	黒バー	チェリー	1枚	FR4
ブラム(赤/青/白)	ブラム(赤/青/白)	ブラム(赤/青/白)	15枚	FR5~FR31(27種類:図26参照)
チェリー	(ANY)	(ANY)	1枚	CH
リプレイ	リプレイ	リプレイ	再遊技	再遊技1作動
リプレイ	ベル	リプレイ	再遊技	再遊技2作動
リプレイ	リプレイ	ブラム(赤/青/白)	再遊技	再遊技3作動
ブラム(赤/青/白)	ベル	リプレイ	再遊技	再遊技4作動
青7	ベル	リプレイ	再遊技	再遊技5作動

【図26】

配当表(役物未作動時:規定数3枚)

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
ブラム(赤)	ブラム(赤)	ブラム(赤)	15枚	FR5
ブラム(赤)	ブラム(赤)	ブラム(青)	15枚	FR6
ブラム(赤)	ブラム(赤)	ブラム(白)	15枚	FR7
ブラム(赤)	ブラム(青)	ブラム(赤)	15枚	FR8
ブラム(赤)	ブラム(青)	ブラム(白)	15枚	FR9
ブラム(赤)	ブラム(青)	ブラム(赤)	15枚	FR10
ブラム(赤)	ブラム(白)	ブラム(赤)	15枚	FR11
ブラム(赤)	ブラム(白)	ブラム(青)	15枚	FR12
ブラム(赤)	ブラム(白)	ブラム(白)	15枚	FR13
ブラム(青)	ブラム(赤)	ブラム(赤)	15枚	FR14
ブラム(青)	ブラム(赤)	ブラム(青)	15枚	FR15
ブラム(青)	ブラム(赤)	ブラム(白)	15枚	FR16
ブラム(青)	ブラム(青)	ブラム(赤)	15枚	FR17
ブラム(青)	ブラム(青)	ブラム(白)	15枚	FR18
ブラム(青)	ブラム(青)	ブラム(赤)	15枚	FR19
ブラム(青)	ブラム(白)	ブラム(赤)	15枚	FR20
ブラム(青)	ブラム(白)	ブラム(青)	15枚	FR21
ブラム(青)	ブラム(白)	ブラム(白)	15枚	FR22
ブラム(白)	ブラム(赤)	ブラム(赤)	15枚	FR23
ブラム(白)	ブラム(赤)	ブラム(青)	15枚	FR24
ブラム(白)	ブラム(赤)	ブラム(白)	15枚	FR25
ブラム(白)	ブラム(青)	ブラム(赤)	15枚	FR26
ブラム(白)	ブラム(青)	ブラム(青)	15枚	FR27
ブラム(白)	ブラム(青)	ブラム(白)	15枚	FR28
ブラム(白)	ブラム(白)	ブラム(赤)	15枚	FR29
ブラム(白)	ブラム(白)	ブラム(青)	15枚	FR30
ブラム(白)	ブラム(白)	ブラム(白)	15枚	FR31

【図27】

配当表(BB作動時:規定数2枚)

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
スイカ	スイカ	スイカ	4枚	-
ベル	ベル	ベル	15枚	-
赤7	青7	チェリー	1枚	-
赤7	黒バー	チェリー	1枚	-
ブラム(赤/青/白)	ブラム(赤/青/白)	ブラム(赤/青/白)	15枚	27種類
チェリー	(ANY)	(ANY)	1枚	-

(A)

配当表(RB作動時:規定数3枚)

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
スイカ	スイカ	スイカ	4枚	-
ベル	ベル	ベル	15枚	-
赤7	青7	チェリー	1枚	-
赤7	黒バー	チェリー	1枚	-
ブラム(赤/青/白)	ブラム(赤/青/白)	ブラム(赤/青/白)	15枚	27種類
チェリー	(ANY)	(ANY)	1枚	-

(B)

【図28】

条件装置の組合せ表

番号	AT後の抽選内容	押し順制御		
		左停止ボタンから	中停止ボタンから	右停止ボタンから
0.1	FR2+FR5+FR9+FR13	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.2	FR2+FR8+FR10+FR11	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.3	FR2+FR7+FR8+FR12	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.4	FR2+FR14+FR18+FR22	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.5	FR2+FR15+FR19+FR20	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.6	FR2+FR16+FR17+FR21	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.7	FR2+FR23+FR27+FR31	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.8	FR2+FR24+FR28+FR29	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
0.9	FR2+FR25+FR26+FR30	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.0	FR2+FR5+FR15+FR25	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.1	FR2+FR8+FR16+FR23	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.2	FR2+FR7+FR14+FR24	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.3	FR2+FR8+FR18+FR28	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.4	FR2+FR9+FR19+FR26	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.5	FR2+FR10+FR17+FR27	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.6	FR2+FR11+FR21+FR31	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.7	FR2+FR12+FR22+FR28	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.8	FR2+FR13+FR20+FR30	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2	小役取りにほし目 or プラム図柄
1.9	FR2+FR5+FR17+FR29	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.0	FR2+FR8+FR18+FR30	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.1	FR2+FR7+FR19+FR31	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.2	FR2+FR9+FR20+FR23	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.3	FR2+FR8+FR21+FR24	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.4	FR2+FR10+FR22+FR25	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.5	FR2+FR11+FR14+FR26	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.6	FR2+FR12+FR15+FR27	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2
2.7	FR2+FR13+FR16+FR28	小役取りにほし目 or プラム図柄	小役取りにほし目 or プラム図柄	FR2

【図29】

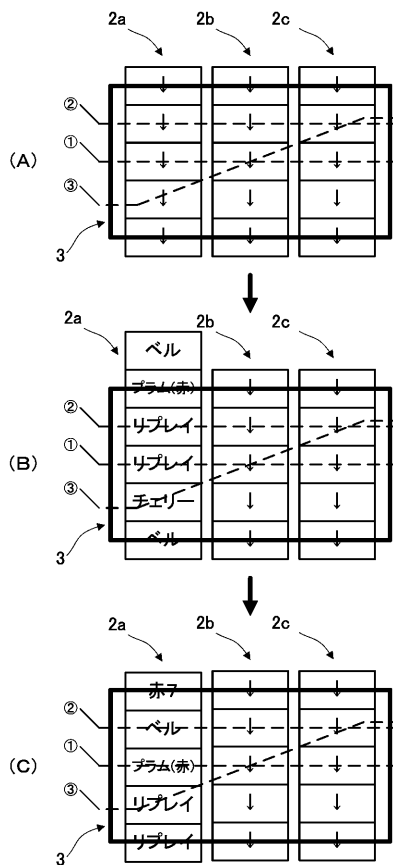
条件装置の組合せ表(番号01)

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
ベル	ベル	ベル	15枚	FR2
プラム(赤)	プラム(赤)	プラム(赤)	15枚	FR5
プラム(赤)	プラム(青)	プラム(青)	15枚	FR9
プラム(赤)	プラム(白)	プラム(白)	15枚	FR13

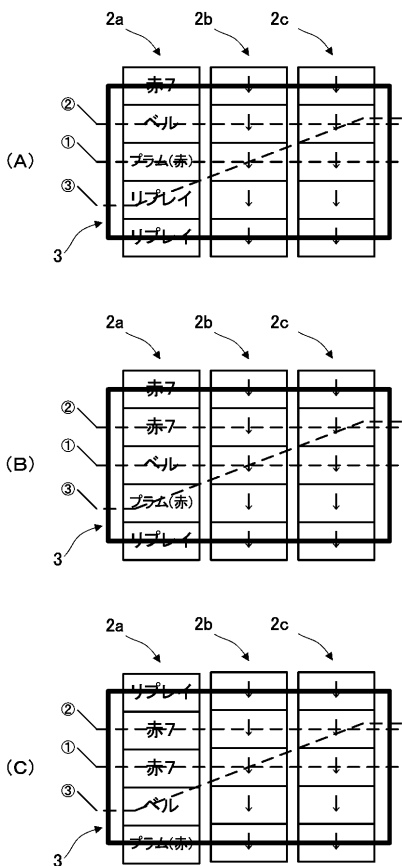
図柄規定データの構成

	図柄データ (第一情報)	色データ (第二情報)
ベル	04H	—
プラム(赤)	20H	10H
プラム(青)	20H	20H
プラム(白)	20H	40H

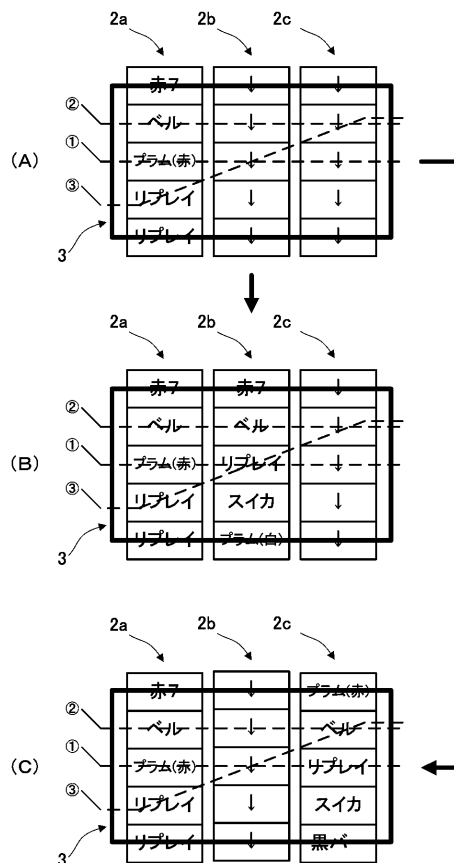
【図30】



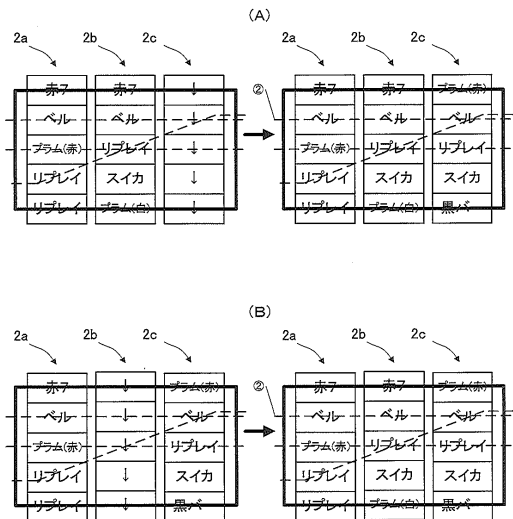
【図31】



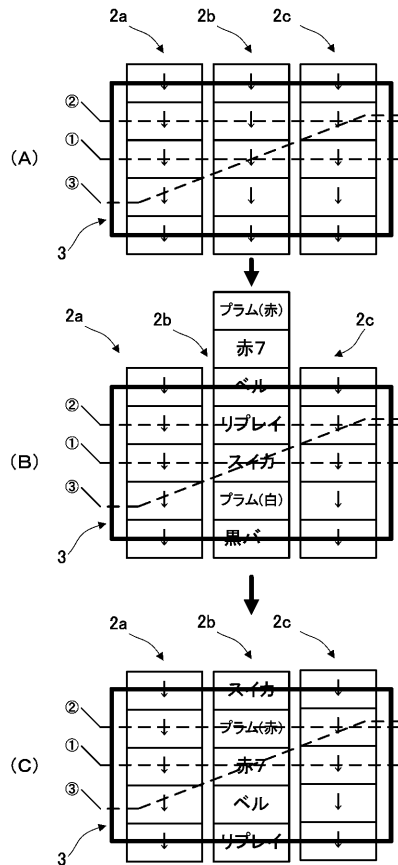
【図32】



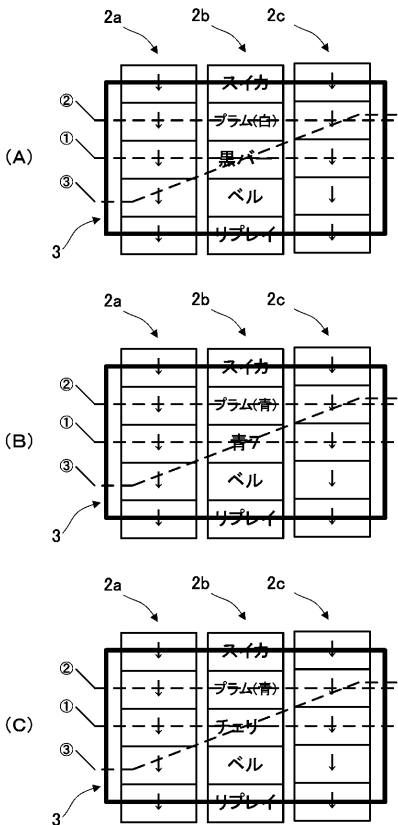
【図 3 3】



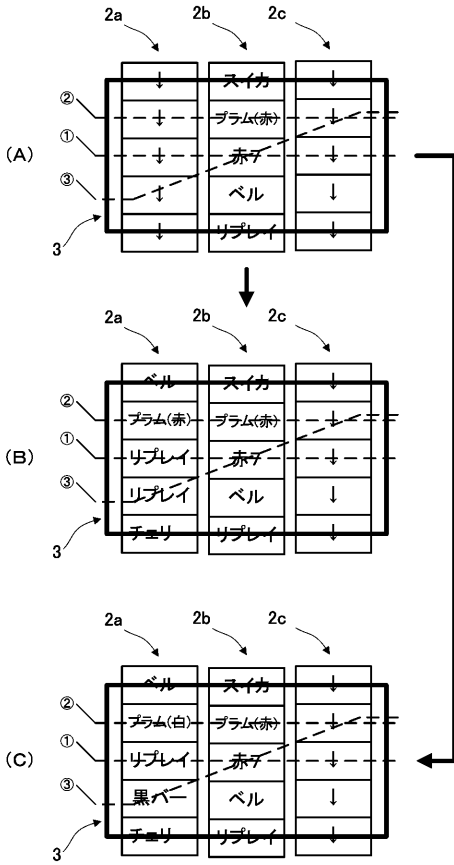
【図 3 4】



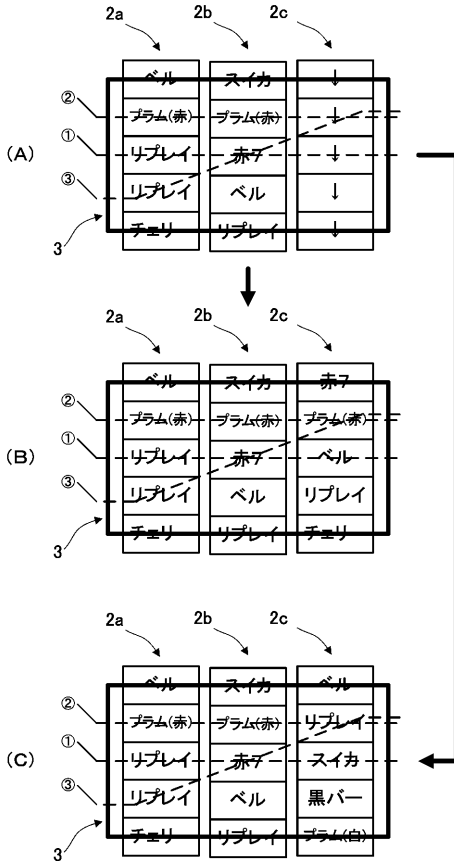
【図 3 5】



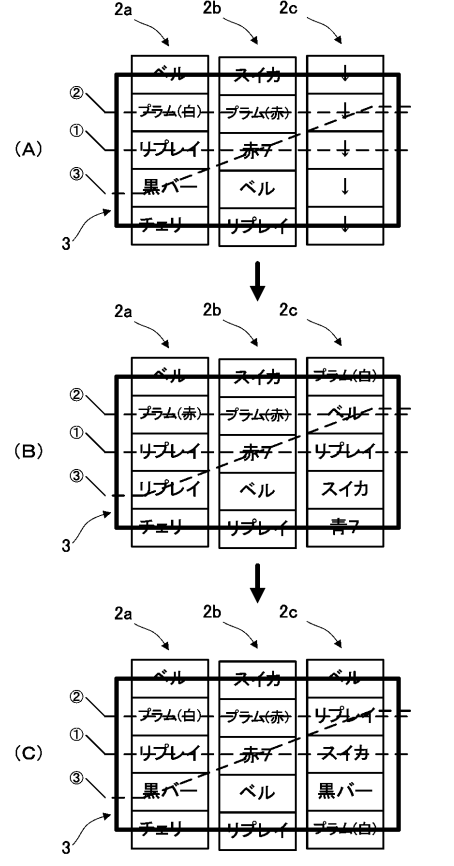
【図 3 6】



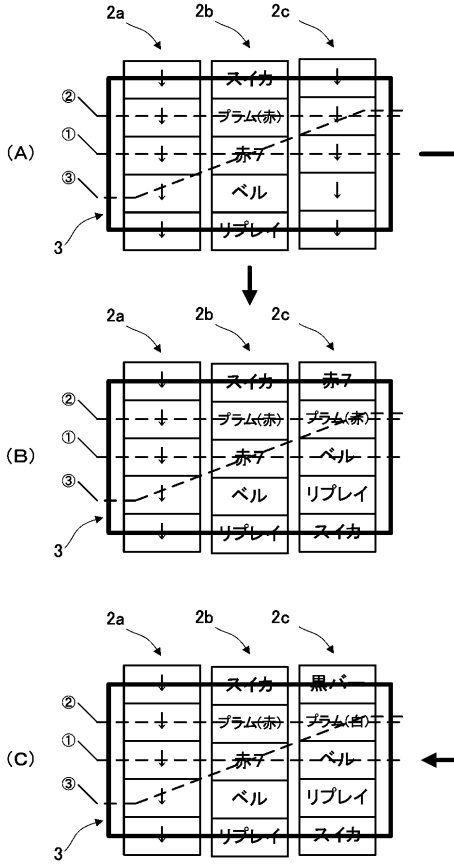
【図37】



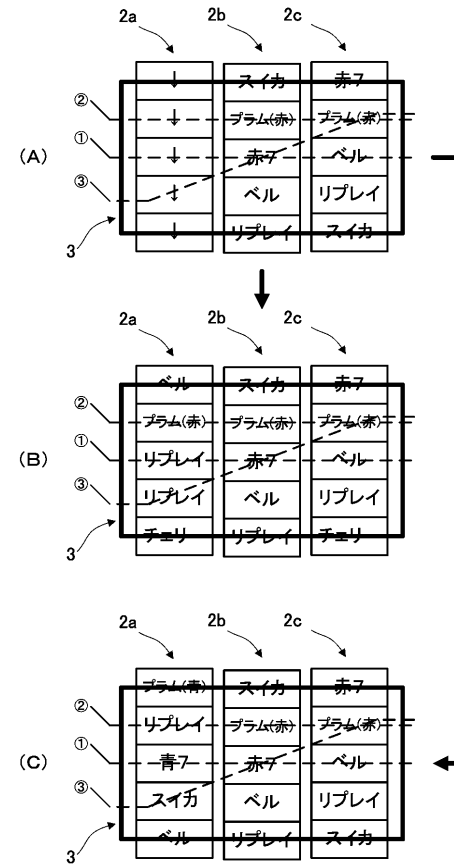
【図38】



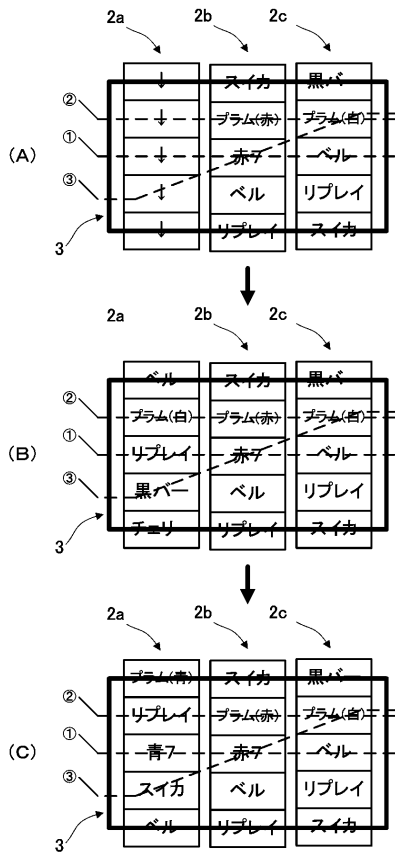
【図39】



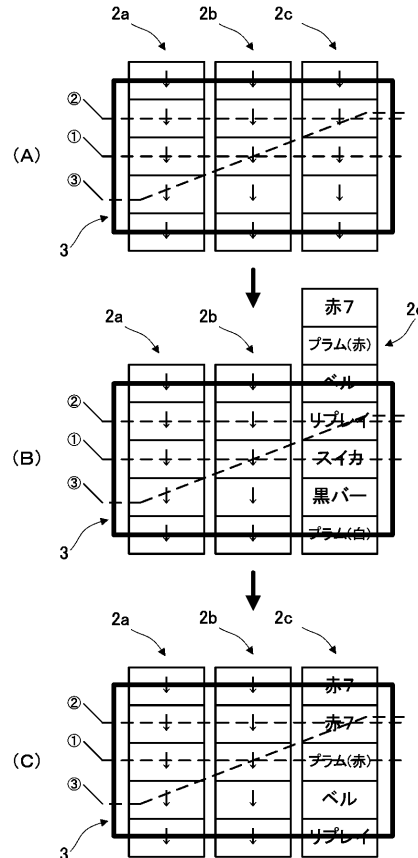
【図40】



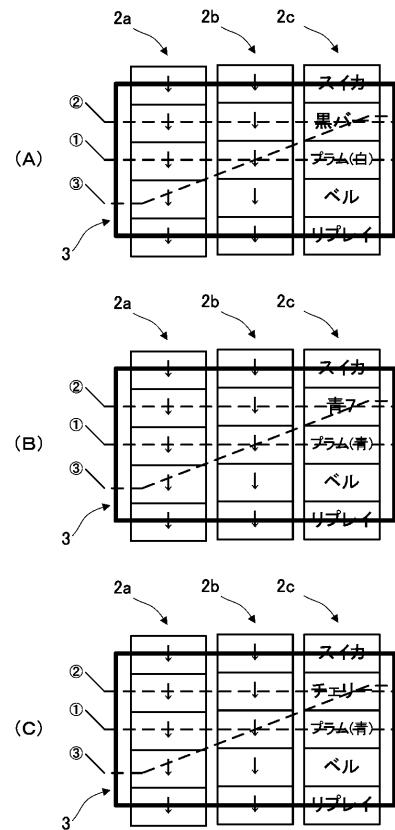
【図41】



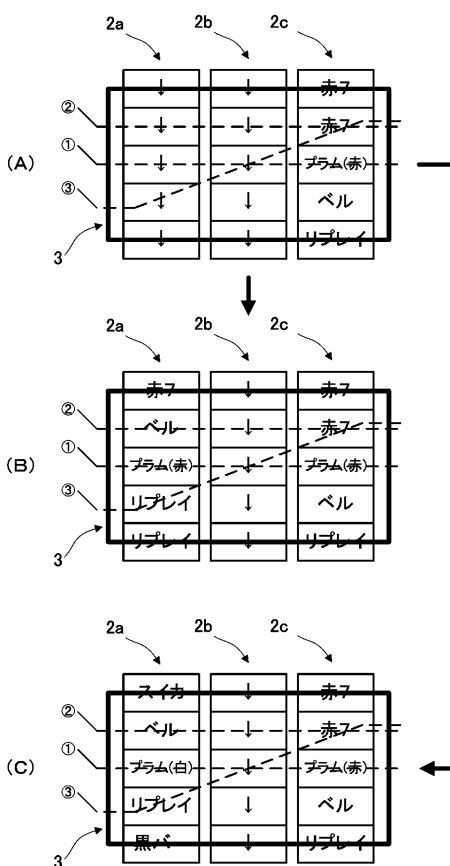
【図42】



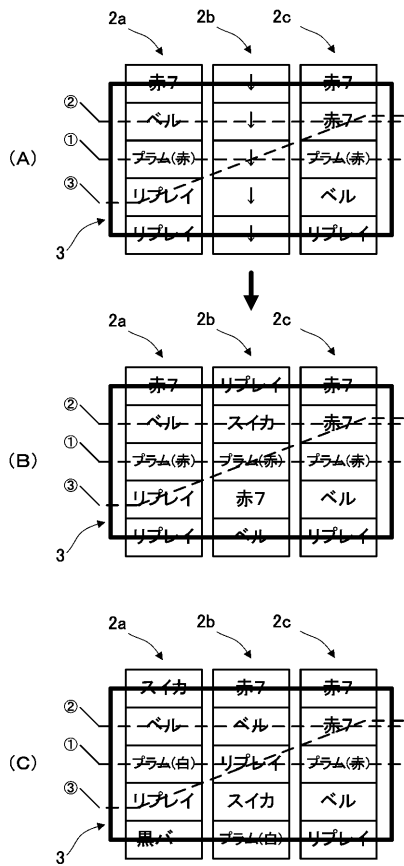
【図43】



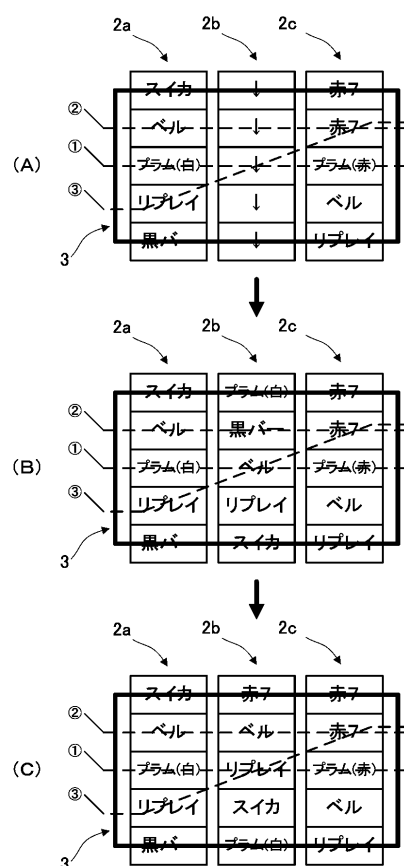
【図44】



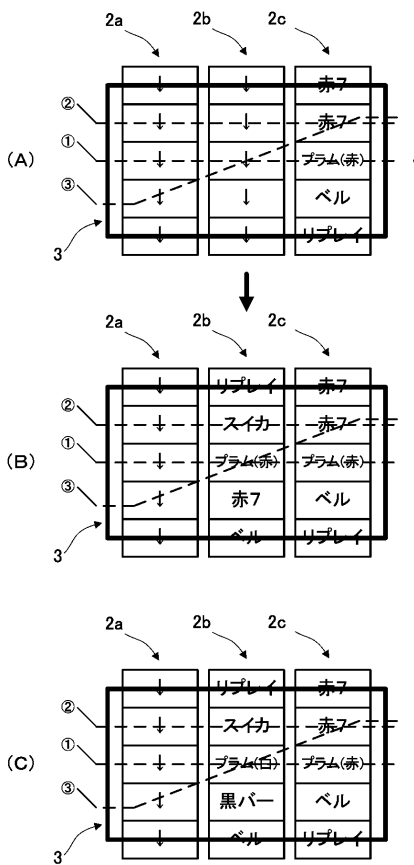
【図45】



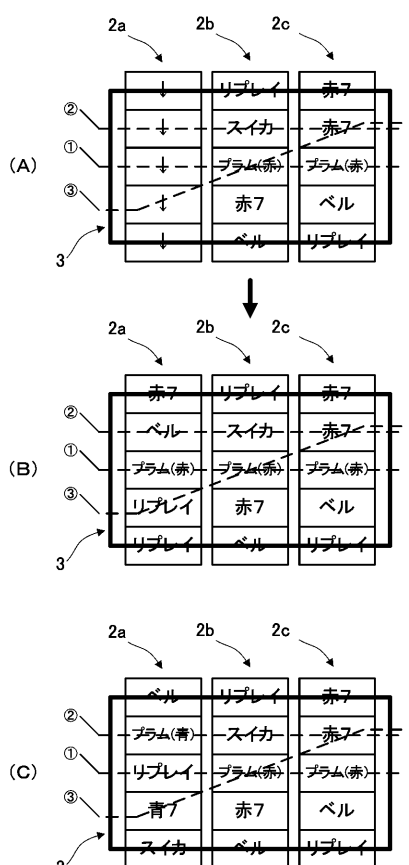
【図46】



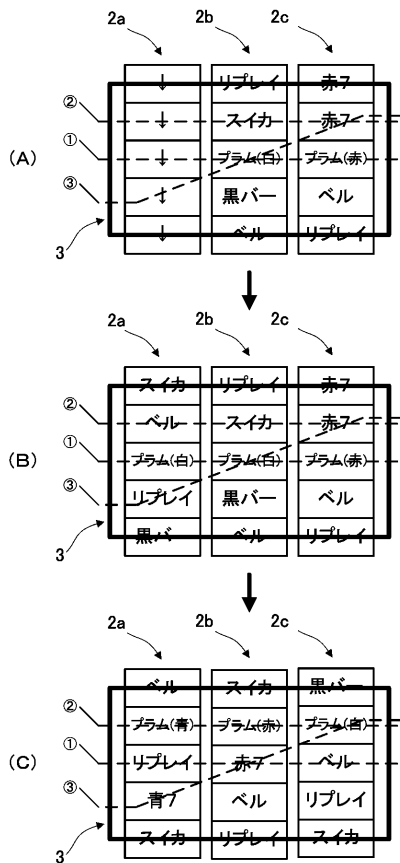
【図47】



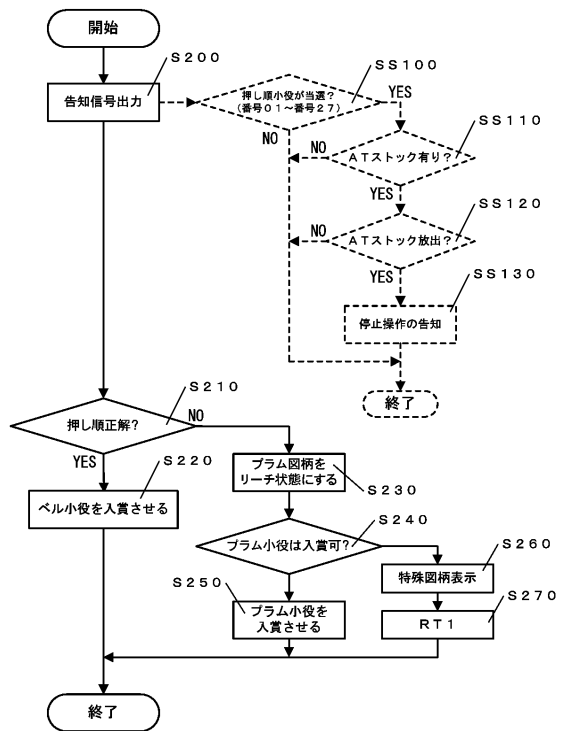
【図48】



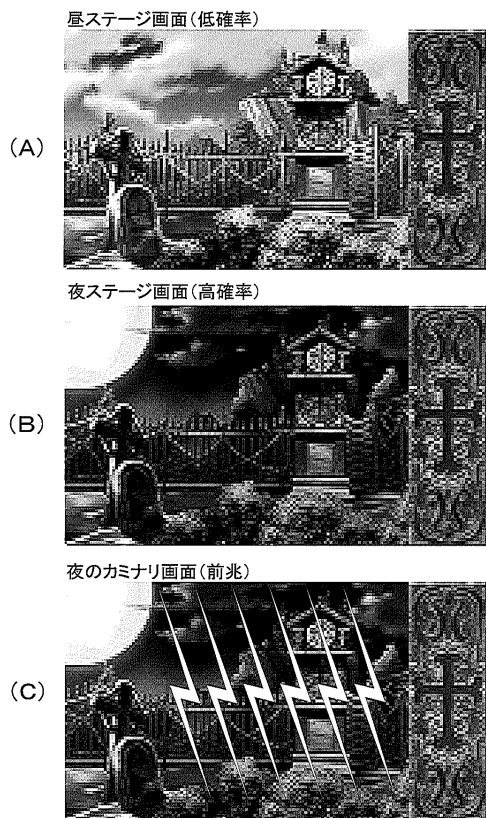
【図49】



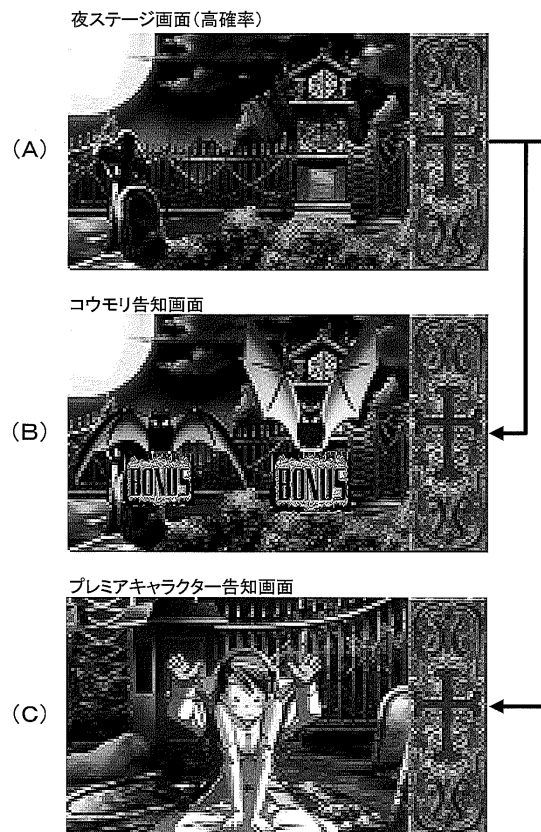
【図50】



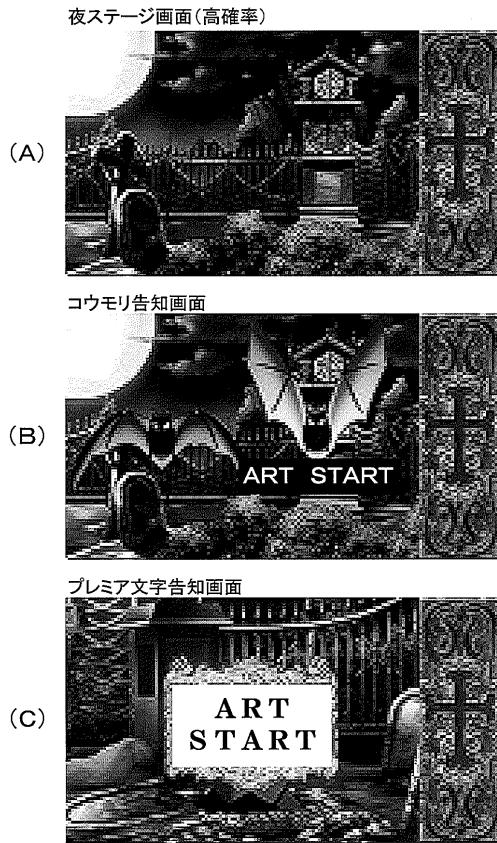
【図51】



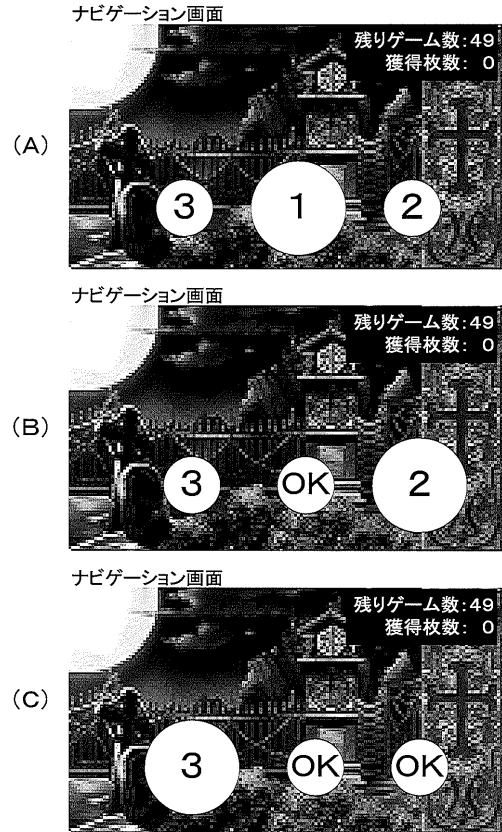
【図52】



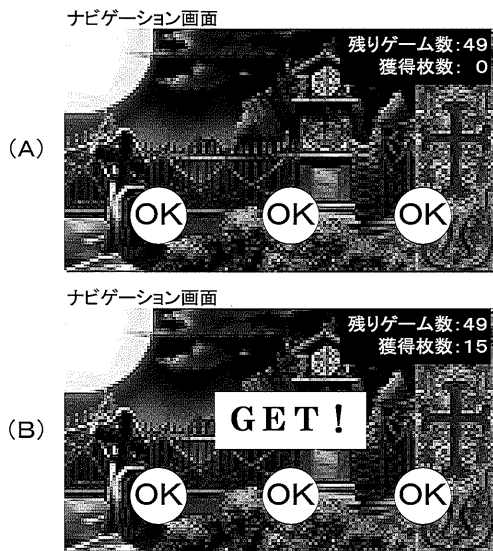
【図53】



【図54】



【図55】

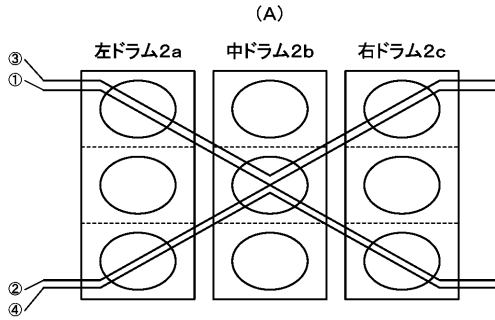


【図56】

ドラムの図柄配置

No.	左ドラム	中ドラム	右ドラム
1	リプレイ	リプレイ	チェリー
2	赤7	赤7	赤7
3	チェリー	チェリー	プラム(赤)
4	リプレイ	プラム(赤)	ベル
5	ベル	ベル	チェリー
6	プラム(赤)	リプレイ	青リプレイ
7	ベル	青7	リプレイ
8	リプレイ	リプレイ	青7
9	青7	プラム(白)	チェリー
10	チェリー	ベル	プラム(青)
11	リプレイ	黒バー	ベル
12	青7	リプレイ	チェリー
13	プラム(青)	ベル	青リプレイ
14	ベル	プラム(青)	リプレイ
15	リプレイ	青リプレイ	チェリー
16	ベル	ベル	黒バー
17	黒バー	リプレイ	プラム(白)
18	黒バー	チェリー	ベル
19	リプレイ	プラム(赤)	チェリー
20	プラム(白)	プラム(赤)	青リプレイ
21	ベル	ベル	リプレイ

【図57】



(B)

	ライン名称	左ドラム2a	中ドラム2b	右ドラム2c
①	第1ライン	上段	中段	下段
②	第2ライン	下段	中段	上段
③	第3ライン	上段	中段	上段
④	第4ライン	下段	中段	下段

【図58】

配当表(役物未作動時:規定数3枚)

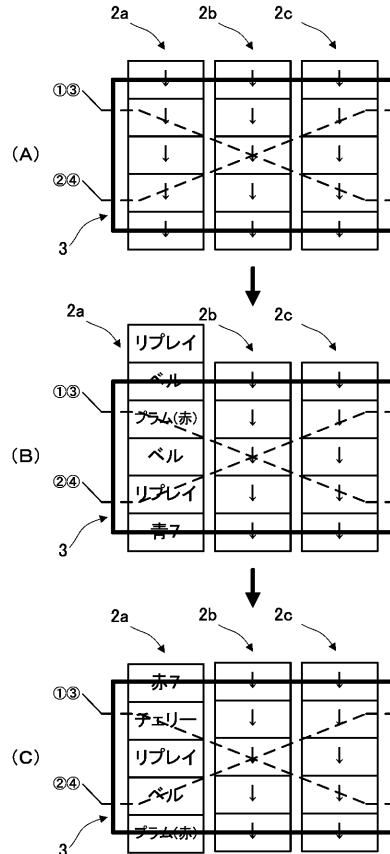
左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
赤7	赤7	赤7	0枚	役物連続作動装置作動 (BB1:RT変動契機)
青7	青7	青7	0枚	役物連続作動装置作動 (BB2:RT非変動契機)
青7	青7	赤7	0枚	役物連続作動装置作動 (BB3:RT変動契機)
赤7	赤7	青7	0枚	役物連続作動装置作動 (BB4:RT非変動契機)
赤7	赤7	黒バー	0枚	1種特別役物 (RB1:RT変動契機)
青7	青7	黒バー	0枚	1種特別役物 (RB2:RT非変動契機)
ベル	ベル	ベル	15枚	FR1
プラム (赤/青/白)	プラム (赤/青/白)	プラム (赤/青/白)	2枚	FR2~FR28
(ANY)	チェリー	(ANY)	1枚	FR29
チェリー/黒バー	リプレイ	プラム (赤/青/白)	1枚	FR30
青7	赤7	黒バー	1枚	FR31
リプレイ	リプレイ	リプレイ	再遊技	再遊技1作動
リプレイ	リプレイ	青リプレイ	再遊技	再遊技2作動
リプレイ	青リプレイ	リプレイ	再遊技	再遊技3作動
リプレイ	青リプレイ	青リプレイ	再遊技	再遊技4作動
赤7	リプレイ	リプレイ	再遊技	再遊技5作動
プラム (赤/青/白)	プラム (赤/青/白)	ベル/青リプレイ	0枚	RT開始目1 (小役コボシ目)
プラム (赤/青/白)	ベル/リプレイ / 青リプレイ	プラム (赤/青/白)	0枚	RT開始目2 (小役コボシ目)
ベル	プラム (赤/青/白)	プラム (赤/青/白)	0枚	RT開始目3 (小役コボシ目)

【図59】

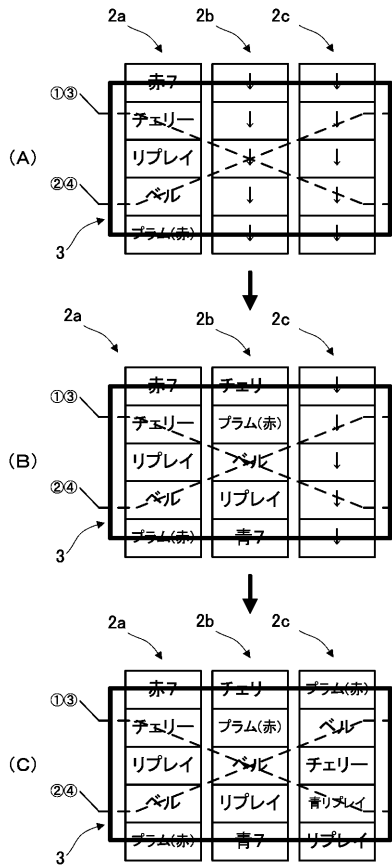
ベルとプラムの同時当選一覧表

左ベル	中ベル	右ベル
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム
ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム	ベル 赤プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 青プラム 白プラム

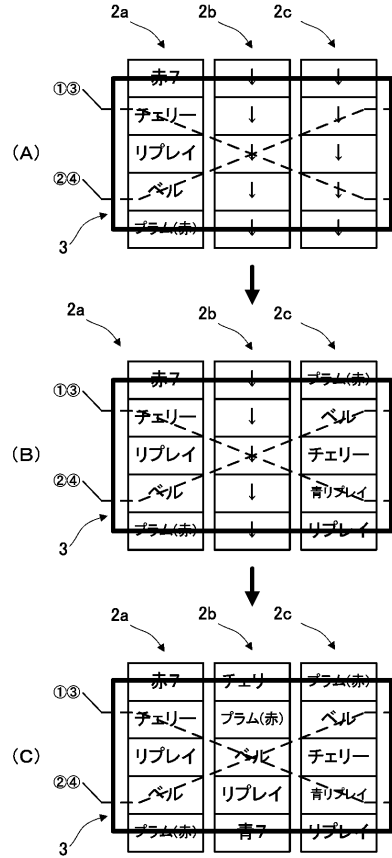
【図60】



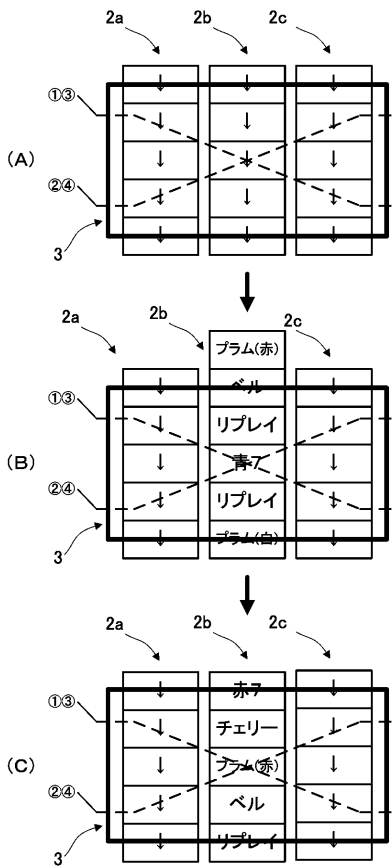
【図61】



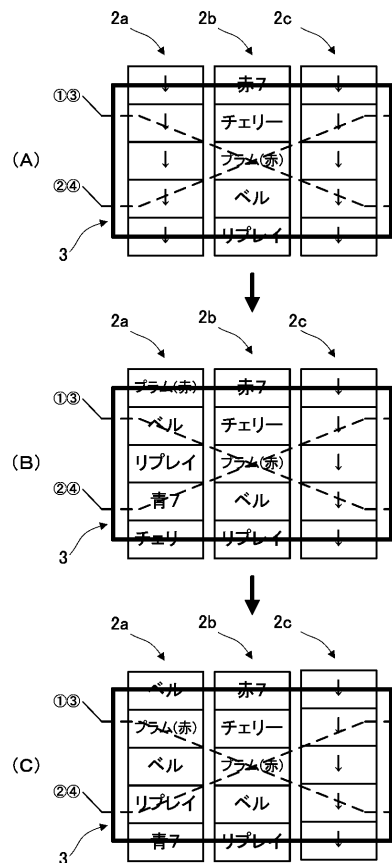
【図62】



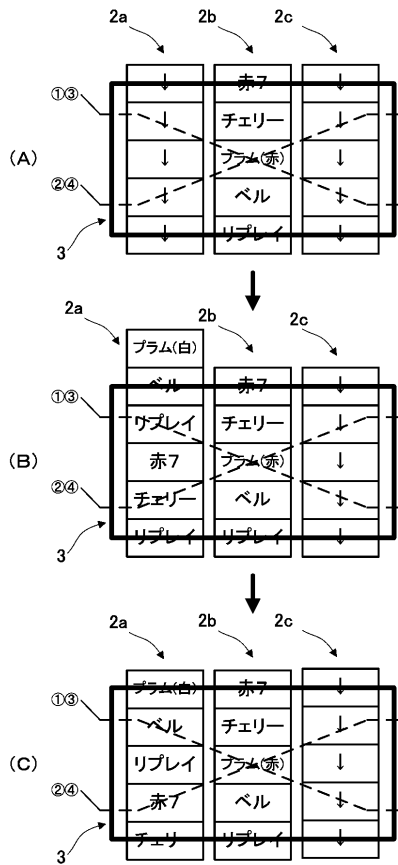
【図63】



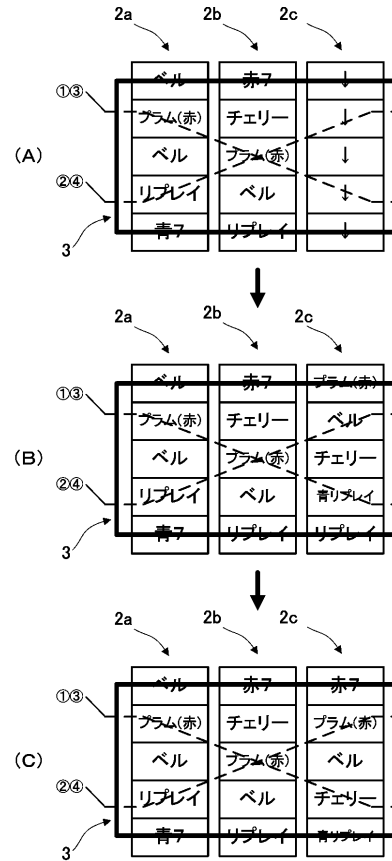
【図64】



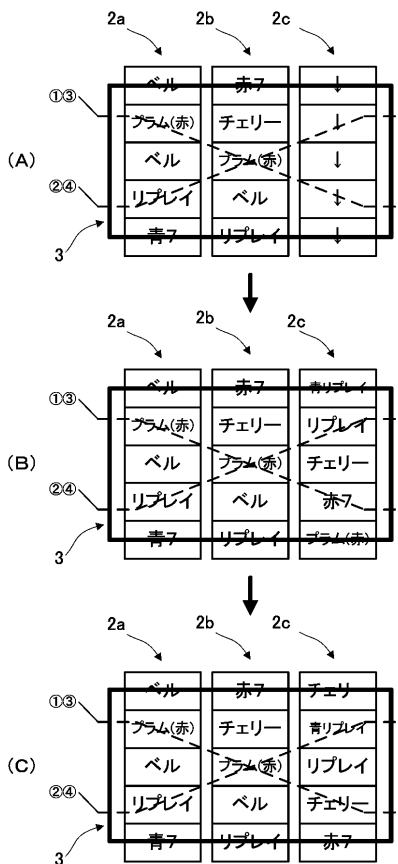
【図65】



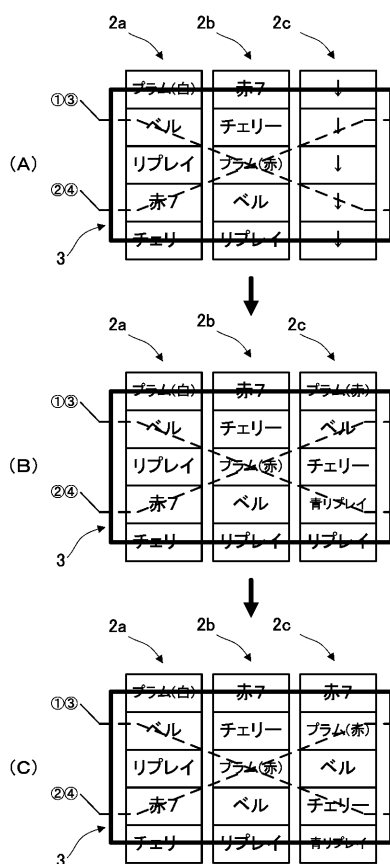
【図66】



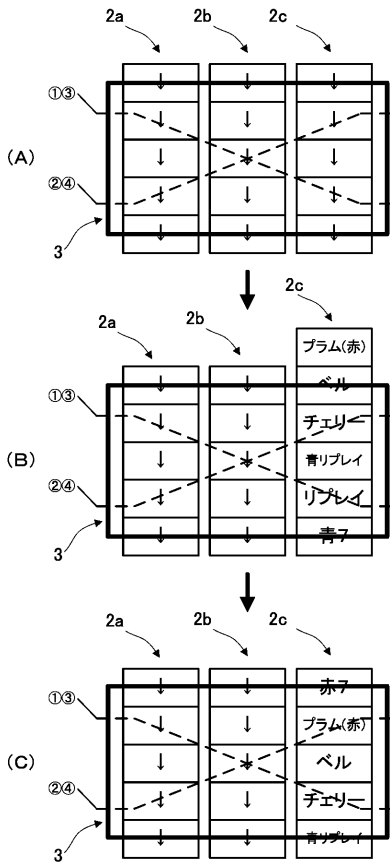
【図67】



【図68】



【図69】

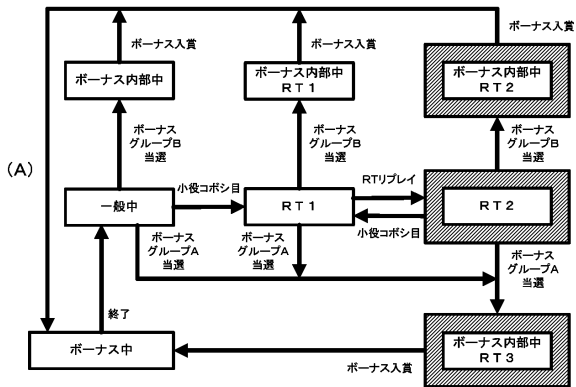


【図70】

再遊技役の同時当選一覧表

押し順リブ1	リプレイ	リプレイ	リプレイ
	リプレイ	リプレイ	RTリブ
押し順リブ2	リプレイ	リプレイ	リプレイ
	リプレイ	リプレイ	RTリブ
	リプレイ	RTリブ	リプレイ
押し順リブ3	リプレイ	リプレイ	リプレイ
	リプレイ	リプレイ	RTリブ
	リプレイ	RTリブ	RTリブ
押し順リブ4	リプレイ	リプレイ	リプレイ
	リプレイ	リプレイ	RTリブ
	赤セブン	リプレイ	リプレイ
押し順リブ5	リプレイ	リプレイ	リプレイ
	リプレイ	リプレイ	RTリブ
	赤セブン	リプレイ	リプレイ
	リプレイ	RTリブ	RTリブ

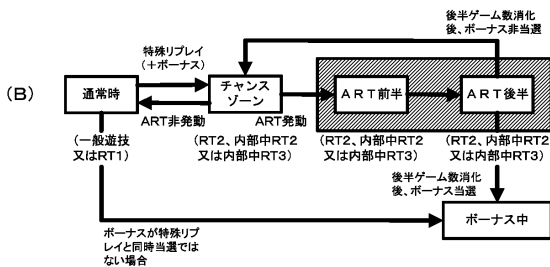
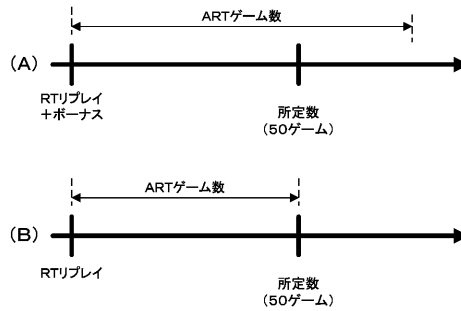
【図71】



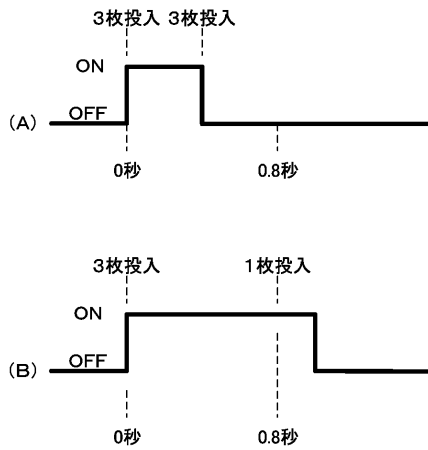
注釈:

- 1) ボーナスグループA: RT変動契機
- 2) ボーナスグループB: RT非変動契機
- 3) 斜線ブロックはリプレイ高確率、非斜線ブロックはリプレイ低確率

【図72】



【図73】



【図74】

配当表(役物未作動時:規定数1枚)

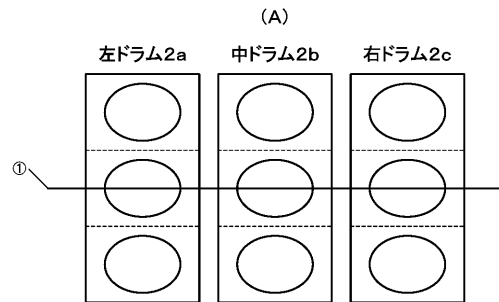
左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
ベル	ベル	ベル	2枚	FR1
プラム(赤/青/白)	プラム(赤/青/白)	プラム(赤/青/白)	1枚	FR2~FR28
リプレイ	リプレイ	リプレイ	再遊技	再遊技1作動
プラム(赤/青/白)	プラム(赤/青/白)	ベル/青リプレイ	0枚	RT開始目1(小役コボシ目)
プラム(赤/青/白)	ベル/リプレイ/青リプレイ	プラム(赤/青/白)	0枚	RT開始目2(小役コボシ目)
ベル	プラム(赤/青/白)	プラム(赤/青/白)	0枚	RT開始目3(小役コボシ目)

【図75】

ドラムの図柄配置

No.	左ドラム	中ドラム	右ドラム
1	ベル	リプレイ	ベル
2	リプレイ	チェリー	赤7
3	金メダル	金メダル	金メダル
4	赤7	赤7	リプレイ
5	プラム(赤)	ベル	チェリー
6	ベル	リプレイ	ベル
7	青リプレイ	チェリー	黒バー
8	プラム(白)	プラム(白)	プラム(白)
9	チェリー	黒バー	青リプレイ
10	プラム(白)	ベル	チェリー
11	ベル	青リプレイ	ベル
12	リプレイ	チェリー	青7
13	青7	プラム(赤)	プラム(赤)
14	青7	青7	青リプレイ
15	プラム(赤)	ベル	チェリー
16	ベル	リプレイ	ベル
17	リプレイ	チェリー	黒バー
18	黒バー	プラム(赤)	プラム(赤)
19	チェリー	黒バー	青リプレイ
20	プラム(白)	ベル	チェリー

【図76】



(B)

	ライン名称	左ドラム2a	中ドラム2b	右ドラム2c
①	第1ライン	中段	中段	中段

【図77】

配当表1-1(役物未作動時:規定数3枚)

左ドラマ	中ドラマ	右ドラマ	獲得メダル枚数	備考
青7	青7	青7	0枚	一種役物連続作動装置作動(BB1)
赤7	金メダル	赤7	0枚	一種役物連続作動装置作動(BB2)
赤7	赤7	リプレイ	0枚	一種役物連続作動装置作動(BB2)
赤7	赤7	赤7	0枚	一種役物連続作動装置作動(BB3)
黒バー	ブラム(白)	金メダル	0枚	一種特別役物(SRB1)
黒バー	金メダル	ブラム(白)	0枚	一種特別役物(SRB2)
青7	ブラム(白)	金メダル	0枚	一種特別役物(SRB3)
青7	金メダル	ブラム(白)	0枚	一種特別役物(SRB4)
リプレイ/青リプレイ	リプレイ/青リプレイ	リプレイ/青リプレイ	再遊技	再遊技1(8種類)
ベル	ベル	金メダル ブラム(赤/白)	再遊技	再遊技2(3種類)
ベル	リプレイ/青リプレイ	チェリー	再遊技	再遊技3(2種類)
リプレイ/青リプレイ	リプレイ/青リプレイ	ベル	再遊技	再遊技4(4種類)
リプレイ/青リプレイ	リプレイ/青リプレイ	チェリー	再遊技	再遊技5(4種類)
ベル	リプレイ/青リプレイ	ベル	再遊技	再遊技6(2種類)
ブラム(赤)	ベル	金メダル ブラム(赤/白)	再遊技	再遊技7(3種類)

【図78】

配当表1-2(役物未作動時:規定数3枚)

左ドラマ	中ドラマ	右ドラマ	獲得メダル枚数	備考
ブラム(赤/白)	ブラム(赤/白)	ブラム(赤/白)	9枚	ブラム
チェリー	(ANY)	(ANY)	2枚	CH
ベル	赤7/青7 黒バー	金メダル ブラム(赤/白)	1枚	FR1 (15種類)
ベル	金メダル ブラム(赤/白)	リプレイ/青リプレイ	1枚	FR2 (12種類)
ベル	赤7/青7 黒バー	赤7/青7 黒バー		
ベル	金メダル ブラム(赤/白)	チェリー	15枚	ベル1 (1種類)
ベル	ベル	ベル		
リプレイ/青リプレイ	ベル	チェリー	15枚	ベル2 (2種類)
ブラム(赤)	ベル	赤7/青7 黒バー	15枚	ベル3 (3種類)
リプレイ	リプレイ	赤7	15枚	ベル4 (1種類)
リプレイ	青リプレイ	赤7	15枚	ベル5 (1種類)
青リプレイ	リプレイ	赤7	15枚	ベル6 (1種類)
青リプレイ	青リプレイ	赤7	15枚	ベル7 (1種類)
リプレイ	リプレイ	青7/黒バー	15枚	ベル8 (2種類)
リプレイ	青リプレイ	青7/黒バー	15枚	ベル9 (2種類)
青リプレイ	リプレイ	青7/黒バー	15枚	ベル10 (2種類)
青リプレイ	青リプレイ	青7/黒バー	15枚	ベル11 (2種類)

【図79】

押し順ベルの当選パターン(役物未作動時:規定数3枚)

名称	当選パターン	押し順 左→中→右	押し順 左→右→中	押し順 中	押し順 右
押し順ベル1	ベル2+ベル4+ベル6 +ベル9+ベル11	ベル2 他のベル コボシ目	ベル2 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル2	ベル2+ベル5+ベル7 +ベル8+ベル10	ベル2 他のベル コボシ目	ベル2 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル3	ベル2+ベル4+ベル6 +ベル9+ベル11+FR1	ベル2 他のベル コボシ目	ベル2 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル4	ベル2+ベル5+ベル7 +ベル8+ベル10+FR1	ベル2 他のベル コボシ目	ベル2 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル5	ベル1+ベル4+ベル11	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル6	ベル1+ベル7+ベル8	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル7	ベル1+ベル6+ベル9	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル8	ベル1+ベル5+ベル10	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目	他のベル コボシ目
押し順ベル9	ベル1+ベル4 +ベル11+FR1	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目
押し順ベル10	ベル1+ベル7 +ベル8+FR1	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目
押し順ベル11	ベル1+ベル6 +ベル9+FR1	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目
押し順ベル12	ベル1+ベル5 +ベル10+FR1	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	他のベル コボシ目	ベル1 他のベル コボシ目

【図80】

リプレイの当選パターン

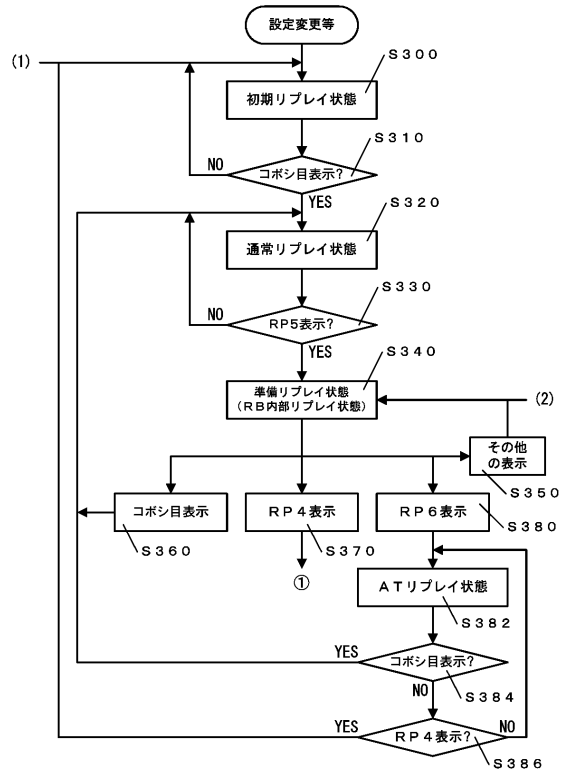
名称	当選パターン	押し順 左	押し順 中→左→右	押し順 中→右→左	押し順 右→左→中	押し順 右→中→左
通常 リプレイ	RP1+RP2+RP3	RP1 RP2 RP3	RP1 RP2 RP3	RP1 RP2 RP3	RP1 RP2 RP3	RP1 RP2 RP3
ATストック リプレイ	RP2+RP7	RP2 RP7	RP2 RP7	RP2 RP7	RP2 RP7	RP2 RP7
押し順 リプレイ1	RP1+RP3+RP5	RP1	RP5	RP3	RP3	RP3
押し順 リプレイ2	RP1+RP2 +RP3+RP5	RP1	RP3	RP5	RP3	RP3
押し順 リプレイ3	RP1+RP3 +RP5+RP7	RP1	RP3	RP3	RP5	RP3
押し順 リプレイ4	RP1+RP2+RP3 +RP5+RP7	RP1	RP3	RP3	RP3	RP5
押し順 リプレイ5	RP1+RP4+RP6	RP4	RP6	RP4	RP4	RP4
押し順 リプレイ6	RP1+RP2 +RP4+RP6	RP4	RP4	RP6	RP4	RP4
押し順 リプレイ7	RP1+RP4 +RP6+RP7	RP4	RP4	RP4	RP6	RP4
押し順 リプレイ8	RP1+RP2+RP4 +RP6+RP7	RP4	RP4	RP4	RP4	RP6

【図81】

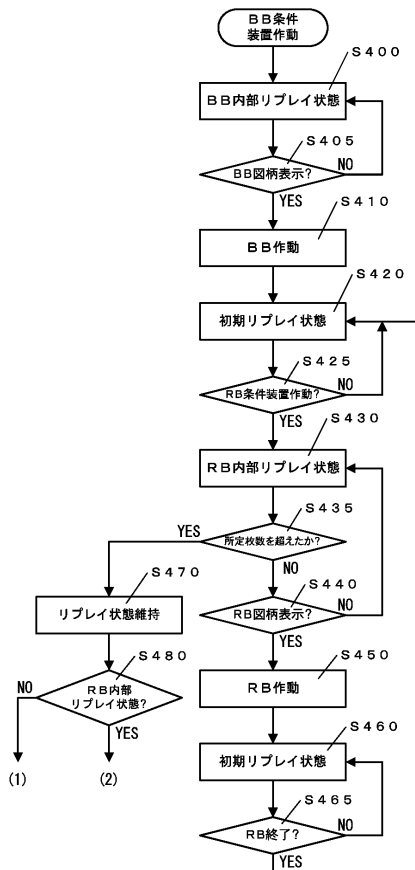
リプレイ状態ごとの当選パターン

名称	条件	当選パターン	リプレイ当選確率
初期リプレイ状態	1)設定変更後 2)RP4表示後 3)BB作動後 4)RB作動後	1)RP1+RP2+RP3	約1/7.3
通常リプレイ状態	1)コボシ目表示後	1)RP1+RP3+RP5 2)RP1+RP2+RP3+RP5 3)RP1+RP3+RP5+RP7 4)RP1+RP2+RP3+RP5+RP7	約1/7.3
準備リプレイ状態	1)RP5表示後	1)RP1+RP4+RP6 2)RP1+RP2+RP4+RP6 3)RP1+RP4+RP6+RP7 4)RP1+RP2+RP4+RP6+RP7	約1/3
ATリプレイ状態	1)RP6表示後	1)RP1+RP2+RP3 2)RP2+RP7	約1/1.5
BB内部リプレイ状態	1)BB内部当選後	1)RP1+RP2+RP3	約1/3
RB内部リプレイ状態	1)RB内部当選後	1)RP1+RP2+RP3 2)RP1+RP4+RP6 3)RP1+RP2+RP4+RP6 4)RP1+RP4+RP6+RP7 5)RP1+RP2+RP4+RP6+RP7 6)RP2+RP7	約1/1.5

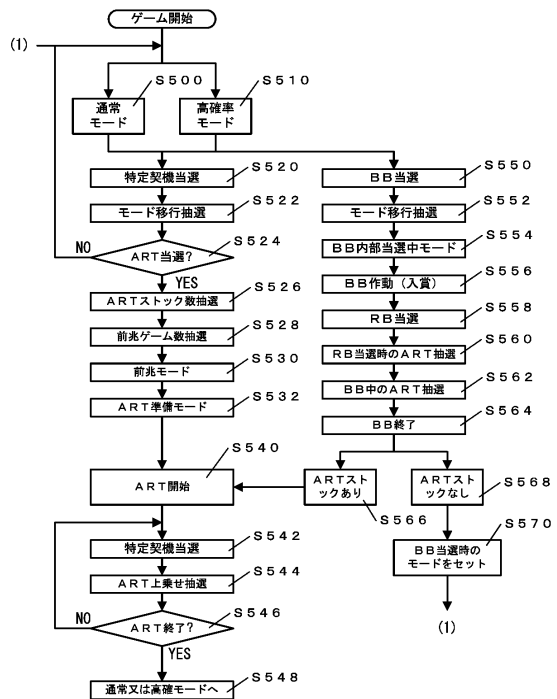
【図82】



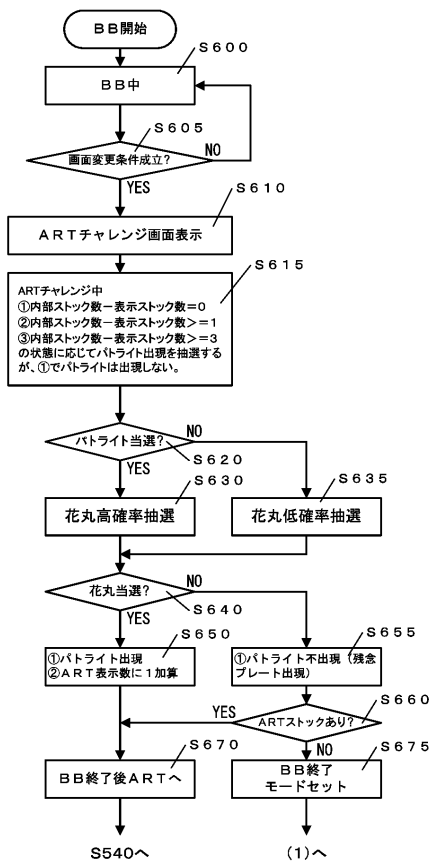
【図83】



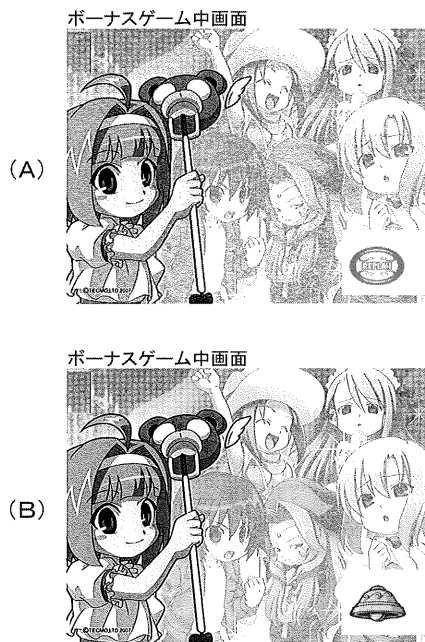
【図84】



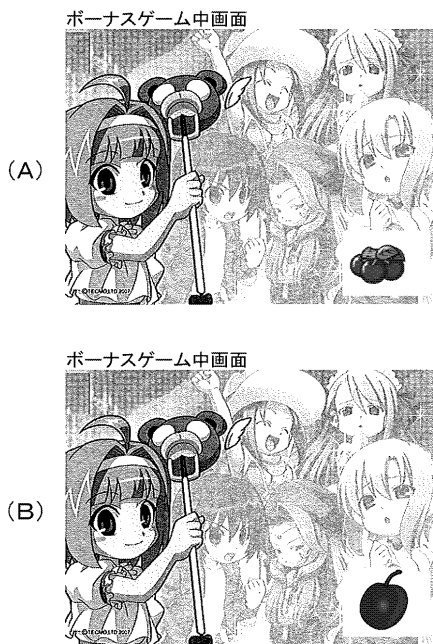
【図85】



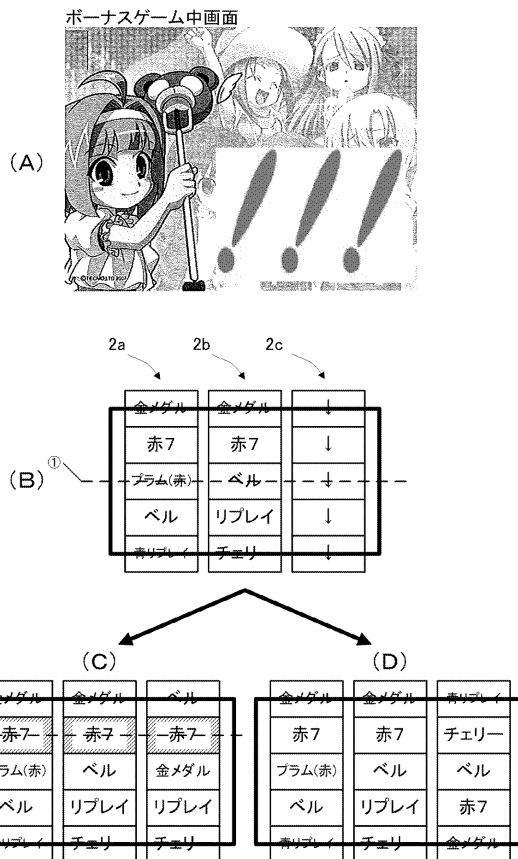
【図86】



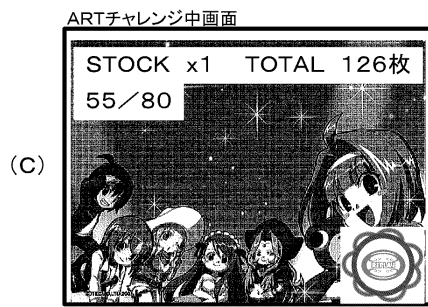
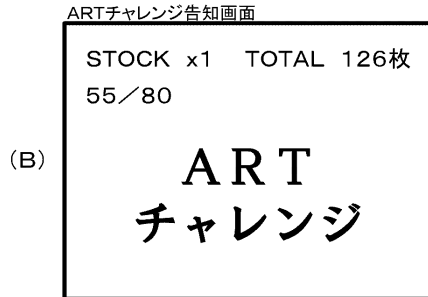
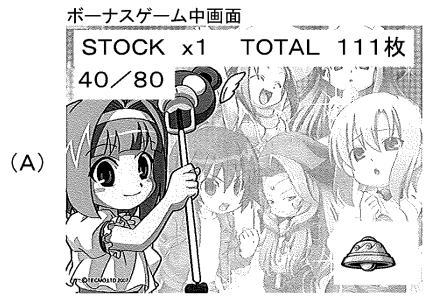
【図87】



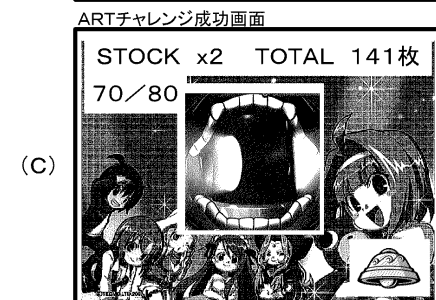
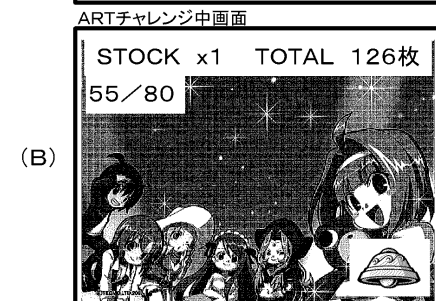
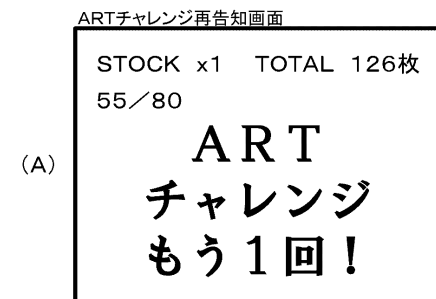
【図88】



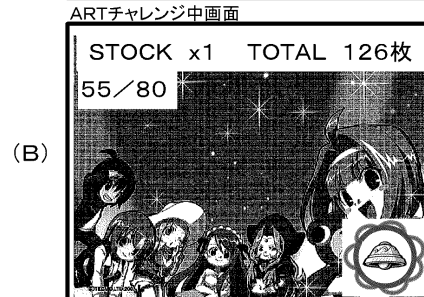
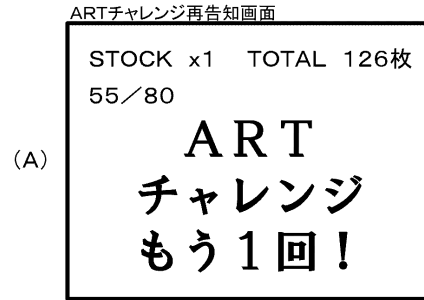
【図 89】



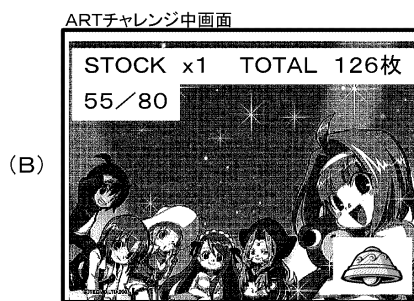
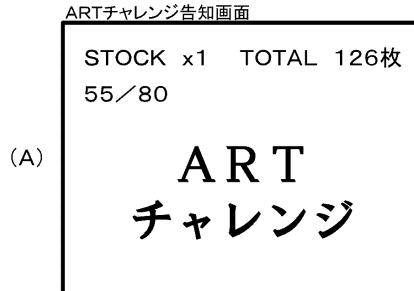
【図 91】



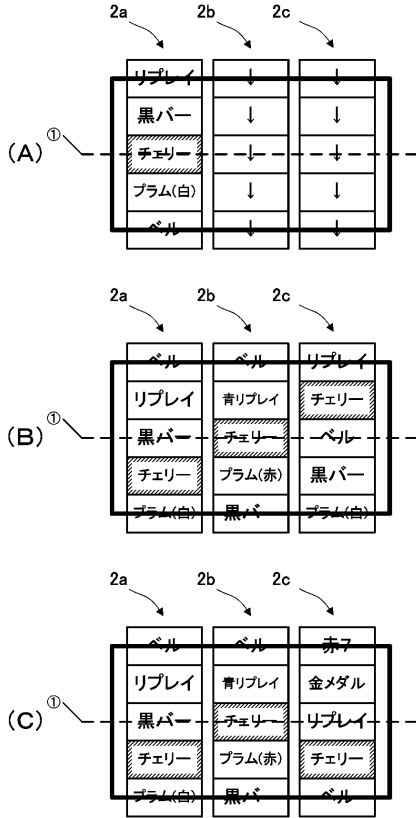
【図 90】



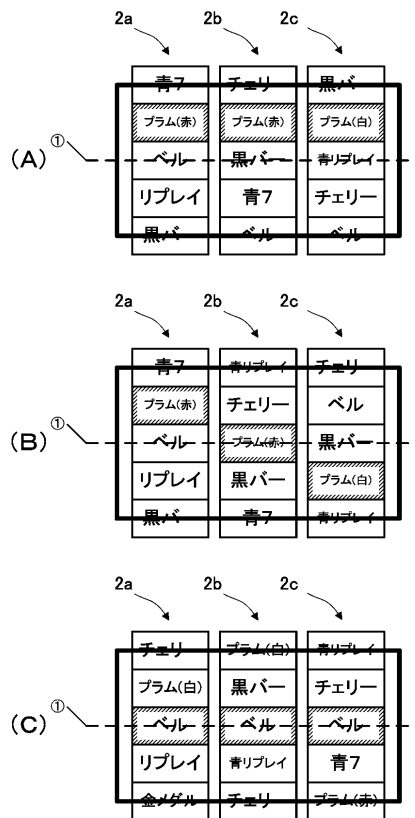
【図 92】



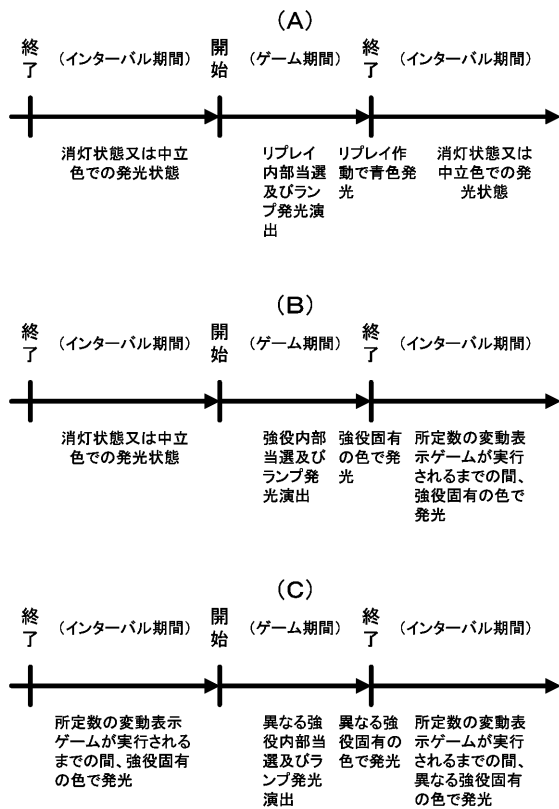
【図93】



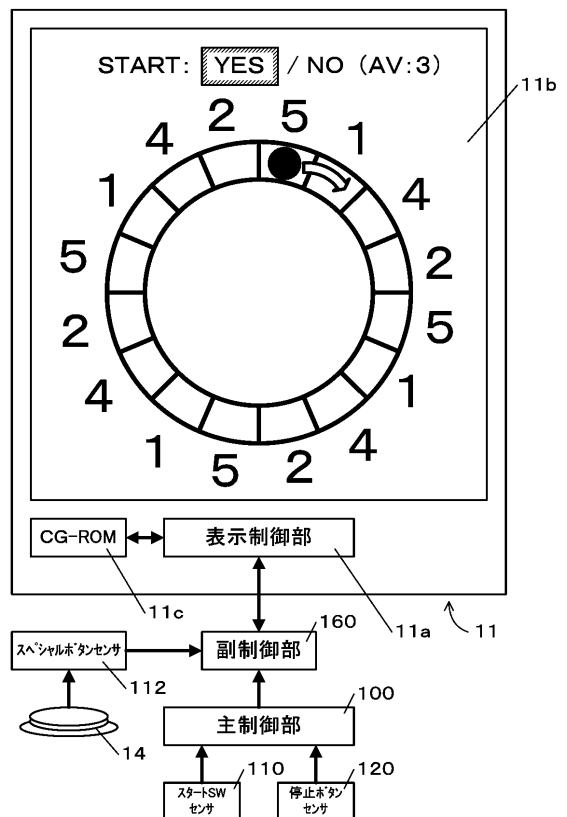
【図94】



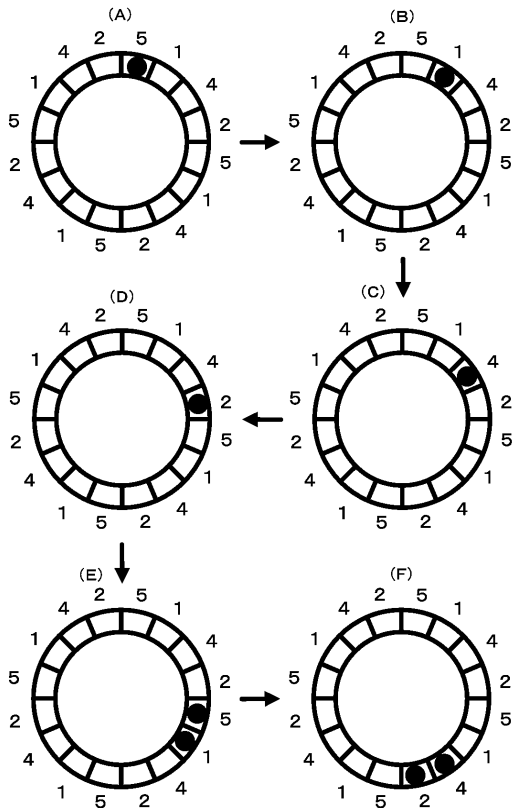
【図95】



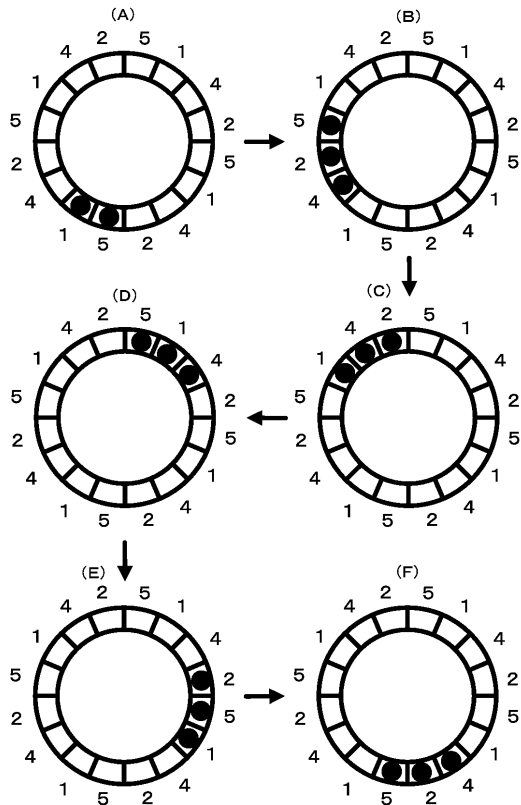
【図96】



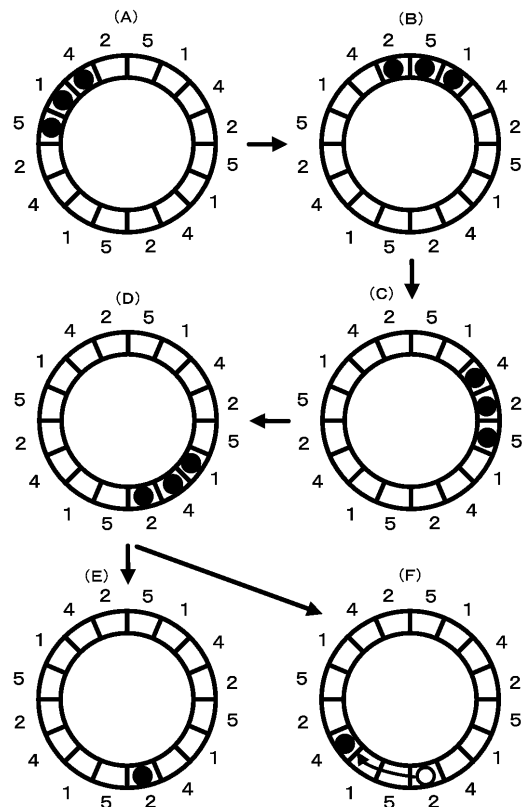
【図 97】



【図 98】



【図 99】

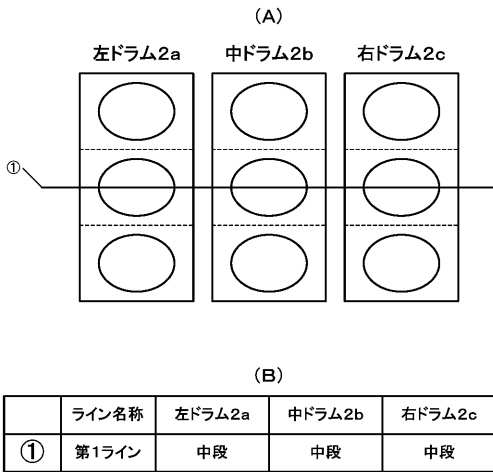


【図 100】

ドラムの図柄配置

No.	左ドラム	中ドラム	右ドラム
1	赤ベル	リプレイ	赤ベル
2	赤7	赤7	赤7
3	リプレイ	スイカ	チェリー
4	スイカ	赤ベル	リプレイ
5	リプレイ	チェリー	スイカ
6	黄ベル	リプレイ	黄ベル
7	花	花	花
8	リプレイ	スイカ	チェリー
9	スイカ	黄ベル	リプレイ
10	リプレイ	花	スイカ
11	緑ベル	リプレイ	緑ベル
12	黒バー	黒バー	黒バー
13	チェリー	スイカ	チェリー
14	スイカ	緑ベル	リプレイ
15	リプレイ	リプレイ	スイカ
16	青ベル	リプレイ	青ベル
17	花	花	花
18	チェリー	スイカ	チェリー
19	スイカ	青ベル	リプレイ
20	リプレイ	チェリー	スイカ

【図101】



【図102】

配当表(役物未作動時:規定数3枚)

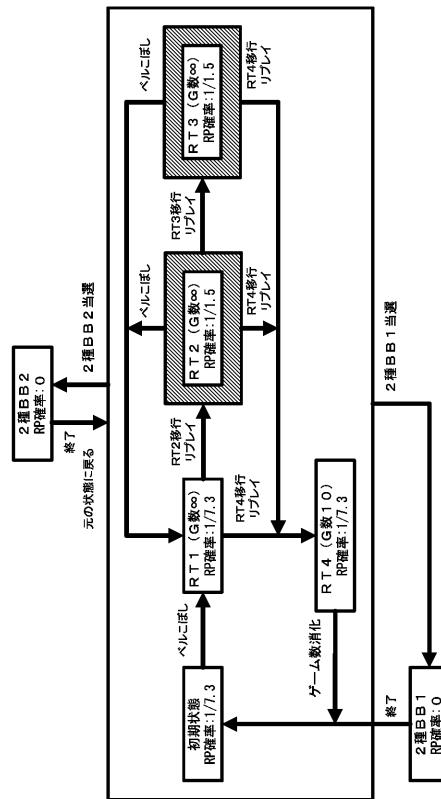
左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
赤7	赤7	赤7	0枚	2種役物連続作動装置作動(BB1)
(赤青黄緑)ベル	赤7/黒バー/花	(赤青黄緑)ベル	0枚	2種役物連続作動装置作動(BB2)
(赤青黄緑)ベル	(赤青黄緑)ベル	(赤青黄緑)ベル	14枚	色ベル役
スイカ	スイカ	スイカ	14枚	スイカ役
(チェリー又はリプレイ以外)	(ANY)	チェリー	14枚	14枚チェリー役
チェリー/リプレイ	(ANY)	チェリー	15枚	15枚チェリー役
リプレイ	リプレイ	リプレイ	再遊技	通常リプレイ役(RT移行なし)
リプレイ	赤7/黒バー/花	スイカ	再遊技	RT2移行リプレイ役(RT2へ移行)
リプレイ	リプレイ	スイカ	再遊技	RT3移行リプレイ役(RT3へ移行)
スイカ	赤7/黒バー/花	スイカ	再遊技	RT4移行リプレイ役(RT4へ移行)
スイカ	赤7/黒バー/花	赤7/黒バー/花	1枚	1枚役1
赤7/黒バー/花	スイカ	赤7/黒バー/花	1枚	1枚役2
赤7/黒バー/花	赤7/黒バー/花	スイカ	1枚	1枚役3
(赤青黄緑)ベル	(赤青黄緑)ベル	スイカ	0枚	色ベル役のコボシ目1(RT1へ移行)
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
スイカ	(赤青黄緑)ベル	(赤青黄緑)ベル	0枚	色ベル役のコボシ目n(RT1へ移行)

【図103】

押し順スイカ(AT小役)の当選パターン(役物未作動時)

名称	左ドラム	中ドラム	右ドラム
押し順スイカ右1 (右→中→左)	赤ベル	赤ベル	赤ベル
	黄ベル	黄ベル	赤ベル
	緑ベル	緑ベル	赤ベル
	青ベル	青ベル	赤ベル
	スイカ	スイカ	スイカ
	赤7/黒バー/花	赤7/黒バー/花	スイカ
押し順スイカ右2 (右→中→左)	赤ベル	赤ベル	青ベル
	黄ベル	黄ベル	青ベル
	緑ベル	緑ベル	青ベル
	青ベル	青ベル	青ベル
	スイカ	スイカ	スイカ
	赤7/黒バー/花	赤7/黒バー/花	スイカ
⋮	⋮	⋮	⋮

【図104】

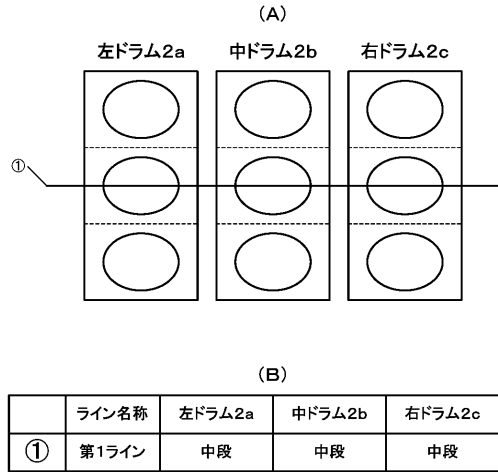


【図105】

ドラムの図柄配置

No.	左ドラム	中ドラム	右ドラム
1	菱形(緑)	菱形(赤)	菱形(赤)
2	白7	菱形(紫)	菱形(紫)
3	赤7	赤7	赤7
4	菱形(紫)	白7	白7
5	菱形(青)	菱形(緑)	菱形(緑)
6	菱形(緑)	菱形(青)	菱形(青)
7	菱形(白)	菱形(紫)	菱形(紫)
8	赤7	赤7	赤7
9	菱形(紫)	菱形(白)	菱形(白)
10	菱形(黄)	菱形(緑)	菱形(緑)
11	菱形(緑)	菱形(黄)	菱形(黄)
12	菱形(白)	菱形(紫)	菱形(紫)
13	赤7	赤7	赤7
14	菱形(紫)	菱形(白)	菱形(白)
15	菱形(茶)	菱形(緑)	菱形(緑)
16	菱形(緑)	菱形(茶)	菱形(茶)
17	菱形(白)	菱形(紫)	菱形(紫)
18	赤7	赤7	赤7
19	菱形(紫)	菱形(白)	菱形(白)
20	菱形(赤)	菱形(緑)	菱形(緑)

【図106】

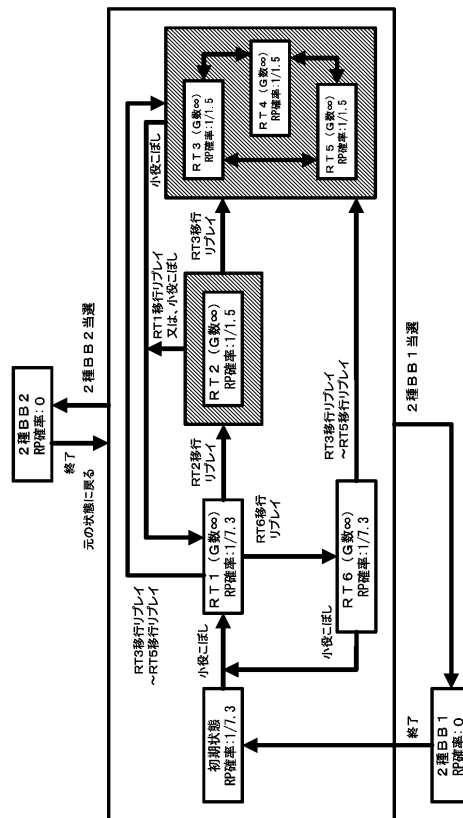


【図107】

配当表(規定数3枚)

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
白7	白7	白7	0枚	2種BB1 (14枚超で終了)
菱形(赤/青/黄/茶)	菱形(緑)	菱形(緑)	0枚	2種BB1 (14枚超で終了)
菱形の組合せ(組合せは省略)			再遊技	通常リプレイ役 (RT変動なし)
菱形の組合せ(組合せは省略)			再遊技	RT1移行リプレイ役 (RT1へ移行)
菱形の組合せ(組合せは省略)			再遊技	RT2移行リプレイ役 (RT2へ移行)
赤7	赤7	赤7	再遊技	RT3移行リプレイ役 (RT3へ移行)
菱形(白)	菱形(紫)	菱形(紫)	再遊技	RT4移行リプレイ役 (RT4へ移行)
菱形(紫)	菱形(白)	菱形(白)	再遊技	RT5移行リプレイ役 (RT5へ移行)
菱形の組合せ(組合せは省略)			再遊技	RT6移行リプレイ役 (RT6へ移行)
菱形の組合せ(組合せは省略)			15枚	非押し順小役 (必ず入賞)
菱形の組合せ(組合せは省略)			15枚	押し順小役 (コボシ目でRT1へ移行)
菱形の組合せ(組合せは省略)			1枚	1枚小役
菱形の組合せ(組合せは省略)			14枚	2種BB中の小役
菱形の組合せ(組合せは省略)			15枚	2種BB中の小役

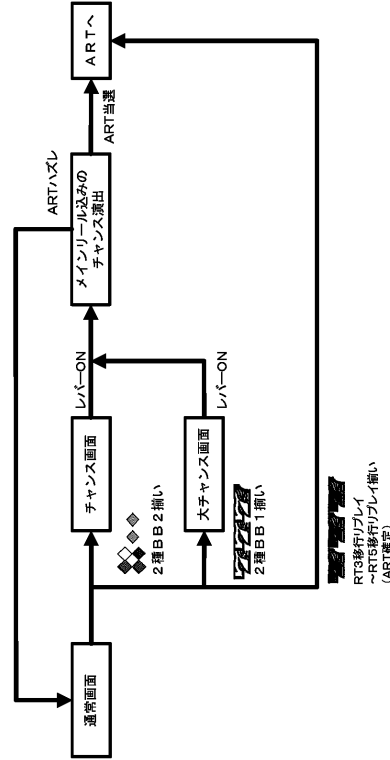
【図108】



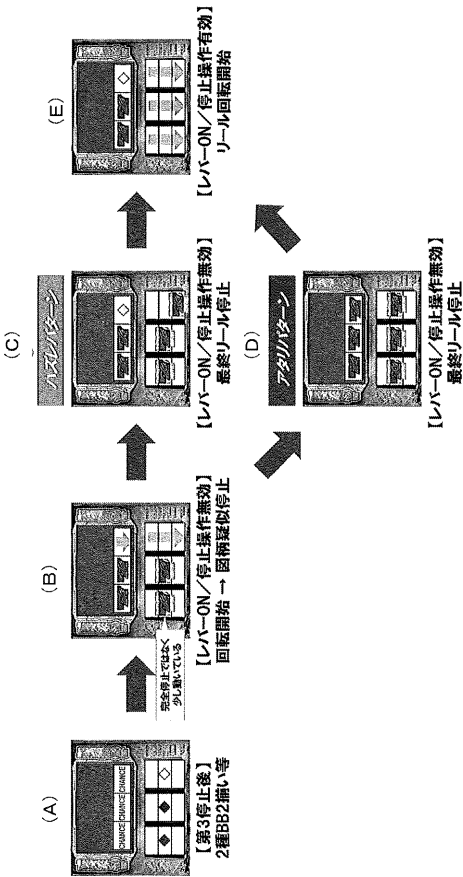
【図109】

当選役/遊技状態	初期状態	RT1	RT2	RT3	RT4	RT5	RT6	2種BB中に 加算して抽選小役
通常リプレイA (RT変動なし)	1/7.3	-	-	-	-	-	1/7.3	15枚役
通常リプレイB (RT変動なし)	-	-	1/1.5	1/1.5	1/1.5	-	-	14枚役
通常リプレイA 又はRT2移行リプレイ	-	1/7.3	-	-	-	-	-	15枚役
RT1移行リプレイ 又はRT3移行リプレイ	-	-	1/1.5	-	-	-	-	14枚役
RT3移行リプレイ	-	1/3000	-	-	1/200	1/200	1/200	14枚役
RT4移行リプレイ	-	1/3000	-	1/200	-	1/200	1/200	14枚役
RT5移行リプレイ	-	1/3000	-	1/200	1/200	-	1/200	14枚役
RT6移行リプレイ	-	1/200	-	-	-	-	-	15枚役
リプレイ以外								15枚役

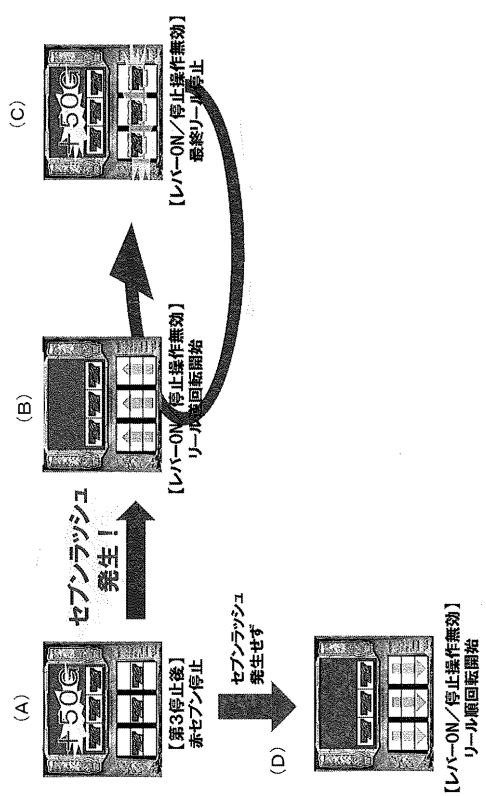
【図110】



【図111】



【図112】



【図113】

(A)

小役の当選パターン

名称	左ドラム	中ドラム	右ドラム
押し順スイカ中1 (中→左→右)	赤ベル	赤ベル	赤ベル
	黄ベル	黄ベル	赤ベル
	緑ベル	緑ベル	赤ベル
	青ベル	青ベル	赤ベル
	スイカ	スイカ	スイカ
	赤7/黒バー/花	スイカ	赤7/黒バー/花

【図114】

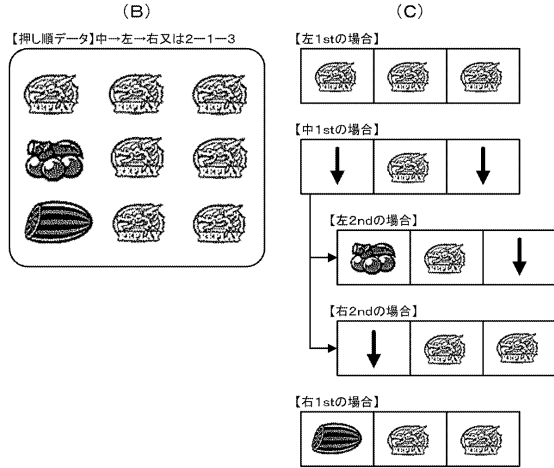
(A)

配当表(役物未作動時:規定数3枚)

左ドラム	中ドラム	右ドラム	獲得メダル枚数	備考
			再遊技	通常リプレイ役 (RT移行なし)
			再遊技	RT2移行リプレイ役 (RT2へ移行)
			再遊技	RT4移行リプレイ役 (RT4へ移行)

(B) AT小役(2回押し順タイプ)

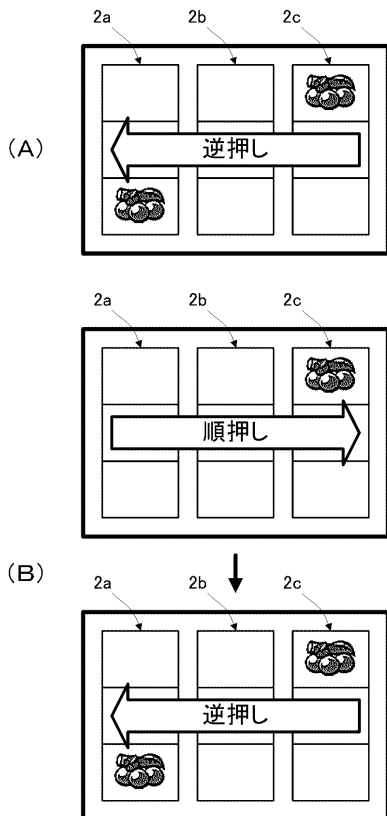
図柄			獲得メダル枚数	引き込み	備考
(赤青黄緑)ベル	(赤青黄緑)ベル	(赤青黄緑)ベル	14枚	6.25%	ベル図柄が4色有り
スイカ	スイカ	スイカ	14枚	100%	スイカ図柄1色のみ
赤7/黒バー/花	スイカ	赤7/黒バー/花	1枚	100%	-



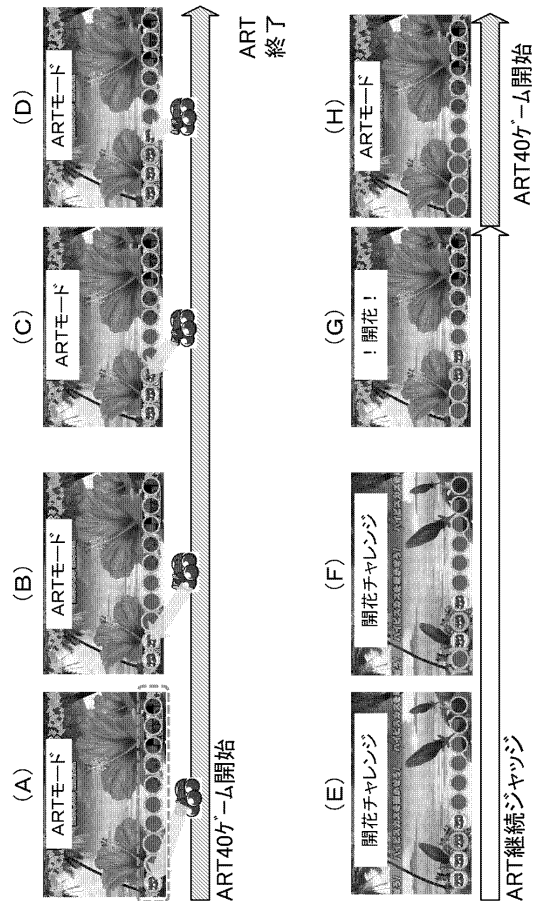
(C) AT小役の期待値

AT小役の択数 (中又は右1st)	期待枚数(スイカ・ベル共に14枚小役)	
	順押し・ハサミ押し	変則押し
4択	0.88枚	4.2枚

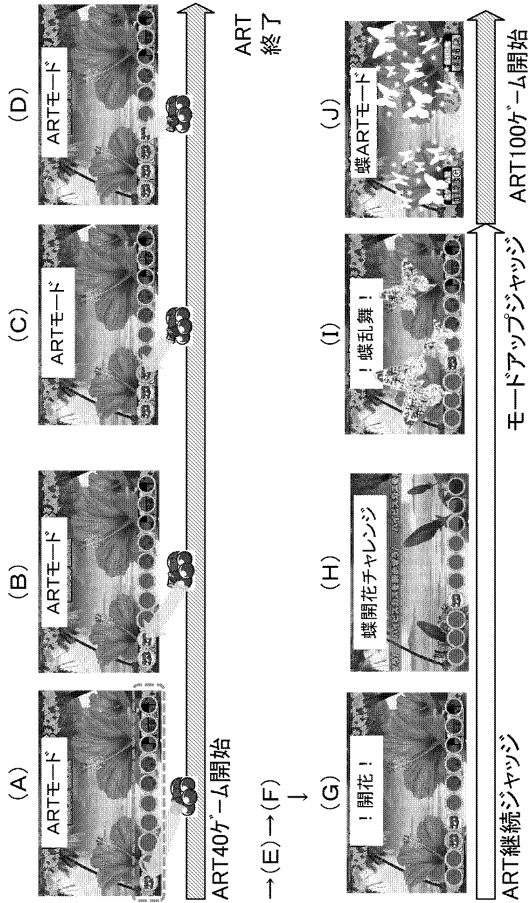
【図115】



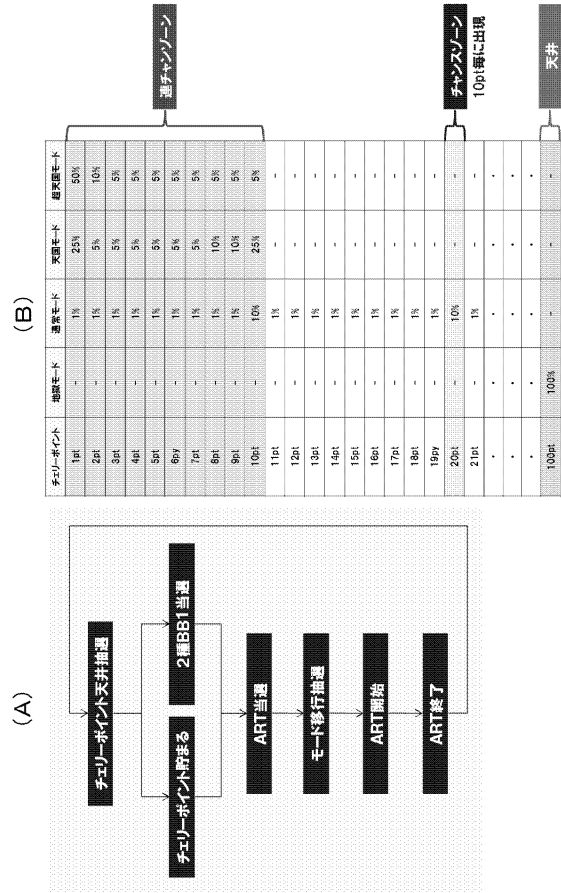
【図116】



【図117】



【図118】



【図119】

(A) 加算テーブル

チェリーポイント	2種BB中	
	角子エ	中子エ
1pt	91%	-
2pt	1%	10%
3pt	1%	10%
4pt	1%	10%
5pt	1%	10%
6pt	1%	10%
7pt	1%	10%
8pt	1%	10%
9pt	1%	10%
10pt	1%	20%
100pt	0%	0%

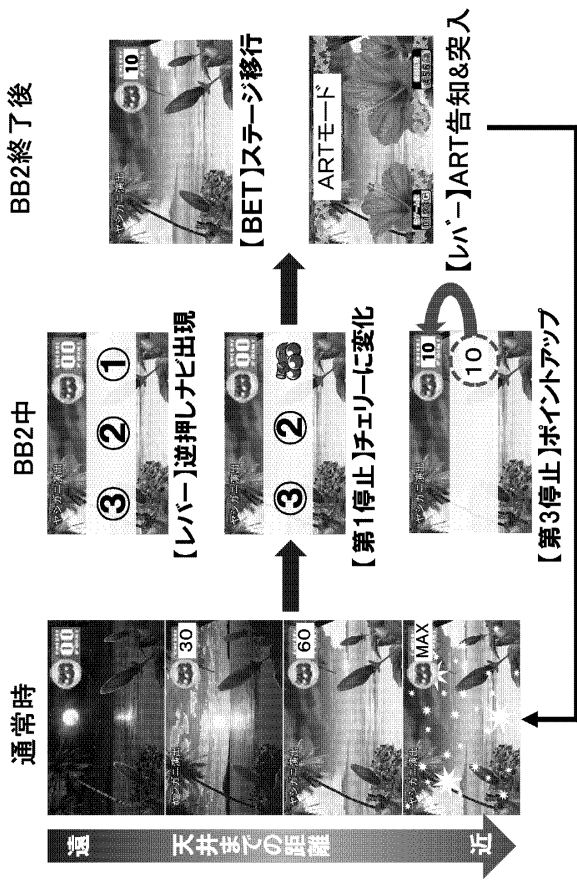
(B) モード移行テーブル(天井)

移行前\移行後	地獄モード	通常モード	天国モード	超天国モード
地獄モード	-	-	90%	10%
通常モード	20%	50%	25%	5%
天国モード	10%	40%	45%	5%
超天国モード	-	-	25%	75%

(C) モード移行テーブル(BB1)

移行前\移行後	地獄モード	通常モード	天国モード	超天国モード
地獄モード	-	-	50%	50%
通常モード	20%	45%	25%	10%
天国モード	10%	10%	60%	20%
超天国モード	-	-	-	100%

【図120】



フロントページの続き

- (31)優先権主張番号 特願2011-100195(P2011-100195)
(32)優先日 平成23年4月27日(2011.4.27)
(33)優先権主張国 日本国(JP)
(31)優先権主張番号 特願2011-119753(P2011-119753)
(32)優先日 平成23年5月27日(2011.5.27)
(33)優先権主張国 日本国(JP)

早期審理対象出願

- (56)参考文献 特開2010-187714(JP,A)
特開2003-70970(JP,A)
特開2003-299773(JP,A)
特開2006-326284(JP,A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A63F5/04